

入間市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び
在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

入 間 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について.....	2
II	考察.....	3
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	3
	（1）家庭や生活状況について.....	3
	（2）運動の状況について.....	3
	（3）身体と食事の状況について.....	4
	（4）毎日の生活について.....	4
	（5）地域での活動について.....	5
	（6）たすけあいについて.....	6
	（7）健康について.....	6
	（8）自治会・老人クラブについて.....	6
	（9）老人福祉センターやまゆり荘について.....	7
2	在宅介護実態調査.....	8
	（1）主な介護者について.....	8
	（2）介護保険サービスについて.....	8
	（3）本人の健康状態について.....	9
	（4）訪問診療・介護保険サービスについて.....	9
	（5）主な介護者の勤務形態について.....	9

Ⅲ 調査結果.....	11
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	11
問1 あて名のご本人について.....	14
問2 あなたのご家族や生活状況について.....	20
問3 からだを動かすことについて.....	27
問4 食べることについて.....	37
問5 毎日の生活について.....	47
問6 地域での活動について.....	61
問7 たすけあいについて.....	73
問8 健康について.....	83
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	91
問10 その他について.....	93
2 生活機能評価等に関する分析（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）.....	135
（1）機能別リスク該当者割合の分析.....	135
（2）日常生活.....	149
（3）社会参加.....	151
3 在宅介護実態調査.....	155
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします.....	155
B票 主な介護者の方について、お伺いします.....	189

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、令和6～8年度を計画期間とする次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、実施するものです。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者
在宅介護実態調査：在宅で生活している要介護認定者

3 調査期間

令和5年1月～2月

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500 通	1,066 通	71.1%
在宅介護実態調査	1,500 通	731 通	48.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

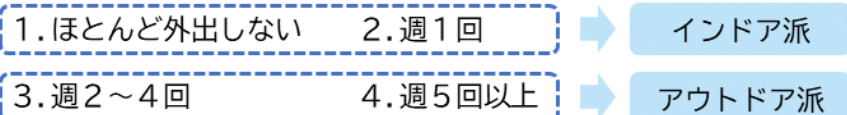
7 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について

本報告書は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することに主眼を置き、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」へとつなげていくための、基礎調査として位置づけられています。

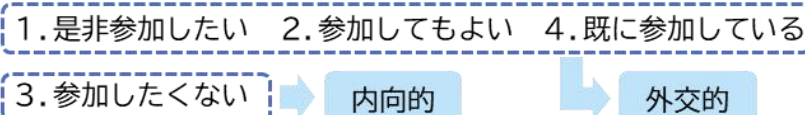
フレイルとは加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりなどが弱くなった状態のことを指し、予防に取り組むことでその進行を緩め健康な状態に戻すことも可能であることから、高齢者をタイプ別に分類し、虚弱高齢者を把握する項目とのクロス集計・分析を行います。

なお、高齢者の「タイプ別分類」は、下記に示すように問「週に1回以上は外出していますか」及び問「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問より判定しています。

問 週に1回以上は外出していますか。



問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



タイプ別分類	特性	想定される事業の方向性
インドア派 外交的	現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な外交的志向がある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・ボランティア等への参加促進 など
インドア派 内向的	現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強い	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など
アウトドア派 外交的	自宅の外で楽しむ志向が強く、外交的志向もある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・各種事業の運営者との育成支援 ・ボランティア等への参加促進 など
アウトドア派 内向的	自宅の外で楽しむ志向が強いが、外交的志向はあまりない	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など

Ⅱ 考察

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 家庭や生活状況について

《調査結果の視点》

家庭や生活状況について家族構成をみると、1人暮らし世帯が17.2%、夫婦2人暮らし（配偶者が65歳以上）が43.4%、ふたつを合わせた「高齢者のみ世帯」は60.6%となっています。

普段の生活で介護・介助が必要かについてみると、「現在、何らかの介護が必要だが現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護が必要な方”は、10.0%となっています。

さらに介護が必要になった原因をみると、「高齢による虚弱」が19.7%と最も高くなっていますが、生活習慣病として脳卒中7.5%、心臓病11.2%、がん6.5%、糖尿病10.3%、腎疾患3.7%を合わせると複数回答で一部重複はありますが、生活習慣病が原因で介護が必要となった方は、39.2%となっており、また、関節の病気（リウマチ等）9.3%、骨折・転倒16.8%、脊髄損傷10.3%を合わせると複数回答で一部重複はありますが、筋骨格系で介護が必要になった方は、36.4%となっています。

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますかについてみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“経済的に苦しいと感じている方”が31.4%となっています。

《課題と方向性》

生活習慣病は予防が可能であるため、国民健康保険や後期高齢者医療における健診などとの連携により、生活習慣病予防により介護予防へとつながるものと考えられます。

今回の調査では、高齢者をアウトドア派、インドア派、外交的、内向的で4つのタイプに分類（高齢者の外出タイプ別）し、分析を行うことで、タイプ別によって既存のアクティブな介護予防事業や講演やセミナーなどの事業へつなげることで、多様な選択肢により介護予防へとつなげていくことが必要であると考えられます。

(2) 運動の状況について

《調査結果の視点》

運動の状況についてみると、「15分位続けて歩いていますか」についてみると、「はい」が77.8%と約8割となっており、高齢者の外出タイプ別にみるとインドア派で「はい」の割合が7～8割となっており、インドア派では「できるけどしていない」の割合がアウトドア派に比べ高くなっています。

さらに過去1年間に転んだ経験や転倒に対する不安についてみると、インドア派で「ない」の割合がアウトドア派に比べ高くなっています。

さらに週1回以上外出していますかをみると、「ほとんど外出しない」、「週1回」を合わせた“ほとんど外出しない方”は16.9%となっています。

また、外出を控えていますかをみると、「はい」が30.4%となっており、さらに外出を控えて

いる理由をみると、「足腰などの痛み」が 28.4%と最も高くなっています。

また、外出する際の移動手段について「自動車（自分で運転）」が 53.0%となっています。

《課題と方向性》

令和2年から3年にかけて新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出を控えた方も増えており、インドア派についてはフレイルが進行していることが考えられ、筋力も低下することで転倒にもつながっていることが考えられます。

そこで筋力トレーニングなどにより、外出がおっくうにならないためにも介護予防事業が有効であることを普及・啓発するとともに、フレイルは、運動器の問題だけではなく、食事による影響もあるためフレイルに関する正しい知識の普及・啓発が必要です。

（３）身体と食事の状況について

《調査結果の視点》

高齢者においては、低栄養が問題であり、今回の調査でBMIが18.5未満の「やせ」と判定された方が6.8%となっています。

食生活に関する設問で、「半年前に比べ固いものが食べにくくなりましたか」、「お茶や汁物運等でむせることがありますか」、「口の渇きが気になりますか」をみると、「はい」の割合が2割半ばとなっています。

また、「噛み合わせはよいですか」についてみると、「いいえ」の割合が23.3%、「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」についてみると、「はい」の割合が9.4%となっています。

《課題と方向性》

身体と食事の状況については、フレイルは、身体的、精神・心理的、社会的な脆弱性により健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味するものです。そこで、低栄養は、食事の内容と摂り方により影響があると考えられるため、高齢者にとって正しい食事の重要性について周知・啓発を行い、フレイル予防に関する知識の向上が必要であるとともに、様々な機会での栄養教室や指導などへつなげることが必要であると考えられます。また、食生活と口腔ケアは連動しており、栄養に関する事業と口腔ケアの事業を一体的に実施するなど、フレイルとその予防について周知・啓発が必要であると考えられます。

（４）毎日の生活について

《調査結果の視点》

毎日の生活について物忘れが多いですかについてみると、「はい」が36.5%となっており、高齢者の外出タイプ別にみるとインドア派が5割を超えており、アウトドア派に比べ大きく上回っています。

今日が何月何日かわからない時がありますかについてみると「はい」が21.8%となっています。

趣味はありますかについてみると、「思いつかない」が21.7%となっており、高齢者の外出タイプ別にみるとインドア派内交的が約5割となっています。

生きがいがありますかについてみると「思いつかない」が 34.4%となっており、高齢者の外出タイプ別にみるとインドア派外交的が約 5 割、インドア派内向的は 6 割を超えており、アウトドア派に比べ大きく上回っています。

健康づくりについてみると「あまりよくない」が 13.5%となっており、高齢者の外出タイプ別にみるとインドア派が 2 割を超えており、アウトドア派に比べ上回っています。

《課題と方向性》

認知機能については、インドア派に比べアウトドア派が認知機能は高くなっており、外出することで移動での様々な判断（道順を覚えるや切符の購入、乗り換えなど）や人と会うことによる会話などにより、認知機能は維持できるものと考えられるため、通いの場や集いの場や機会の提供が重要であると考えられます。

また、インドア派で外交的な方は、趣味や生きがいがある割合もアウトドア派と同等であるため、生きがいづくりには、アウトドア派か外向的のどちらかが入っていることが重要であるものの、健康づくりには、外出が必須であることが考えられます。

インドア派や内向的であっても、外部との交流ができるような機会や仕組みとして、高齢者であっても積極的にホームページや SNS を活用した情報発信や情報提供が必要であると考えられます。

（５）地域での活動について

《調査結果の視点》

地域での活動について地域住民の有志による活動に参加者として参加したいかについてみると、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加したい」を合わせた“参加しているまたは参加したい方”は 61.3%となっています。一方、「参加したくない」の割合が 33.5%となっています。

また、地域での活動について地域住民の有志による活動に企画・運営として参加したいかについてみると、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加したい」を合わせた“参加しているまたは参加したい方”は 34.7%となっています。一方、「参加したくない」が 59.9%と参加者として参加したいかに比べ 25.2 ポイント高くなっています。

《課題と方向性》

地域での活動は、グループ活動だけではなく、セミナーや学びの場など個人でも楽しめるコンテンツの充実を図り参加の機会の選択肢を増やす必要があると考えられます。また、人との交流により、地域活動の活性化も図られることから、情報を入手することや、活動に参加するきっかけを積極的につくっていくことが必要であると考えられます。

（６）たすけあいについて

《調査結果の視点》

友人・知人と会う頻度はどれくらいですかについてみると、「ほとんどない」が 19.2%となっており、「年に何度か」の割合が 22.2%となっています。高齢者の外出タイプ別にみるとアウト

ドア派外交的以外は、「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

《課題と方向性》

友人・知人と会う頻度を高めるために、身近な地域でのサロン活動など増やし、通いの場や集いの場をより一層提供していくことが必要であると考えます。また、多様な選択肢によりグループ活動だけではなく、セミナーや学びの場などを提供するとともに、情報を積極的に伝えるアプローチを提供し、友人づくりや仲間づくりのきっかけが必要であると考えられます。

（７）健康について

《調査結果の視点》

主観的健康観について「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“健康状態が良い方”は82.2%となっており、一方、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“健康状態が悪い方”は15.5%となっています。高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派では「あまりよくない」の割合がアウトドア派に比べ高くなっています。

現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が40.8%で最も高くなっており、生活習慣病に関連する疾病をみると、脳卒中2.8%、心臓病10.4%、糖尿病14.6%、高脂血症11.6%、がん4.6%と複数回答なので重複はありますが、高血圧を含めると84.8%となっています。

《課題と方向性》

生活習慣病予防により、介護予防へとつながるよう国民健康保険の特定健診など医療保険との連携強化により、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施による健康づくりや介護予防の推進が必要であると考えられます。

（８）自治会・老人クラブについて

《調査結果の視点》

自治会に加入していますかについてみると、「加入している」が76.5%となっていますが、「加入していない」が11.5%となっており、今後、自治会に加入したいですかについてみると、「いいえ」の割合が81.9%となっています。

また、老人クラブを知っていますかについてみると、「はい」が61.7%となっていますが、一方で「知らない」が34.1%となっており、老人クラブに加入していますかについてみると、「加入していない」の割合が82.1%と高くなっています。さらに、今後、老人クラブに加入したいですかについてみると、「いいえ」の割合が81.3%となっています。

《課題と方向性》

地域活動である自治会については、自治会に加入している人は多いものの、未加入者も1割以上となっており、今後、加入を考えていない人も多くいます。

自治会とは、住民相互の連絡、環境の整備、集会施設の維持管理等、良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動であり、自治会の加入により、災害時などの緊急時への対応や地域住民の見守りなどがスムーズに行われることから、自治会の加入を促進するための、周知啓発を行っていくことが重要であると考えます。

また、老人クラブについては、加入していない人が8割以上となっており、今後も加入を考えていない人も多くいます。老人クラブは地域の自主的な高齢者活動グループであり、老人クラブに加入することにより、趣味や生きがいを見つけ出すことができ、また地域住民との交流にもつながることからも、老人クラブについての情報を発信し、加入促進を図っていくことが必要であると考えます。

(9) 老人福祉センターやまゆり荘について

《調査結果の視点》

老人福祉センターやまゆり荘を知っていますかについてみると、「はい」が 65.9%、「いいえ」が 30.0%となっています。また、やまゆり荘を利用したことがありますかについてみると、「いいえ」の割合が 85.6%と高くなっています。

やまゆり荘を利用している理由について教えてくださいについてみると、「無料で利用できるから」が 48.0%と最も高く、次いで「他者との交流ができるから」が 19.0%となっています。

また、原則 60 歳以上の方を対象としている「やまゆり荘」を今後どうするべきと考えますかについてみると、「現状のままで良い」の割合が 35.6%と最も高くなっていますが、次いで「利用対象者の清弁を見直し、多世代が利用（交流）できる施設とする」が 14.9%となっています。

《課題と方向性》

多くの人が知っている「ゆりやま荘」ですが、利用している高齢者は多くなっています。しかし、利用者は様々な人との交流ができるという理由で利用していることがわかります。

今後は、やまゆり荘の利用対象者を検討していくなど、今以上に多くの市民に活用してもらい、活動の場、交流の場として利用してもらおう施設として整備していくことが必要であると考えられます。

2 在宅介護実態調査

(1) 主な介護者について

《調査結果の視点》

主な介護者についてみると、「子」が 55.0%で最も高く、次いで「配偶者」が 34.9%となっています。主な介護者の性別は 61.5%が女性となっています。主な介護者の年齢については、「60代」が 28.1%と最も高く、50代以上が 24.9%、70代が 22.0%となっています。

主な介護者が行っている介護についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「食事の準備（調理等）」、「外出の付き添い、送迎等」、が7割を超え割合が高くなっています。また、排泄の介助、入浴などの身体介護も2割から3割程度介護を行っています。

主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方について調整等をしていますかについてみると、「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「介護のために、休暇を取りながら、働いている」の割合が 28.1%となっています。

《課題と方向性》

主な介護者の年代が、60代以上が6割半ばを占めていることから、老々介護が顕著にあらわれています。体力が必要な身体介護も行っており、介護サービスを適正に活用することで介護者のレスパイトが必要であると考えられます。

また、在宅介護では、複数の家族がいない場合、仕事で日中独居の状況では介護が困難となり、介護サービスを利用しても仕事を離職しなければならない状況があるものと考えられます。

(2) 介護保険サービスについて

《調査結果の視点》

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が 59.5%と最も高くなっています。「配食」、「移送サービス」、「外出同行」、「掃除・洗濯」等の利用は1割未満となっています。

今後、在宅介護の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「移送サービス」が 24.5%と最も高く、次いで「外出同行」が 16.7%となっています。

また、施設への入所・入居の検討状況についてみると、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が 16.8%、「入所・入居を検討している」が 13.3%となっています。

《課題と方向性》

老々介護で運転免許の早期返納などで自動車の運転ができない方もいると考えられるため、移動や外出の支援が困難となるため、移動及び生活支援に対するニーズが高くなっていることが考えられます。

また、これまで本市が進めてきた地域包括ケアシステム構築を踏まえ、介護が必要な高齢者等が住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、引き続き、施設サービスやグループホーム、地域密着型介護サービスの充実等を踏まえた施設整備が必要であると考えます。

(3) 本人の健康状態について

《調査結果の視点》

現在抱えている傷病についてみると、「認知症」が 34.2%と最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 19.2%となっています。また、生活習慣病として、「糖尿病」が 17.2%、「脳血管疾患」が 15.3%、「悪性新生物」が 5.5%、「腎疾患（透析）」が 3.6%と複数回答のため重複はありますが生活習慣病による傷病が 57.2%となっています。

《課題と方向性》

今後の健康状態への対策として、現在抱えている疾病について、定期的な医療機関への診療により、重症化予防の取り組み等の充実が必要ですが、本人自身が動けないような状況がある場合には訪問診療などにより、重症化させないことが必要です。

また、本人自身の取り組みとして、適切な食生活を送ることや日常的に体を動かすなどの生活支援を充実させることも、重症化予防の一つとして考えられます。

(4) 訪問診療・介護保険サービスについて

《調査結果の視点》

現在、訪問診療を利用していますかについてみると、「利用している」は 16.4%となっています。

また、介護保険サービスを利用しましたかについてみると、「利用した」は 57.5%、一方、「利用していない」が 36.9%となっており、介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 27.4%最も高くなっており、次いで「本人にサービスの利用の希望がない」が 17.8%、「家族が介護するため必要ない」が 11.5%となっています。

《課題と方向性》

訪問診療を実施している医療機関も限られていますが、在宅介護における医療的なケアは訪問診療が必要であるため、訪問診療が実施可能な医療機関の確保が必要であると考えられます。

また、家族への負担軽減のための適正なサービス利用へつなげるとともに、介護保険サービスを利用することで要介護状態の改善や維持のためにサービス利用へつなげる必要があると考えられます。

(5) 主な介護者の勤務形態について

《調査結果の視点》

主な介護者の勤務形態についてみると、「フルタイムで働いている」が 22.5%、「パートタイムで働いている」が 17.9%となっており、一方で「働いていない」が 50.8%となっています。

介護をするにあたって、何か働き方について調整等をしていますかについてみると、介護するにあたって、何か働き方について調整等をしていますかについてみると、「介護のために、労働時

間を調整しながら、働いている」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「介護のために、休暇を取りながら、働いている」の割合が 28.1%となっており、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますかについてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 34.7%最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 31.7%、「介護している従業員への経済的な支援」が 31.1%となっています。

また、今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「続けていける」、「何とか続けていける」と回答した方は、8割以上となっている一方で「やや難しい」、「かなり難しい」と回答した方が 14.4%となっています。

さらに、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」が 31.5%と最も高くなっており、次いで「夜間の排泄」が 30.3%、「外出の付き添い、送迎等」が 27.6%となっています。

《課題と方向性》

仕事と介護の両立のために、企業においても制度の充実が求められおり、介護保険サービスの利用と企業からの支援が必要であると考えられます。

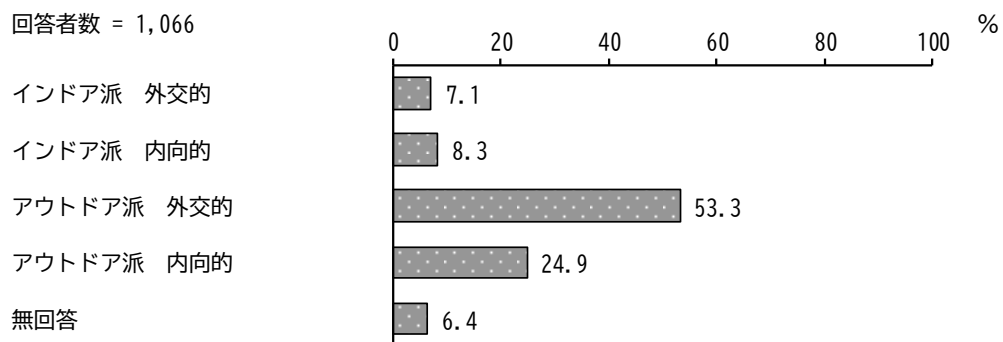
また、認知症の症状と介護の情報提供や身体介護の教室などにより、介護者の不安の解消に努める必要があると考えられます。

Ⅲ 調査結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

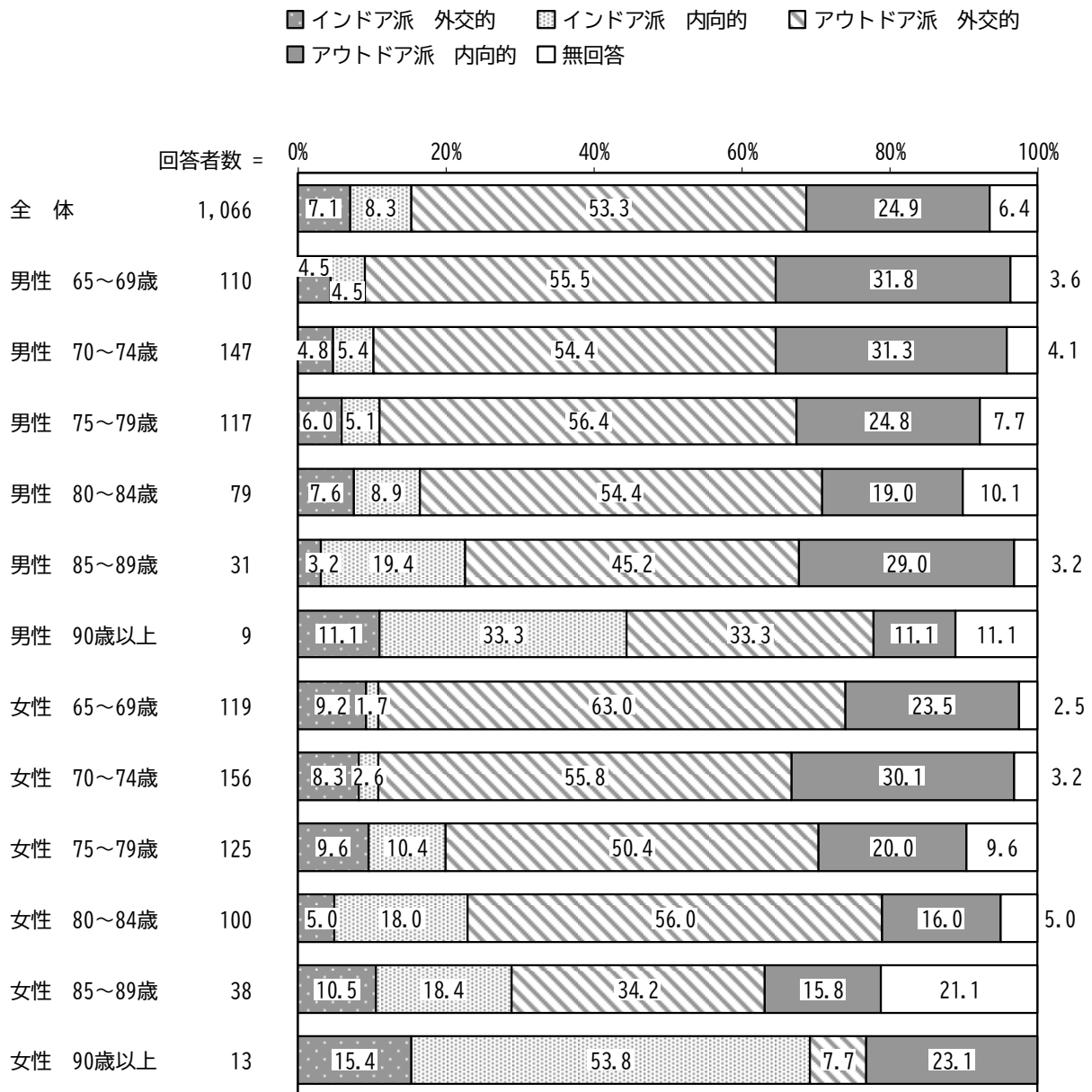
高齢者の外出タイプ別

「アウトドア派 外交的」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「アウトドア派 内向的」の割合が 24.9%となっています。



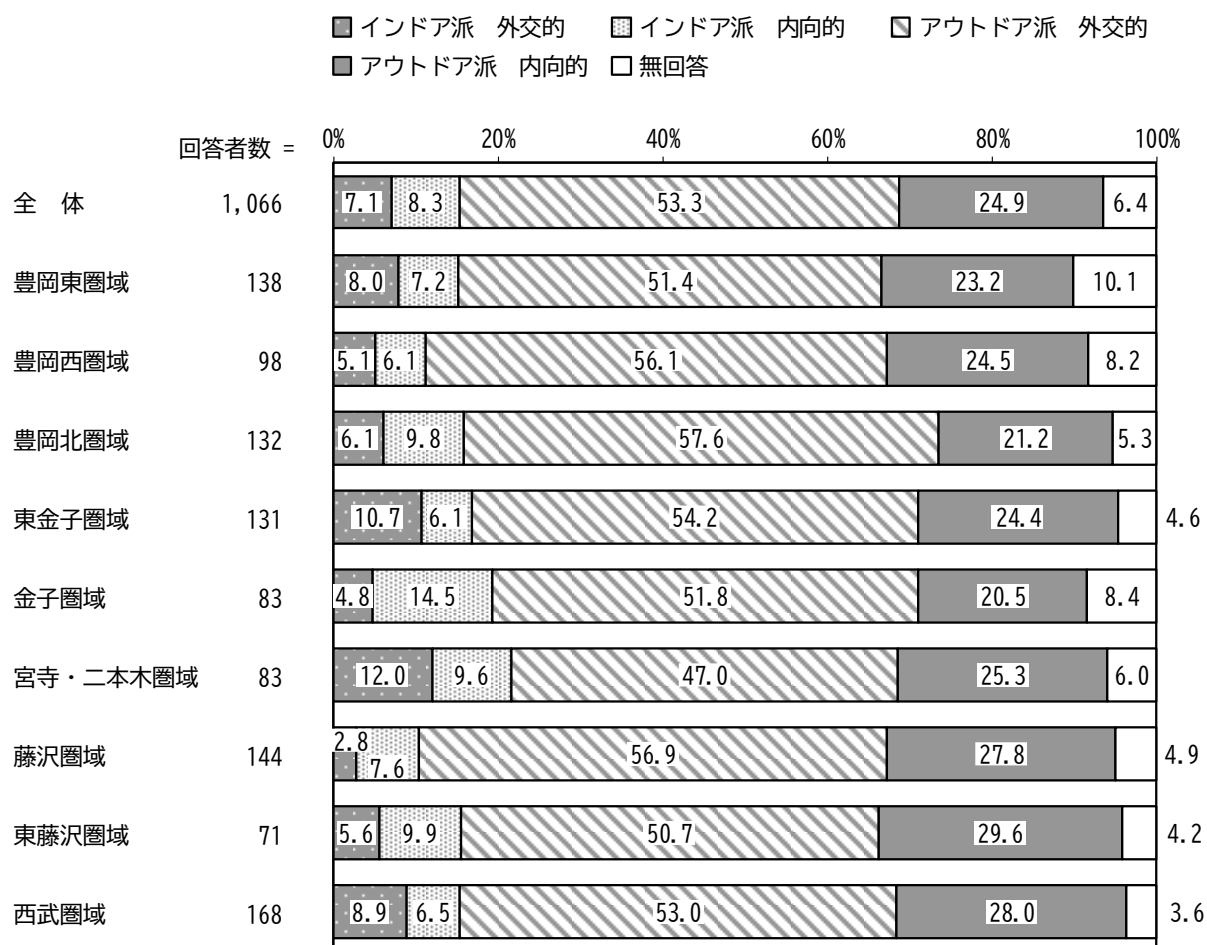
【性年齢別】

性年齢別にみると、他に比べ、女性 65～69 歳で「アウトドア派外交的」の割合が、男性 65～69 歳で、男性 70～74 歳で「アウトドア派内向的」の割合が高くなっています。



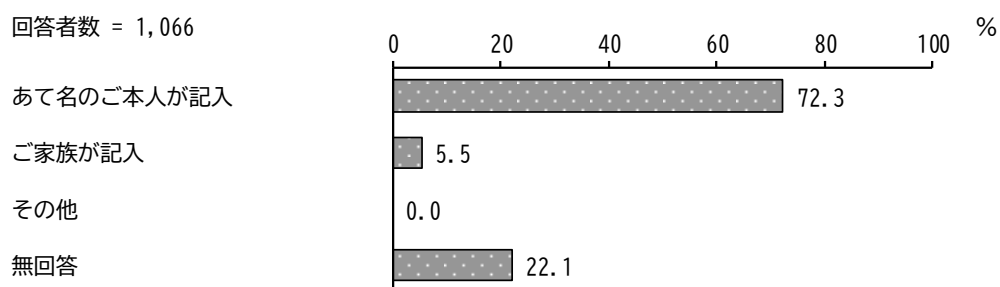
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

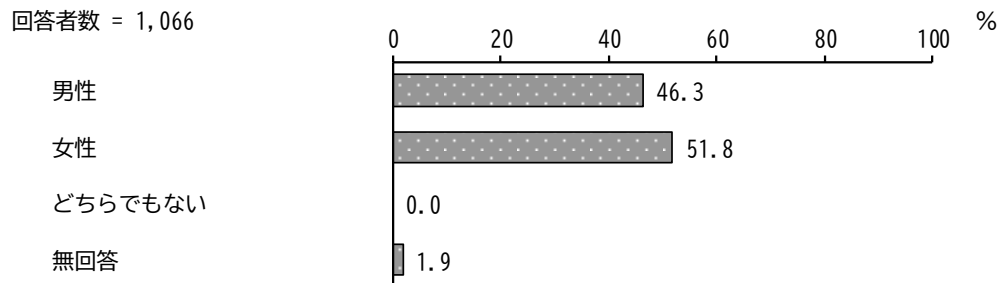
「あて名のご本人が記入」の割合が 72.3%、「ご家族が記入」の割合が 5.5%となっています。



問1 あて名のご本人について

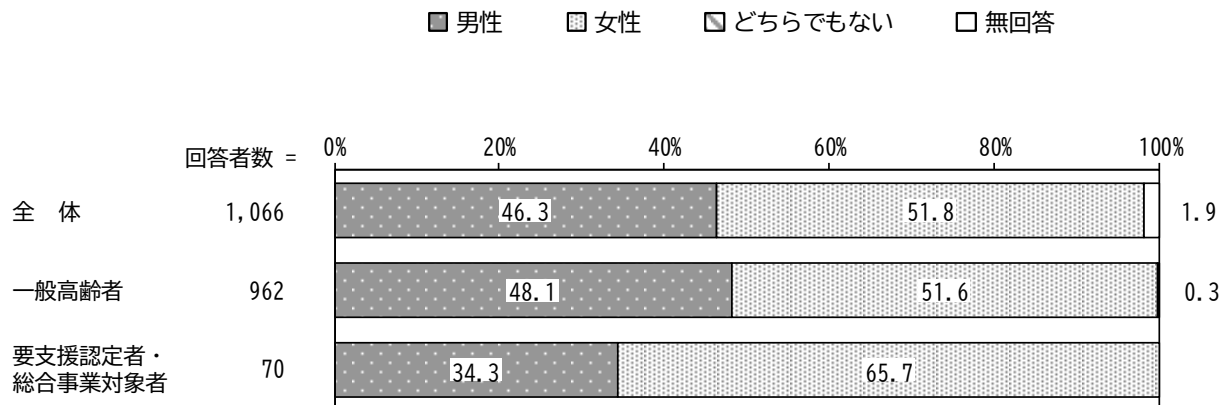
Q1. あなたの性別を教えてください（1つのみ）

「女性」の割合が51.8%と最も高く、次いで「男性」の割合が46.3%となっています。



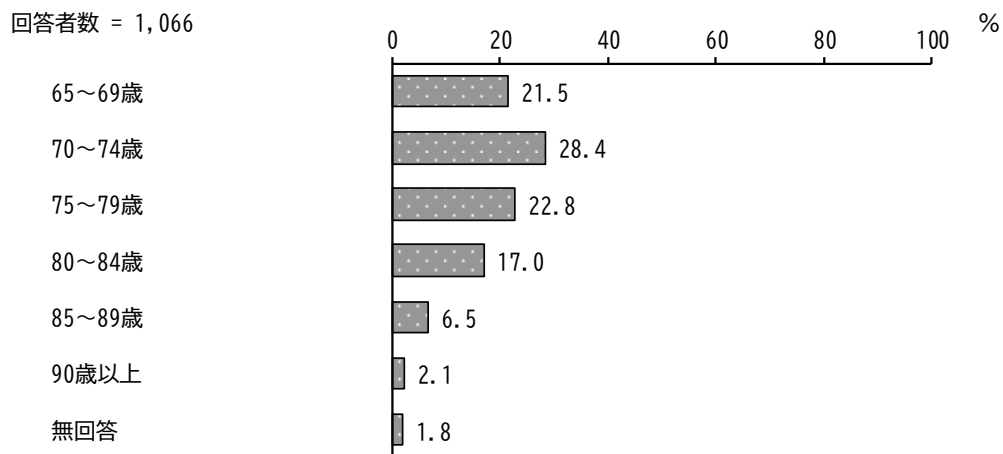
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「女性」の割合が高くなっています。



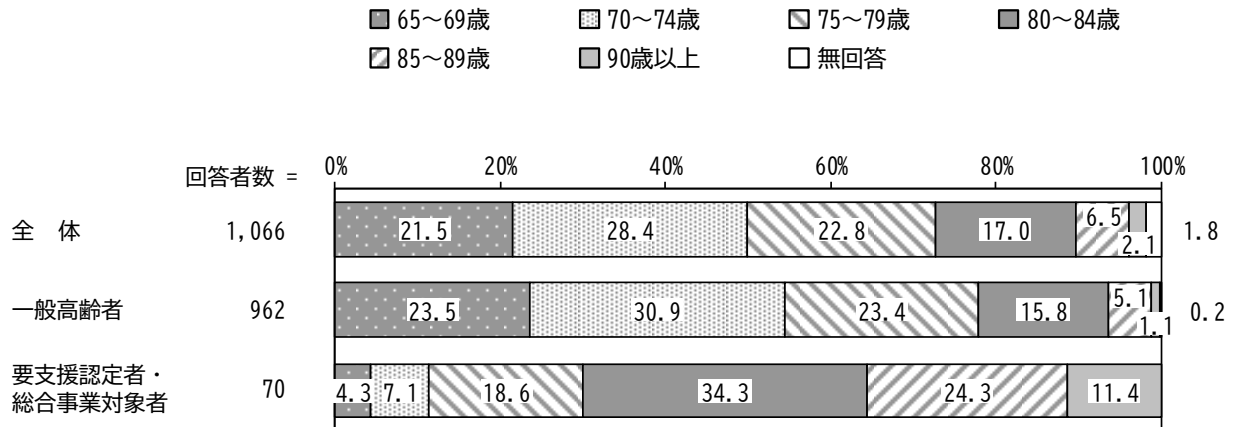
Q2. あなたの年齢を教えてください（1つのみ）

「70～74歳」の割合が28.4%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が22.8%、「65～69歳」の割合が21.5%となっています。



【認定別】

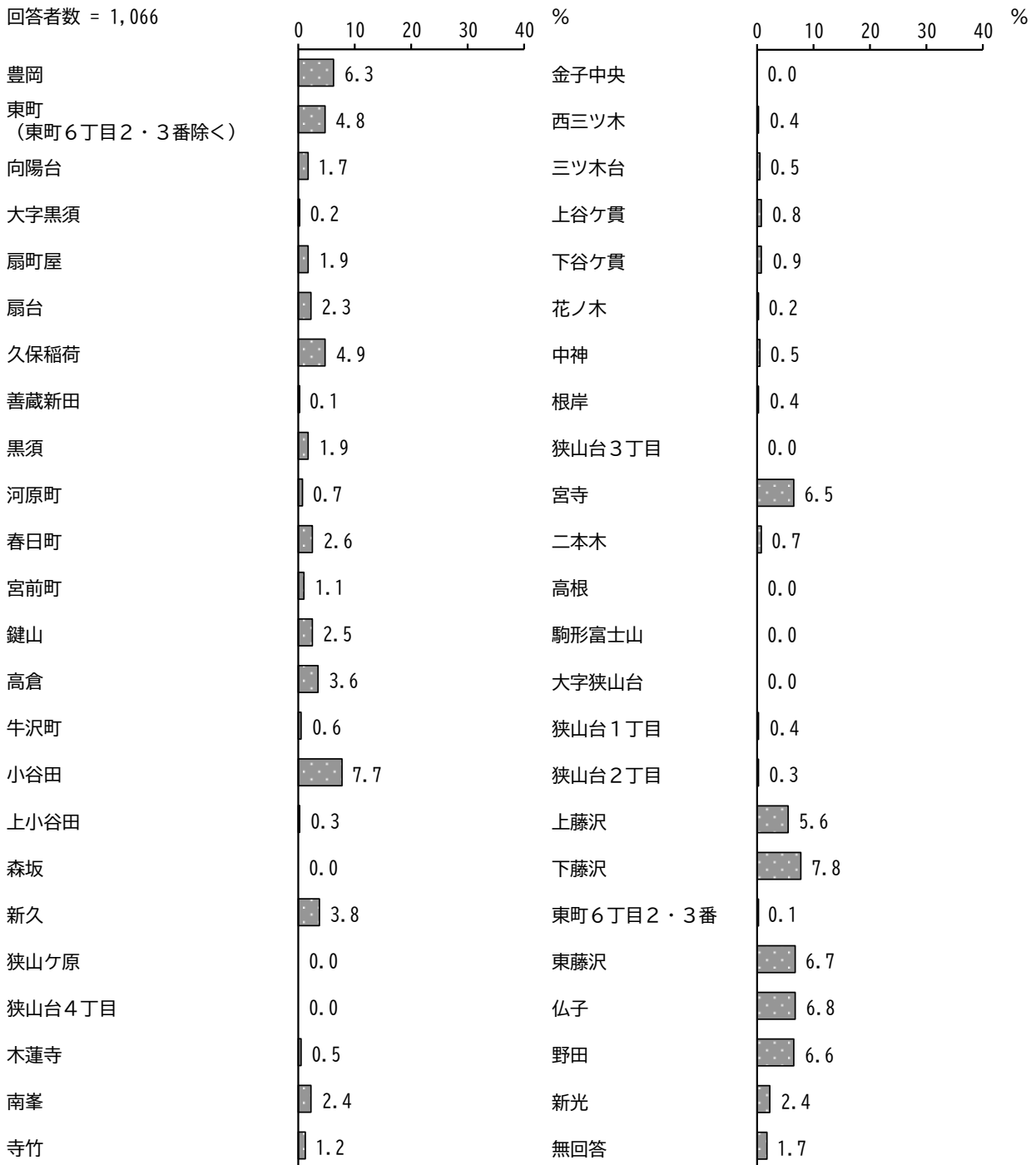
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「80～84歳」の割合が高くなっています。



Q3. あなたがお住まいの地区を教えてください（1つのみ）

「下藤沢」の割合が7.8%と最も高くなっています。

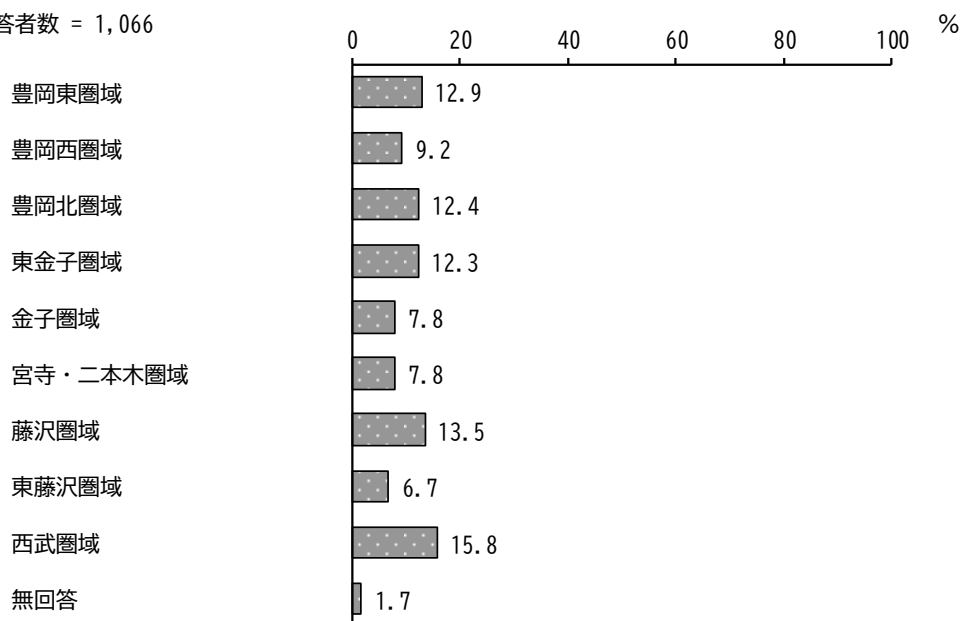
回答者数 = 1,066



日常生活圏域別

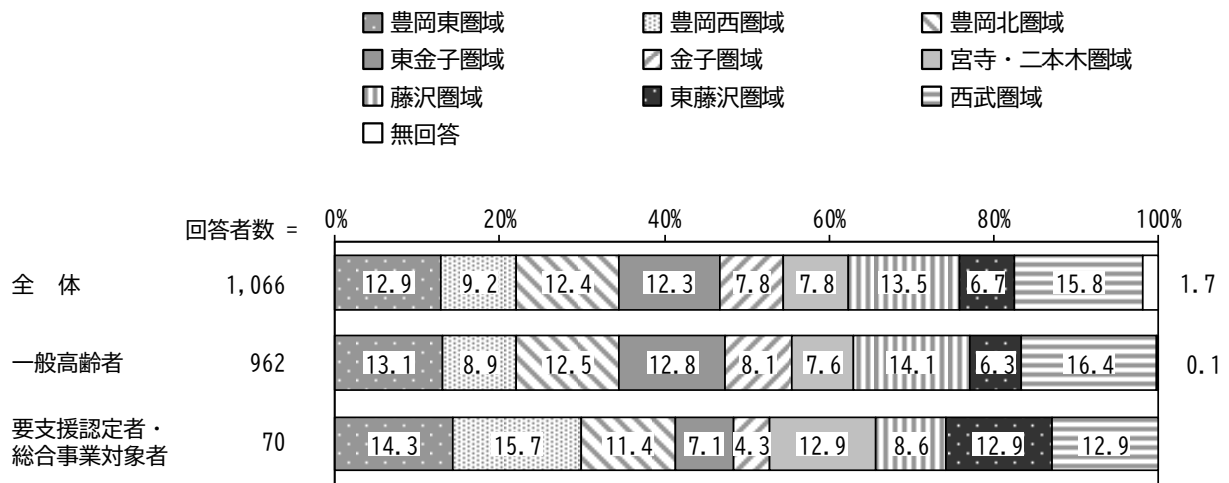
「西武圏域」の割合が15.8%と最も高く、次いで「藤沢圏域」の割合が13.5%、「豊岡東圏域」の割合が12.9%となっています。

回答者数 = 1,066



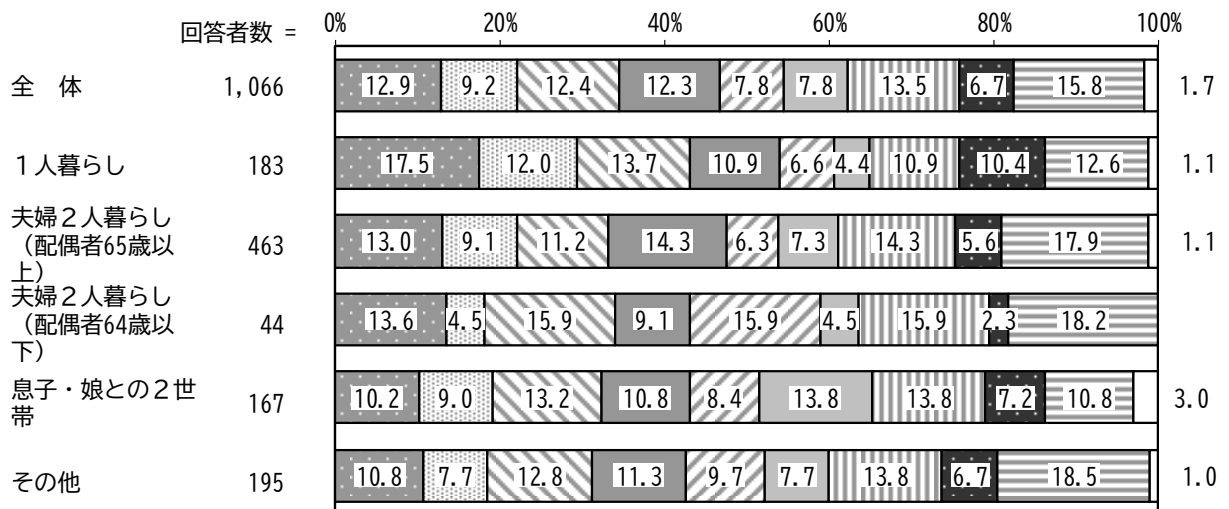
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



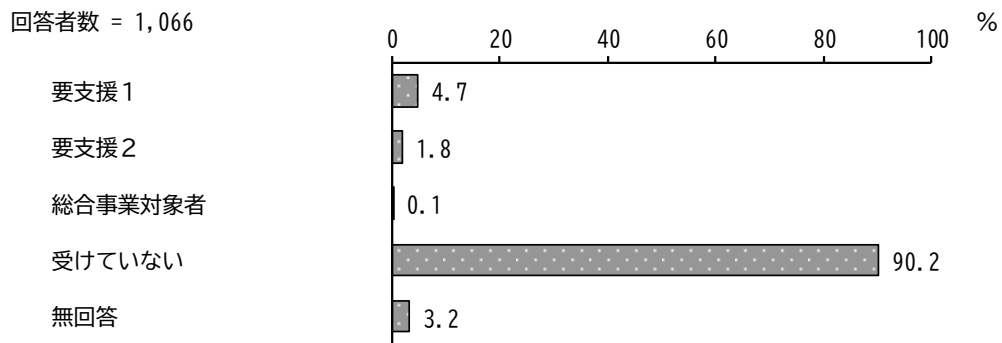
【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。



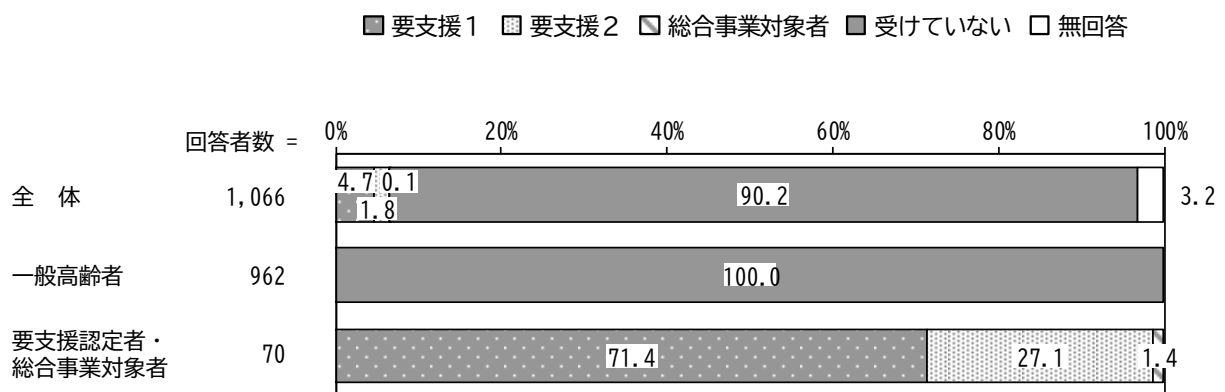
Q4. あなたの要介護認定等を教えてください（1つのみ）

「受けていない」の割合が90.2%と最も高くなっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、一般高齢者で「受けていない」の割合が高くなっています。

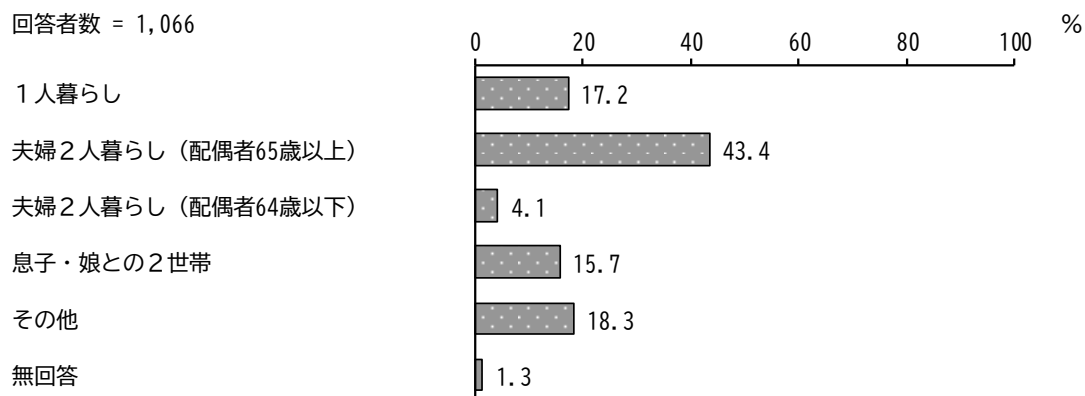


問2 あなたのご家族や生活状況について

Q1. 家族構成を教えてください（1つのみ）

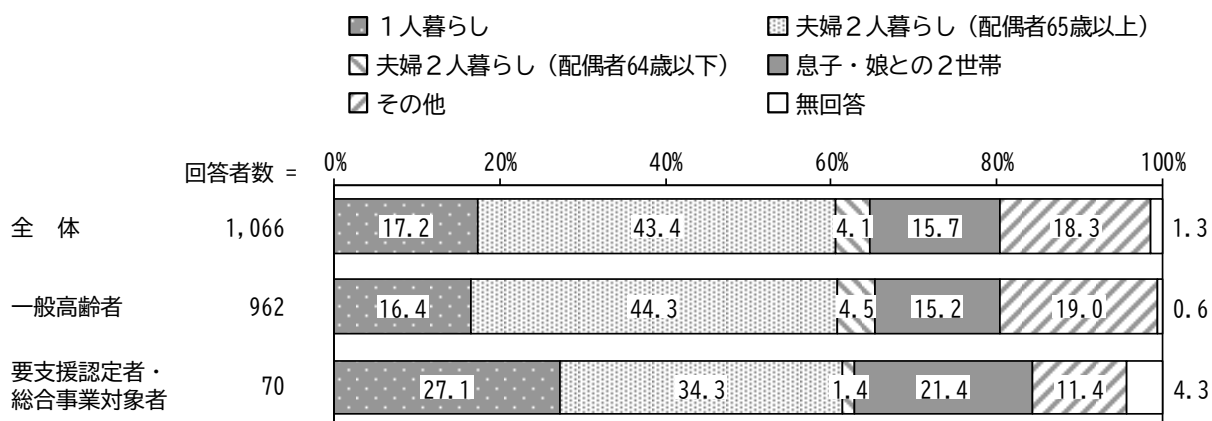
「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が43.4%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が17.2%、「息子・娘との2世帯」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 1,066



【認定別】

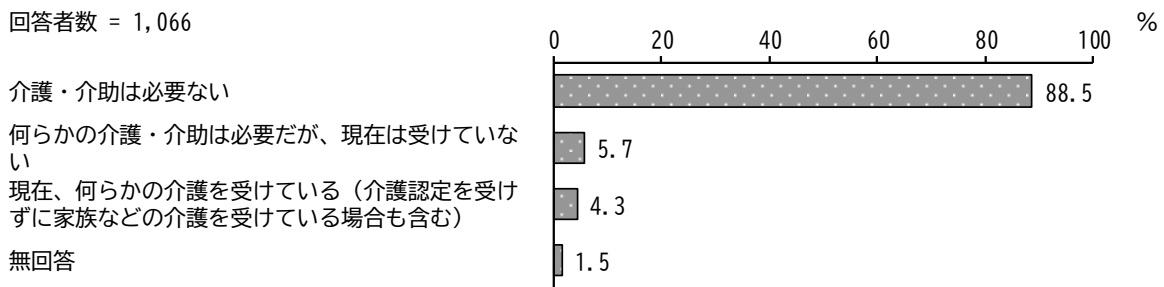
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。



Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つのみ）

「介護・介助は必要ない」の割合が88.5%と最も高くなっています。

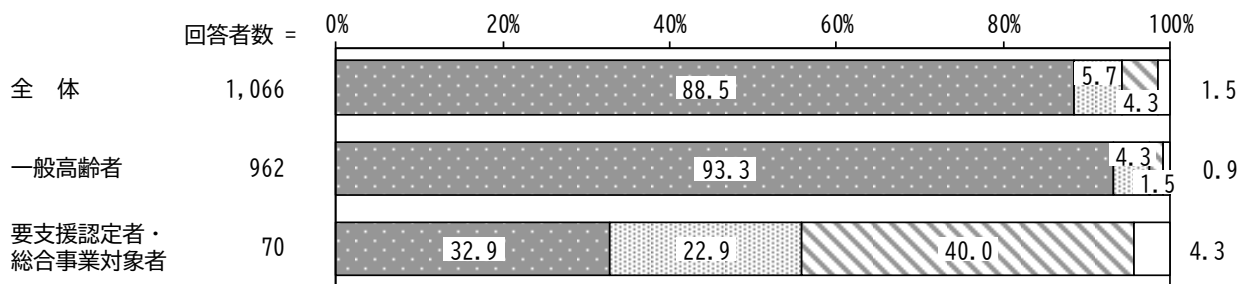
回答者数 = 1,066



【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。

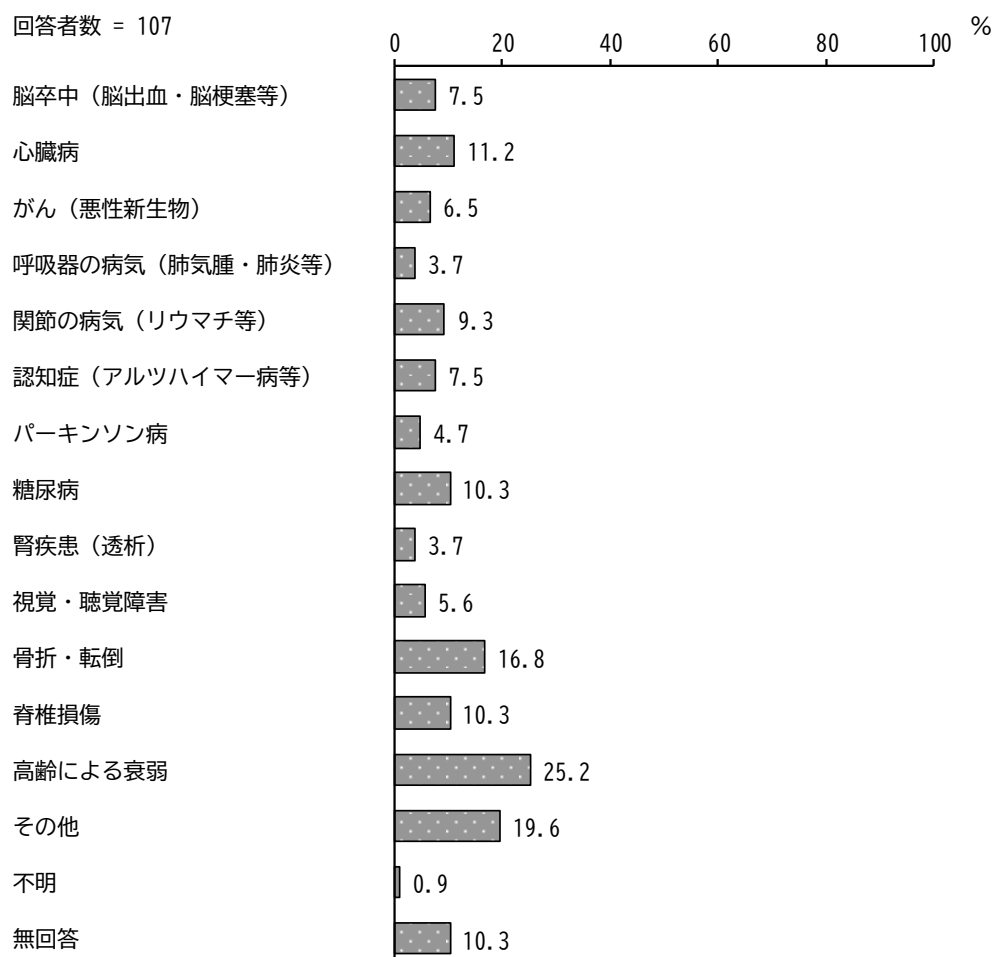
- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
- 無回答



【Q2において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」の割合が25.2%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が16.8%、「心臓病」の割合が11.2%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「脊椎損傷」「高齢による衰弱」「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

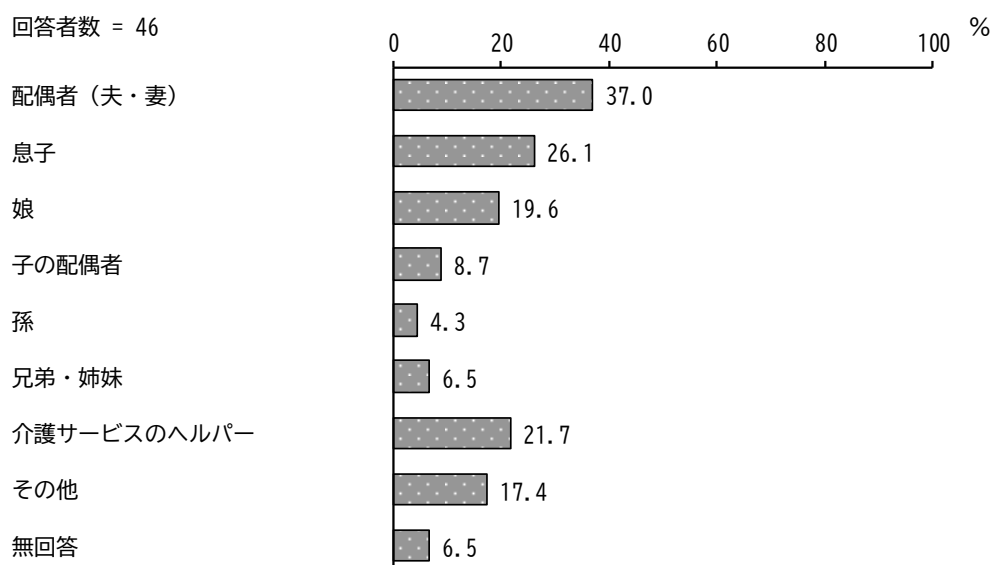
単位：％

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全 体	107	7.5	11.2	6.5	3.7	9.3	7.5	4.7	10.3
一般高齢者	55	7.3	7.3	9.1	1.8	9.1	9.1	7.3	7.3
要支援認定者・ 総合事業対象者	44	9.1	13.6	4.5	6.8	9.1	4.5	2.3	15.9

区分	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全 体	3.7	5.6	16.8	10.3	25.2	19.6	0.9	10.3
一般高齢者	3.6	5.5	12.7	5.5	21.8	18.2	—	16.4
要支援認定者・ 総合事業対象者	2.3	6.8	22.7	18.2	31.8	25.0	2.3	—

②. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

「配偶者（夫・妻）」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「息子」の割合が 26.1%、「介護サービスのヘルパー」の割合が 21.7%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「介護サービスのヘルパー」「娘」「息子」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全 体	46	37.0	26.1	19.6	8.7	4.3	6.5	21.7	17.4	6.5
一般高齢者	14	42.9	14.3	7.1	7.1	—	—	7.1	28.6	7.1
要支援認定者・総合事業対象者	28	35.7	32.1	28.6	10.7	7.1	10.7	32.1	14.3	—

【家族構成別】

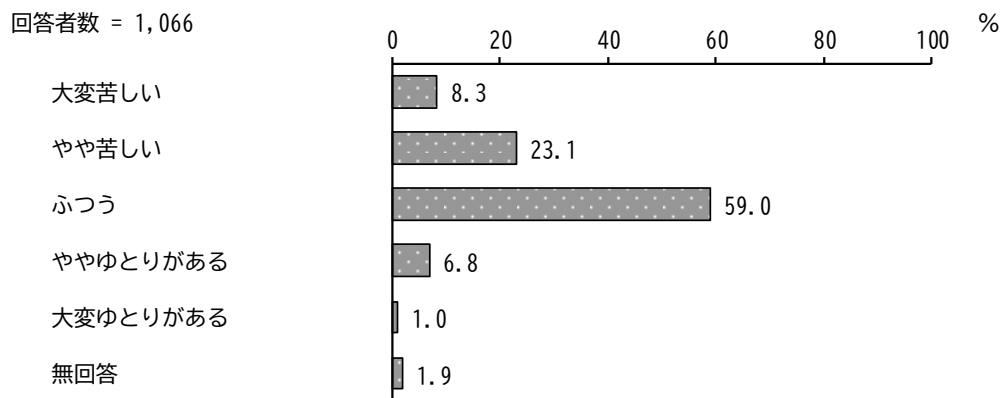
家族構成別にみると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）で「配偶者（夫・妻）」「介護サービスのヘルパー」の割合が、息子・娘との2世帯で「娘」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全 体	46	37.0	26.1	19.6	8.7	4.3	6.5	21.7	17.4	6.5
1人暮らし	10	—	40.0	30.0	—	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0
夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上)	11	81.8	9.1	9.1	9.1	—	—	36.4	9.1	—
夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以下)	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—
息子・娘との2世帯	10	40.0	40.0	40.0	30.0	—	—	20.0	—	10.0
その他	12	25.0	8.3	8.3	—	8.3	8.3	—	41.7	8.3

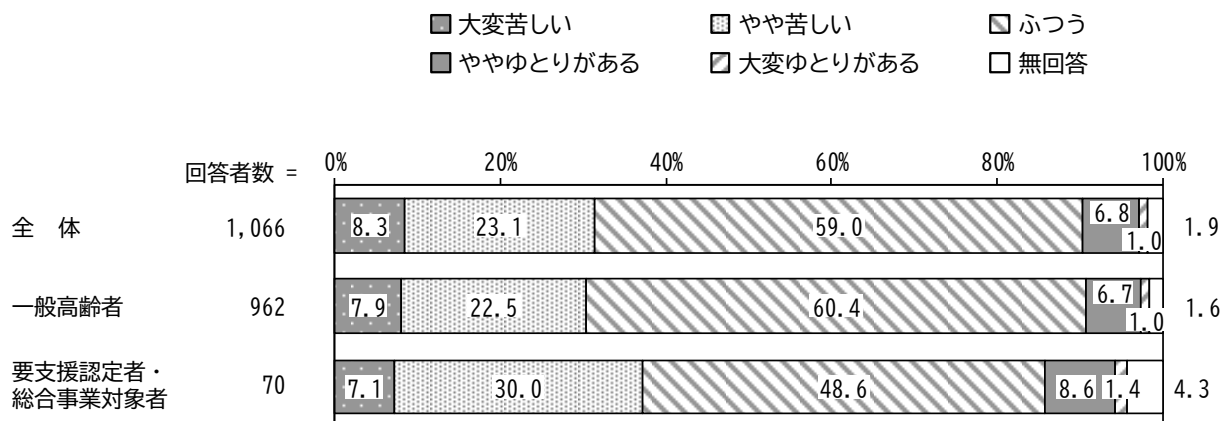
Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つのみ）

「ふつう」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 23.1%となっています。



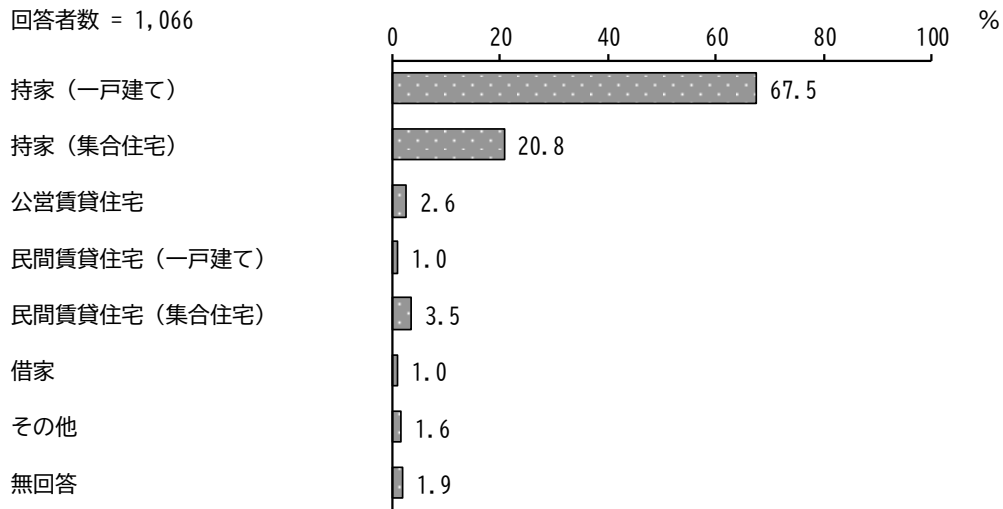
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「やや苦しい」の割合が高くなっています。



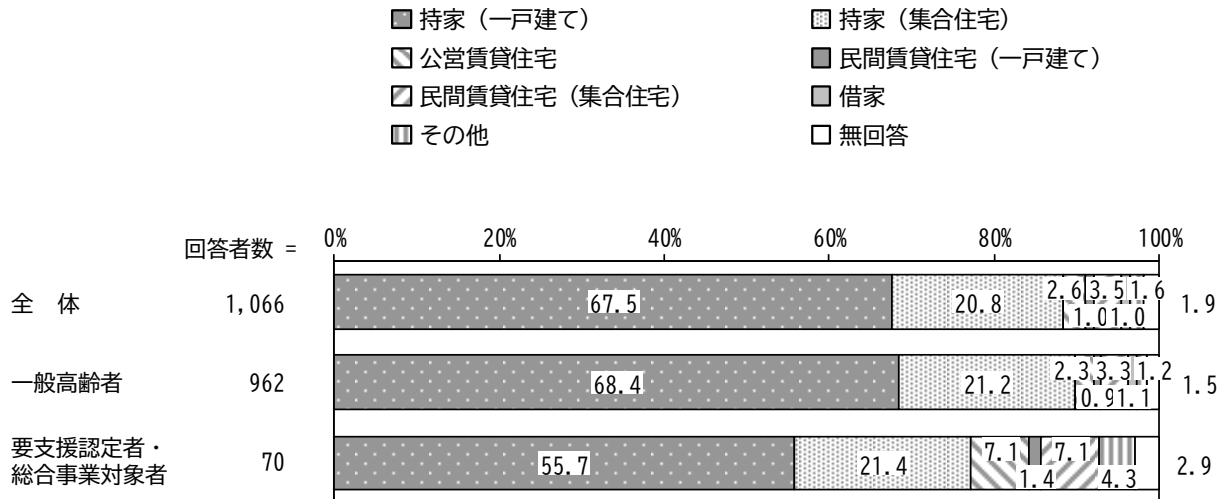
Q4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つのみ）

「持家（一戸建て）」の割合が67.5%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が20.8%となっています。



【認定別】

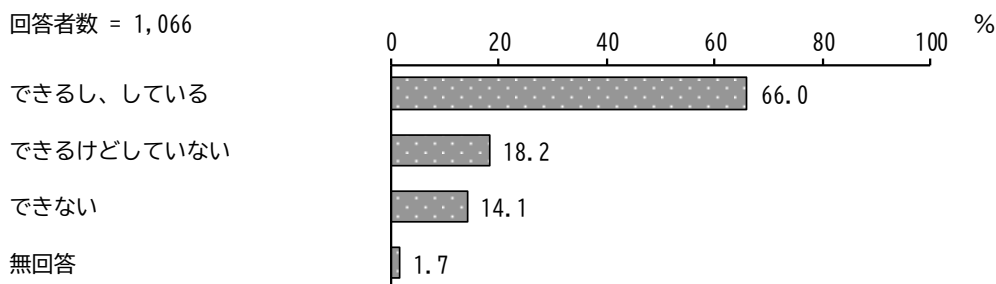
認定別にみると、大きな差はみられません。



問3 からだを動かすことについて

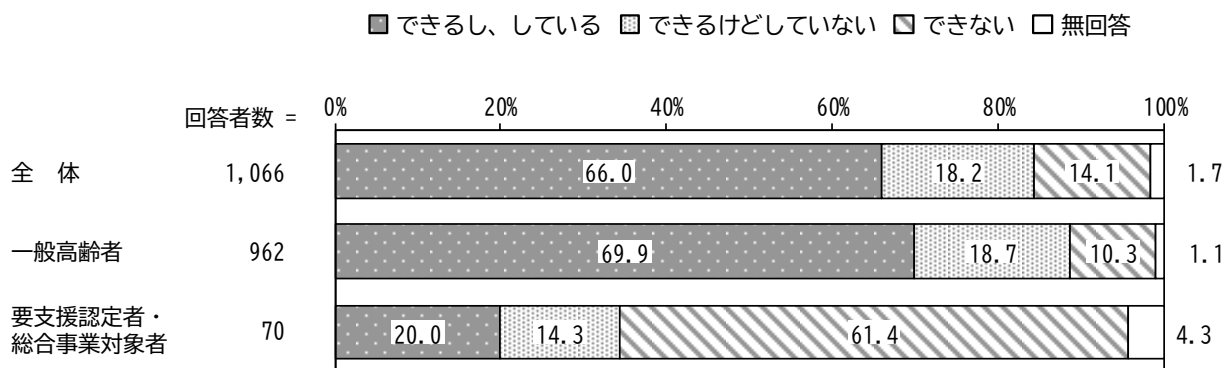
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りできますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が66.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が18.2%、「できない」の割合が14.1%となっています。



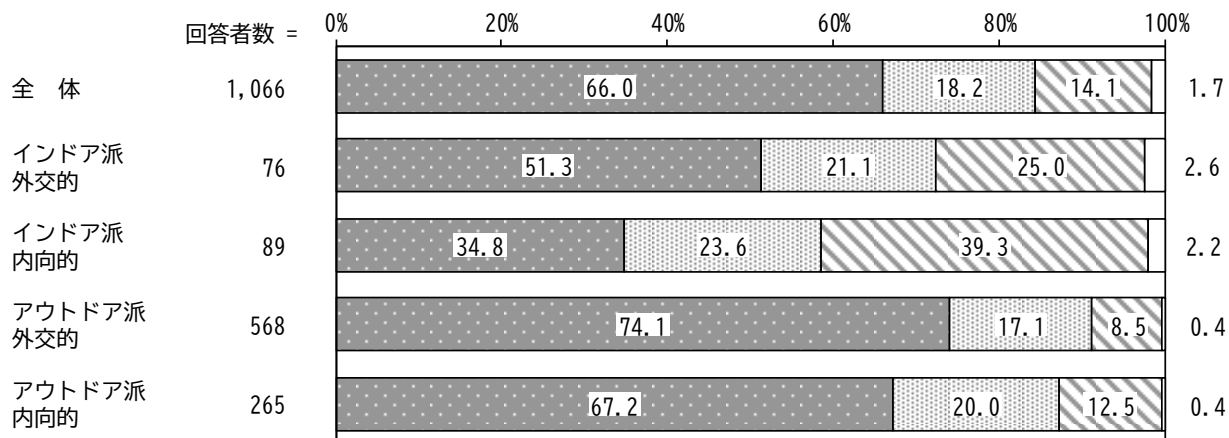
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



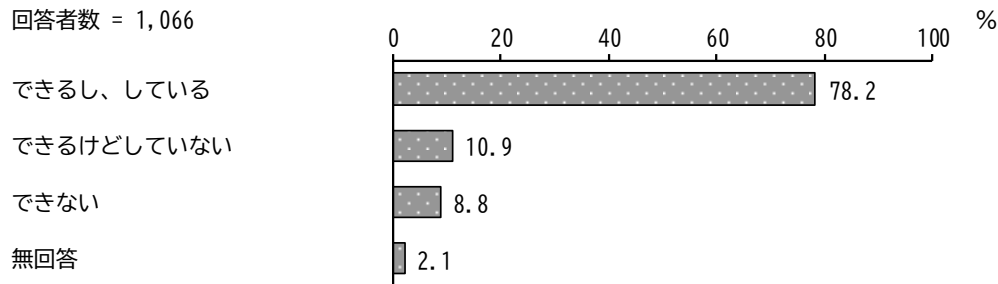
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「できない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。



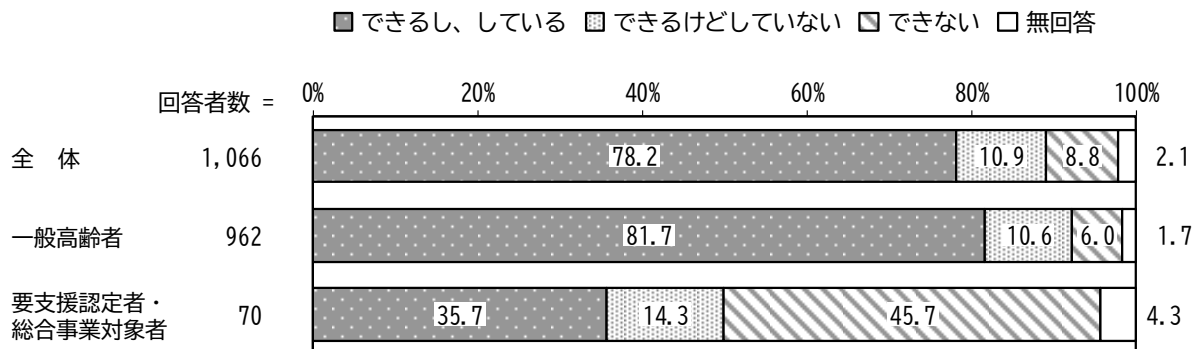
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が78.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が10.9%となっています。



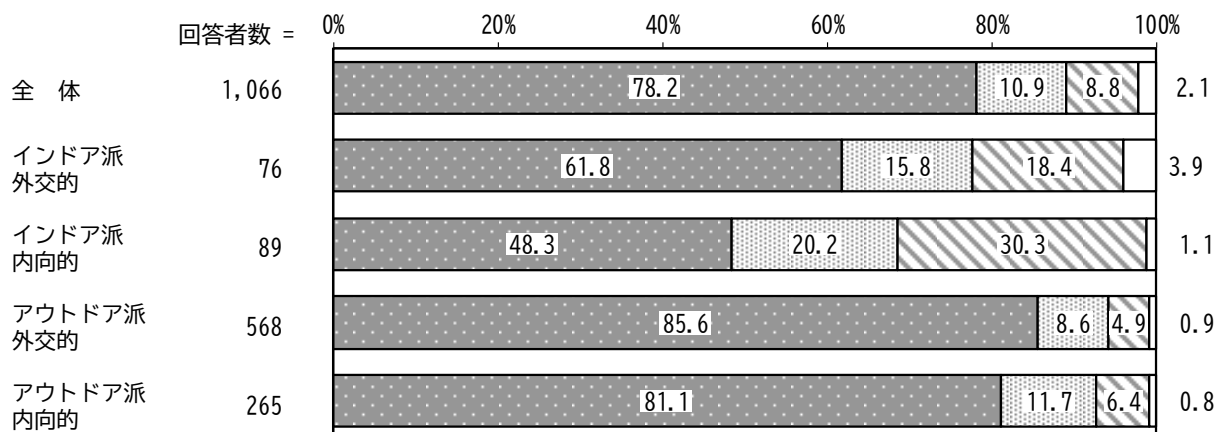
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



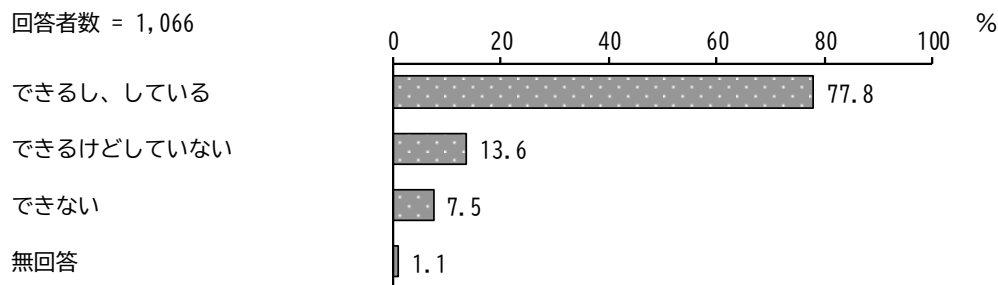
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「できるけどしていない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。



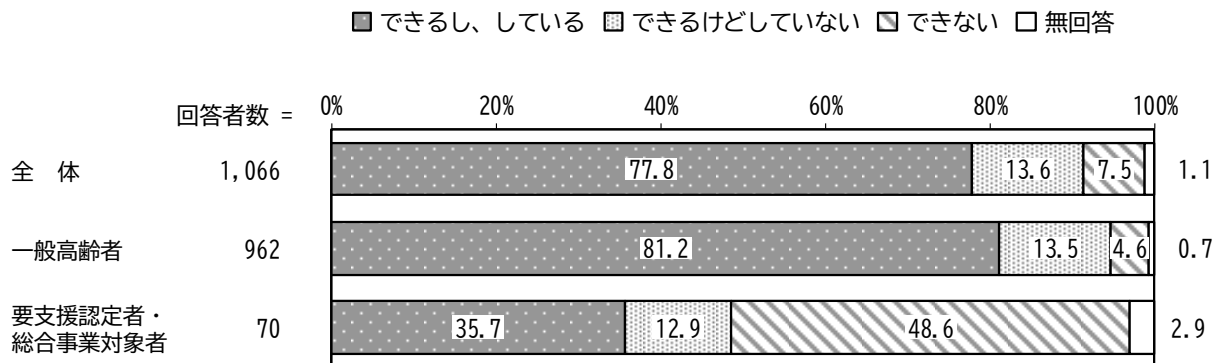
Q3. 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が77.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.6%となっています。



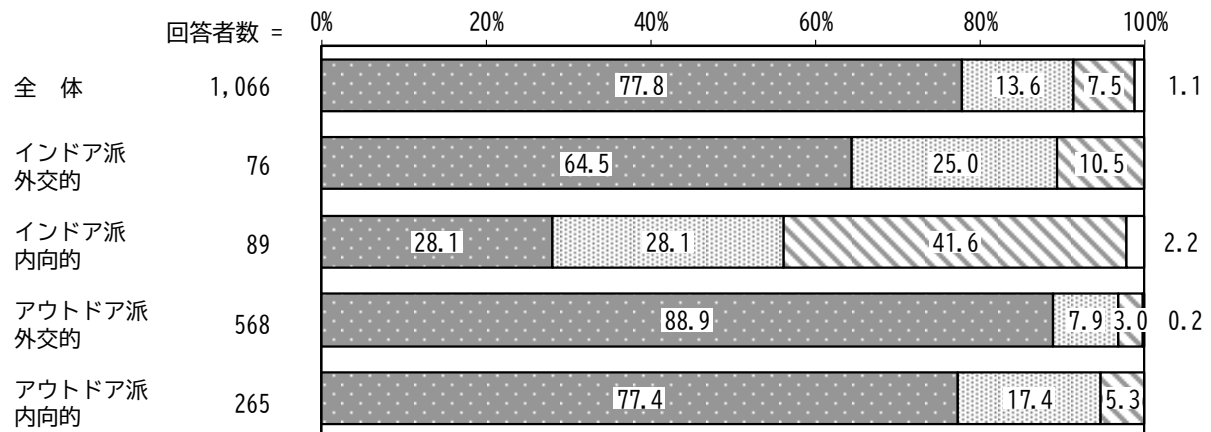
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



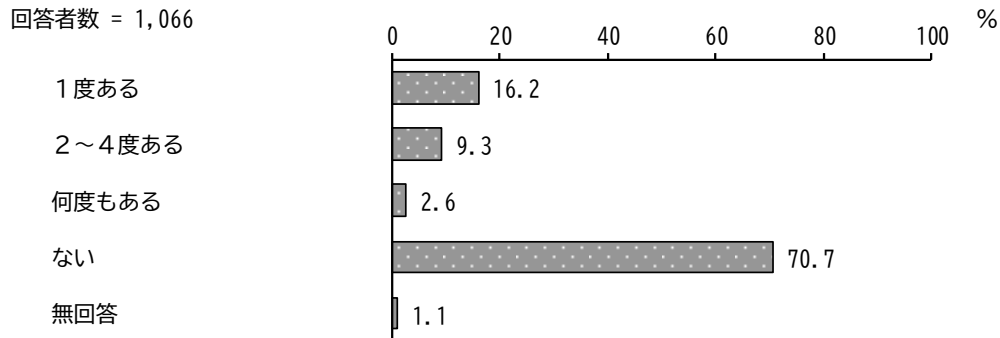
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「できるけどしていない」の割合が、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。



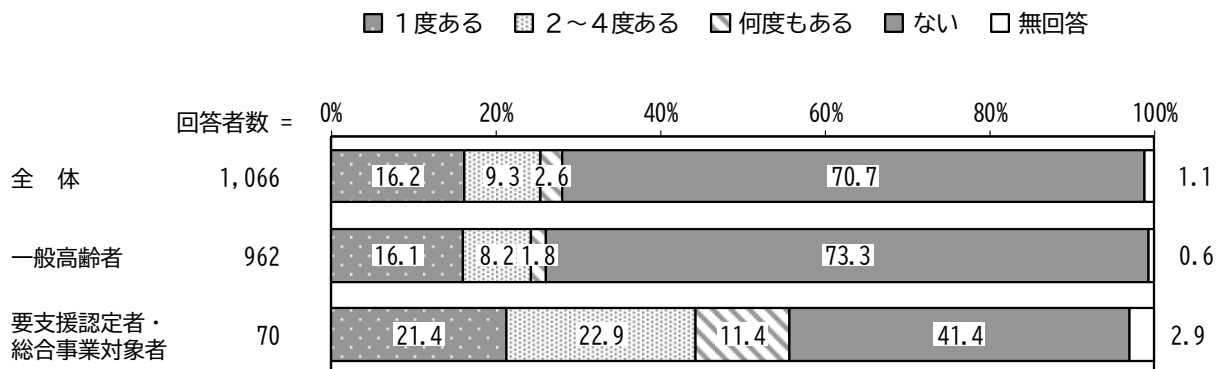
Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）

「ない」の割合が70.7%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が16.2%となっています。



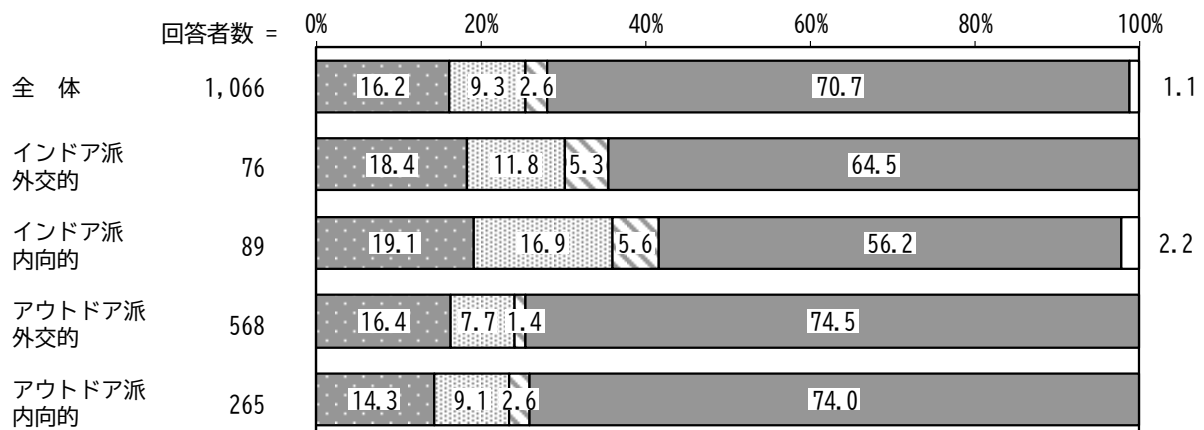
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「1度ある」の割合が高くなっています。



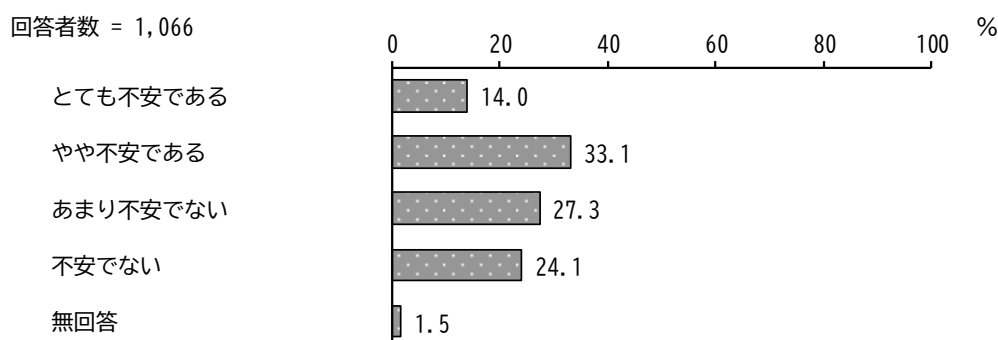
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、大きな差はみられません。



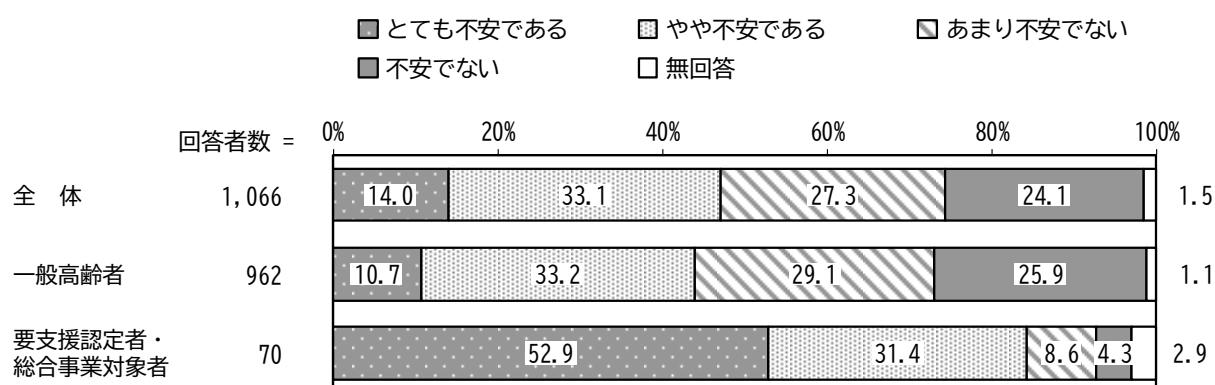
Q5. 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）

「やや不安である」の割合が33.1%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が27.3%、「不安でない」の割合が24.1%となっています。



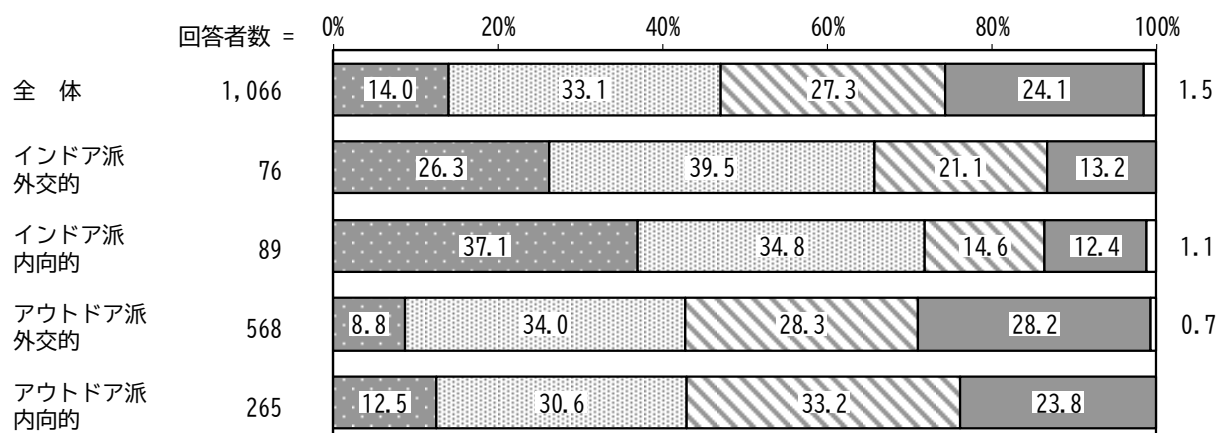
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「とても不安である」の割合が高くなっています。



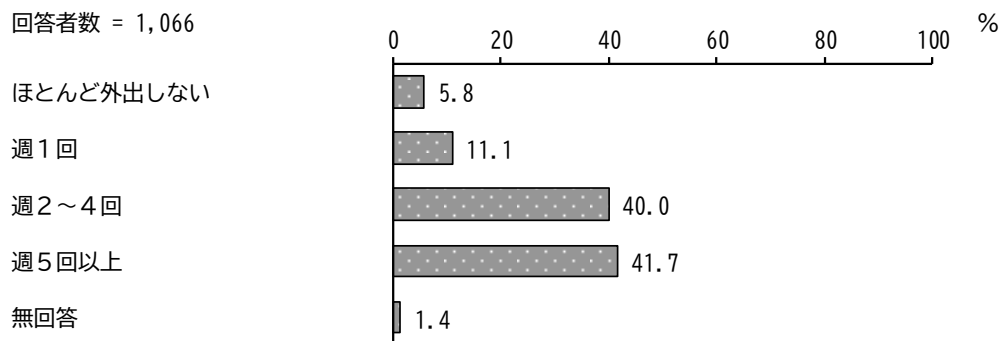
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「とても不安である」の割合が、インドア派外交的で「とても不安である」「やや不安である」の割合が高くなっています。



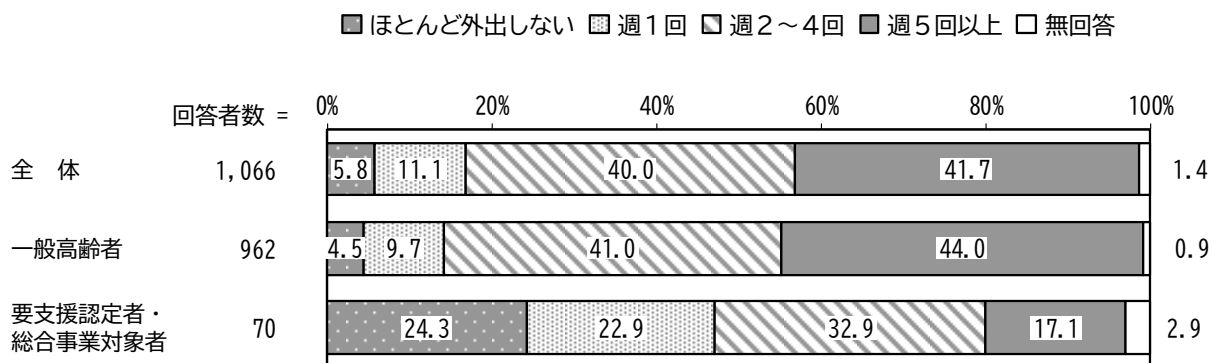
Q6. 週に1回以上は外出していますか（1つのみ）

「週5回以上」の割合が41.7%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が40.0%、「週1回」の割合が11.1%となっています。



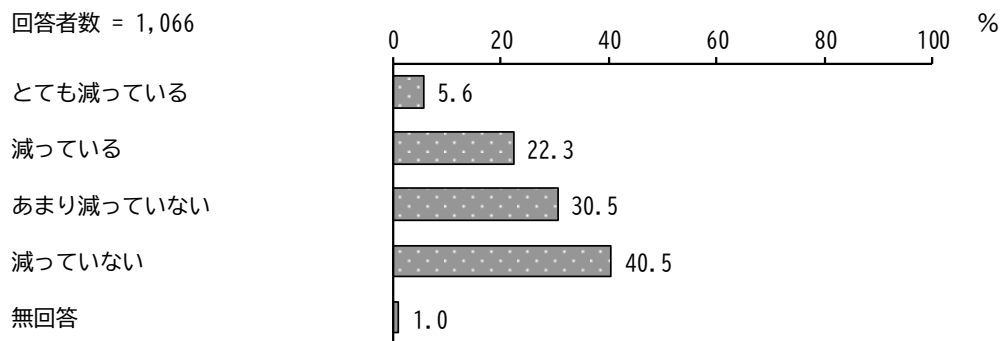
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「週1回」の割合が高くなっています。



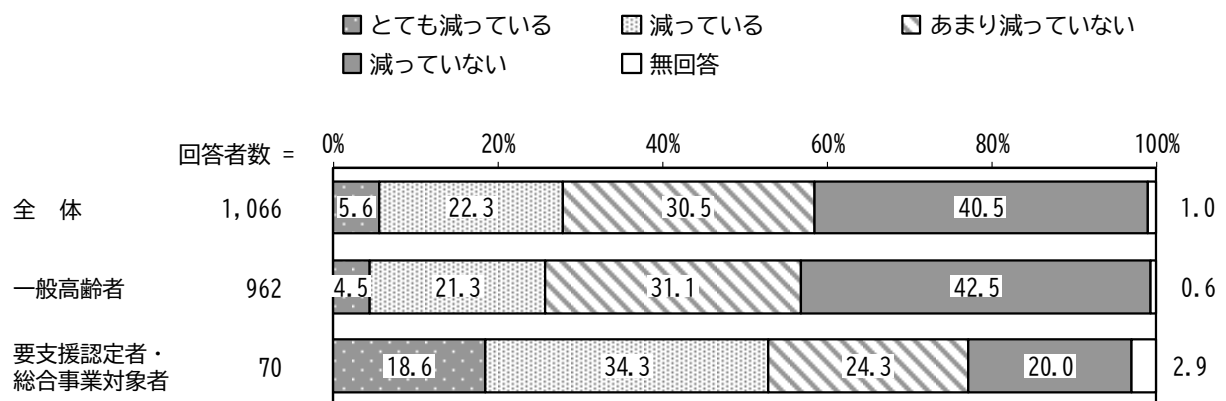
Q 7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つのみ）

「減っていない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 30.5%、「減っている」の割合が 22.3%となっています。



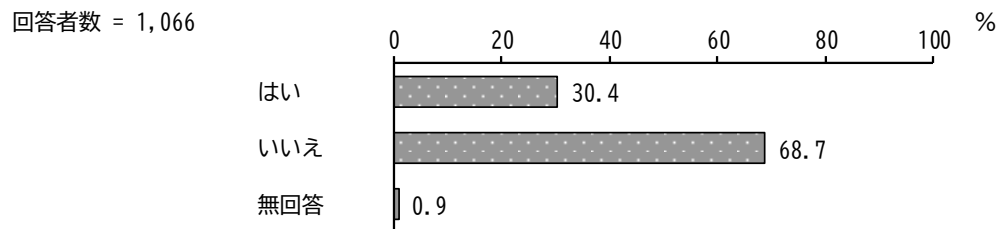
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「減っている」の割合が高くなっています。



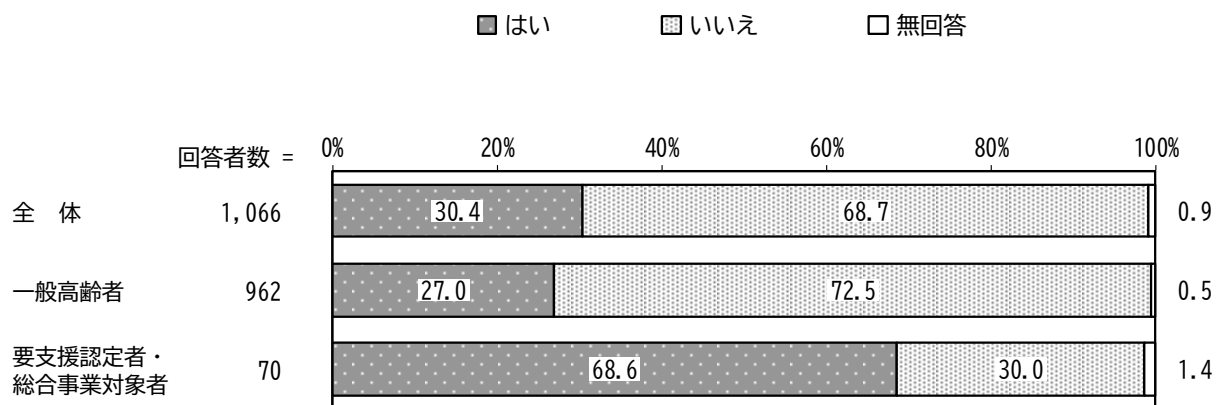
Q8. 外出を控えていますか

「はい」の割合が30.4%、「いいえ」の割合が68.7%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。

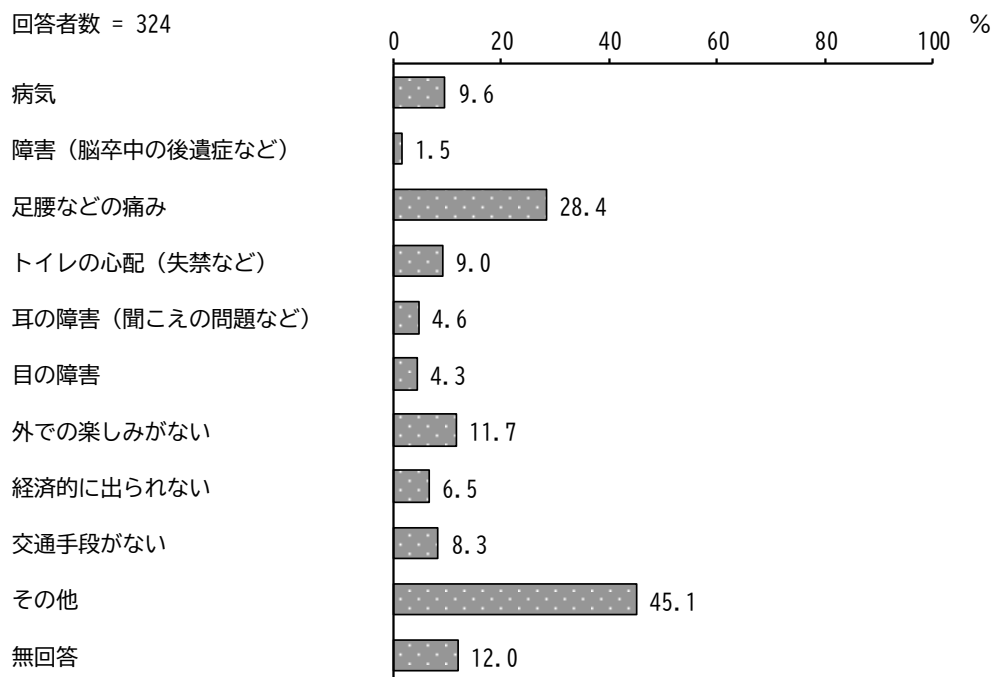


【Q8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①. 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

「足腰などの痛み」の割合が28.4%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が11.7%となっています。

回答者数 = 324



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「足腰などの痛み」「外での楽しみがない」の割合が高くなっています。

単位：%

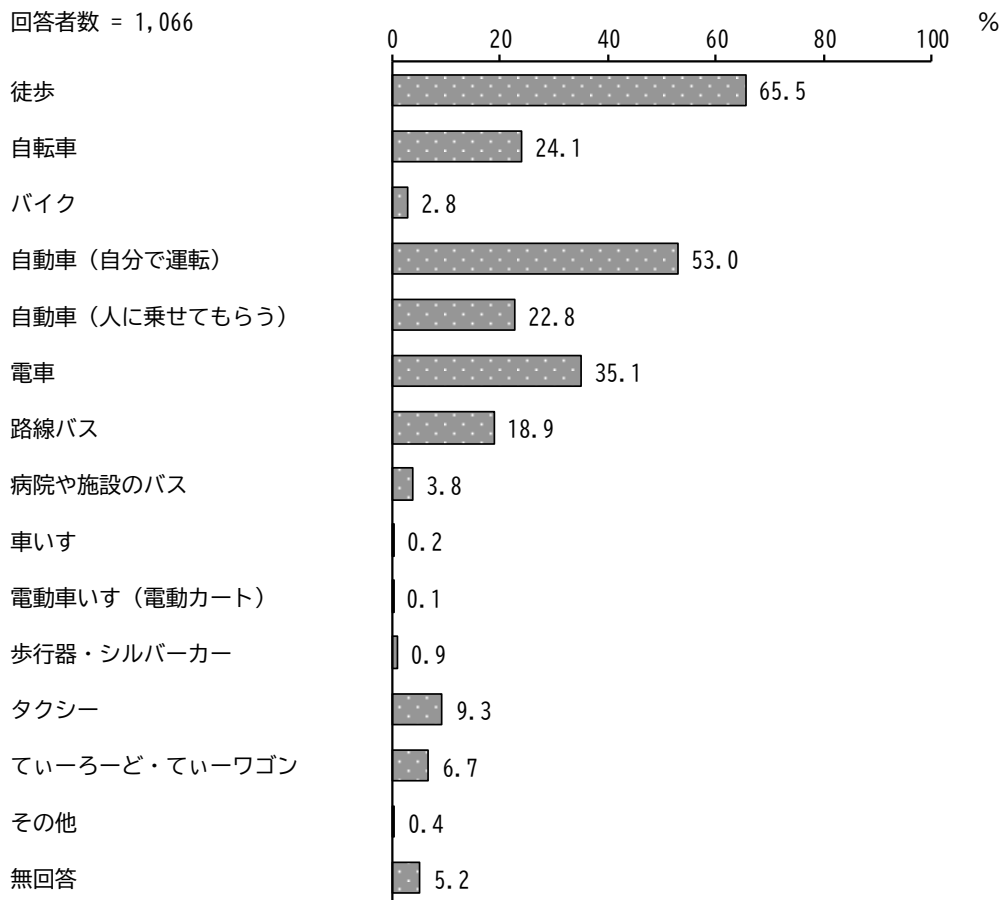
区分	回答者数 (件)	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題など)
全 体	324	9.6	1.5	28.4	9.0	4.6
一般高齢者	260	6.9	0.4	21.9	7.7	3.8
要支援認定者・総合事業対象者	48	22.9	8.3	62.5	14.6	10.4

区分	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全 体	4.3	11.7	6.5	8.3	45.1	12.0
一般高齢者	3.5	11.2	6.2	5.8	50.8	11.5
要支援認定者・総合事業対象者	10.4	18.8	8.3	18.8	18.8	10.4

Q9. 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「徒歩」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が 53.0%、「電車」の割合が 35.1%となっています。

回答者数 = 1,066



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもらう)	電車	路線バス
全 体	1066	65.5	24.1	2.8	53.0	22.8	35.1	18.9
一般高齢者	962	66.8	25.4	3.1	57.1	20.9	36.7	19.3
要支援認定者・ 総合事業対象者	70	51.4	8.6	—	7.1	45.7	15.7	12.9

区分	バス 病院 や施設 の	車いす	電動 車いす (電 動カート)	歩 行器・ シルバ ーカー	タク シー	ていー ろーど・ ていー ワゴン	その他	無 回 答
全 体	3.8	0.2	0.1	0.9	9.3	6.7	0.4	5.2
一般高齢者	3.0	0.1	0.1	0.3	6.2	6.0	0.3	5.1
要支援認定者・ 総合事業対象者	12.9	1.4	—	10.0	47.1	12.9	1.4	4.3

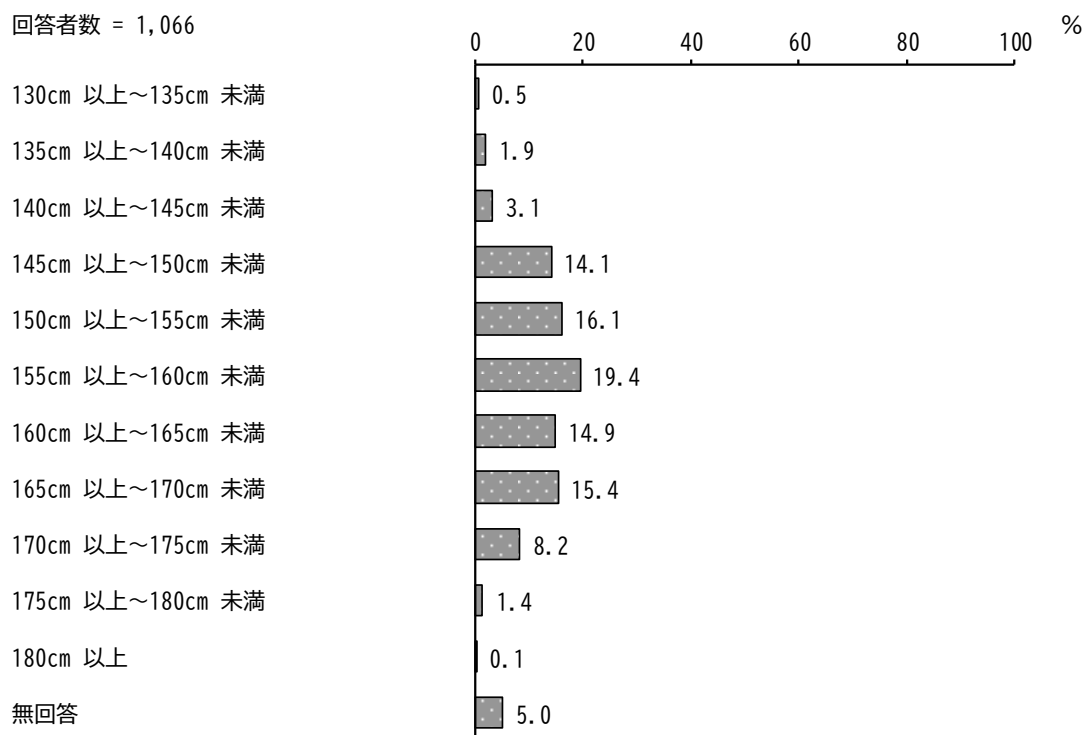
問4 食べることについて

Q1. 身長・体重

身長

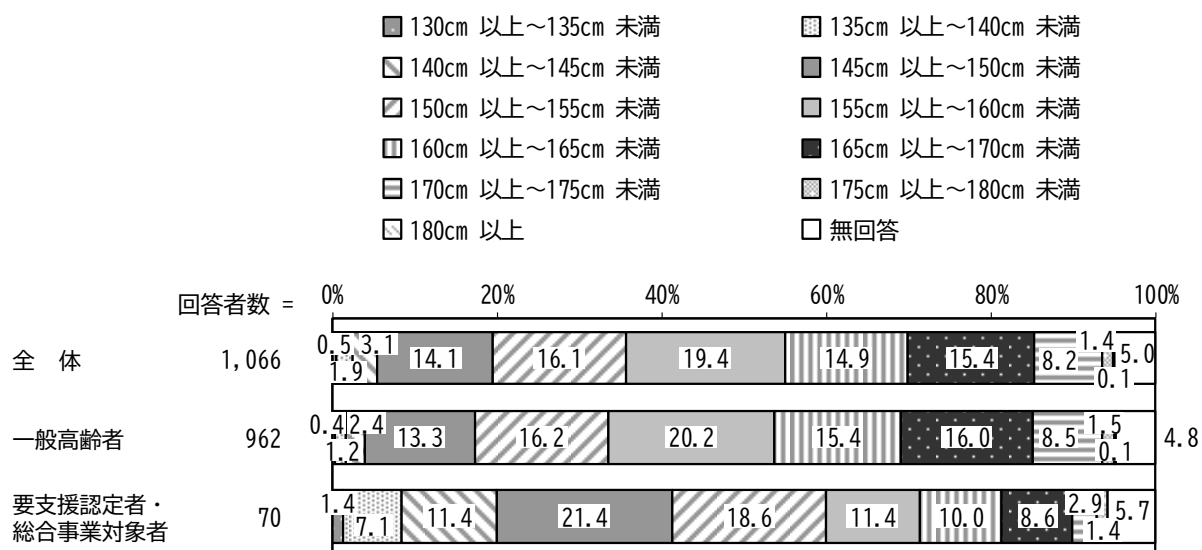
「155cm 以上～160cm 未満」の割合が 19.4%と最も高く、次いで「150cm 以上～155cm 未満」の割合が 16.1%、「165cm 以上～170cm 未満」の割合が 15.4%となっています。

回答者数 = 1,066



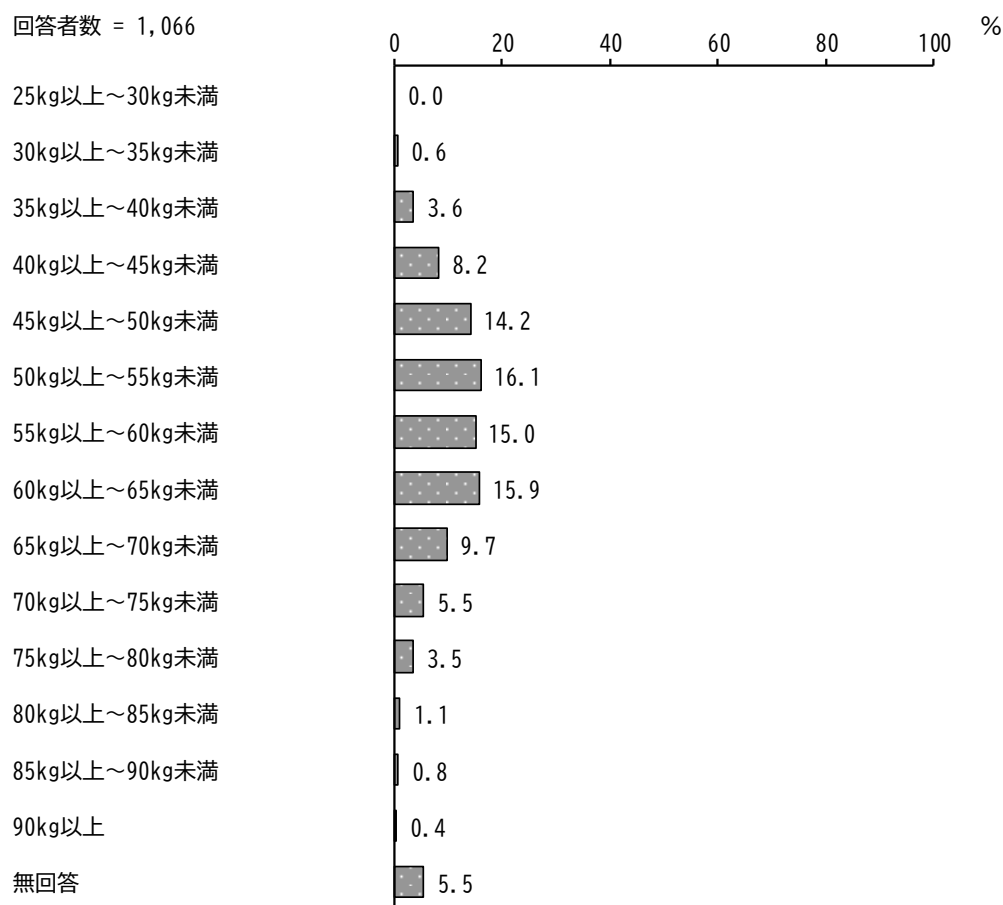
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「145cm 以上～150cm 未満」の割合が高くなっています。



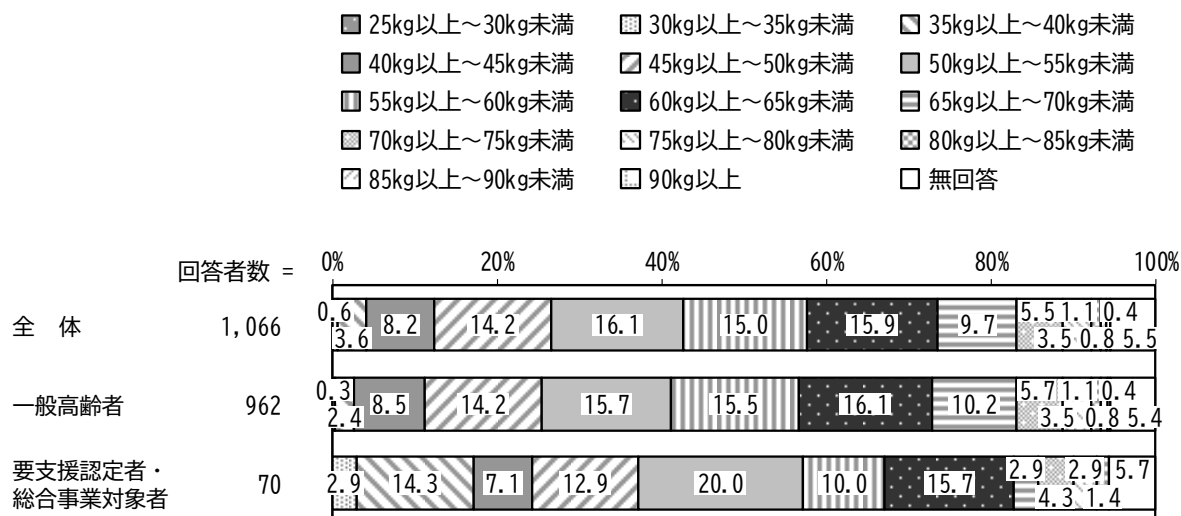
体重

「50kg 以上～55kg 未満」の割合が 16.1%と最も高く、次いで「60kg 以上～65kg 未満」の割合が 15.9%、「55kg 以上～60kg 未満」の割合が 15.0%となっています。



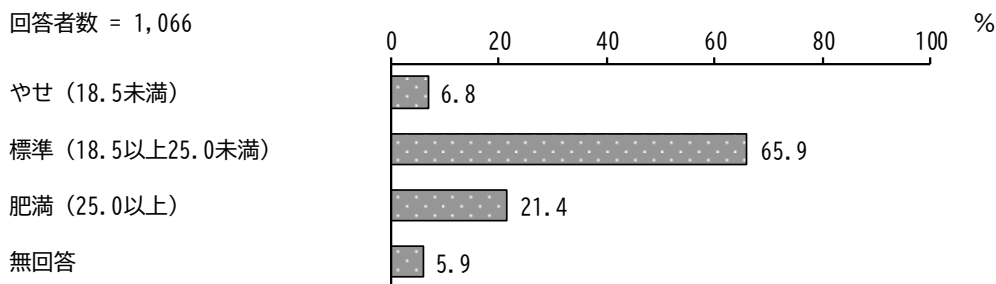
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



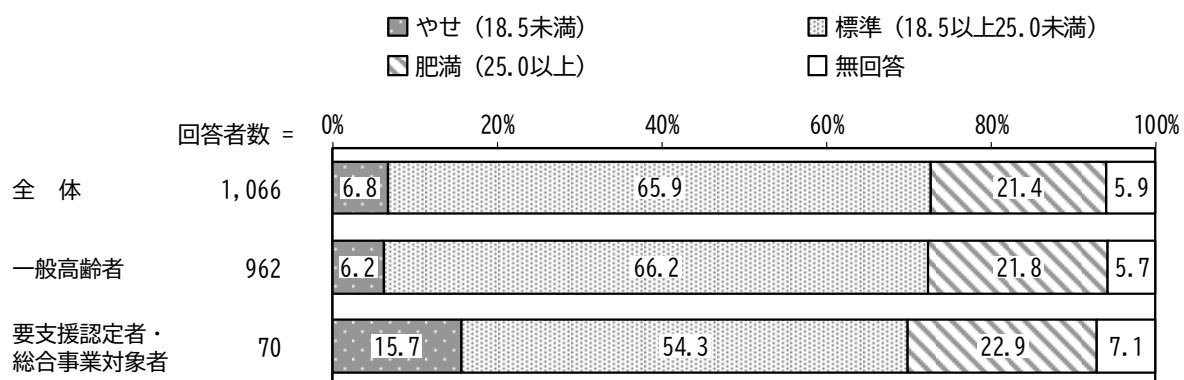
BMI

「標準（18.5 以上 25.0 未満）」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「肥満（25.0 以上）」の割合が 21.4%となっています。



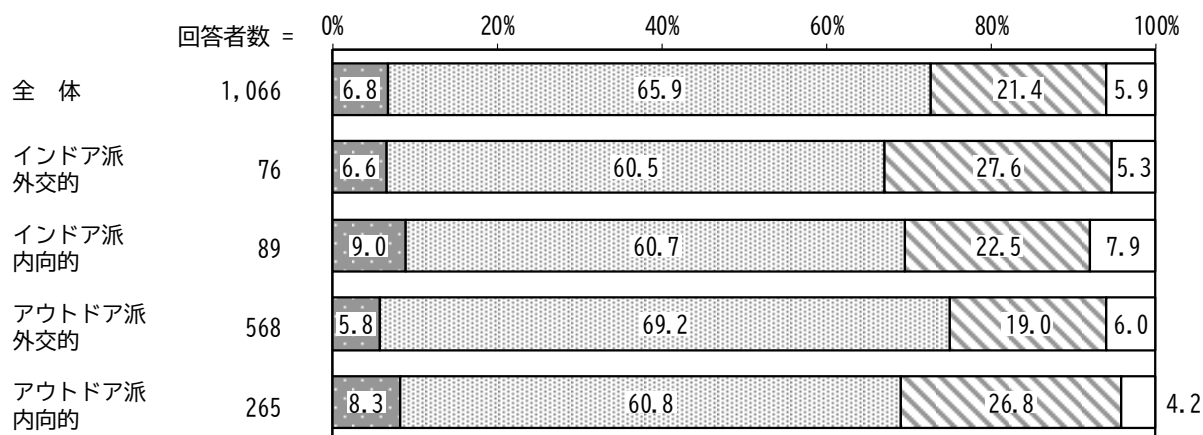
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



【高齢者の外出タイプ別】

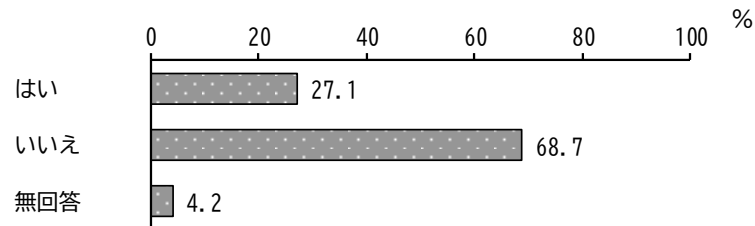
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、アウトドア派内向的で「肥満（25.0 以上）」の割合が高くなっています。



Q2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

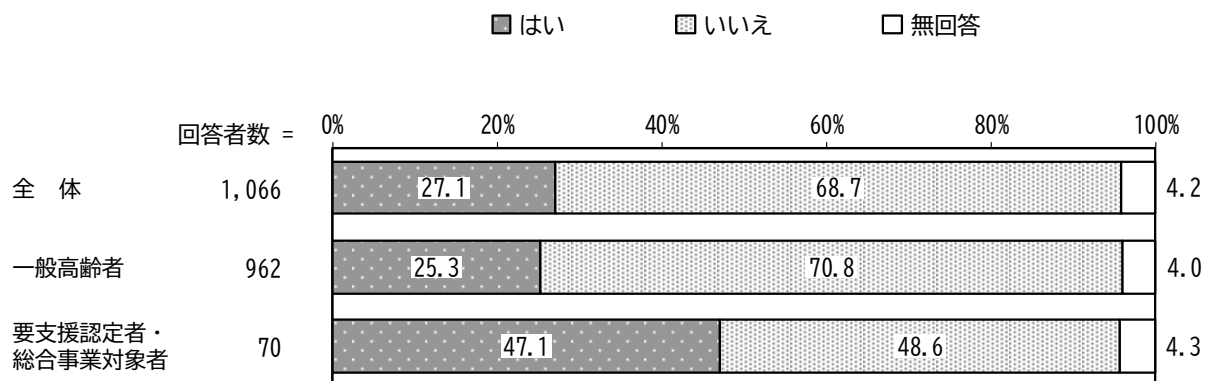
「はい」の割合が27.1%、「いいえ」の割合が68.7%となっています。

回答者数 = 1,066



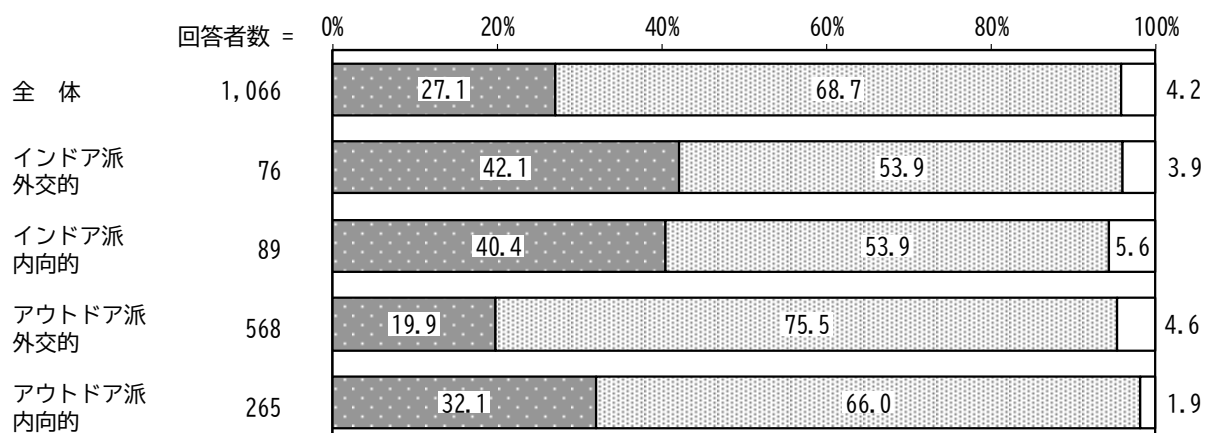
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



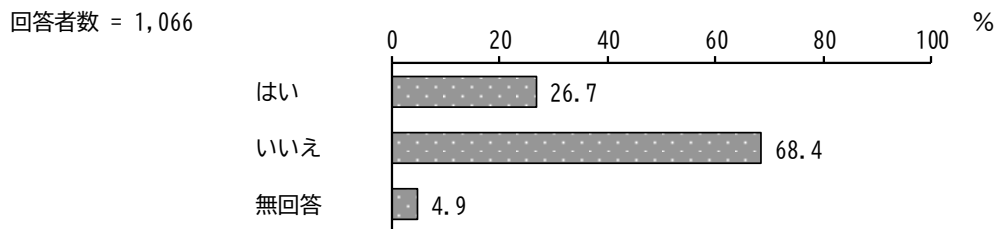
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、インドア派内向的で「はい」の割合が、アウトドア派外交的で「いいえ」の割合が高くなっています。



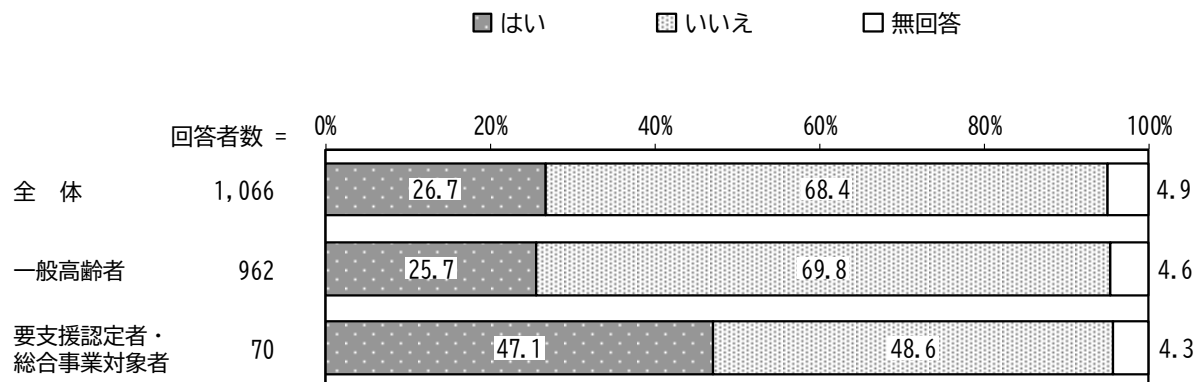
Q3. お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が26.7%、「いいえ」の割合が68.4%となっています。



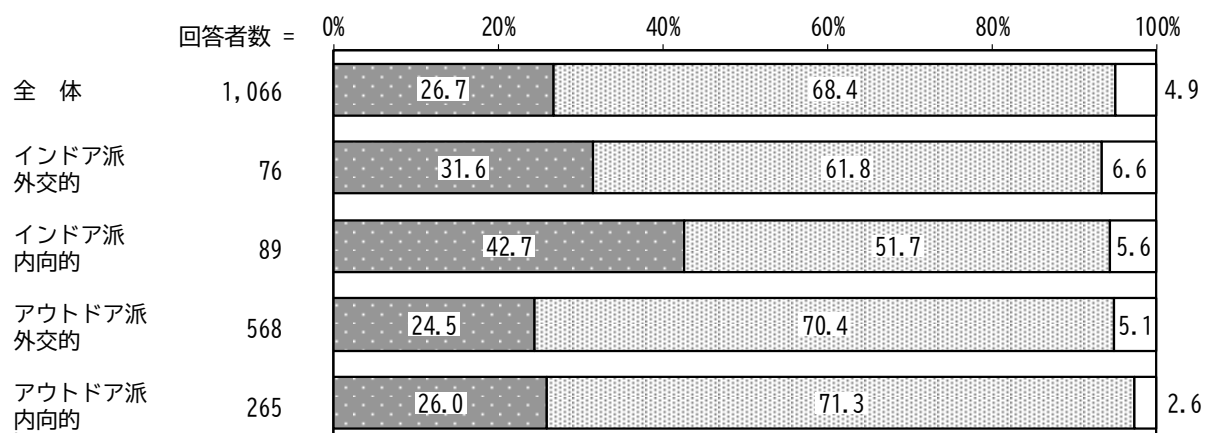
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

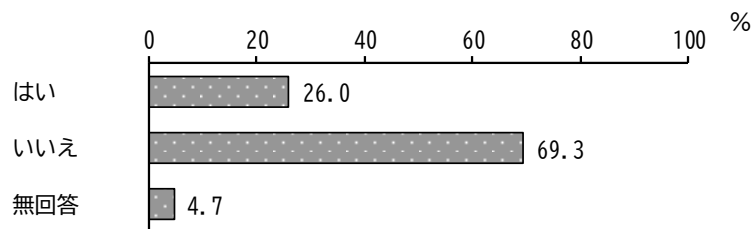
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。



Q4. 口の渇きが気になりますか

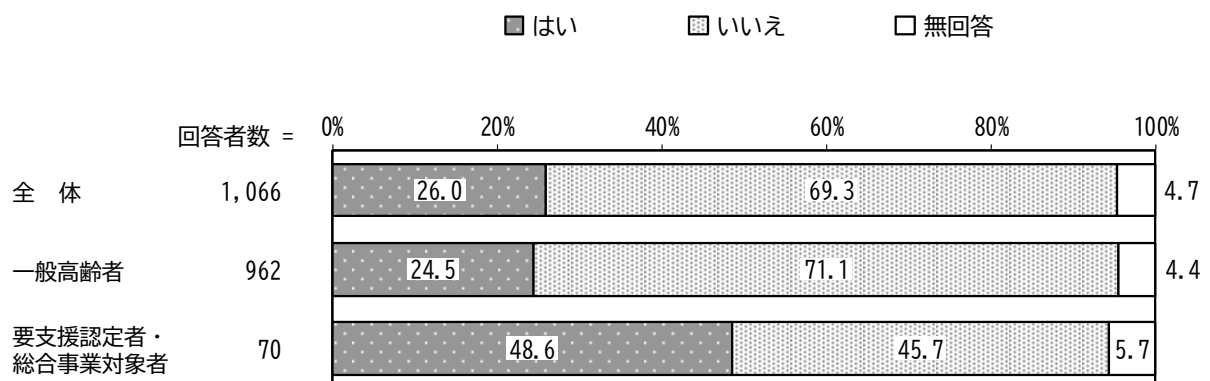
「はい」の割合が26.0%、「いいえ」の割合が69.3%となっています。

回答者数 = 1,066



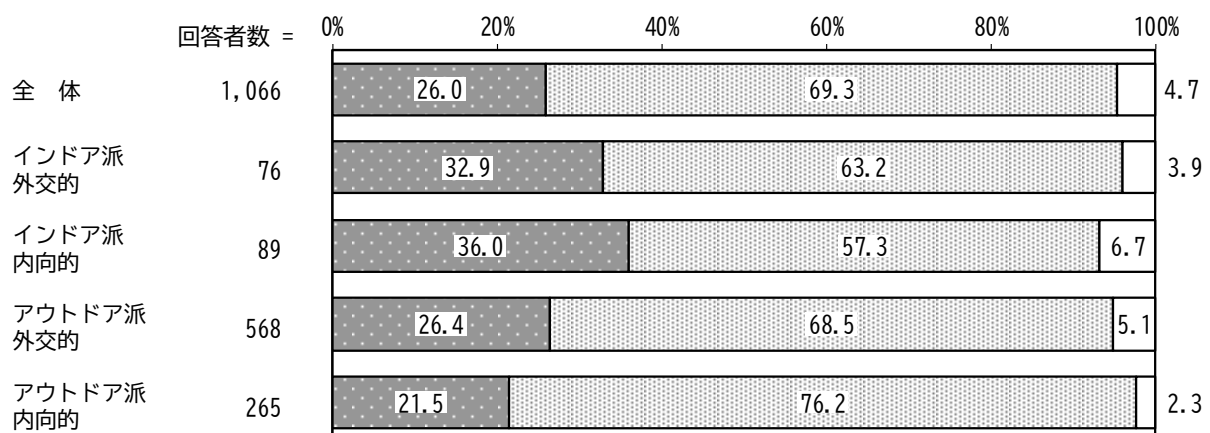
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



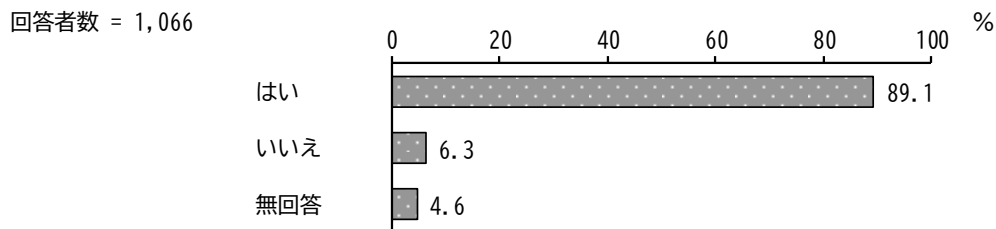
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「はい」の割合が、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



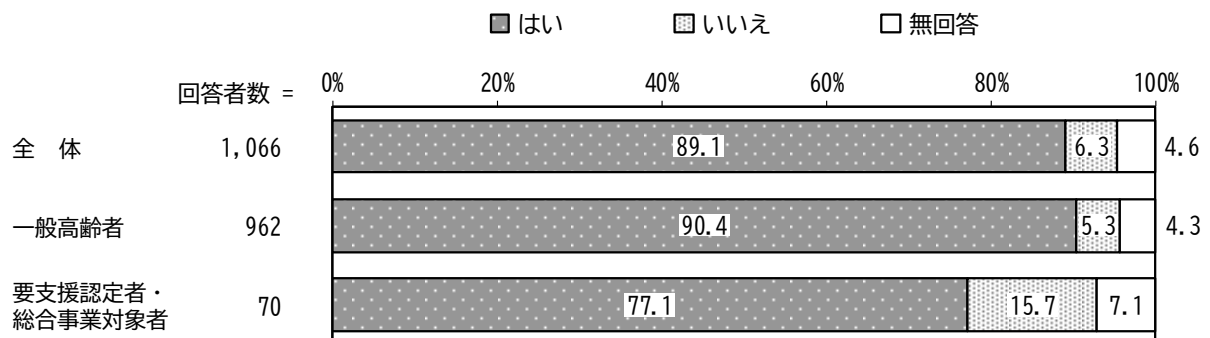
Q5. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」の割合が89.1%、「いいえ」の割合が6.3%となっています。



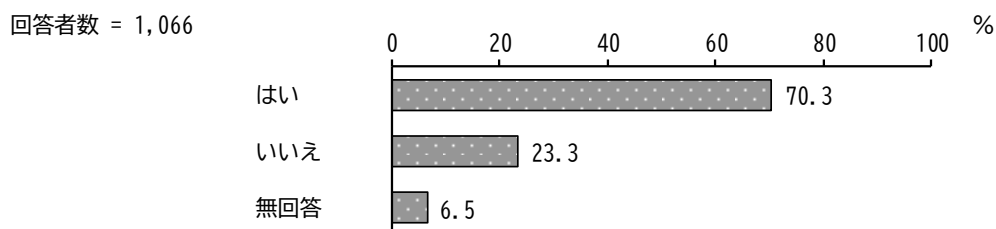
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



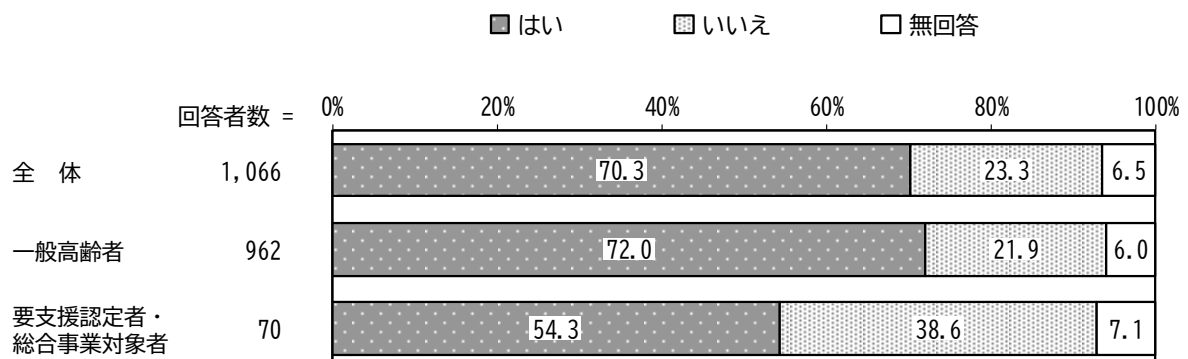
Q6. 噛み合わせは良いですか

「はい」の割合が70.3%、「いいえ」の割合が23.3%となっています。



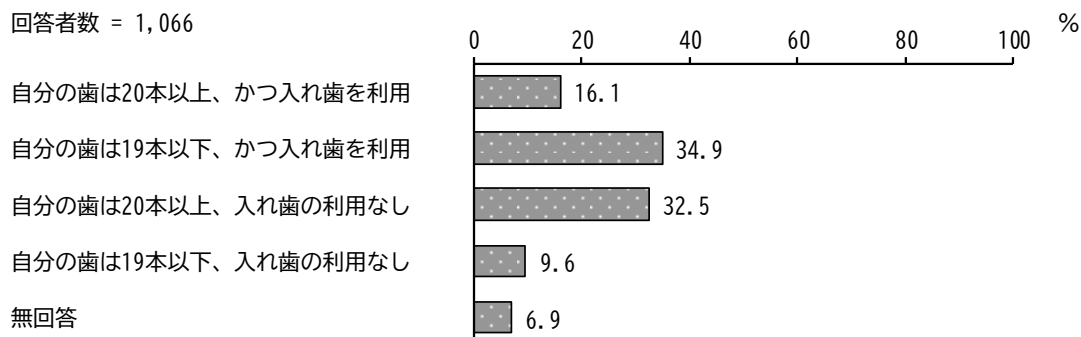
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



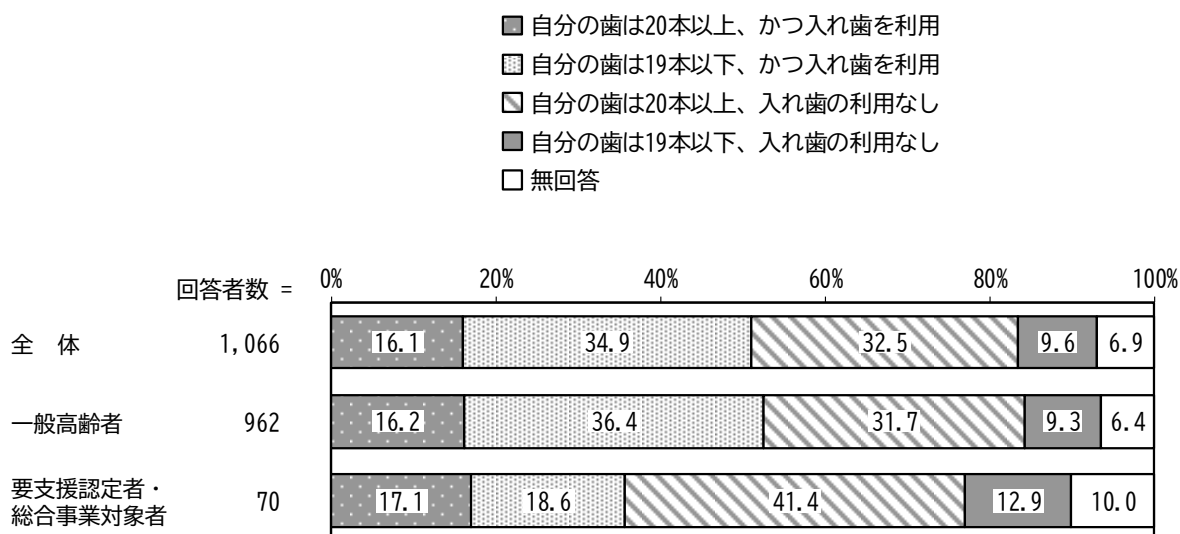
Q 7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（1つのみ）

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が34.9%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が32.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が16.1%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。

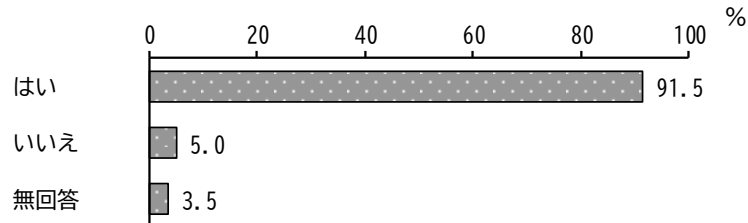


【Q 7で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか

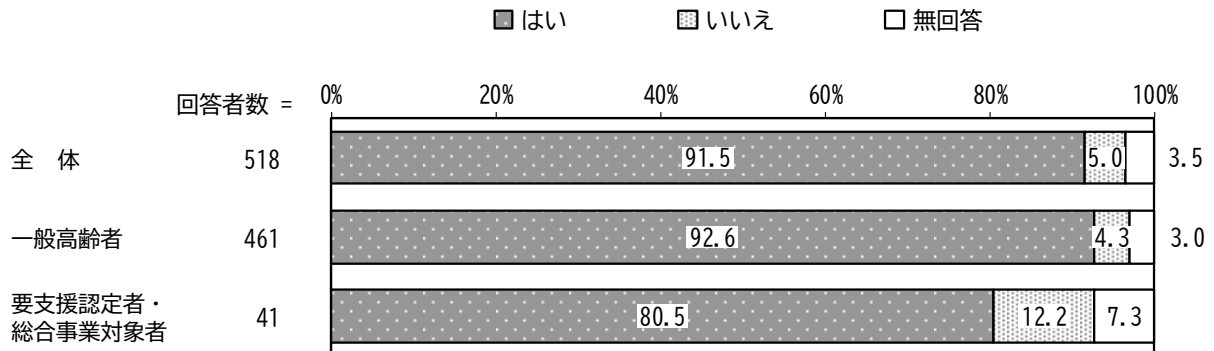
「はい」の割合が 91.5%、「いいえ」の割合が 5.0%となっています。

回答者数 = 518



【認定別】

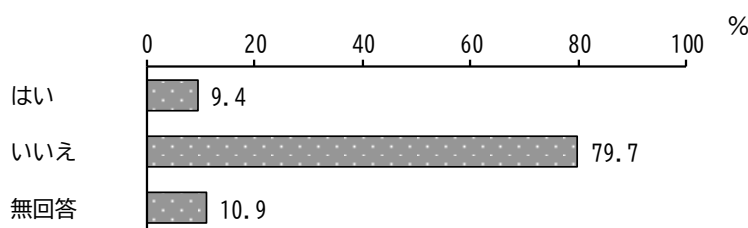
認定別にみると、大きな差はみられません。



Q 8. 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか

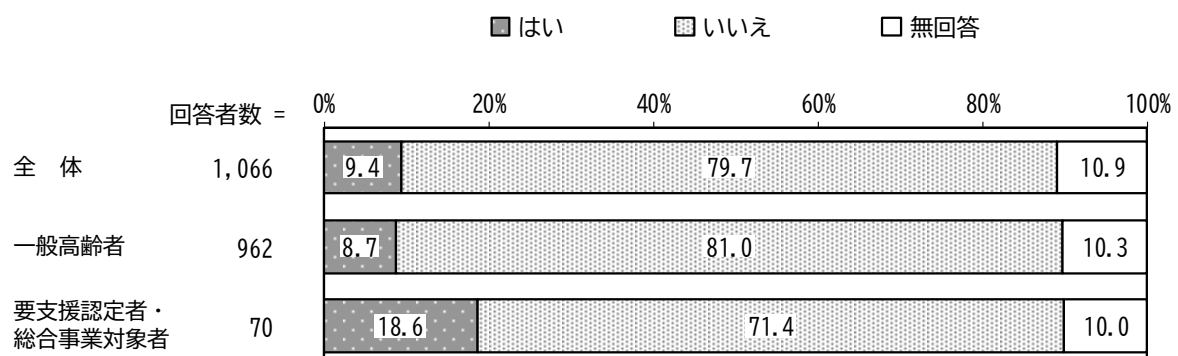
「はい」の割合が 9.4%、「いいえ」の割合が 79.7%となっています。

回答者数 = 1,066



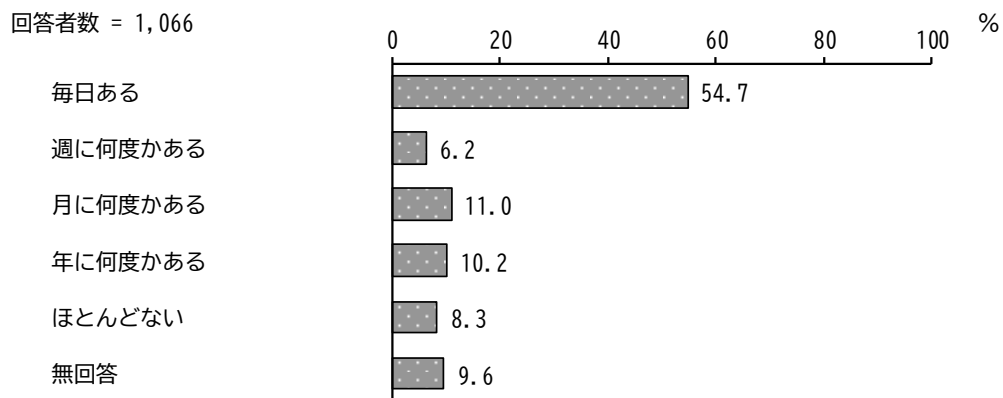
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



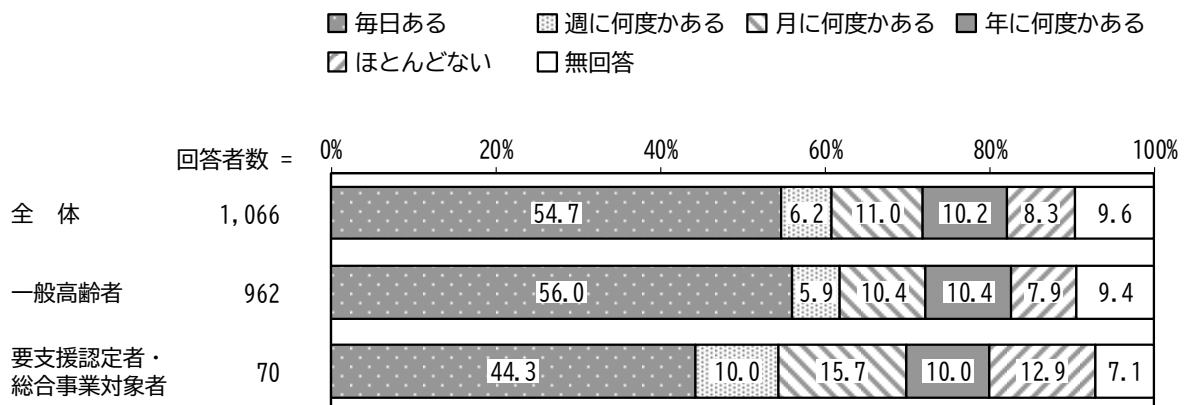
Q9. どなたかと食事をともしめる機会がありますか（1つのみ）

「毎日ある」の割合が54.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が11.0%、「年に何度かある」の割合が10.2%となっています。



【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。

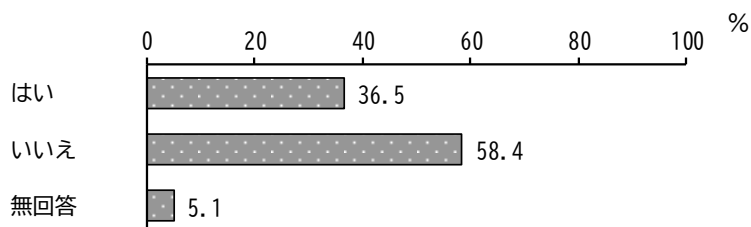


問5 毎日の生活について

Q1. 物忘れが多いと感じますか

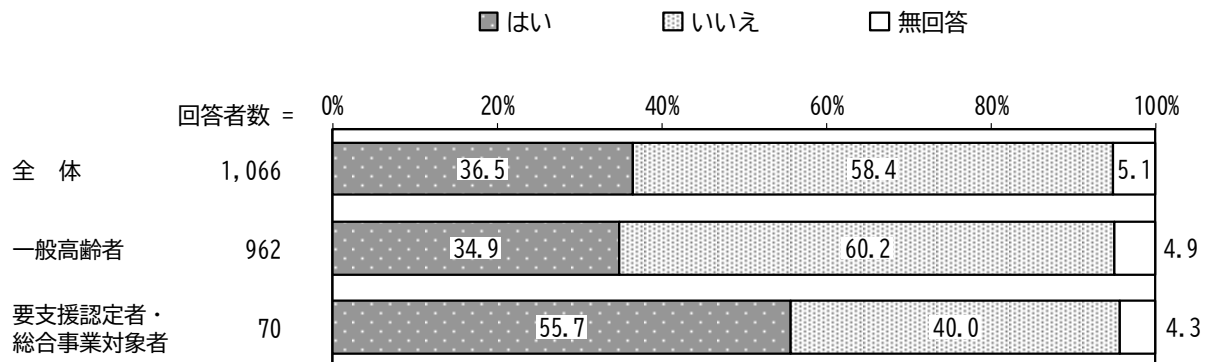
「はい」の割合が36.5%、「いいえ」の割合が58.4%となっています。

回答者数 = 1,066



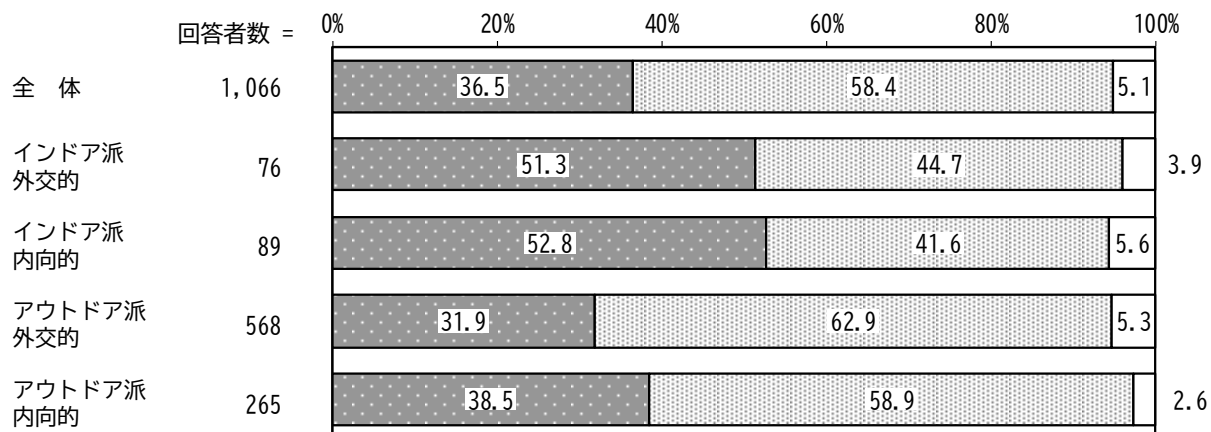
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



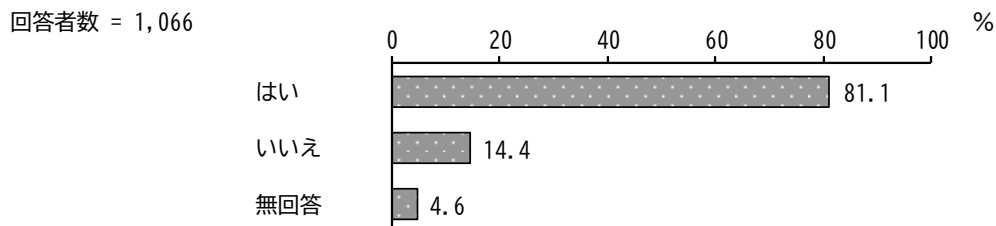
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



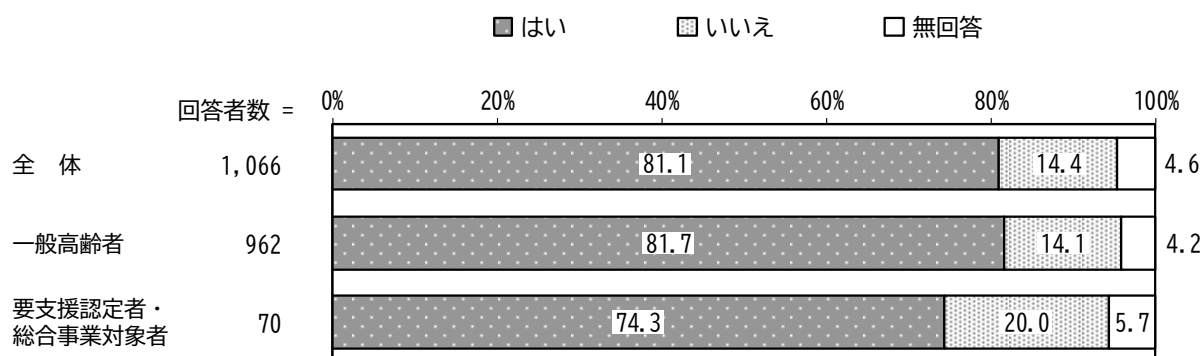
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が81.1%、「いいえ」の割合が14.4%となっています。



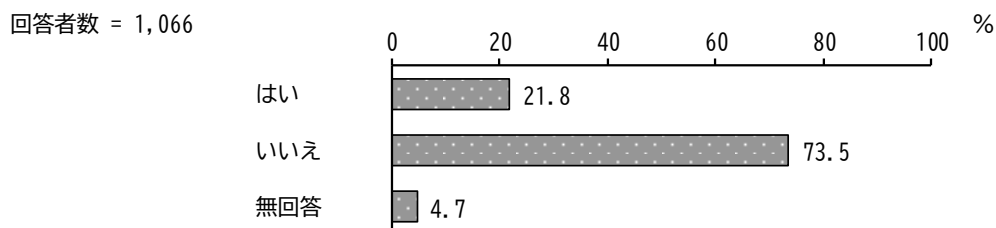
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



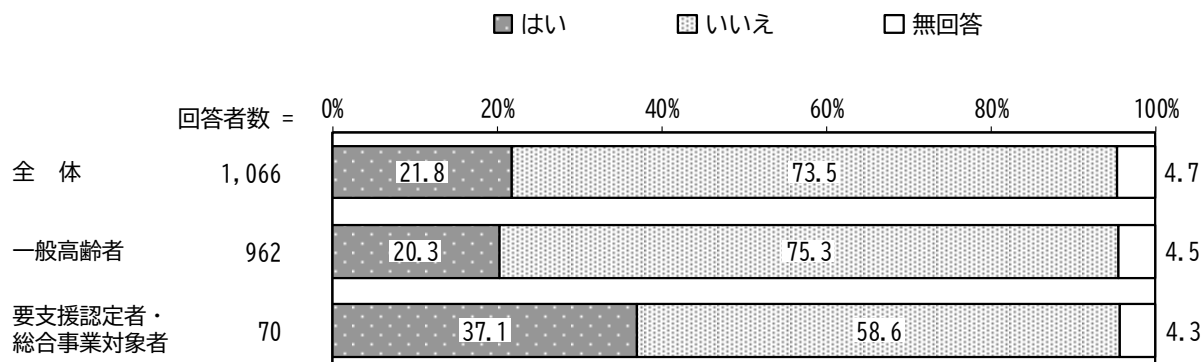
Q3. 今日が何月何日かわからないときがありますか

「はい」の割合が21.8%、「いいえ」の割合が73.5%となっています。



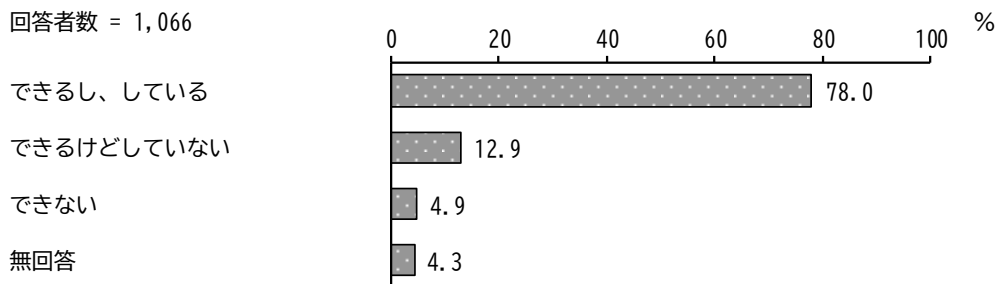
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



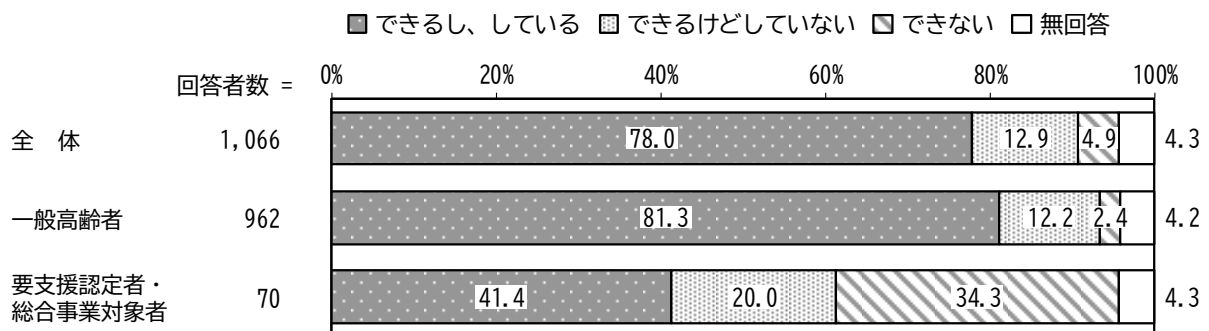
Q4. バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ）

「できるし、している」の割合が78.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.9%となっています。



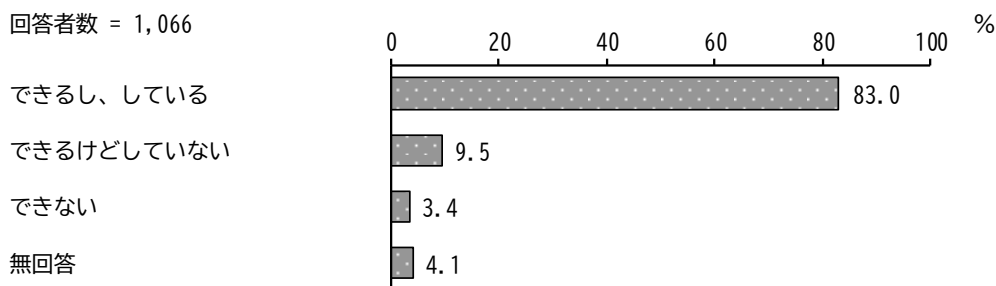
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



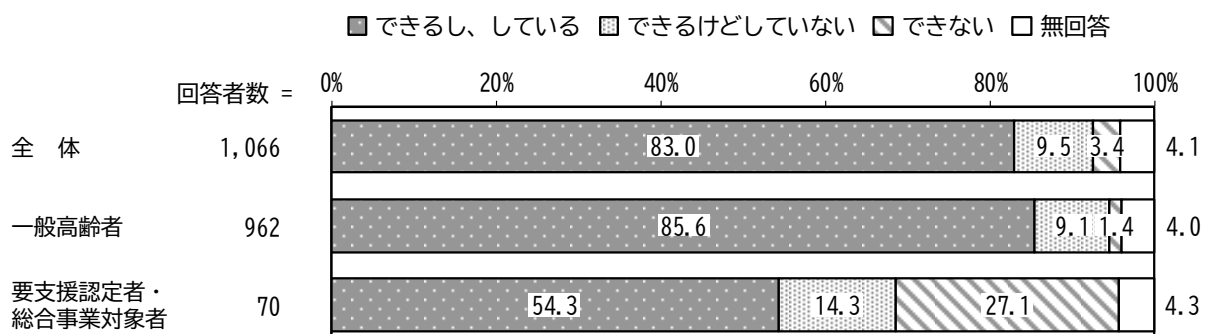
Q5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が83.0%と最も高くなっています。



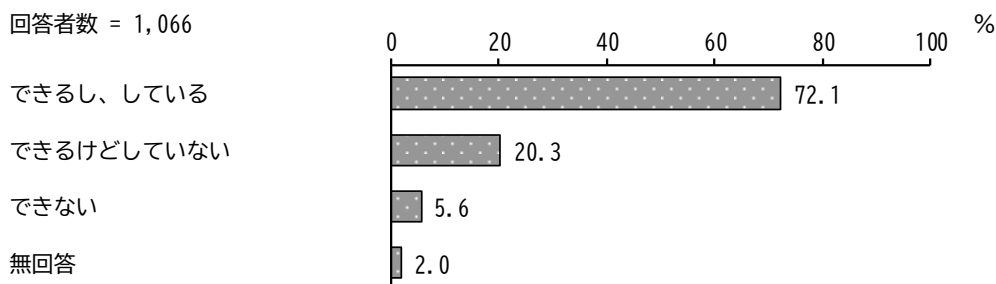
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



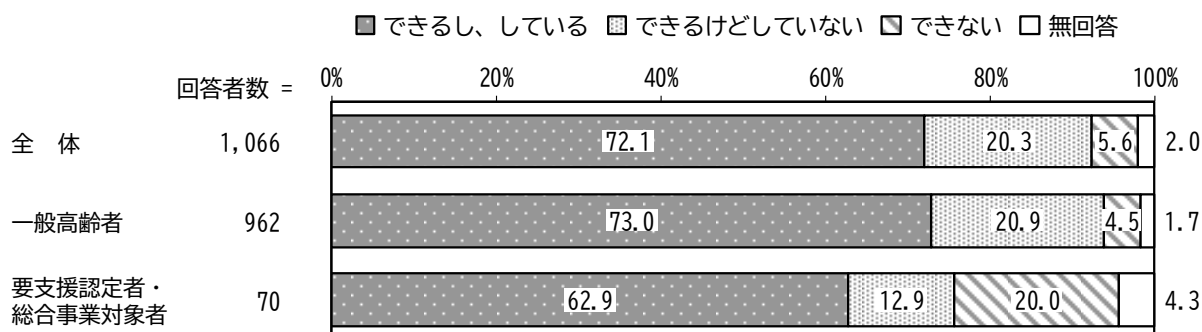
Q 6. 自分で食事の用意をしていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が72.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が20.3%となっています。



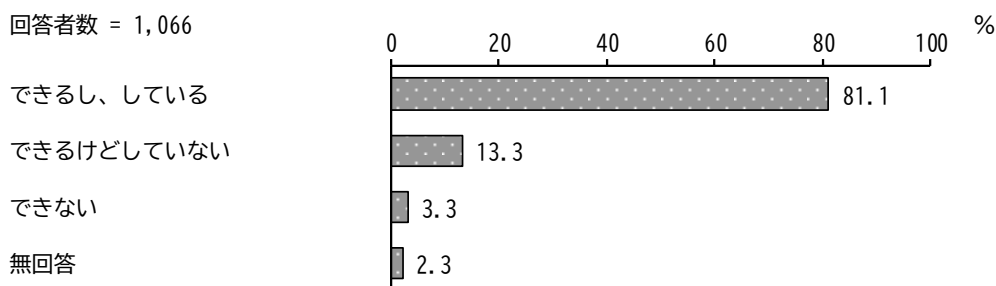
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



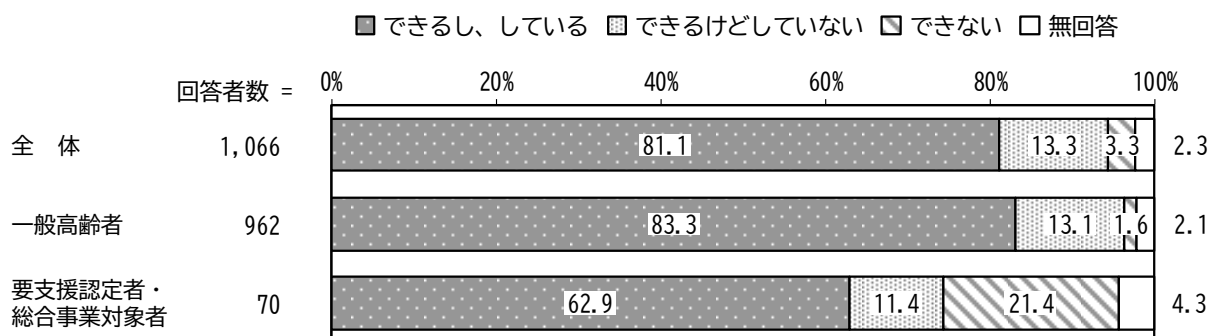
Q 7. 自分で請求書の支払いをしていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が81.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.3%となっています。



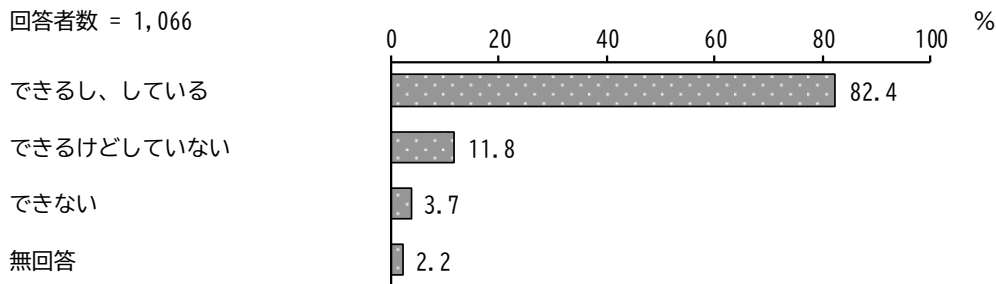
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



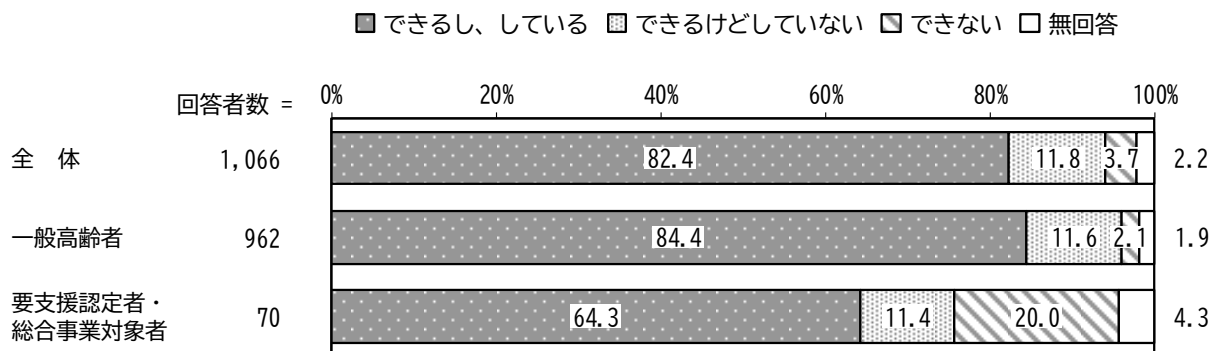
Q 8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が82.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.8%となっています。



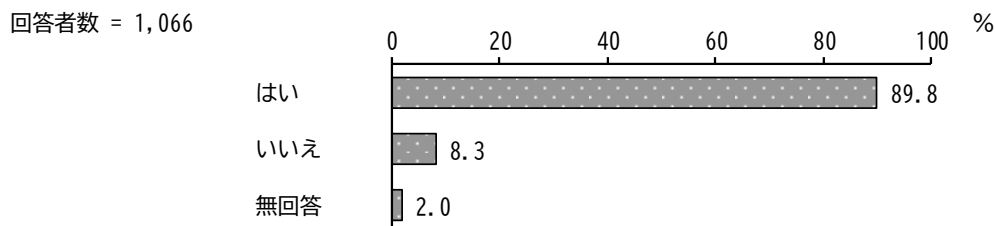
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



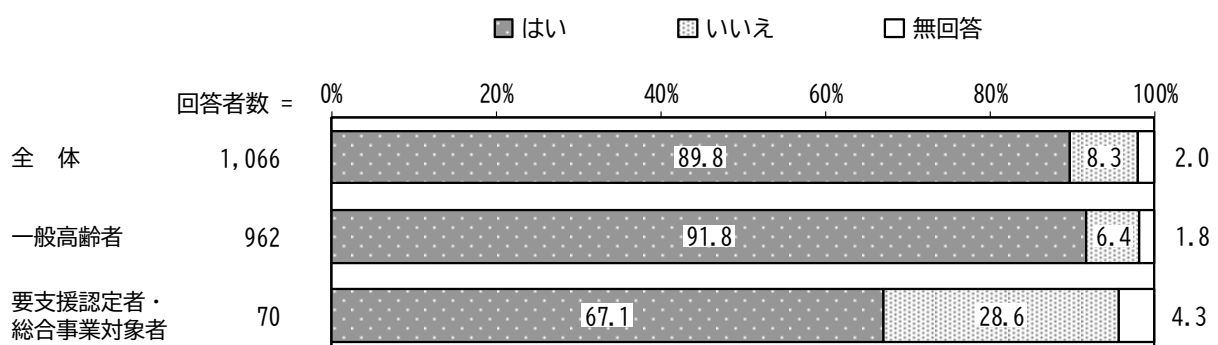
Q 9. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」の割合が89.8%、「いいえ」の割合が8.3%となっています。



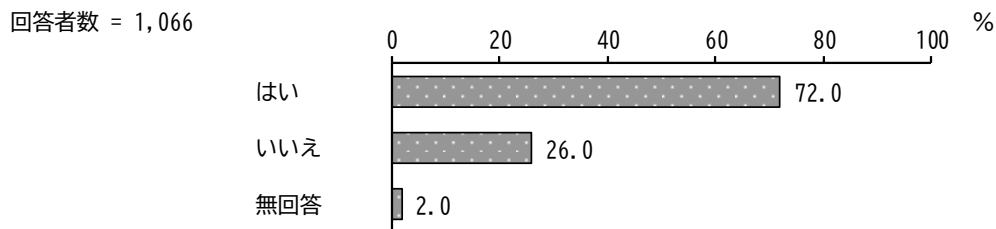
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



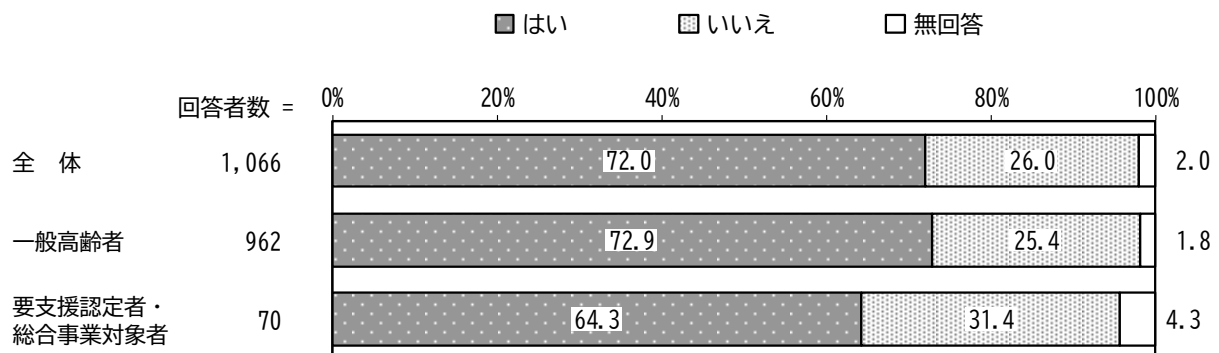
Q10. 新聞を読んでいますか

「はい」の割合が72.0%、「いいえ」の割合が26.0%となっています。



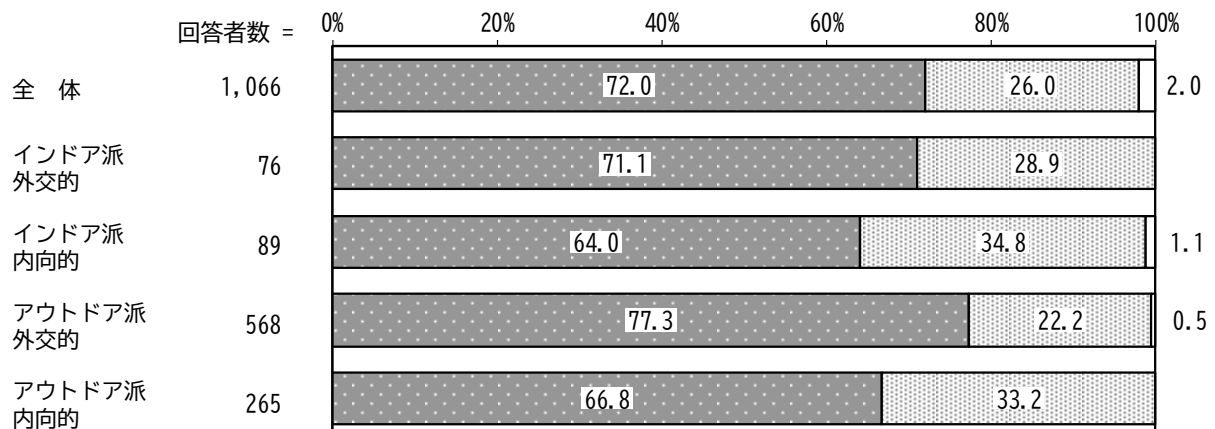
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

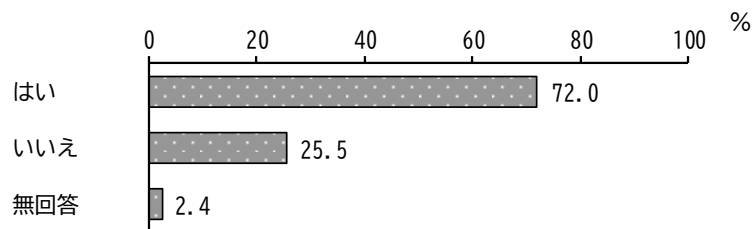
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、アウトドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



Q11. 本や雑誌を読んでいますか

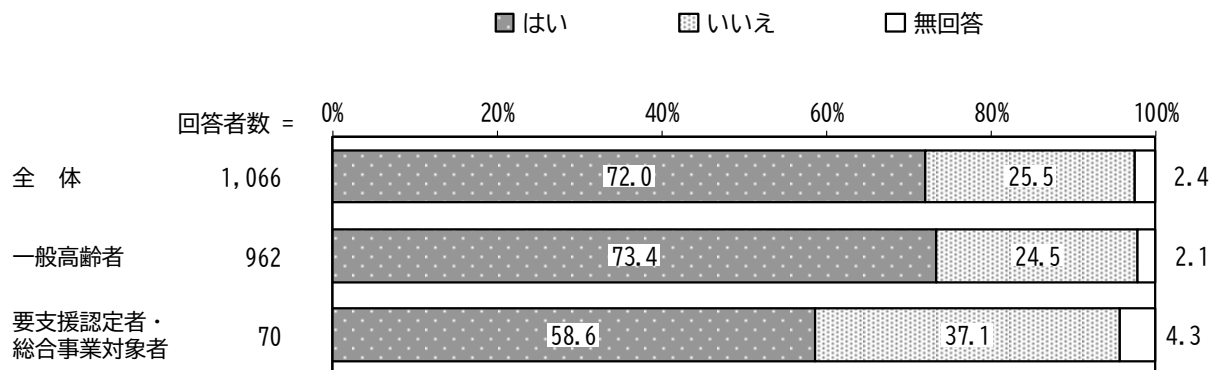
「はい」の割合が72.0%、「いいえ」の割合が25.5%となっています。

回答者数 = 1,066



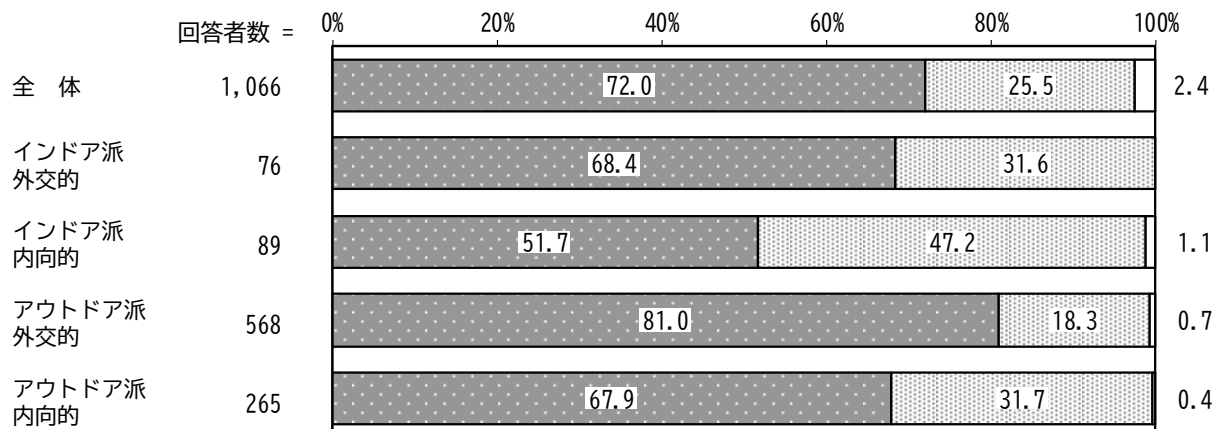
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



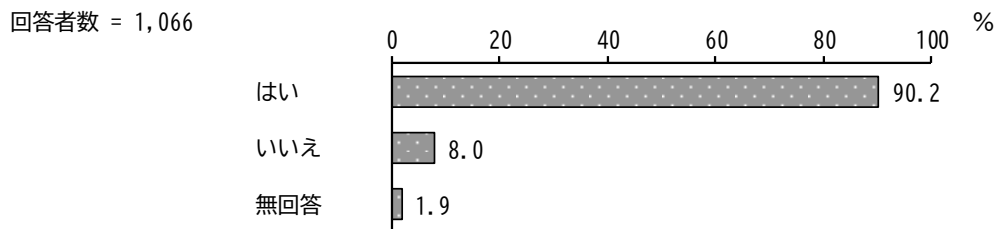
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、アウトドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



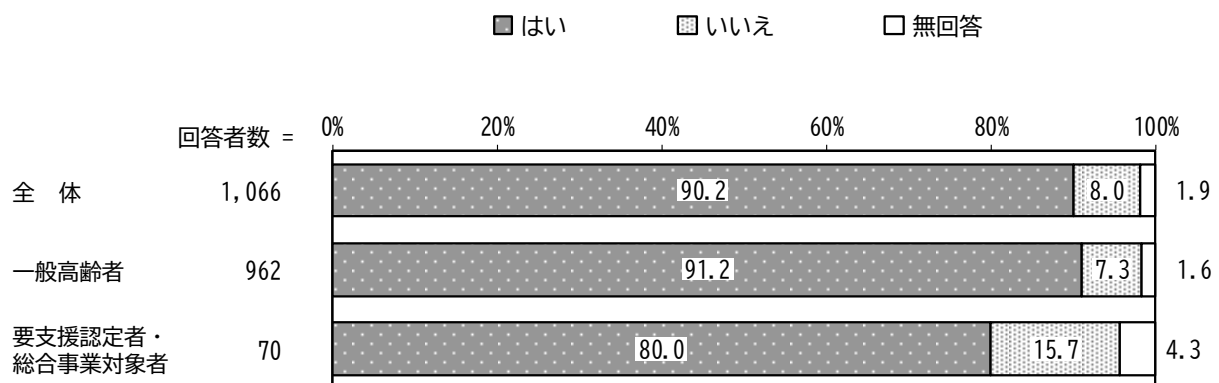
Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」の割合が90.2%、「いいえ」の割合が8.0%となっています。



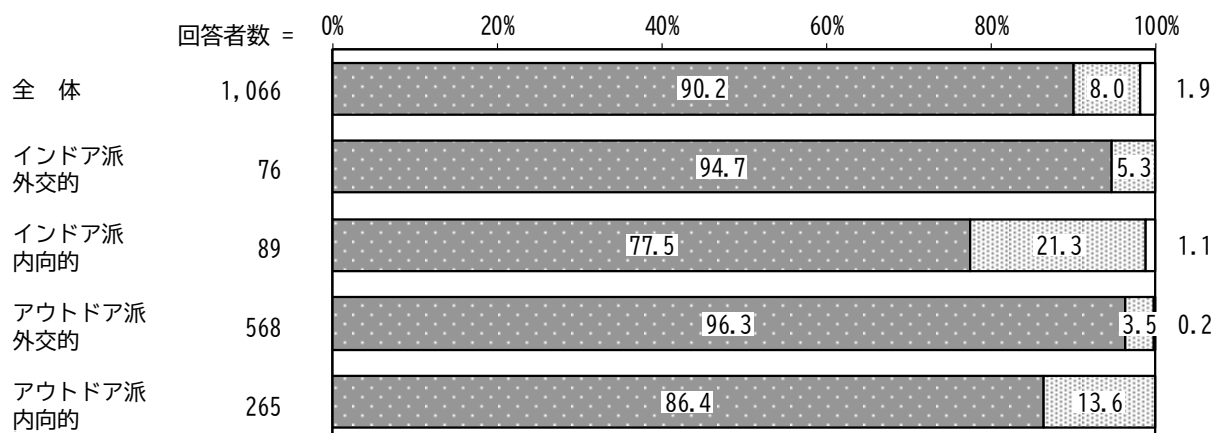
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



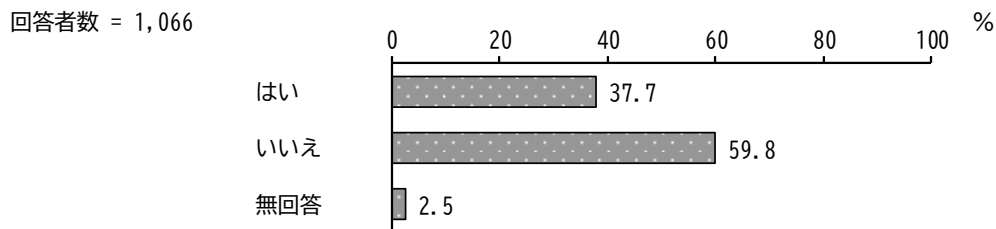
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



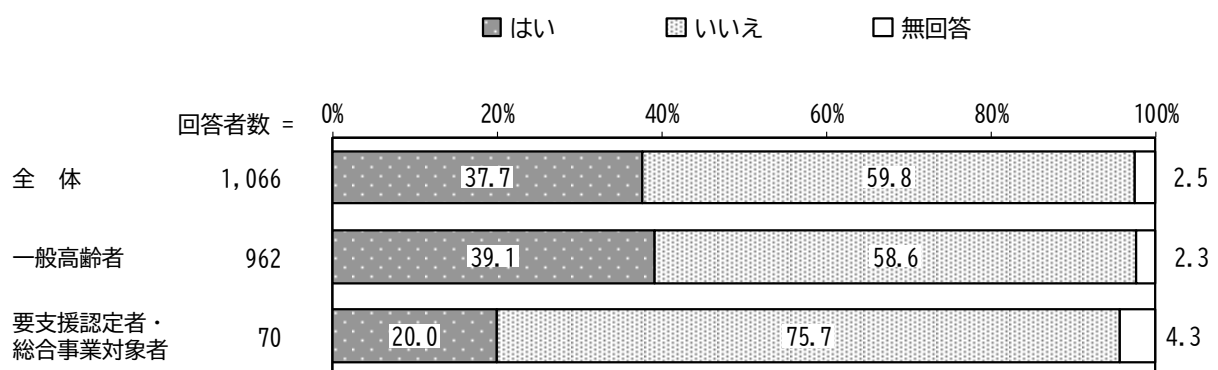
Q13. 友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が37.7%、「いいえ」の割合が59.8%となっています。



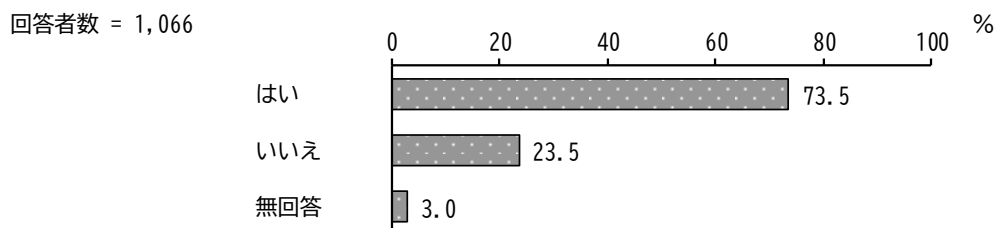
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



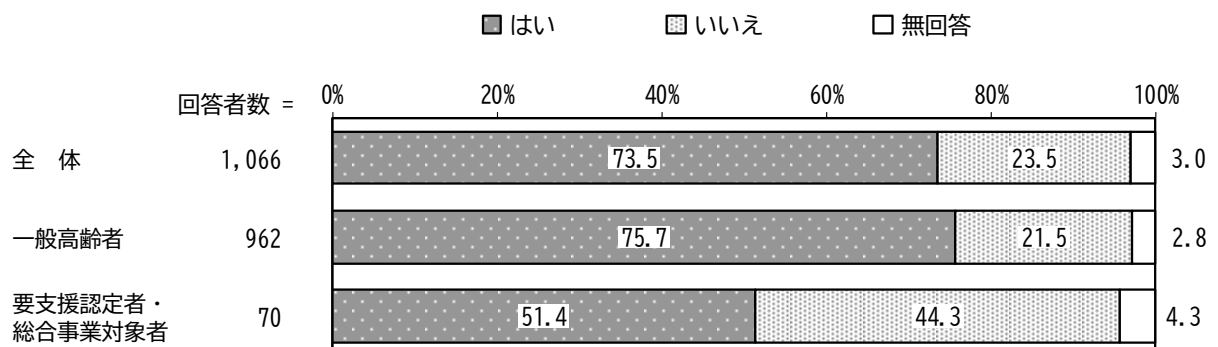
Q14. 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が73.5%、「いいえ」の割合が23.5%となっています。



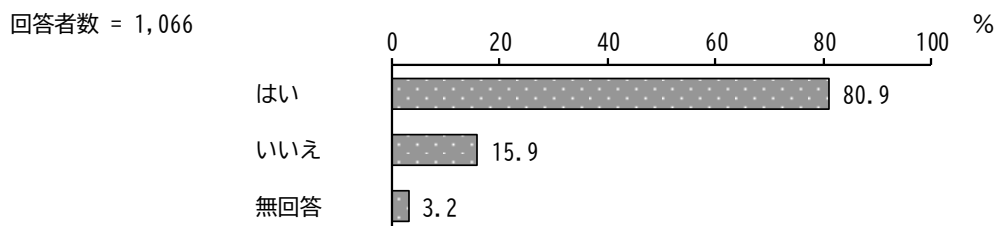
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



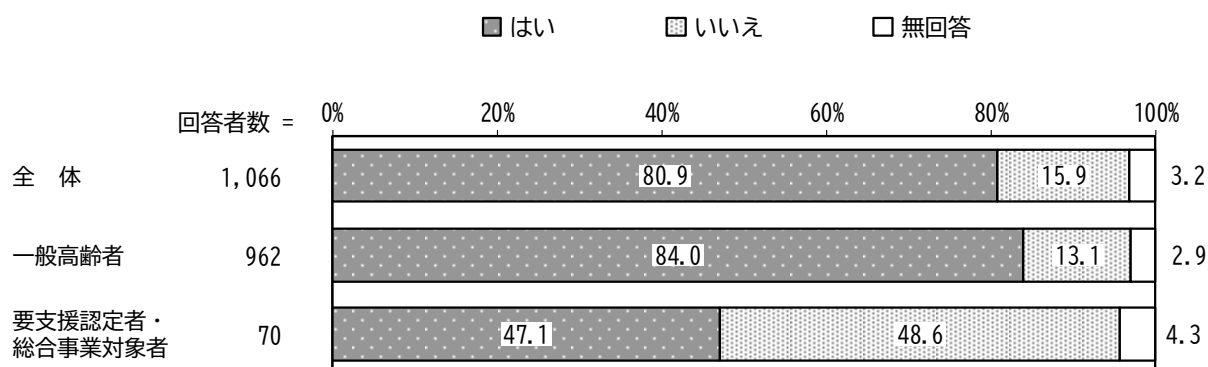
Q15. 病人を見舞うことができますか

「はい」の割合が80.9%、「いいえ」の割合が15.9%となっています。



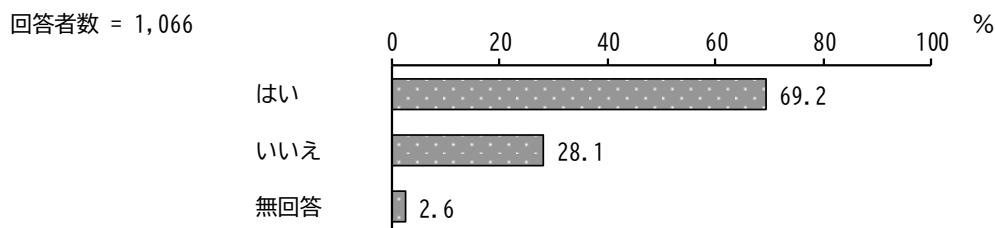
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



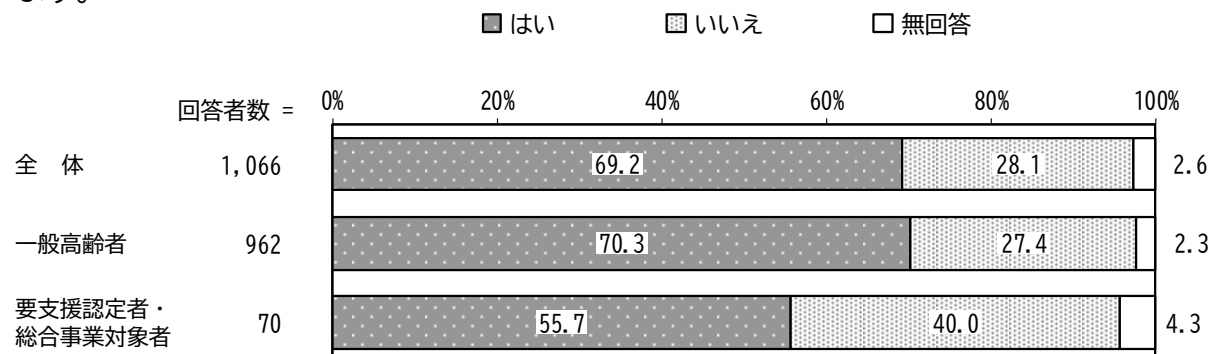
Q16. 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」の割合が69.2%、「いいえ」の割合が28.1%となっています。



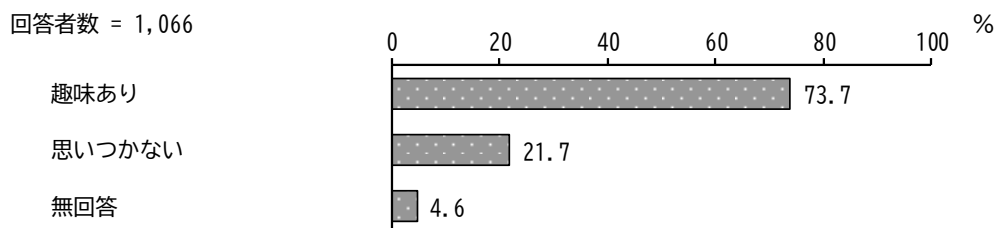
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



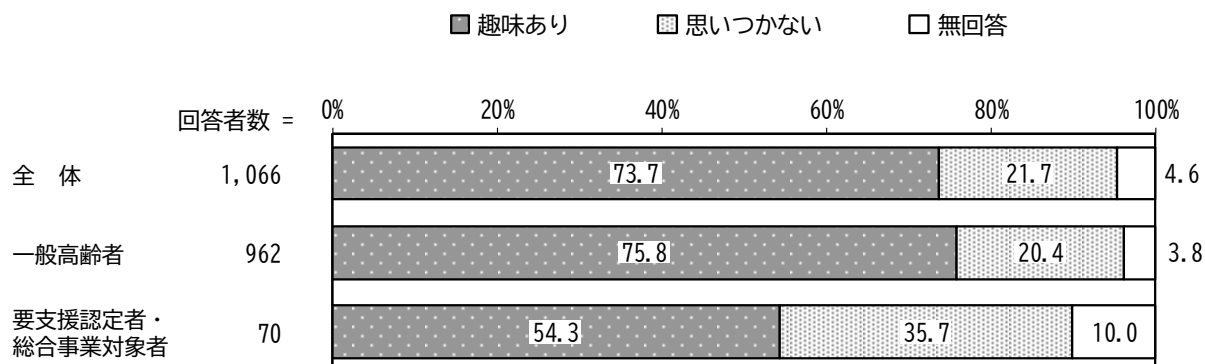
Q17. 趣味はありますか

「趣味あり」の割合が73.7%、「思いつかない」の割合が21.7%となっています。



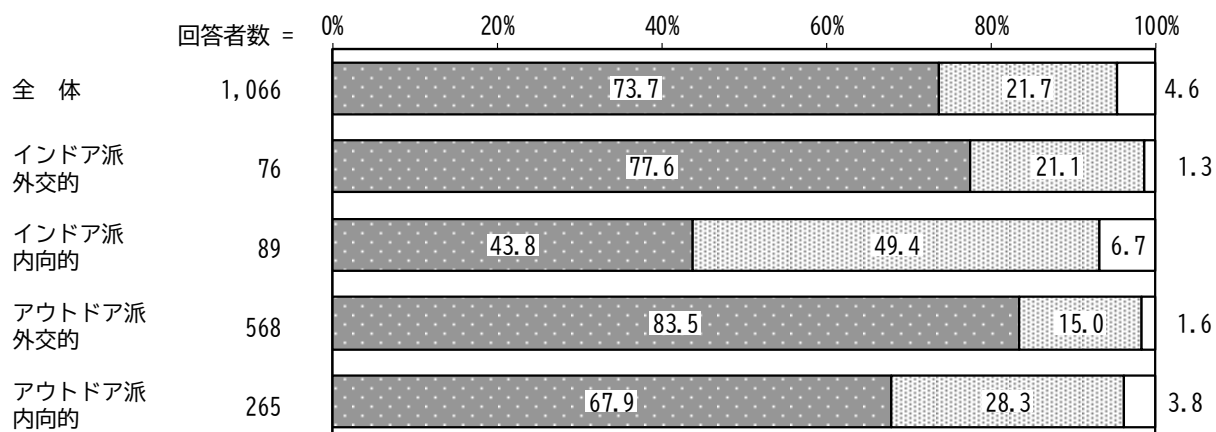
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「思いつかない」の割合が高くなっています。



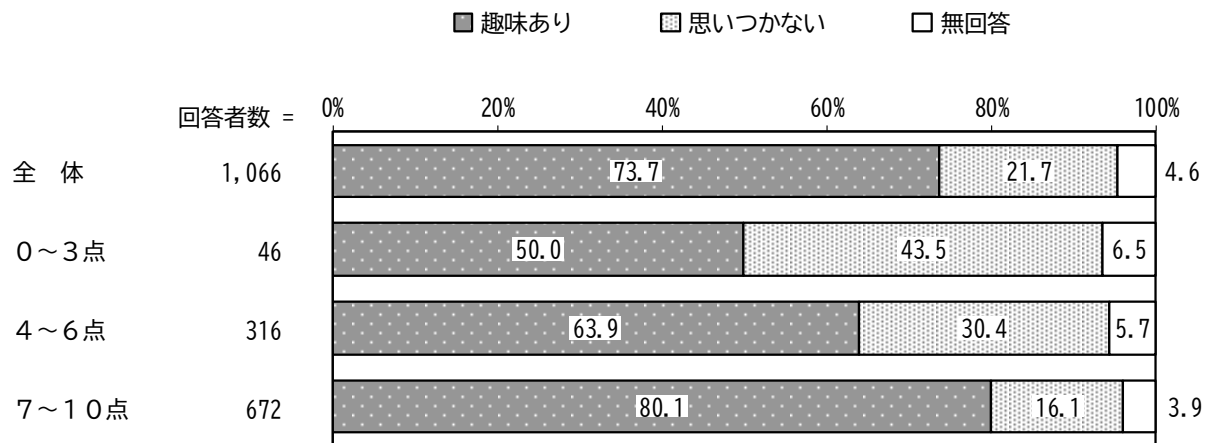
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「思いつかない」の割合が、アウトドア派外向的で「趣味あり」の割合が高くなっています。



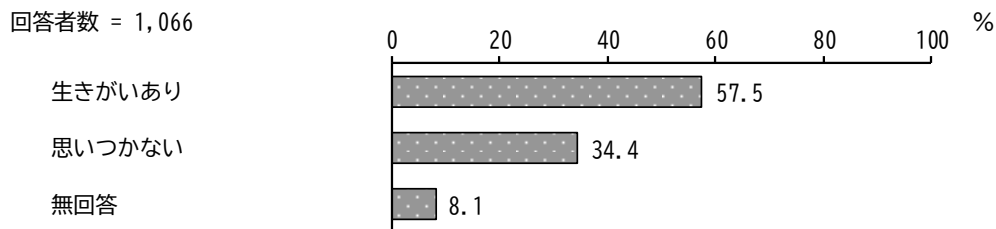
【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、0～3点、4～6点で「思いつかない」の割合が、7～10点で「趣味あり」の割合が高くなっています。



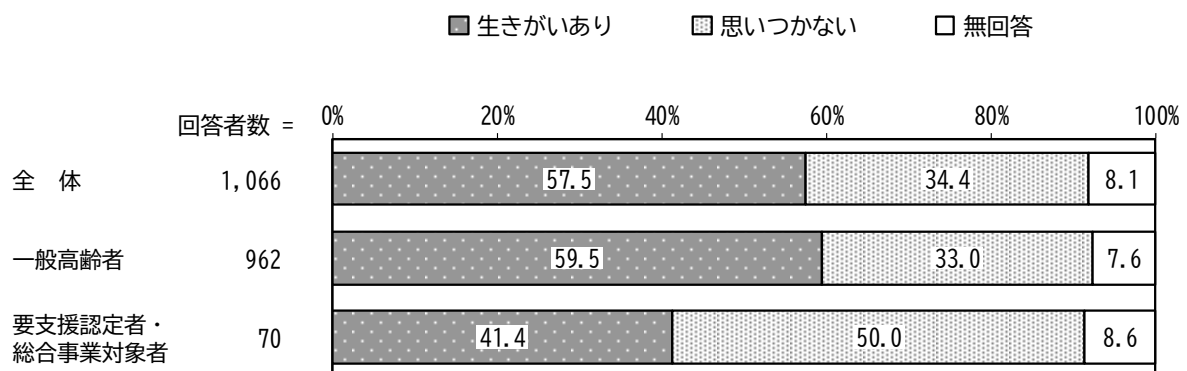
Q18. 生きがいがありますか

「生きがいあり」の割合が57.5%、「思いつかない」の割合が34.4%となっています。



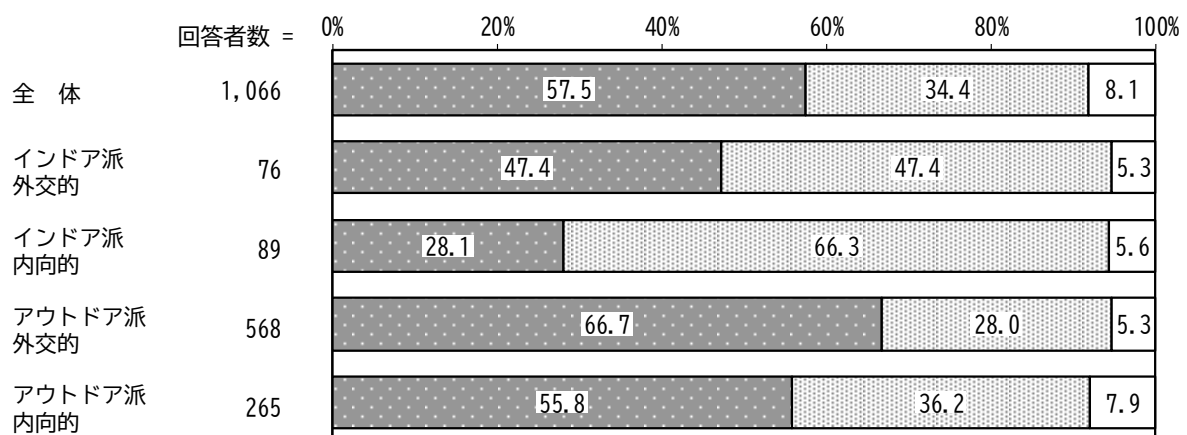
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「思いつかない」の割合が高くなっています。



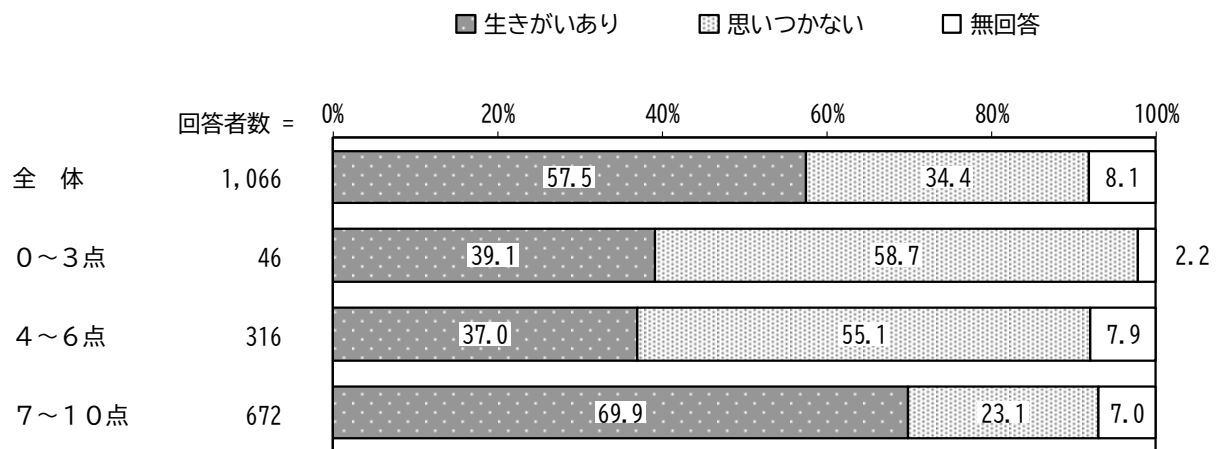
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「思いつかない」の割合が、アウトドア派外交的で「生きがいあり」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、0～3点、4～6点で「思いつかない」の割合が、7～10点で「生きがいあり」の割合が高くなっています。

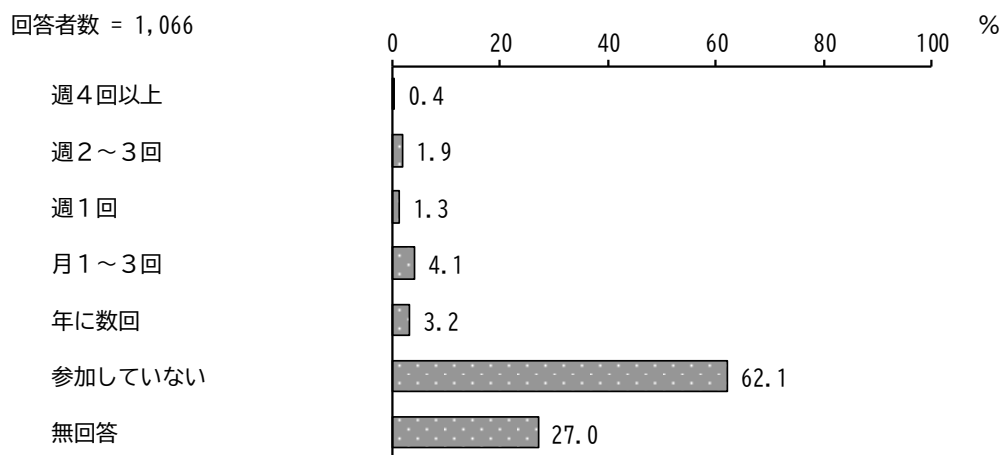


問6 地域での活動について

Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれに1つのみ）

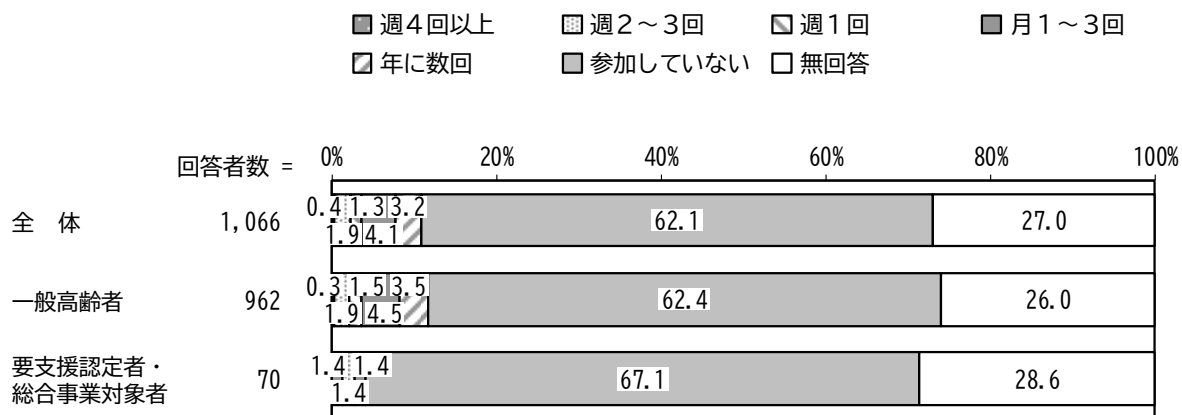
① ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が62.1%と最も高くなっています。



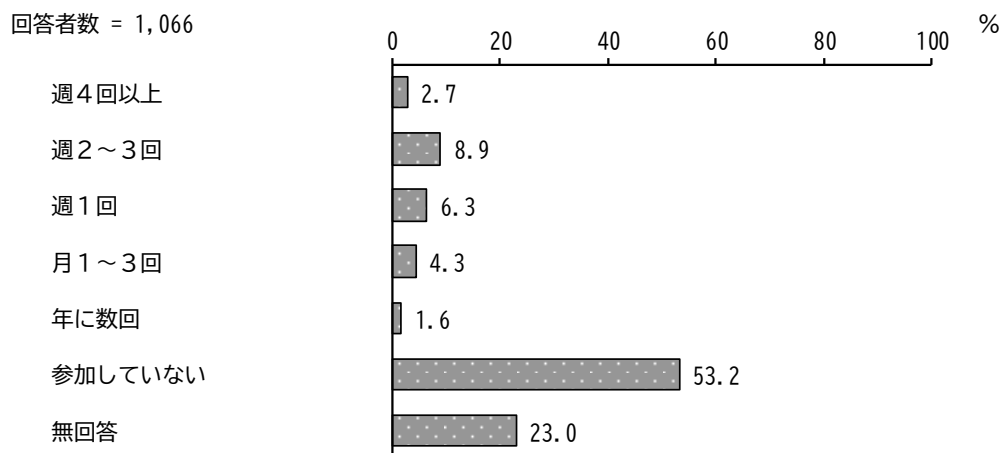
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



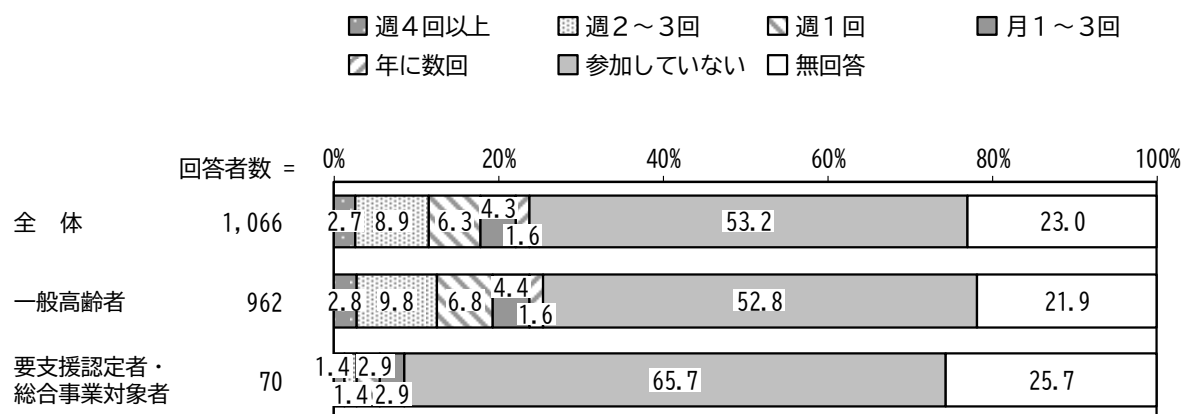
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が53.2%と最も高くなっています。



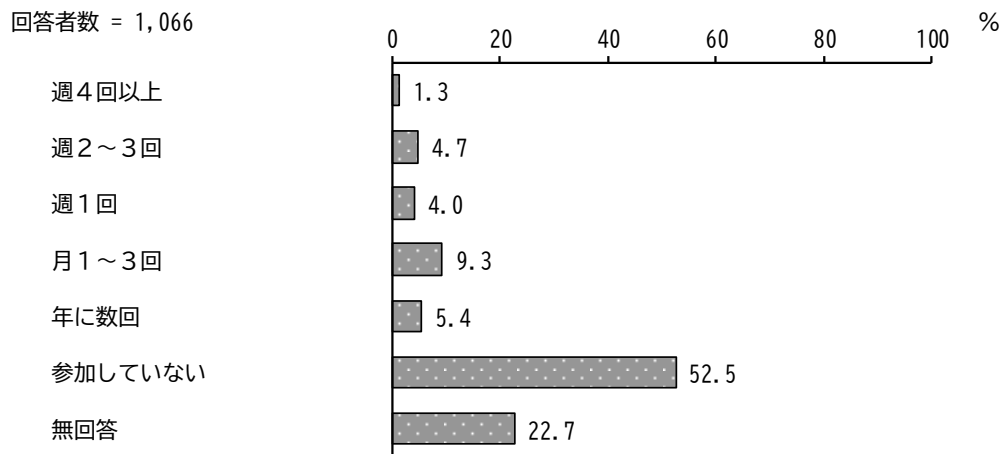
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「参加していない」の割合が高くなっています。



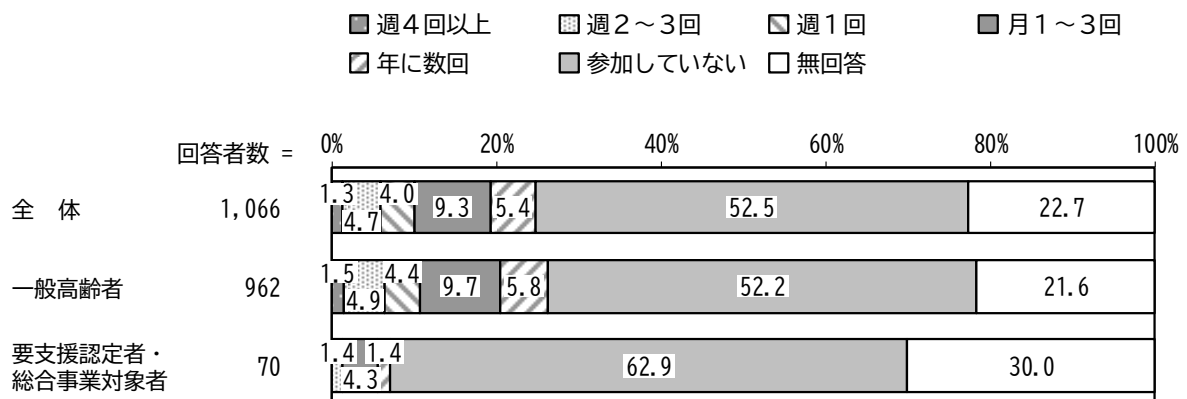
③ 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が52.5%と最も高くなっています。



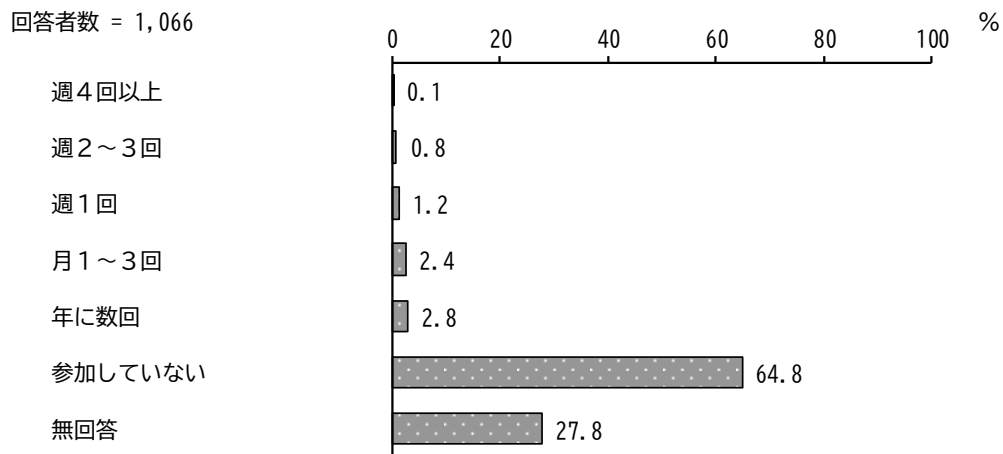
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「参加していない」の割合が高くなっています。



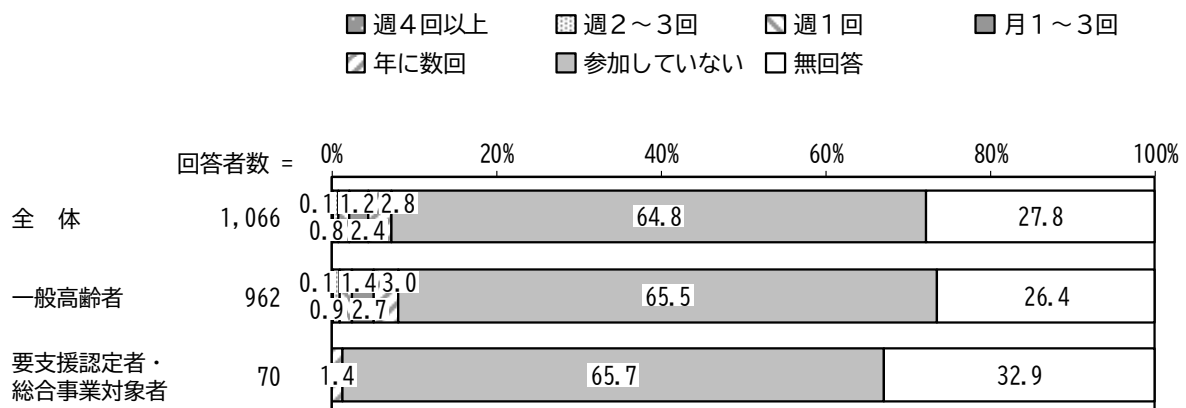
④ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が64.8%と最も高くなっています。



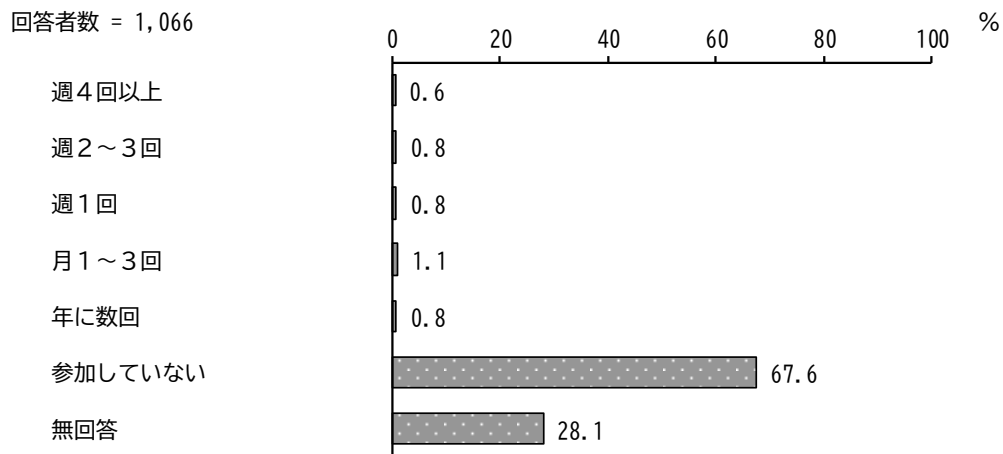
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



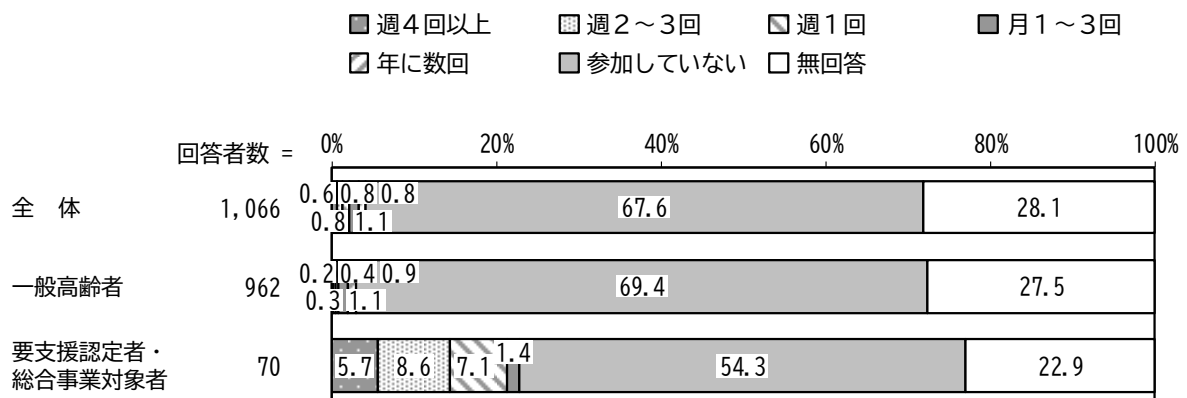
⑤ 介護予防のための通いの場

「参加していない」の割合が67.6%と最も高くなっています。



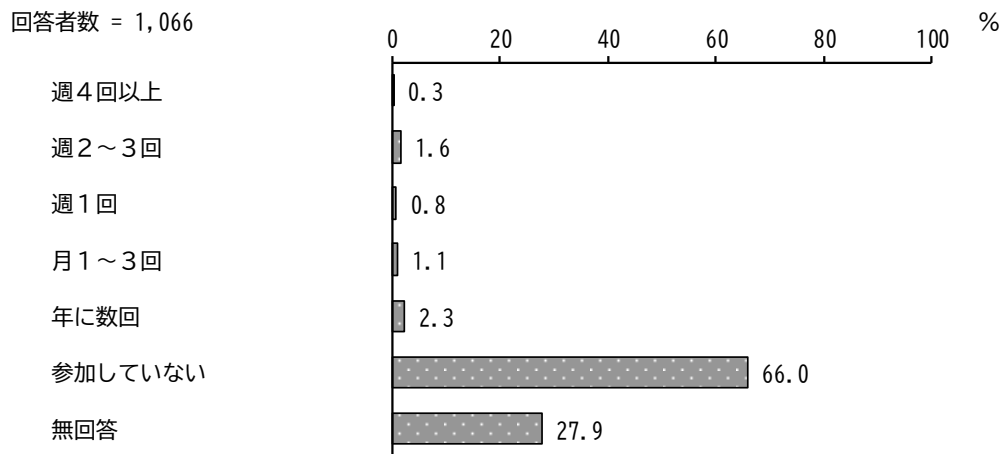
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



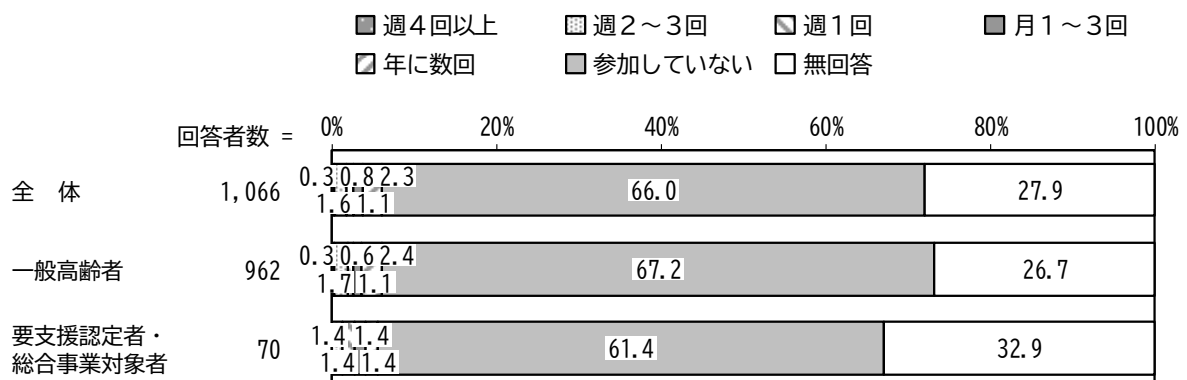
⑥ 老人クラブ

「参加していない」の割合が66.0%と最も高くなっています。



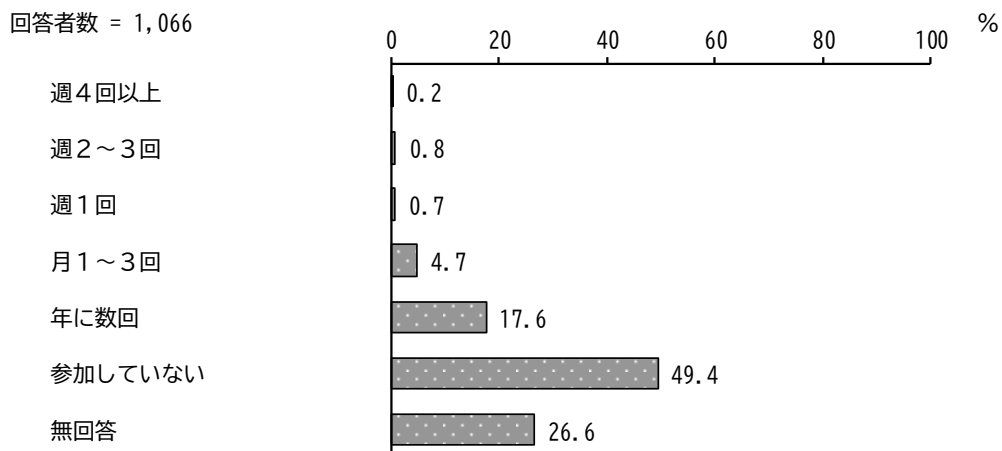
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



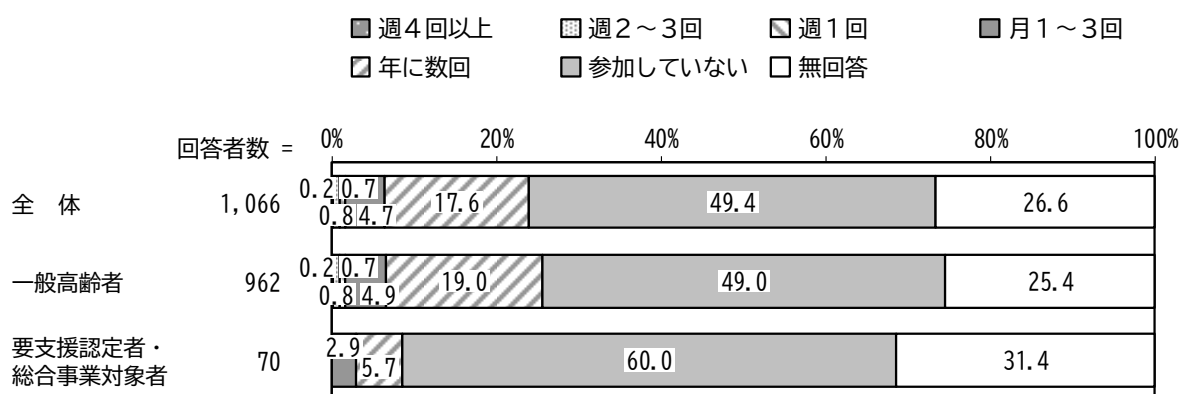
⑦ 町内会・自治会

「参加していない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が17.6%となっています。



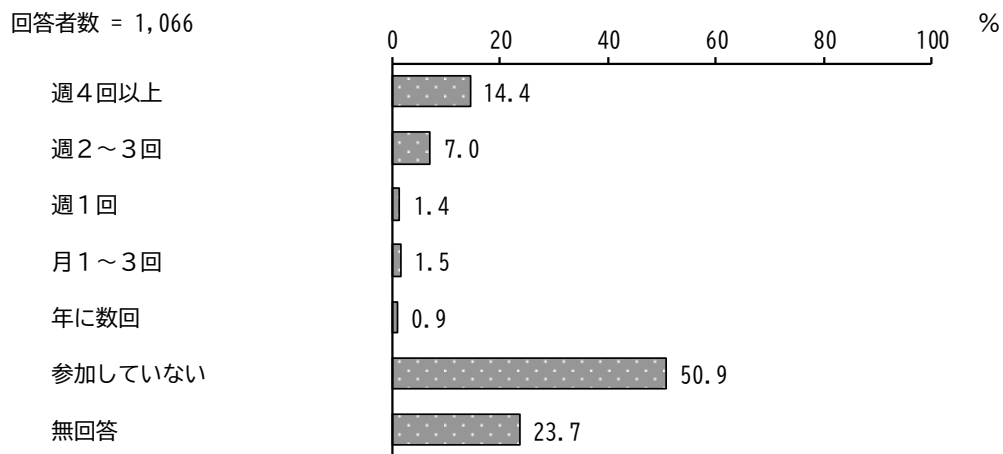
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「参加していない」の割合が高くなっています。



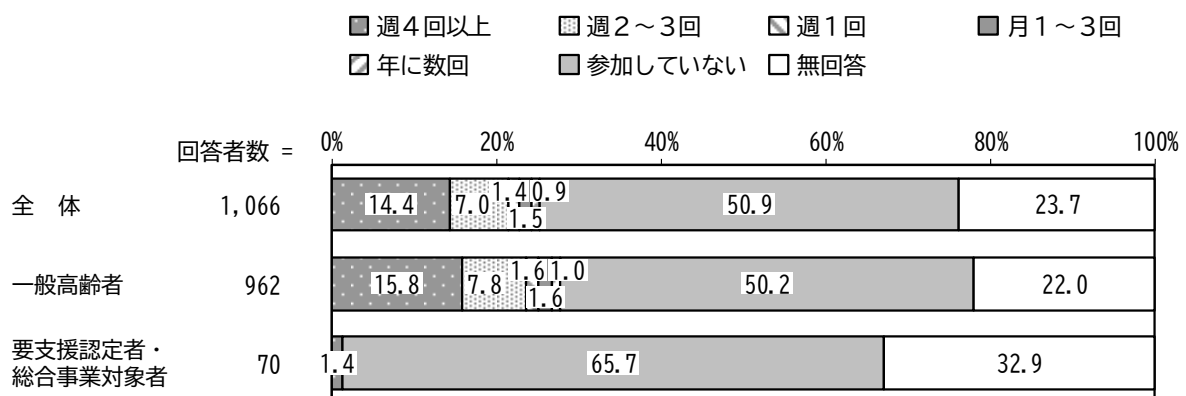
⑧ 収入のある仕事

「参加していない」の割合が50.9%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が14.4%となっています。



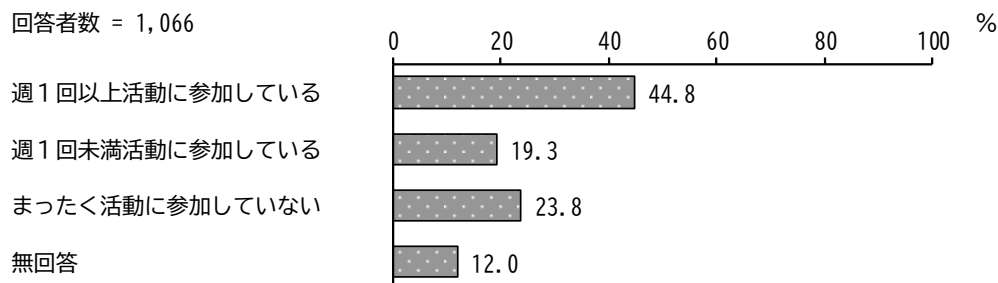
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「参加していない」の割合が高くなっています。



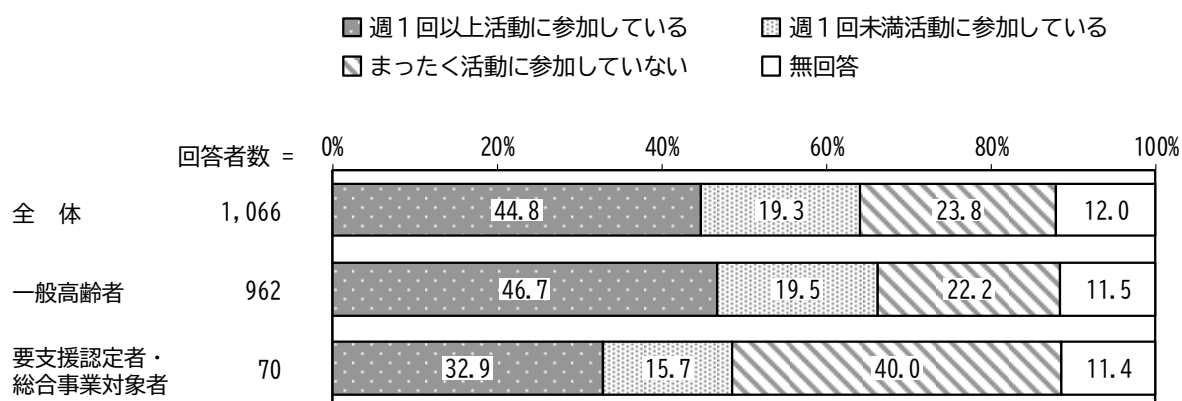
地域活動の参加状況

「週1回以上活動に参加している」の割合が44.8%と最も高く、次いで「まったく活動に参加していない」の割合が23.8%、「週1回未満活動に参加している」の割合が19.3%となっています。



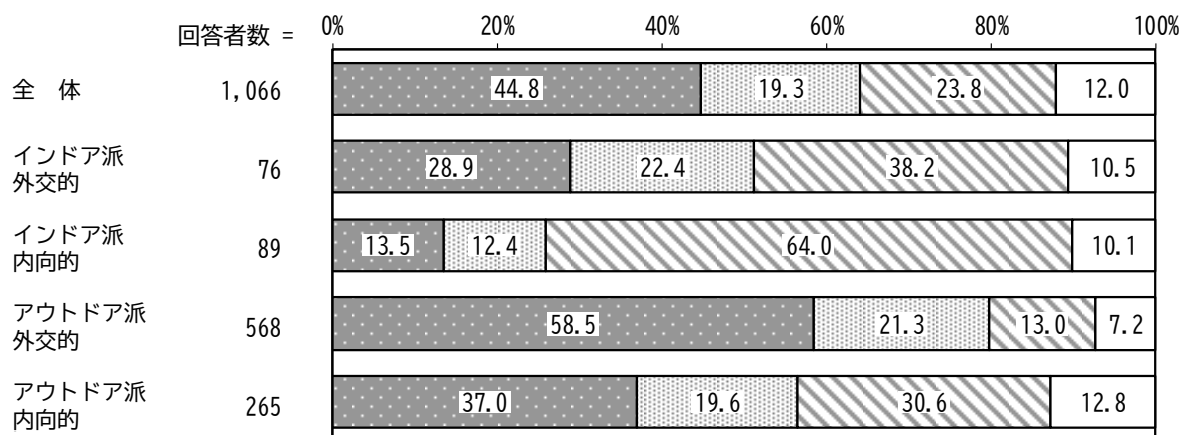
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「まったく活動に参加していない」の割合が高くなっています。



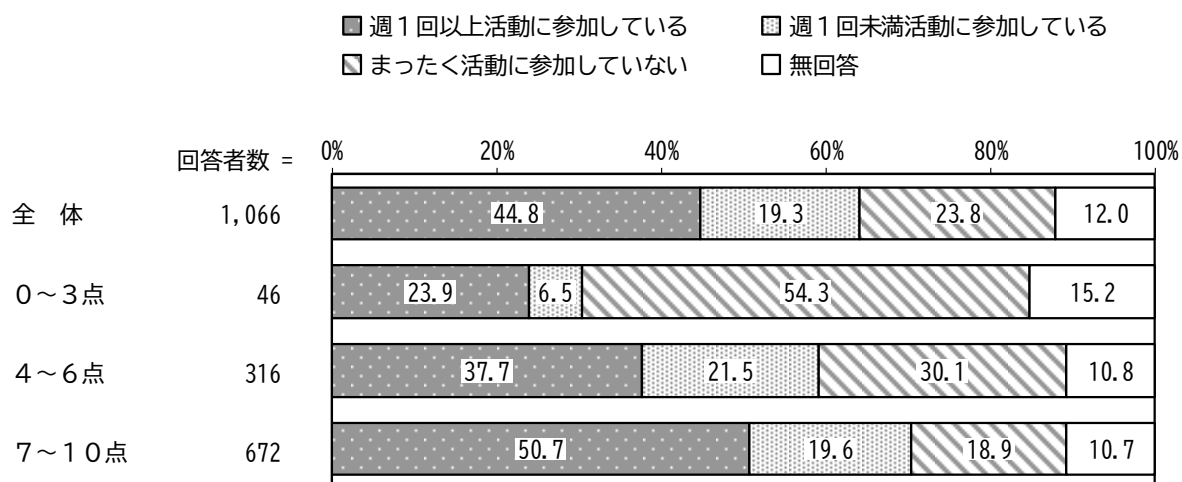
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「まったく活動に参加していない」の割合が、アウトドア派外交的で「週1回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。



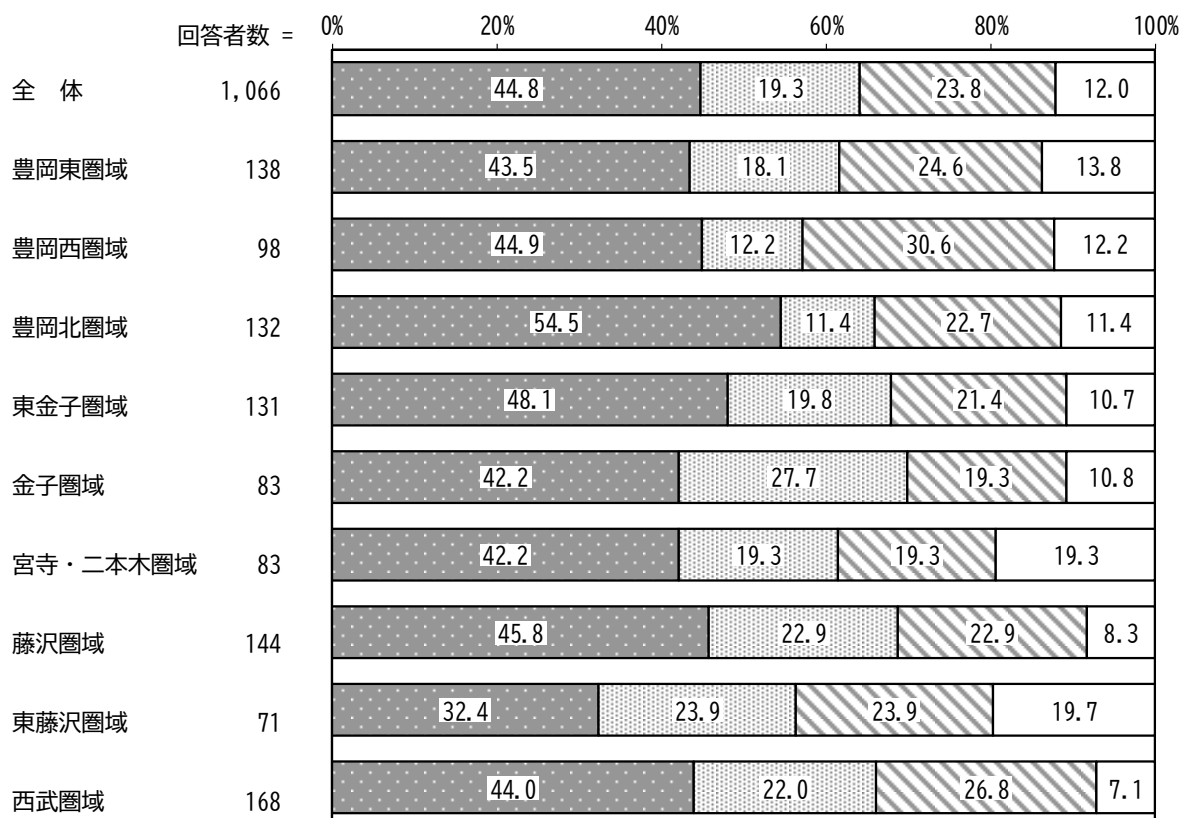
【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、0～3点で「まったく活動に参加していない」の割合が、4～6点で「週1回未満活動に参加している」の割合が、7～10点で「週1回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。



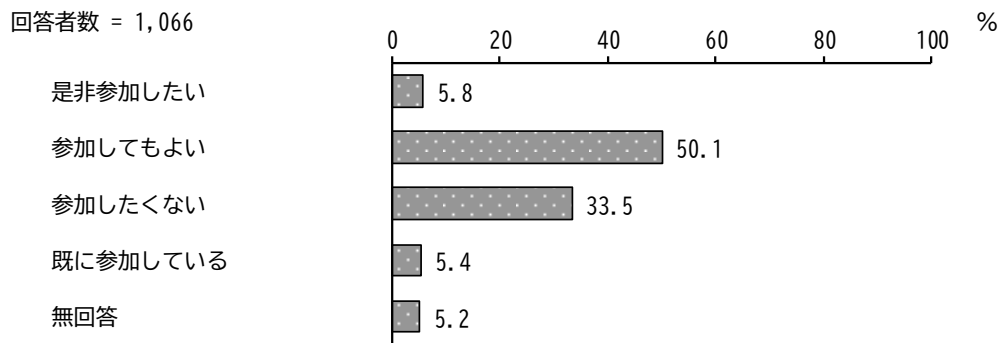
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、豊岡北圏域で「週1回以上活動に参加している」の割合が、金子圏域で「週1回未満活動に参加している」の割合が、豊岡西圏域で「まったく活動に参加していない」の割合が高くなっています。



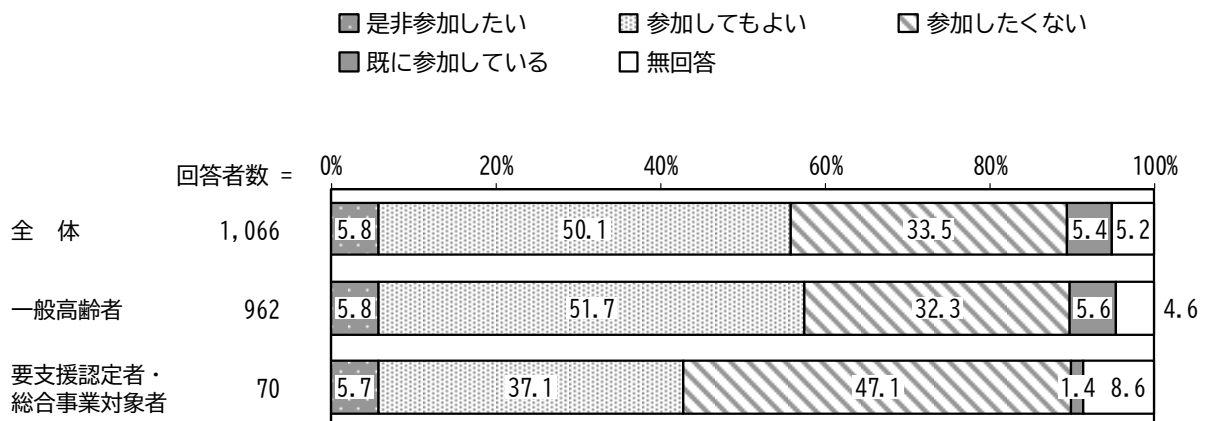
Q2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

「参加してもよい」の割合が50.1%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が33.5%となっています。



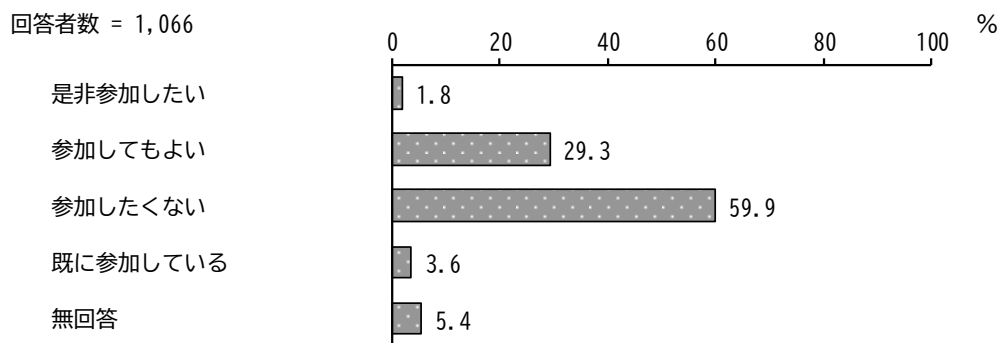
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



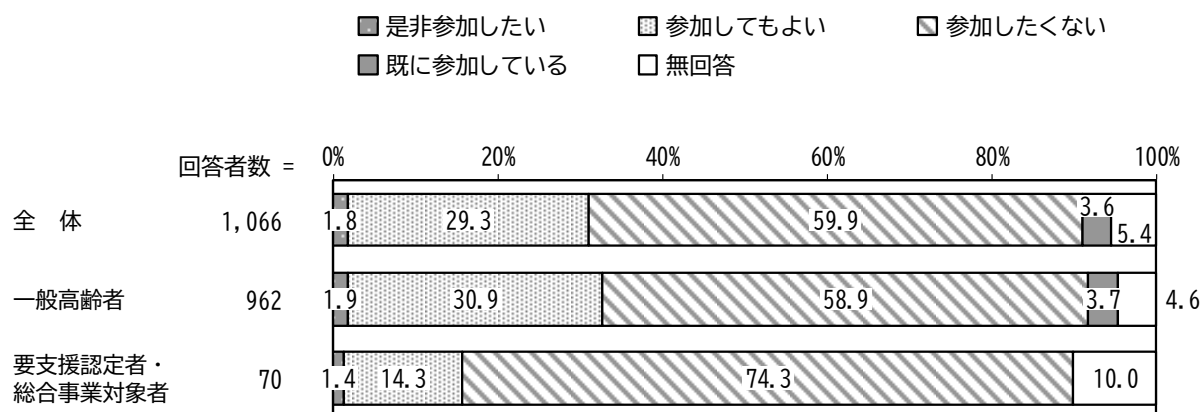
Q3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

「参加したくない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が29.3%となっています。



【認定別】

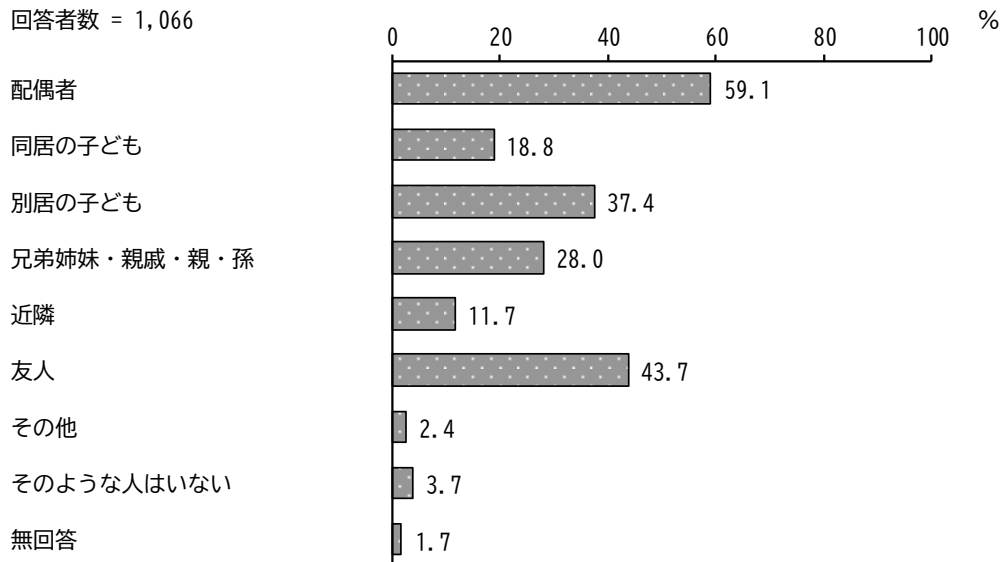
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



問7 たすけあいについて

Q1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が59.1%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.7%、「別居の子ども」の割合が37.4%となっています。



【認定別】

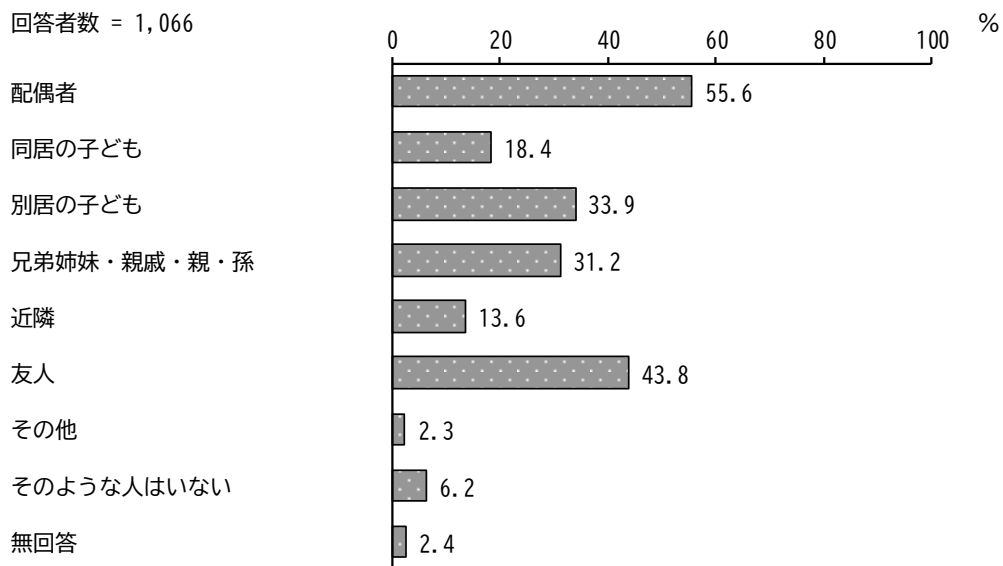
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	59.1	18.8	37.4	28.0	11.7	43.7	2.4	3.7	1.7
一般高齢者	962	60.7	18.6	36.4	27.5	12.2	44.7	2.5	3.8	1.6
要支援認定者・ 総合事業対象者	70	37.1	21.4	48.6	37.1	7.1	32.9	2.9	2.9	1.4

Q2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が55.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.8%、「別居の子ども」の割合が33.9%となっています。



【認定別】

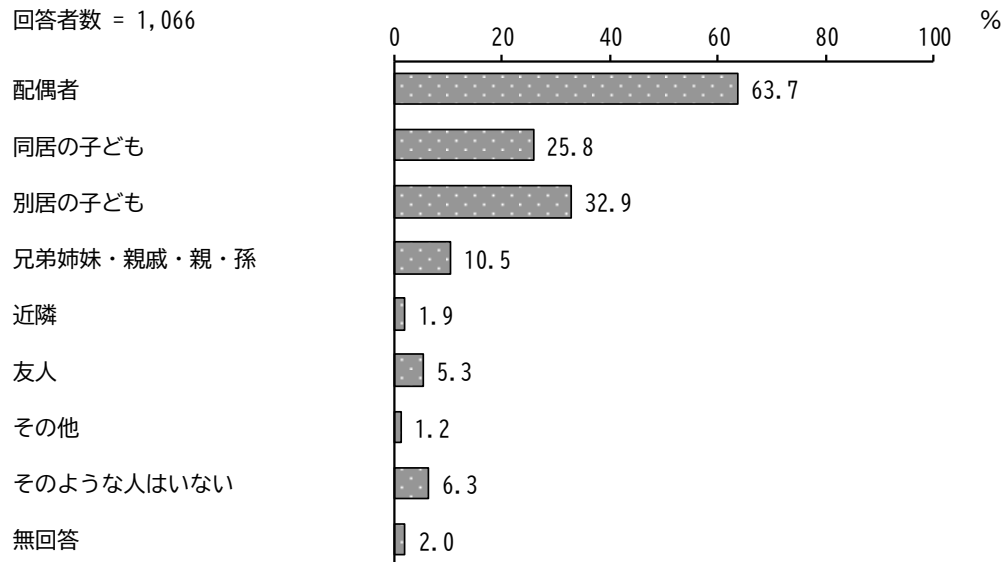
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	1066	55.6	18.4	33.9	31.2	13.6	43.8	2.3	6.2	2.4
一般高齢者	962	57.6	18.4	33.9	31.2	14.0	44.8	2.6	5.8	2.0
要支援認定者・ 総合事業対象者	70	32.9	21.4	35.7	37.1	10.0	30.0	—	8.6	2.9

Q3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が63.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が32.9%、「同居の子ども」の割合が25.8%となっています。



【認定別】

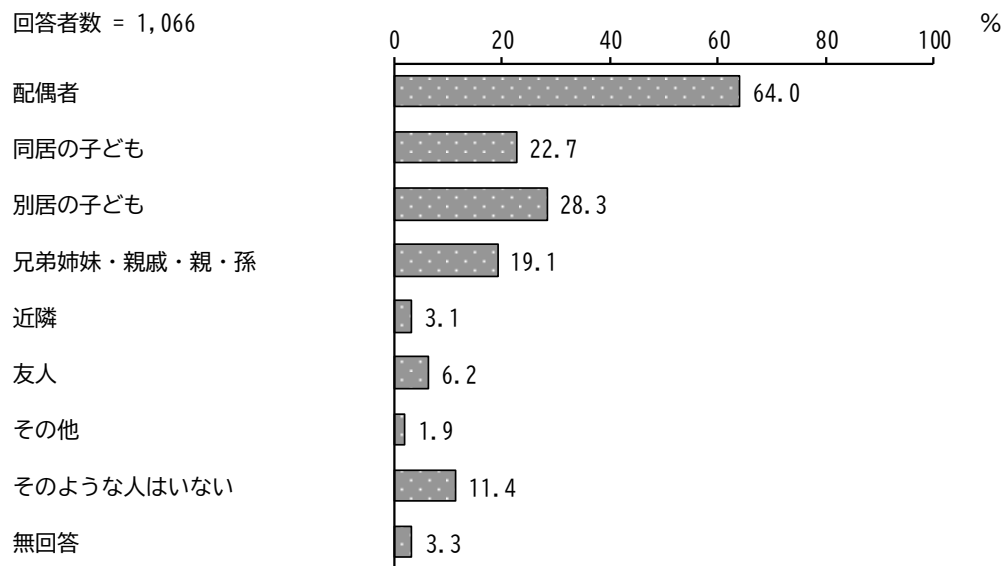
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	63.7	25.8	32.9	10.5	1.9	5.3	1.2	6.3	2.0
一般高齢者	962	66.1	25.6	32.8	10.1	1.7	5.0	1.1	6.2	1.6
要支援認定者・ 総合事業対象者	70	37.1	31.4	32.9	17.1	4.3	5.7	1.4	7.1	2.9

Q4. 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が64.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が28.3%、「同居の子ども」の割合が22.7%となっています。



【認定別】

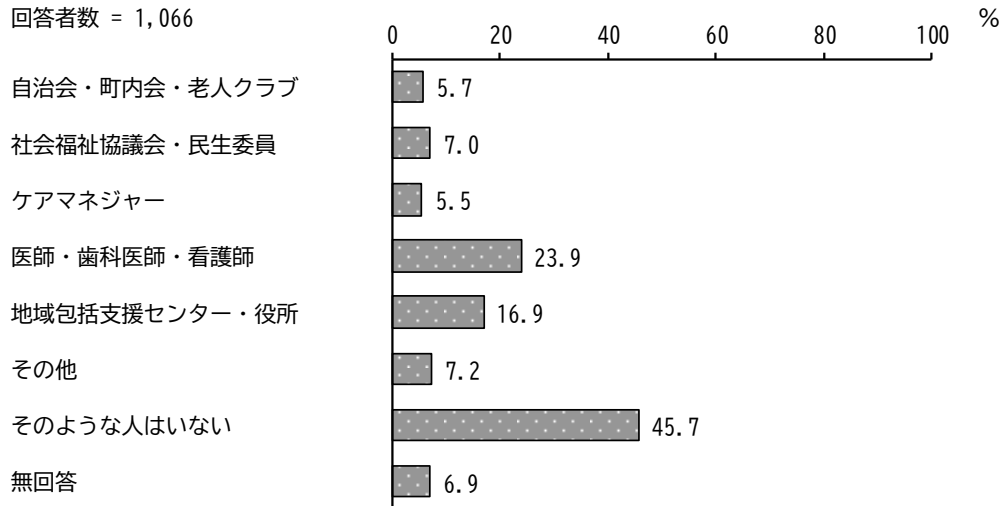
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	1066	64.0	22.7	28.3	19.1	3.1	6.2	1.9	11.4	3.3
一般高齢者	962	66.0	23.1	29.5	20.0	3.1	6.3	1.6	11.0	2.6
要支援認定者・ 総合事業対象者	70	41.4	22.9	15.7	11.4	2.9	4.3	4.3	18.6	5.7

Q5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「そのような人はいない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が23.9%、「地域包括支援センター・役所」の割合が16.9%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「地域包括支援センター・役所」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	5.7	7.0	5.5	23.9	16.9	7.2	45.7	6.9
一般高齢者	962	5.8	7.2	3.5	23.8	14.3	7.5	48.5	6.4
要支援認定者・総合事業対象者	70	4.3	7.1	30.0	28.6	51.4	4.3	15.7	5.7

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派内向的で「そのような人はいない」の割合が、インドア派外交的で「地域包括支援センター・役所」「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	5.7	7.0	5.5	23.9	16.9	7.2	45.7	6.9
インドア派外交的	76	6.6	5.3	10.5	28.9	25.0	3.9	39.5	3.9
インドア派内向的	89	1.1	5.6	6.7	18.0	18.0	5.6	46.1	7.9
アウトドア派外交的	568	8.1	9.5	5.5	26.8	16.7	7.9	42.8	6.3
アウトドア派内向的	265	1.5	3.0	3.0	18.5	13.2	6.8	57.4	5.3

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、藤沢圏域で「そのような人はいない」の割合が、東藤沢圏域で「地域包括支援センター・役所」の割合が、豊岡東圏域で「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	5.7	7.0	5.5	23.9	16.9	7.2	45.7	6.9
豊岡東圏域	138	8.7	7.2	2.9	30.4	16.7	8.0	44.9	4.3
豊岡西圏域	98	3.1	10.2	7.1	21.4	17.3	7.1	51.0	6.1
豊岡北圏域	132	6.1	11.4	7.6	27.3	18.2	10.6	36.4	4.5
東金子圏域	131	4.6	9.2	3.1	19.1	22.1	7.6	43.5	11.5
金子圏域	83	4.8	7.2	3.6	24.1	15.7	6.0	44.6	8.4
宮寺・二本木圏域	83	7.2	4.8	12.0	24.1	8.4	6.0	48.2	7.2
藤沢圏域	144	4.2	3.5	4.2	22.2	15.3	4.9	54.9	4.9
東藤沢圏域	71	1.4	8.5	5.6	21.1	23.9	9.9	40.8	2.8
西武圏域	168	8.3	3.6	6.5	23.8	15.5	5.4	47.0	8.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、他に比べ、1人暮らしで「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	5.7	7.0	5.5	23.9	16.9	7.2	45.7	6.9
1人暮らし	183	4.9	6.6	4.9	16.4	13.7	8.2	53.0	4.9
夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)	463	7.1	6.9	6.5	25.1	16.0	6.3	45.1	7.8
夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)	44	9.1	6.8	—	15.9	15.9	20.5	43.2	4.5
息子・娘との2世帯	167	4.8	9.0	4.8	21.6	19.8	4.2	46.7	7.2
その他	195	3.6	5.6	4.6	31.3	19.5	7.7	40.5	7.2

【本人または家族に認知症の症状がある人別】

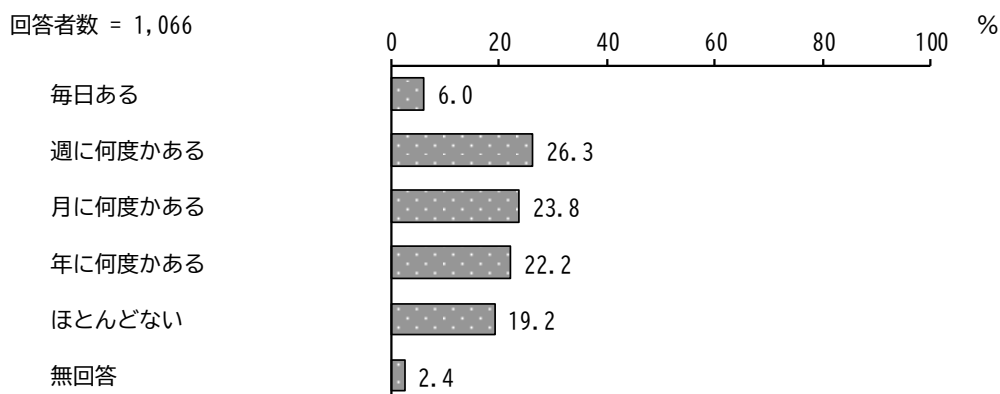
本人または家族に認知症の症状がある人別にみると、他に比べ、はいで「地域包括支援センター・役所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1066	5.7	7.0	5.5	23.9	16.9	7.2	45.7	6.9
はい	84	1.2	3.6	20.2	22.6	28.6	6.0	29.8	10.7
いいえ	951	6.1	7.5	4.1	24.3	15.9	7.2	47.5	6.0

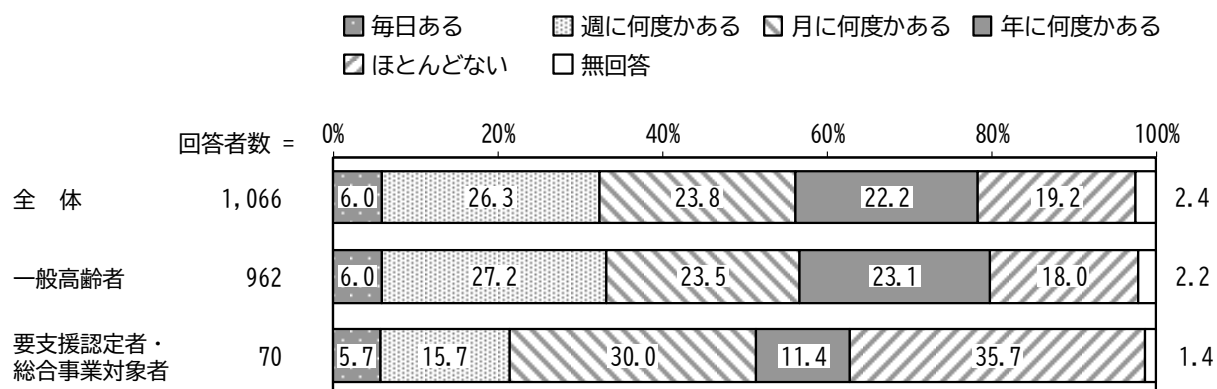
Q6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

「週に何度かある」の割合が26.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が23.8%、「年に何度かある」の割合が22.2%となっています。



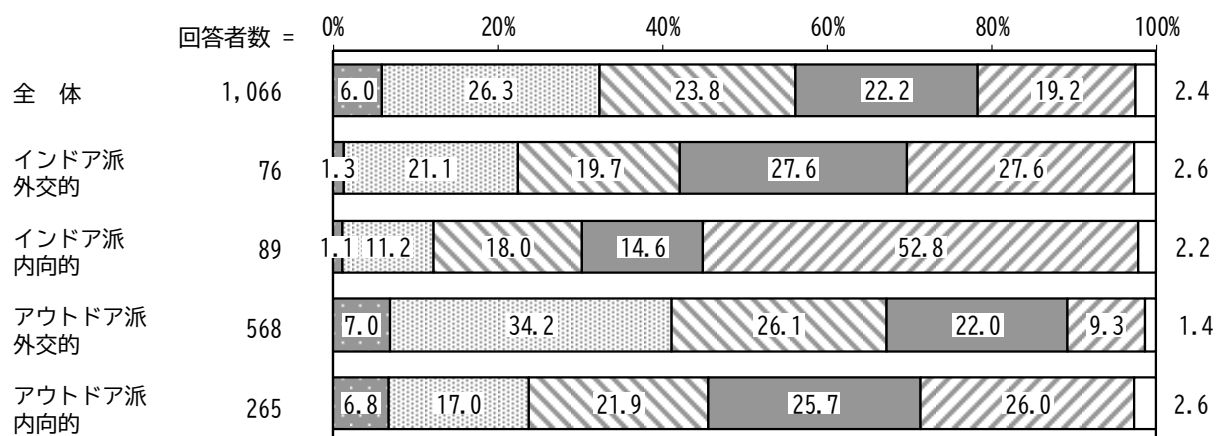
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「ほとんどない」「月に何度かある」の割合が高くなっています。



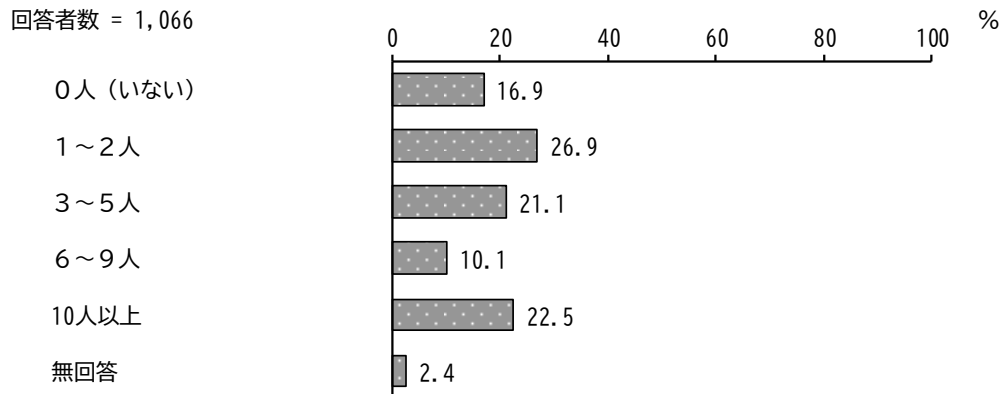
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「ほとんどない」の割合が、アウトドア派外交的で「週に何度かある」の割合が高くなっています。



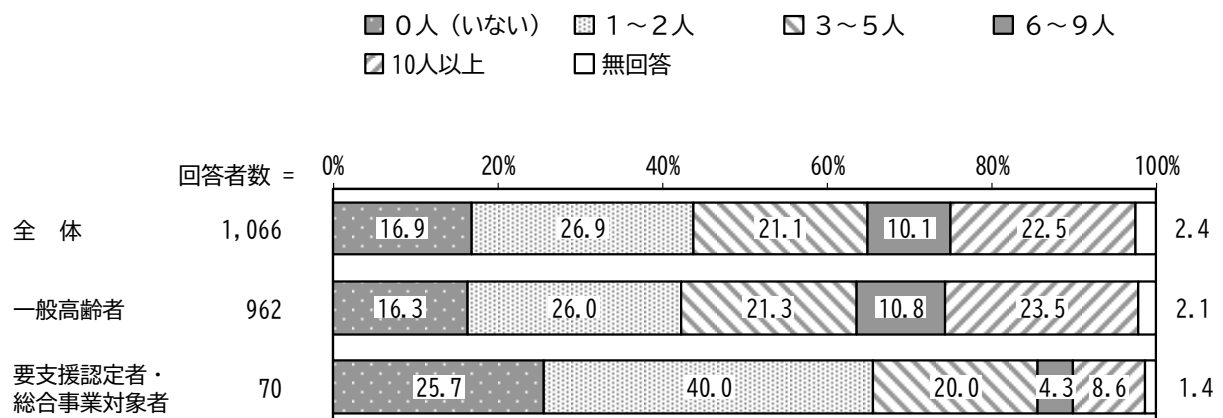
Q 7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）

「1～2人」の割合が26.9%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が22.5%、「3～5人」の割合が21.1%となっています。



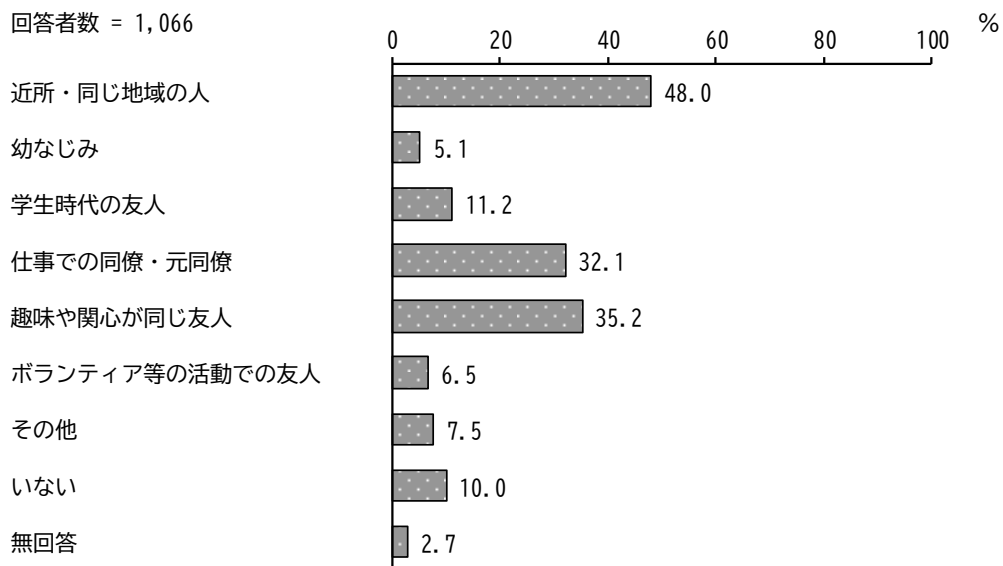
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「1～2人」「0人 (いない)」の割合が高くなっています。



Q8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

「近所・同じ地域の人」の割合が48.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が35.2%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が32.1%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いない」「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。

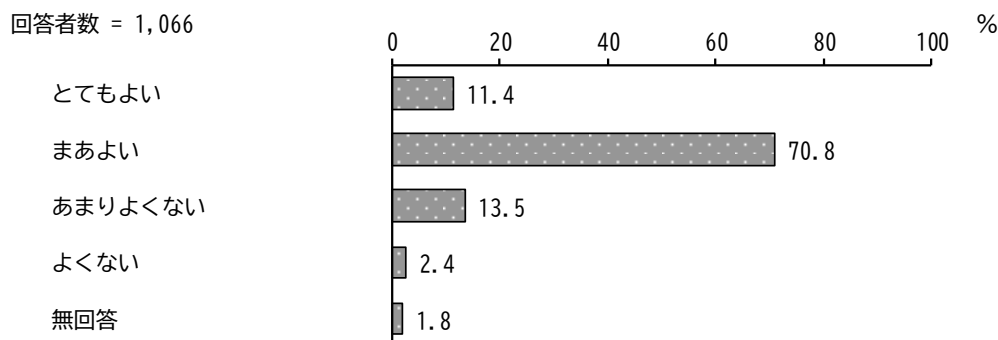
単位：%

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体	1066	48.0	5.1	11.2	32.1	35.2	6.5	7.5	10.0	2.7
一般高齢者	962	47.5	5.0	11.7	34.0	36.8	6.8	7.6	8.8	2.5
要支援認定者・ 総合事業対象者	70	55.7	5.7	4.3	12.9	14.3	4.3	8.6	22.9	1.4

問8 健康について

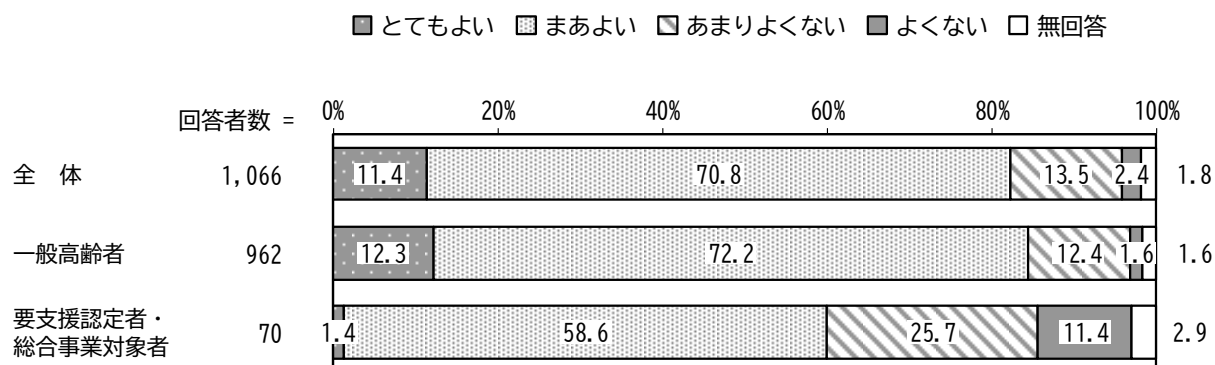
Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）

「まあよい」の割合が70.8%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が13.5%、「とてもよい」の割合が11.4%となっています。



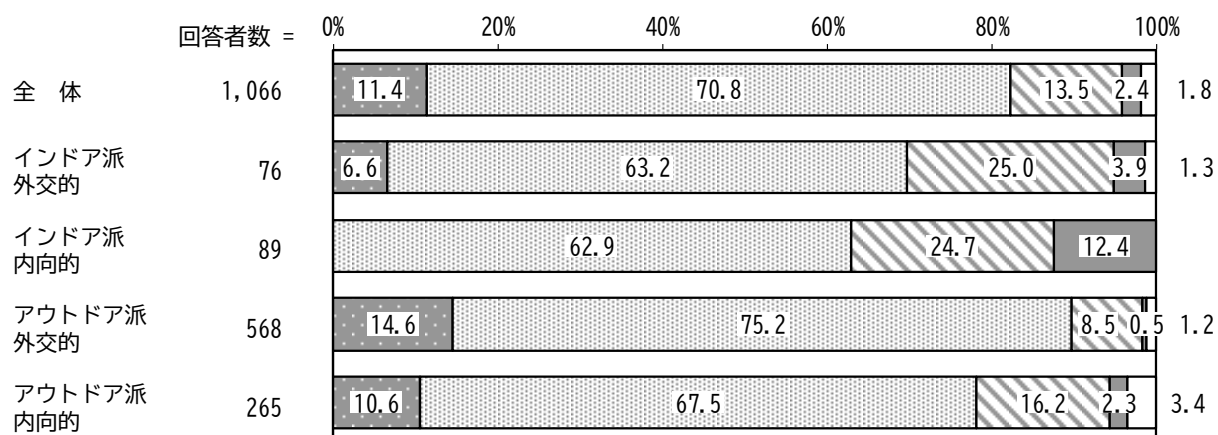
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「あまりよくない」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

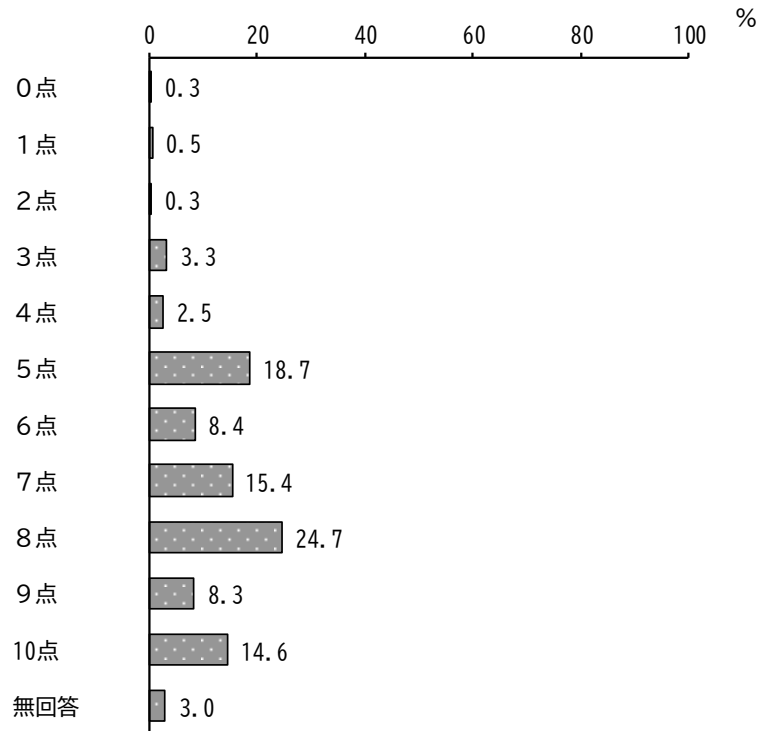
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、インドア派内向的で「あまりよくない」の割合が高くなっています。



Q2. あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

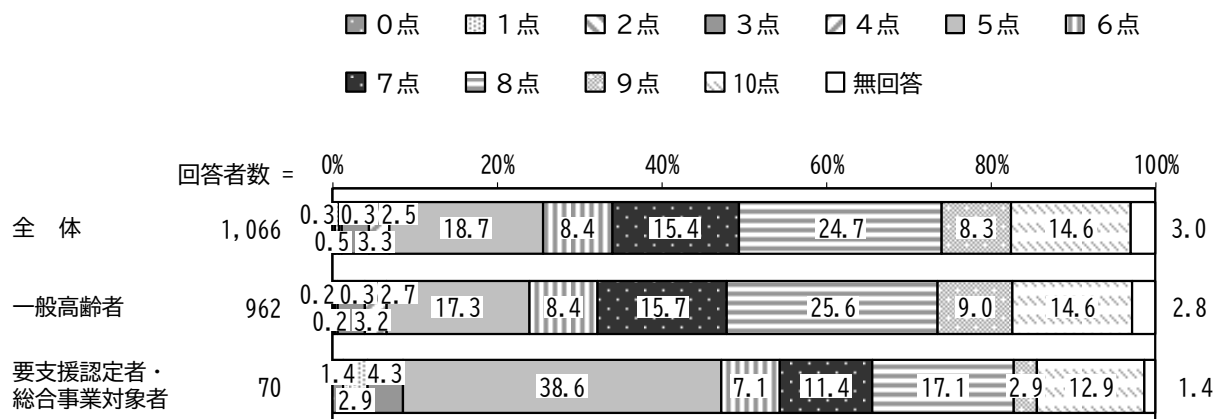
「8点」の割合が24.7%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.7%、「7点」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 1,066



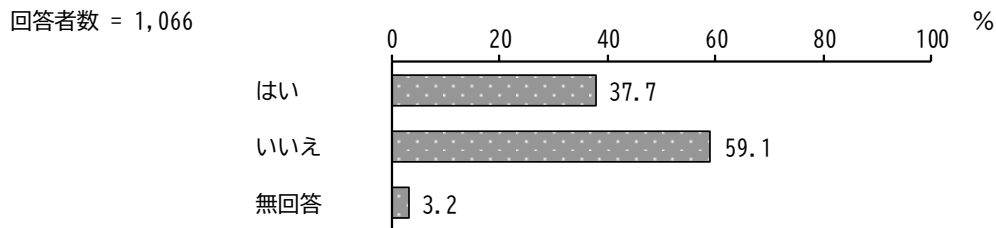
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「5点」の割合が高くなっています。



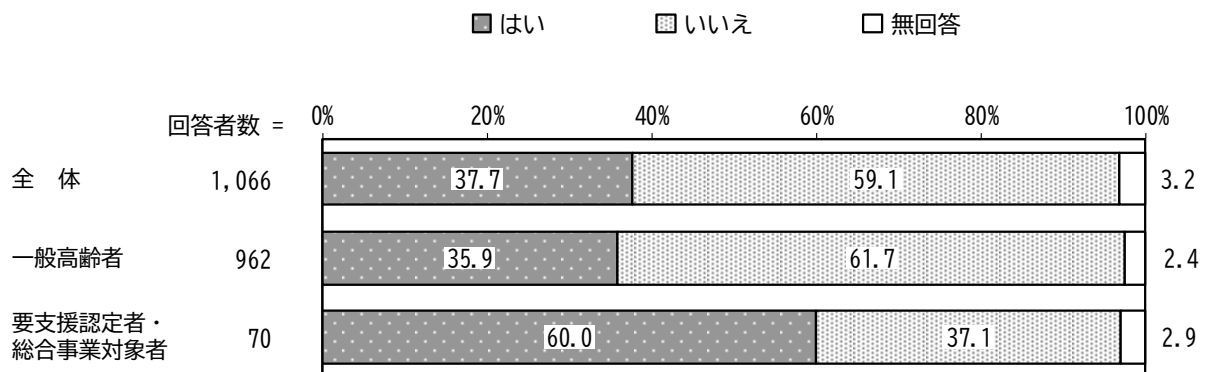
Q3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が37.7%、「いいえ」の割合が59.1%となっています。



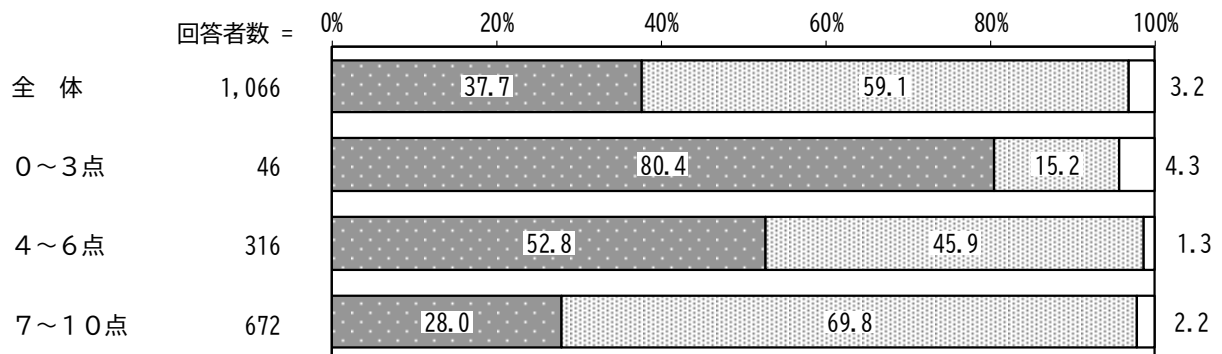
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



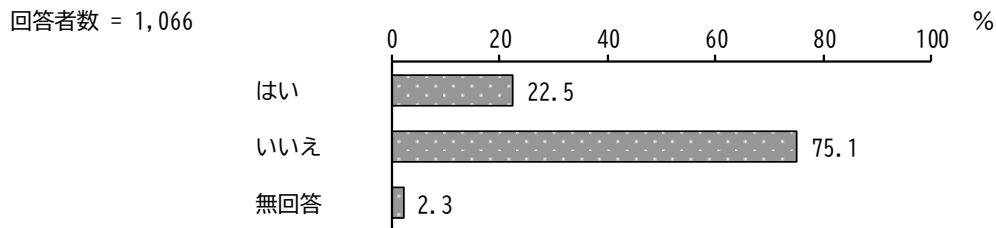
【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、0～3点、4～6点で「はい」の割合が、7～10点で「いいえ」の割合が高くなっています。



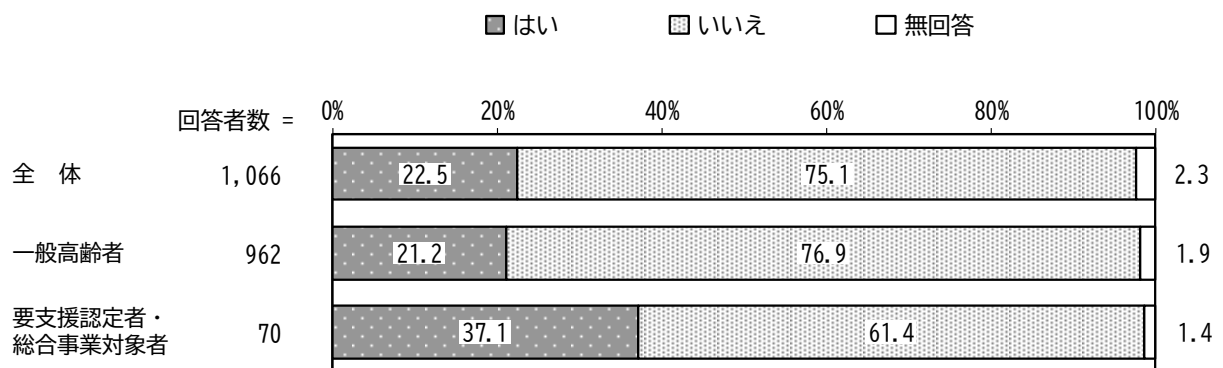
Q4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」の割合が22.5%、「いいえ」の割合が75.1%となっています。



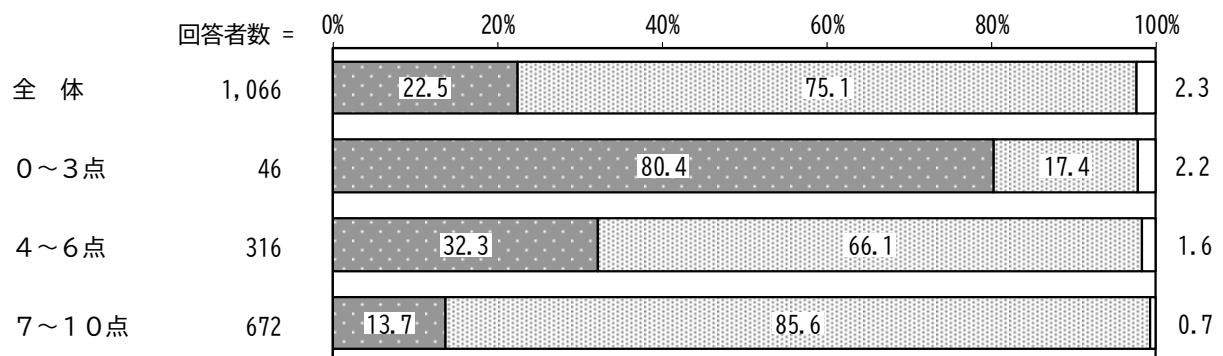
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



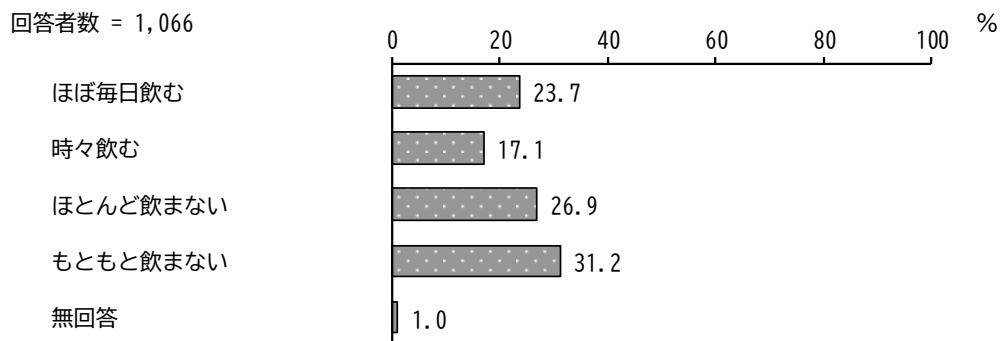
【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、0～3点、4～6点で「はい」の割合が、7～10点で「いいえ」の割合高くなっています。



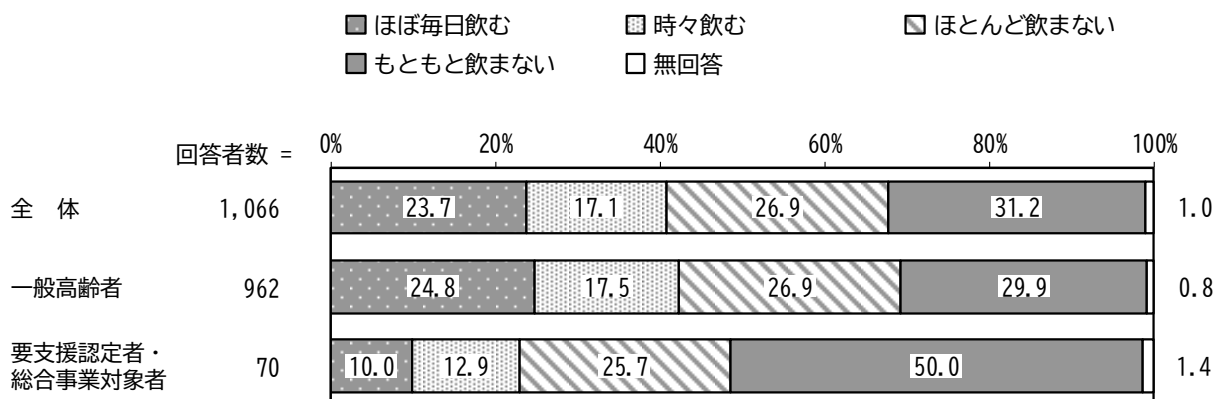
Q5. お酒は飲みますか（1つのみ）

「もともと飲まない」の割合が31.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が26.9%、「ほぼ毎日飲む」の割合が23.7%となっています。



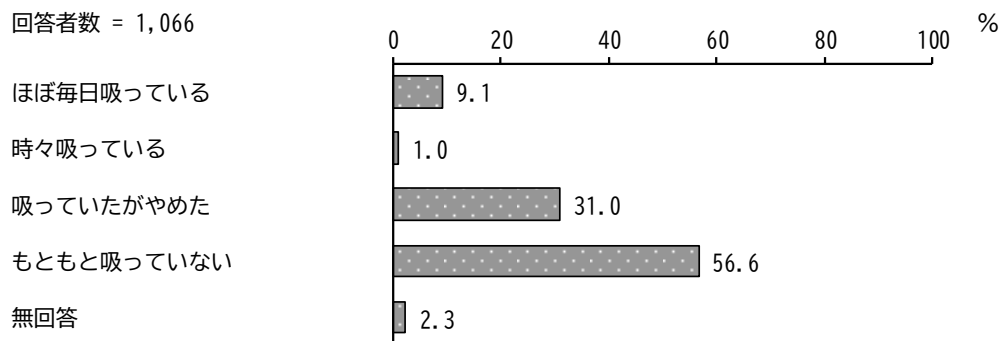
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



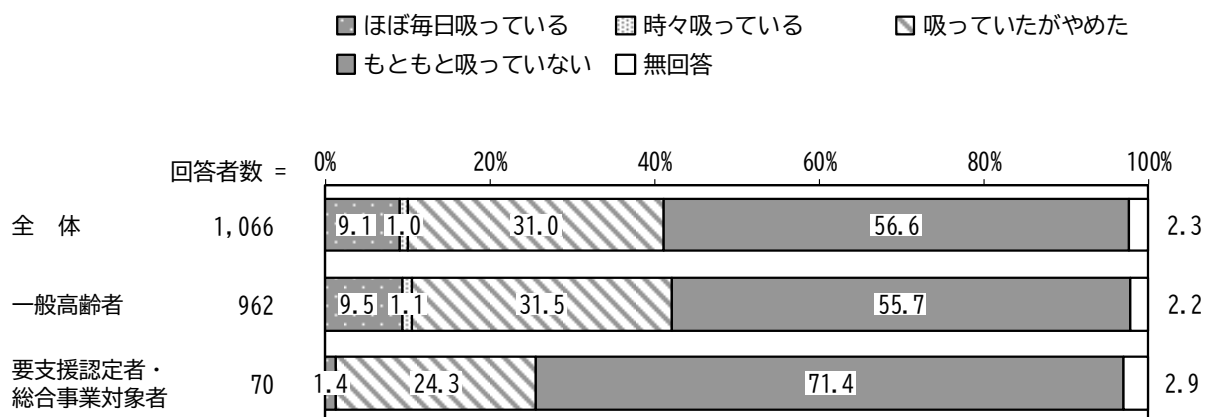
Q6. タバコは吸っていますか（1つのみ）

「もともと吸っていない」の割合が56.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が31.0%となっています。



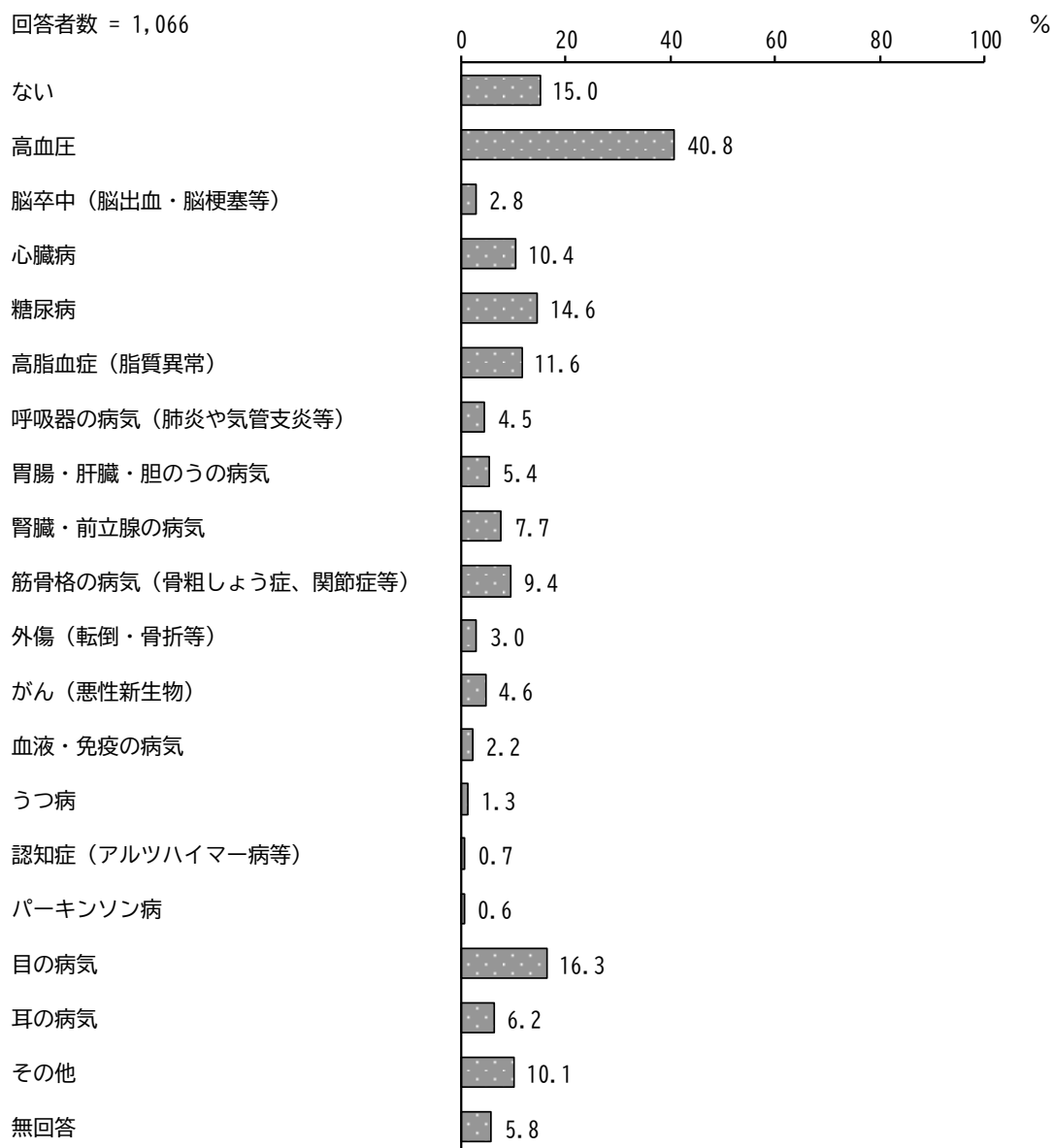
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



Q 7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」の割合が40.8%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が16.3%、「ない」の割合が15.0%となっています。



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「高血圧」「目の病気」「糖尿病」の割合が高くなっています。

単位：％

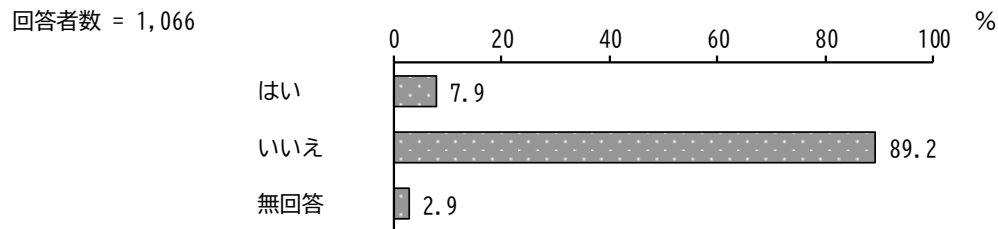
区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗 塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のう の病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗し ょう症、関節症等)
全 体	1066	15.0	40.8	2.8	10.4	14.6	11.6	4.5	5.4	7.7	9.4
一般高齢者	962	16.3	39.8	2.3	9.7	14.1	12.1	4.2	5.2	7.7	8.4
要支援認定 者・総合事業 対象者	70	1.4	52.9	7.1	17.1	22.9	7.1	8.6	7.1	10.0	20.0

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	3.0	4.6	2.2	1.3	0.7	0.6	16.3	6.2	10.1	5.8
一般高齢者	2.6	4.8	1.9	1.2	0.4	0.5	15.8	5.4	9.4	5.8
要支援認定 者・総合事業 対象者	5.7	1.4	2.9	1.4	2.9	1.4	25.7	15.7	18.6	2.9

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

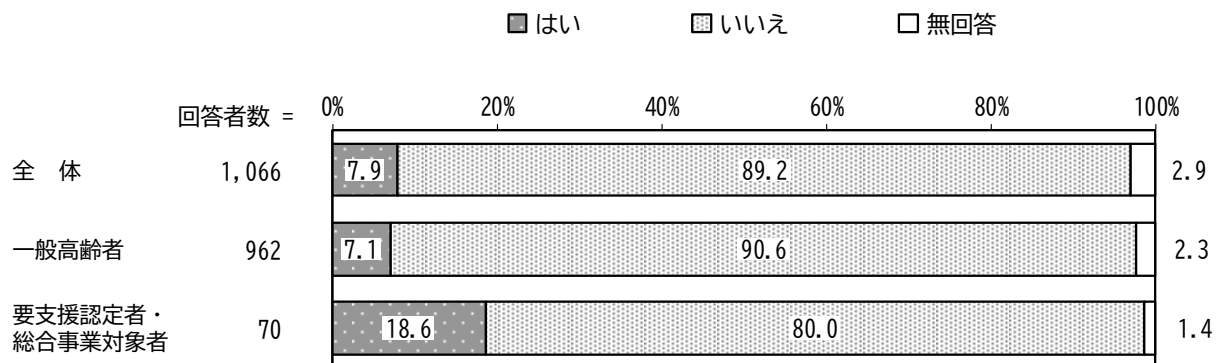
Q1. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」の割合が7.9%、「いいえ」の割合が89.2%となっています。



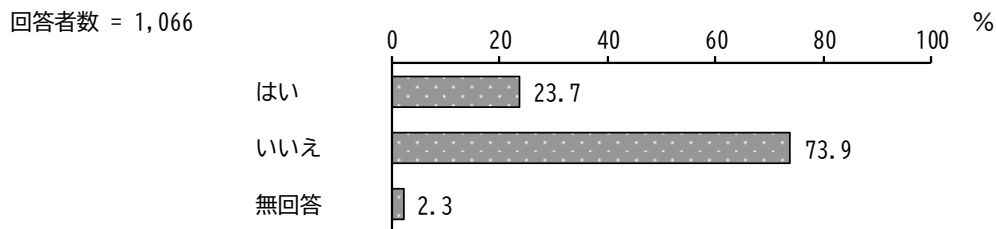
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



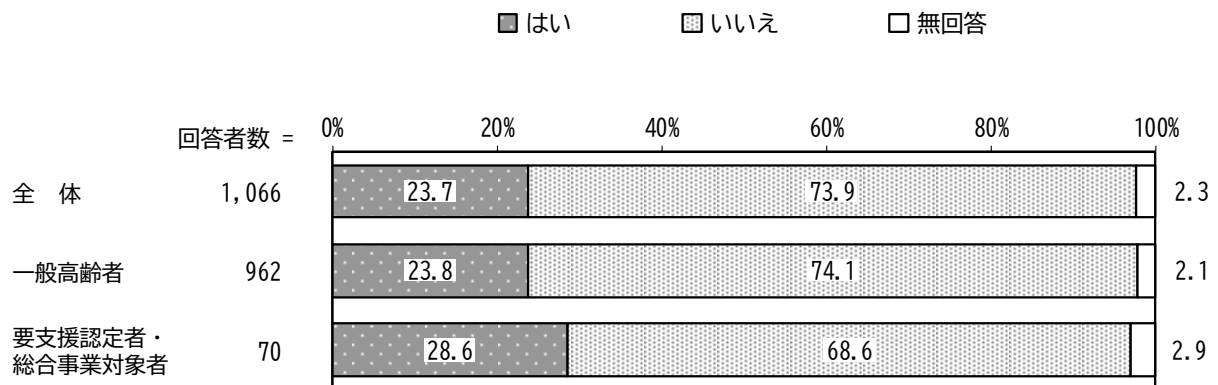
Q2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」の割合が23.7%、「いいえ」の割合が73.9%となっています。



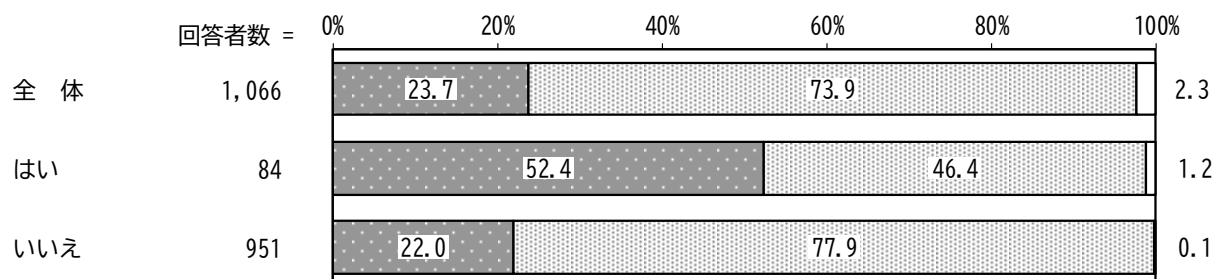
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



【本人または家族に認知症の症状がある人別】

本人または家族に認知症の症状がある人別にみると、他に比べ、はいで「はい」の割合が高くなっています。

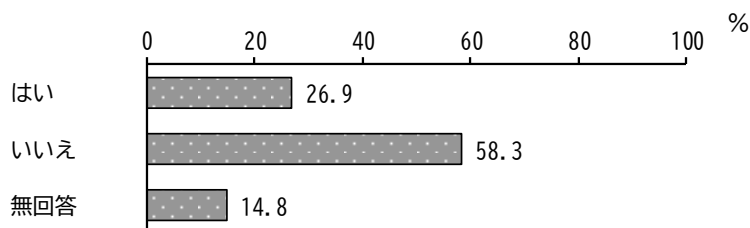


問10 その他について

Q1. 3階建て以上の建物にお住まいですか※マンションやアパート等で、お住まいは1階または2階だが、建物は3階建て以上の場合も「1. はい」とご回答ください

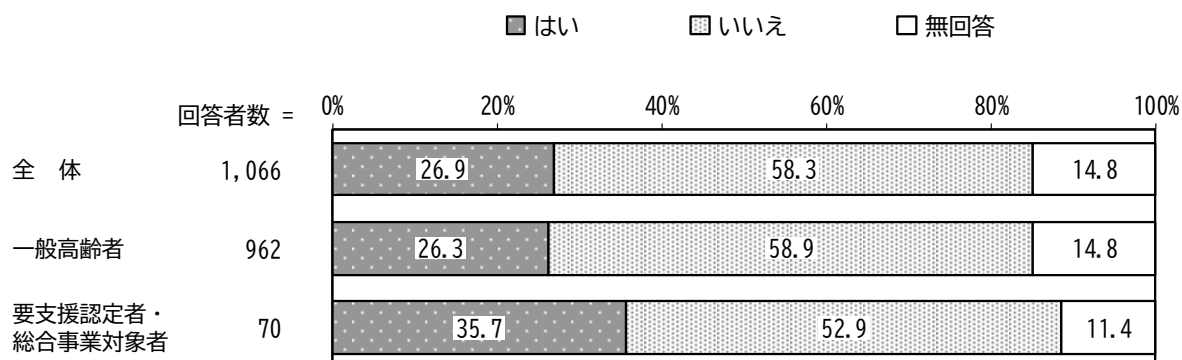
「はい」の割合が26.9%、「いいえ」の割合が58.3%となっています。

回答者数 = 1,066



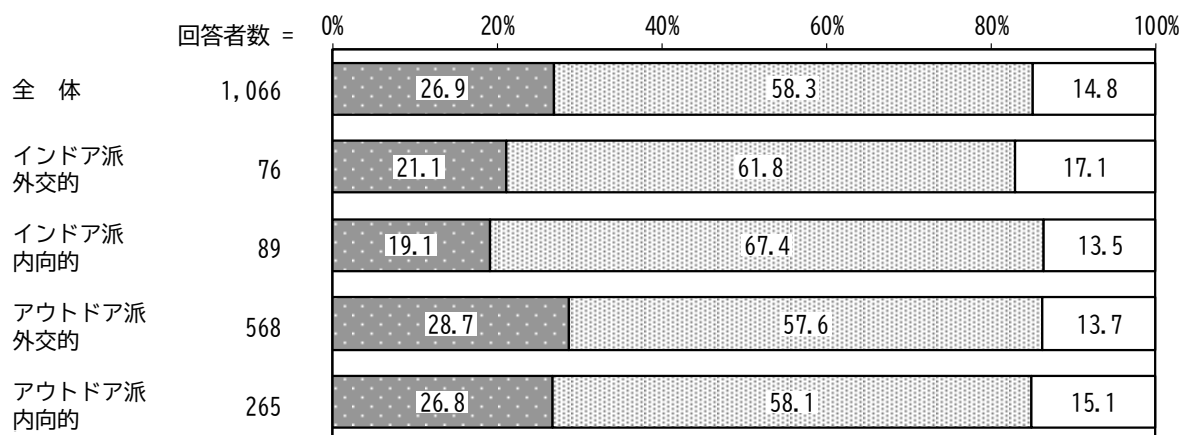
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。

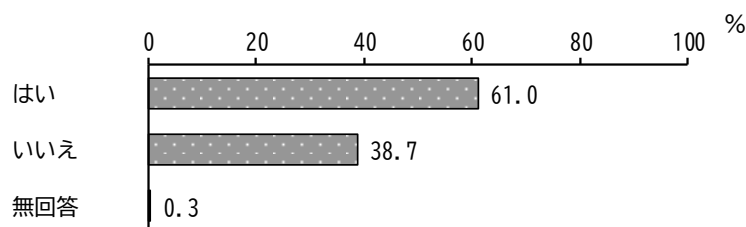


【Q1で「1. はい」の方のみ】

①. お住まいにエレベーターは設置されていますか

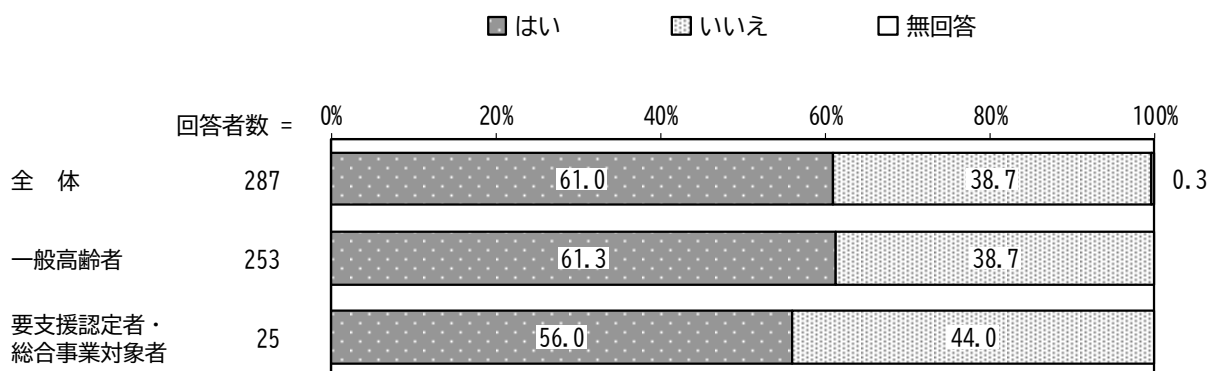
「はい」の割合が61.0%、「いいえ」の割合が38.7%となっています。

回答者数 = 287



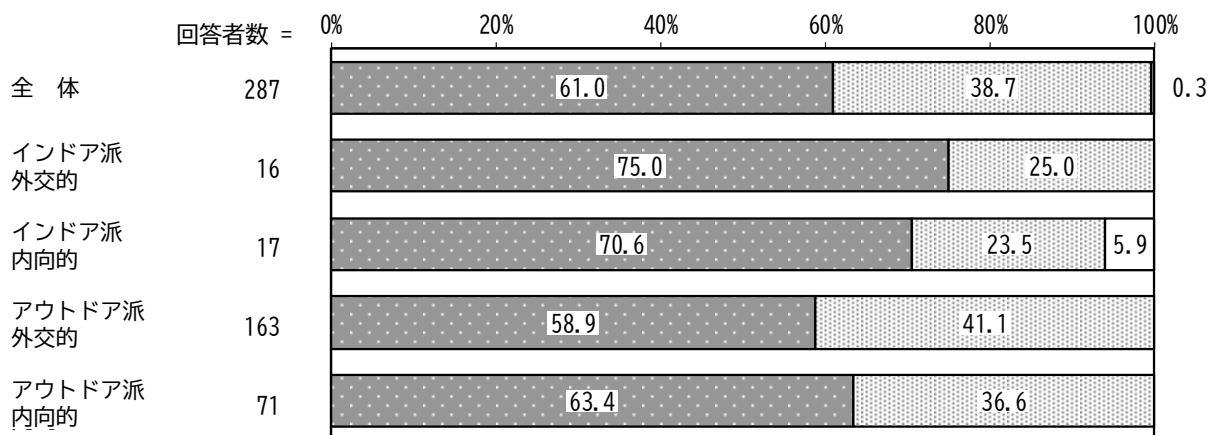
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

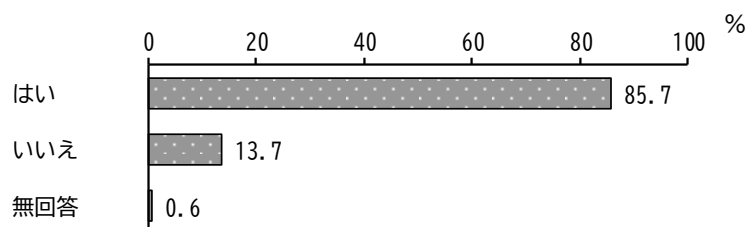


【Q1で「1. はい」の方のみ】

②. お住まいの階にエレベーターは止まりますか

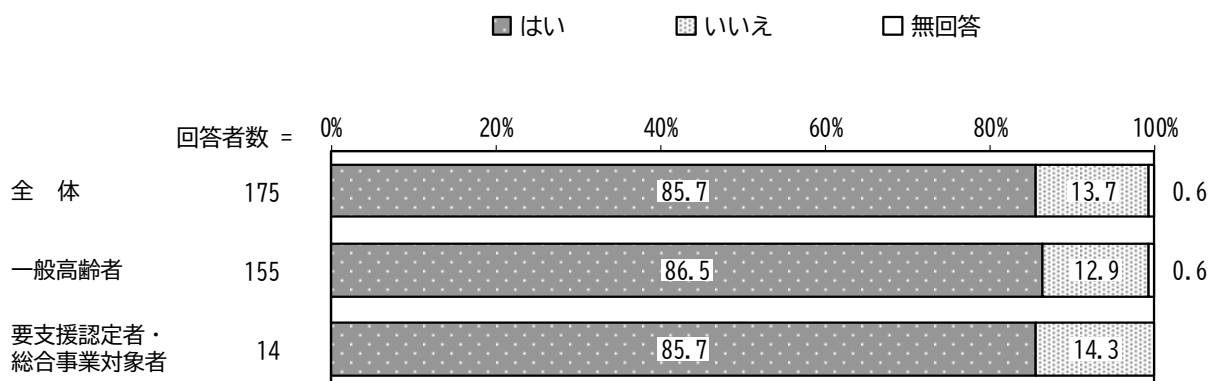
「はい」の割合が85.7%、「いいえ」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 175



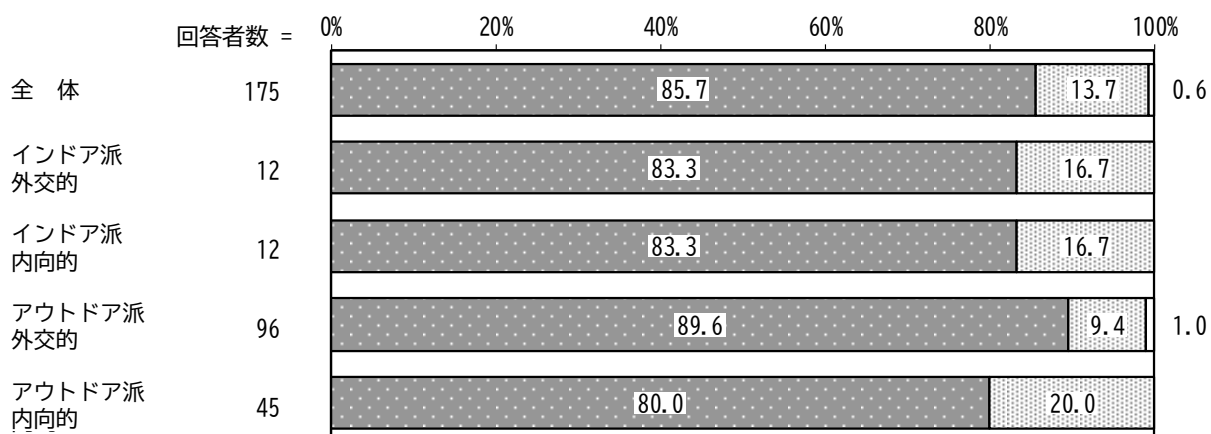
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



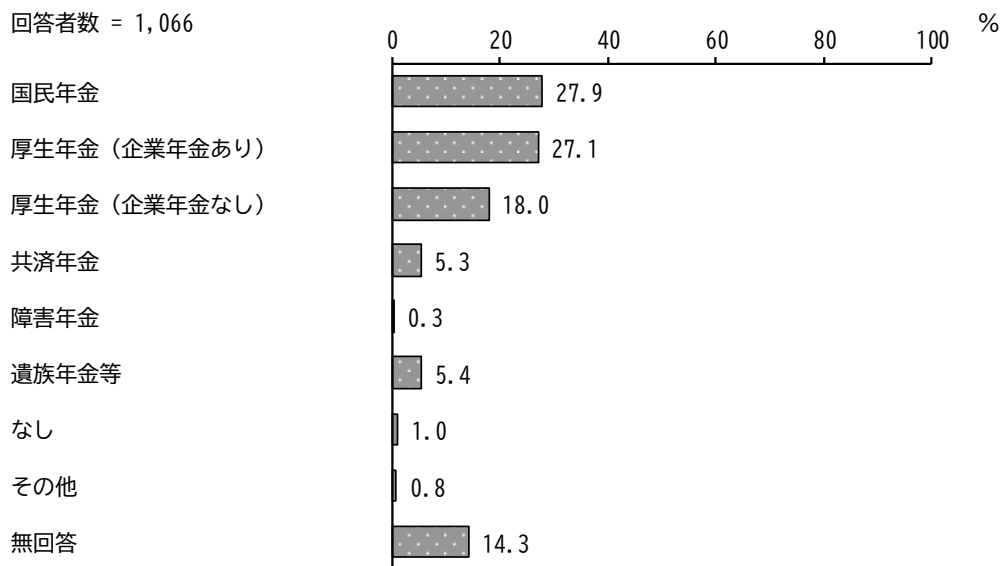
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



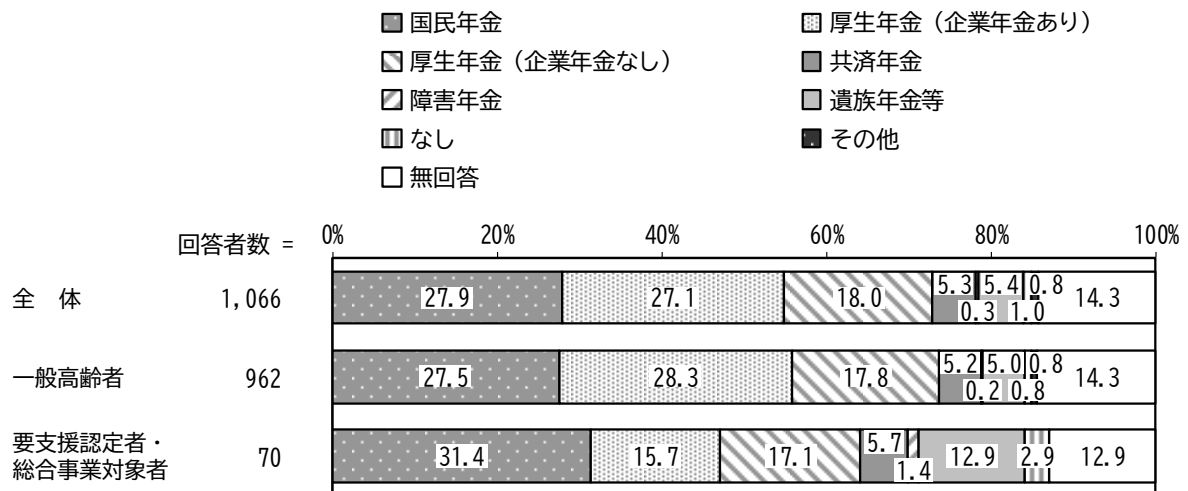
Q2. 年金の種類は次のうちどれですか（1つのみ）

「国民年金」の割合が27.9%と最も高く、次いで「厚生年金（企業年金あり）」の割合が27.1%、「厚生年金（企業年金なし）」の割合が18.0%となっています。



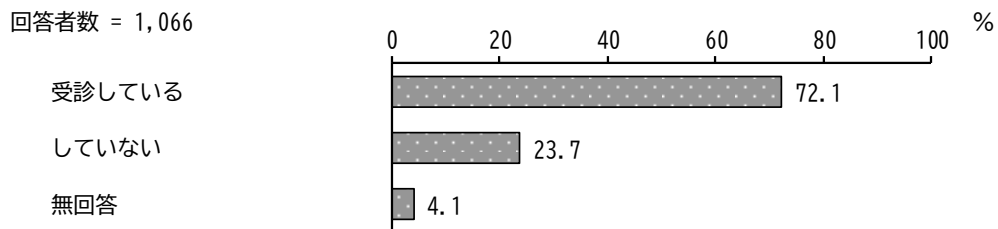
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



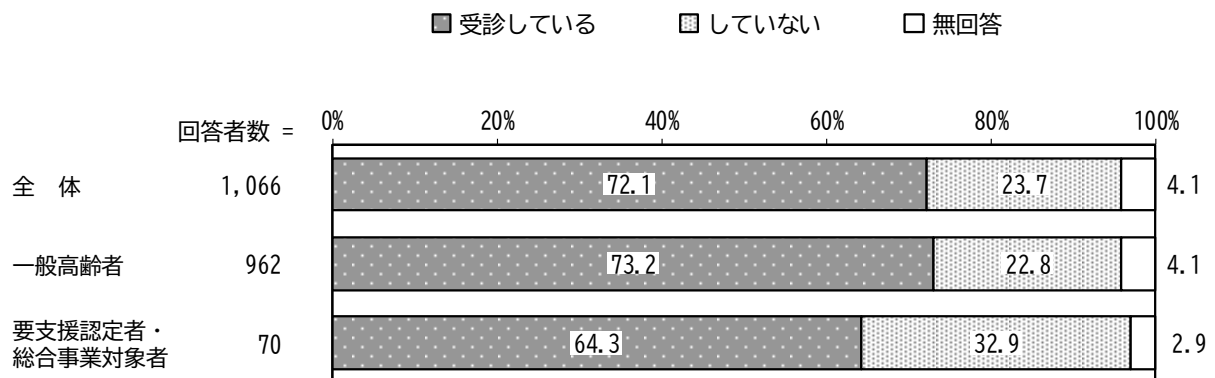
Q3. 定期的に健康診断を受診されていますか

「受診している」の割合が72.1%、「していない」の割合が23.7%となっています。



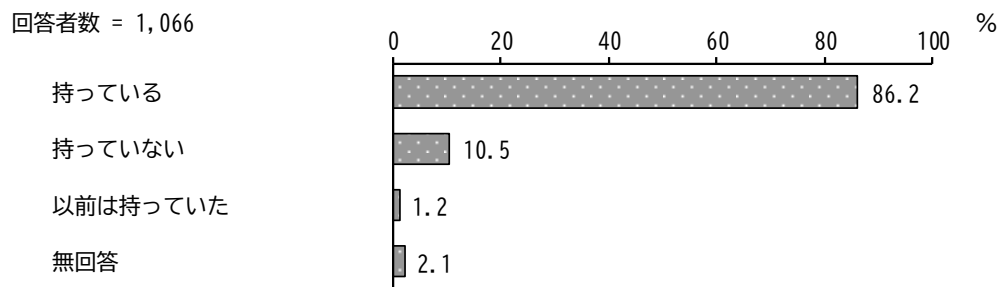
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「していない」の割合が高くなっています。



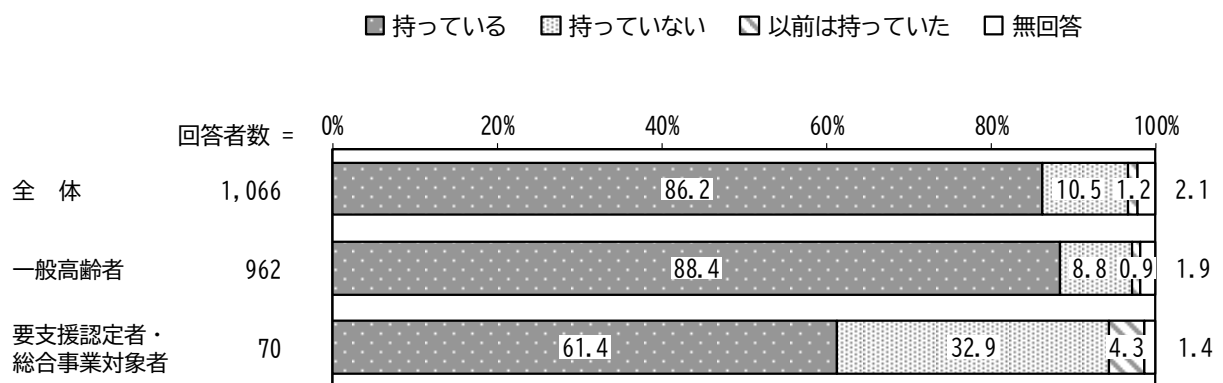
Q4. 携帯電話（スマートフォン含む）を持っていますか（1つのみ）

「持っている」の割合が86.2%と最も高く、次いで「持っていない」の割合が10.5%となっています。



【認定別】

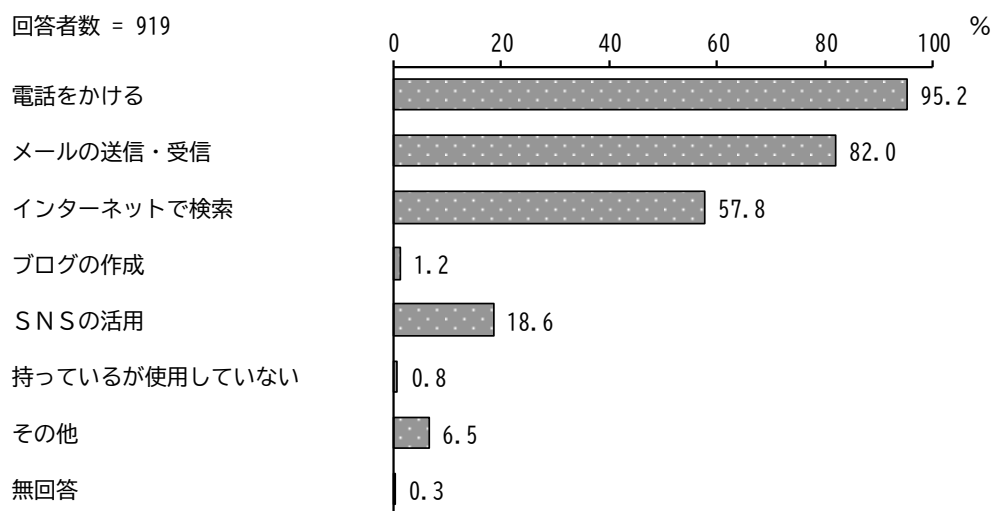
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「持っていない」の割合が高くなっています。



【Q4で「1. 持っている」の方のみ】

- ①. あなたが携帯電話（スマートフォン含む）でしていることを教えてください（いくつでも）

「電話をかける」の割合が 95.2%と最も高く、次いで「メールの送信・受信」の割合が 82.0%、「インターネットで検索」の割合が 57.8%となっています。



【認定別】

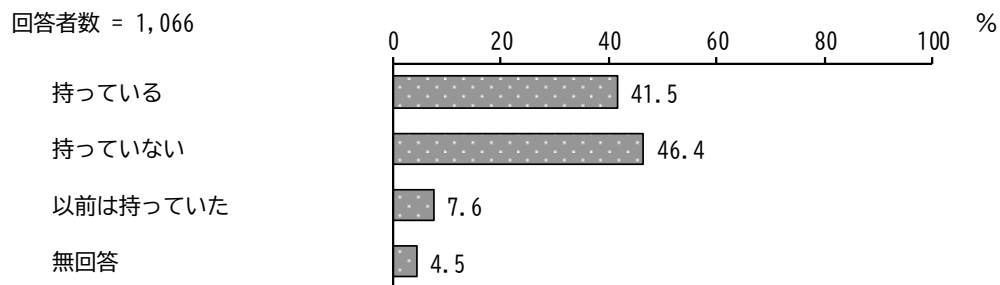
認定別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	電話を かける	メー ルの送 信・受 信	検 索 イ ン タ ー ネ ッ ト で	ブ ロ グ の 作 成	S N S の 活 用	持 っ て い る が 使 用 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	919	95.2	82.0	57.8	1.2	18.6	0.8	6.5	0.3
一般高齢者	850	95.3	84.2	59.9	1.3	19.5	0.7	6.8	0.4
要支援認定者・ 総合事業対象者	43	93.0	51.2	30.2	—	7.0	2.3	4.7	—

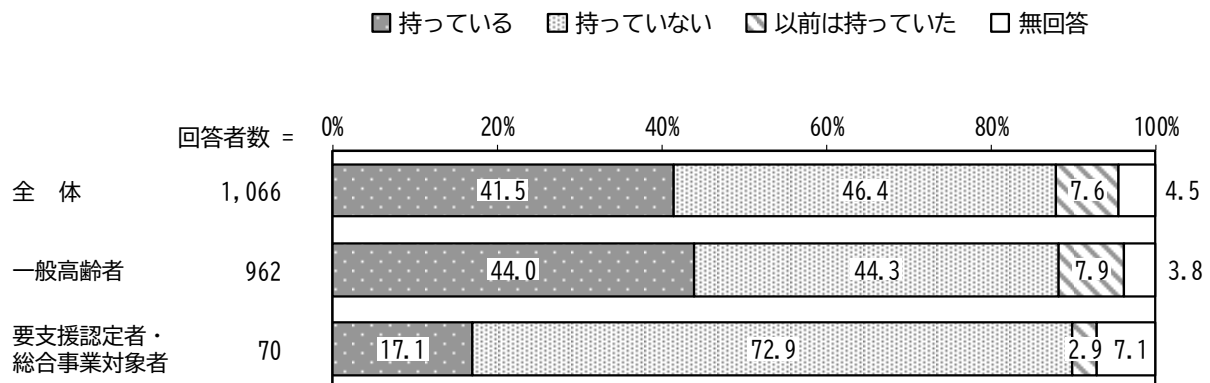
Q5. パソコンを持っていますか（1つのみ）

「持っていない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「持っている」の割合が41.5%となっています。



【認定別】

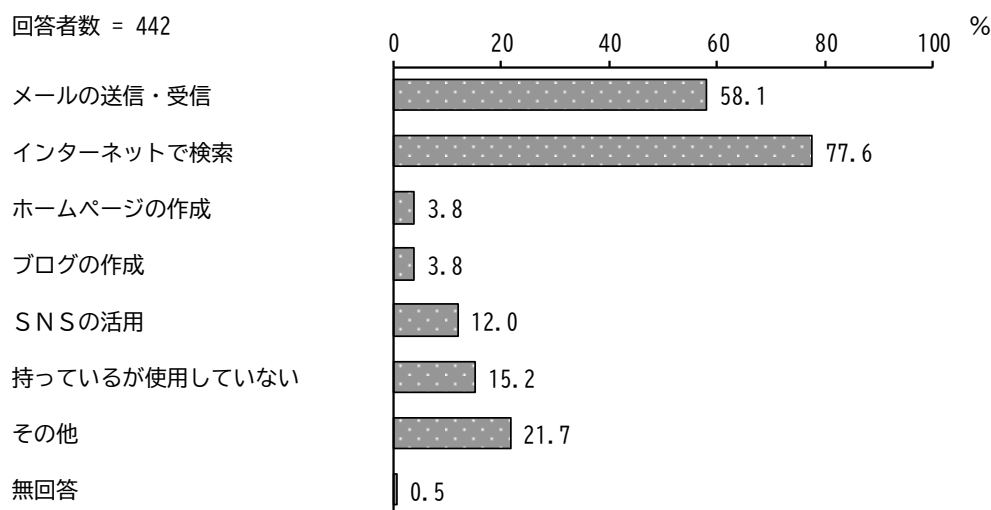
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「持っていない」の割合が高くなっています。



【Q5で「1. 持っている」の方のみ】

①. あなたがパソコンでしていることを教えてください（いくつでも）

「インターネットで検索」の割合が77.6%と最も高く、次いで「メールの送信・受信」の割合が58.1%、「持っているが使用していない」の割合が15.2%となっています。



【認定別】

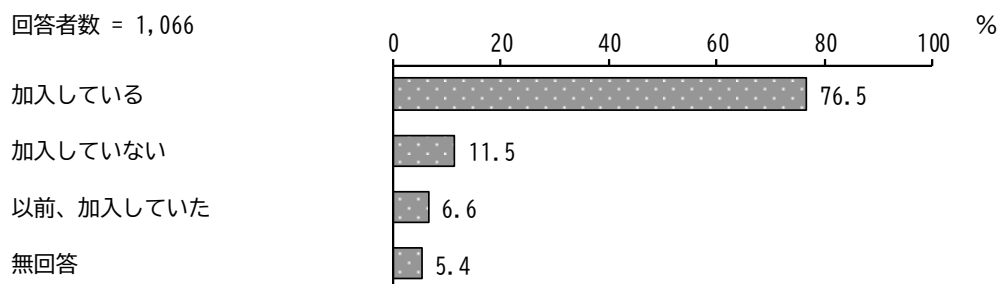
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「持っているが使用していない」「メールの送信・受信」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	メールの送信・受信	インターネットで検索	ホームページの作成	ブログの作成	SNSの活用	持っているが使用していない	その他	無回答
全 体	442	58.1	77.6	3.8	3.8	12.0	15.2	21.7	0.5
一般高齢者	423	57.7	78.0	3.8	4.0	12.3	14.9	22.2	0.5
要支援認定者・ 総合事業対象者	12	66.7	58.3	8.3	—	8.3	25.0	16.7	—

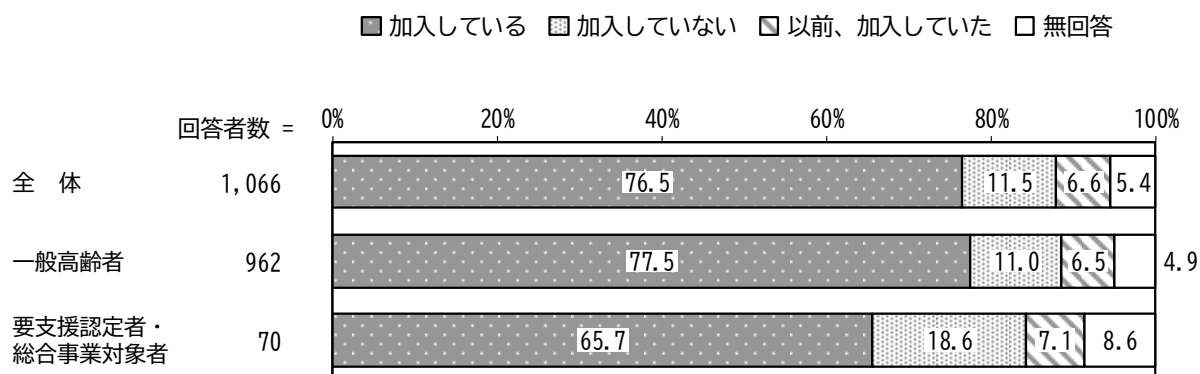
Q6. 自治会に加入していますか（1つのみ）

「加入している」の割合が76.5%と最も高く、次いで「加入していない」の割合が11.5%となっています。



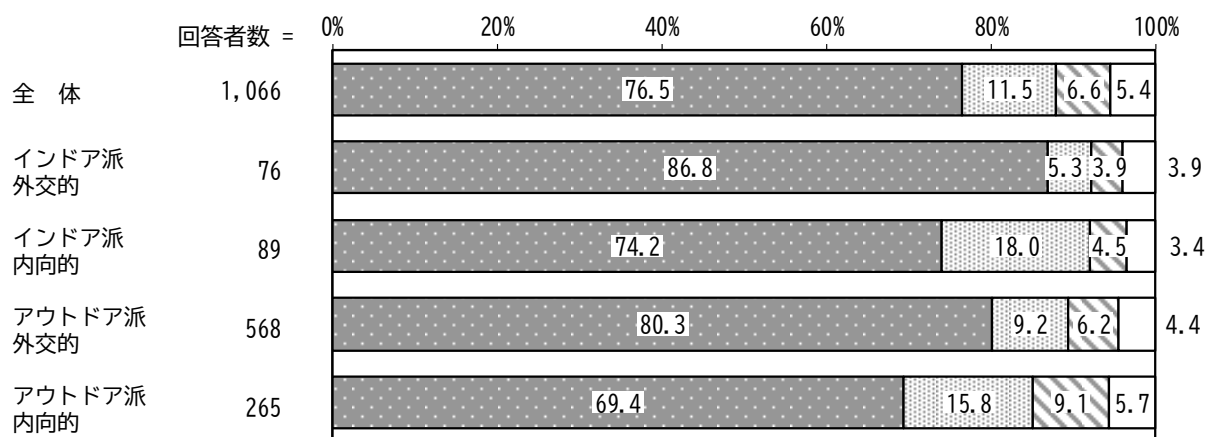
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「加入していない」の割合が高くなっています。



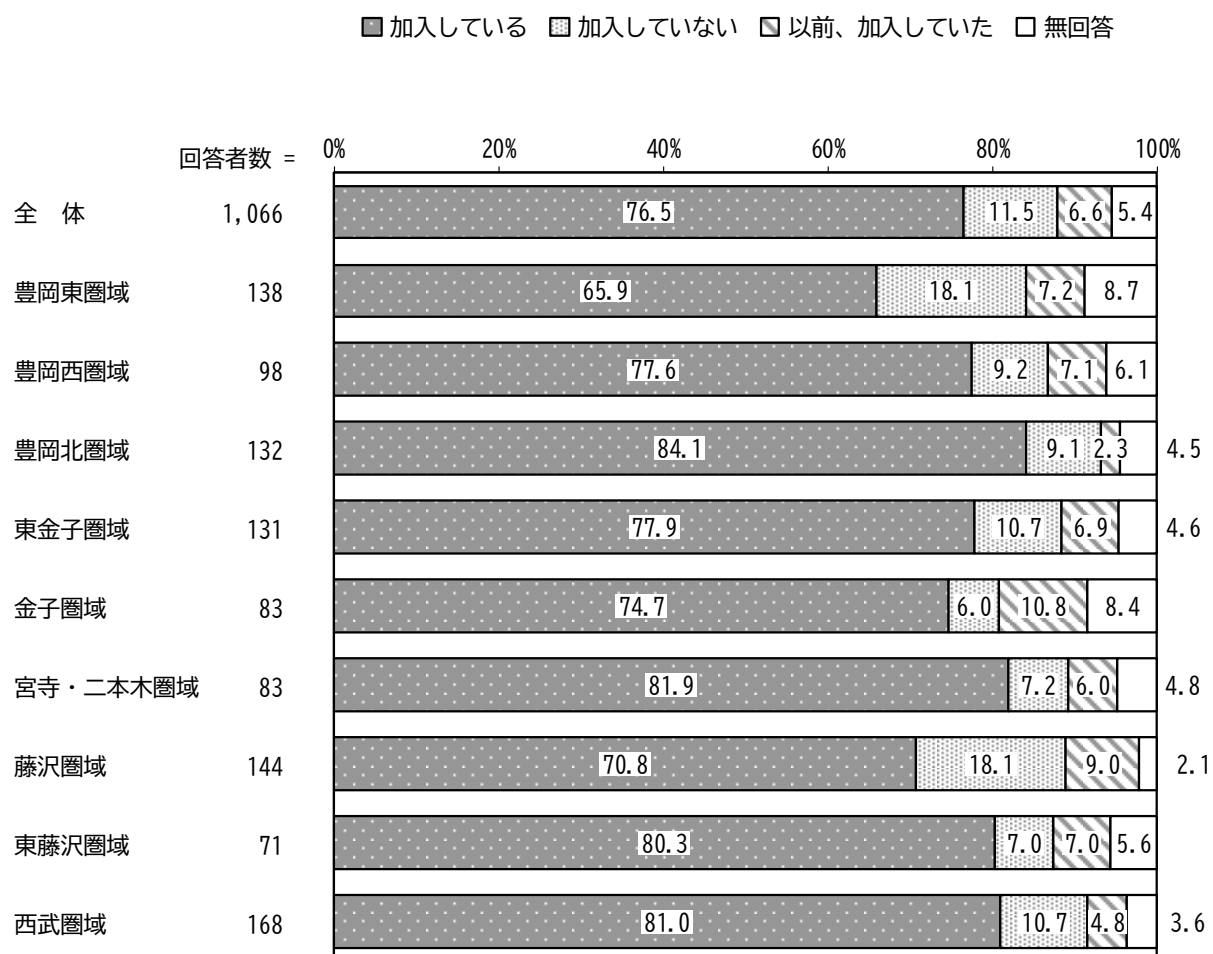
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「加入している」の割合が、インドア派内向的で「加入していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、豊岡北圏域、宮寺・二本木圏域で「加入している」の割合が、豊岡東圏域、藤沢圏域で「加入していない」の割合が高くなっています。

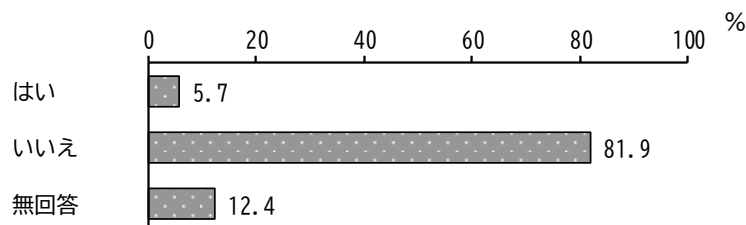


【Q6で「2. 加入していない」「3. 以前、加入していた」の方のみ】

①. 今後、自治会に加入したいですか

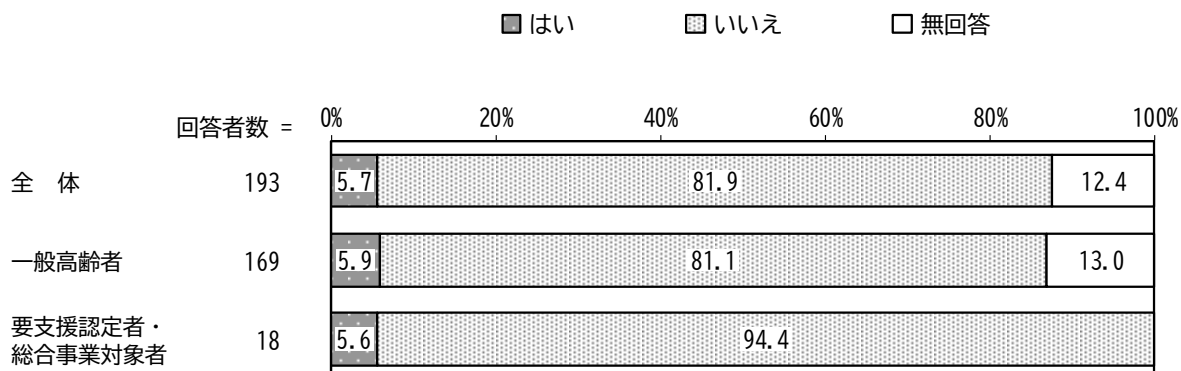
「はい」の割合が5.7%、「いいえ」の割合が81.9%となっています。

回答者数 = 193



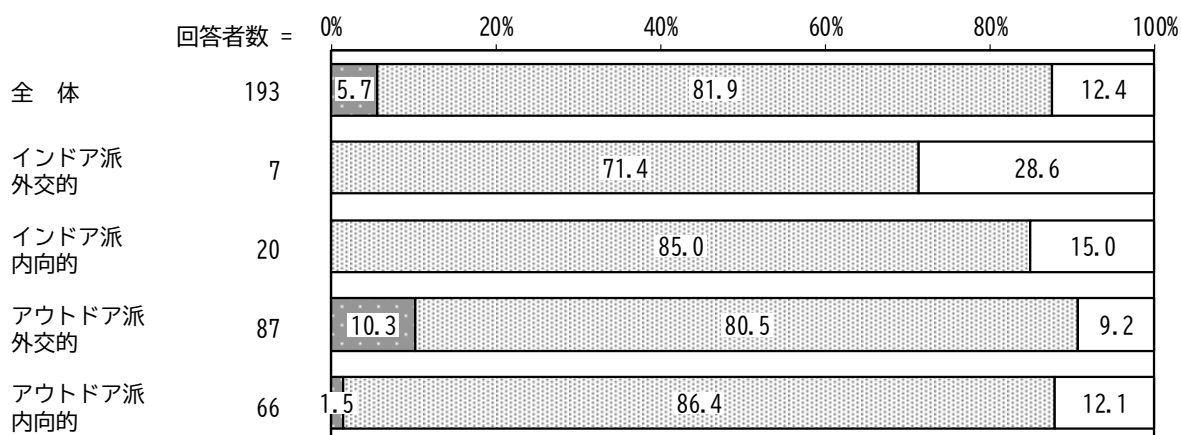
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



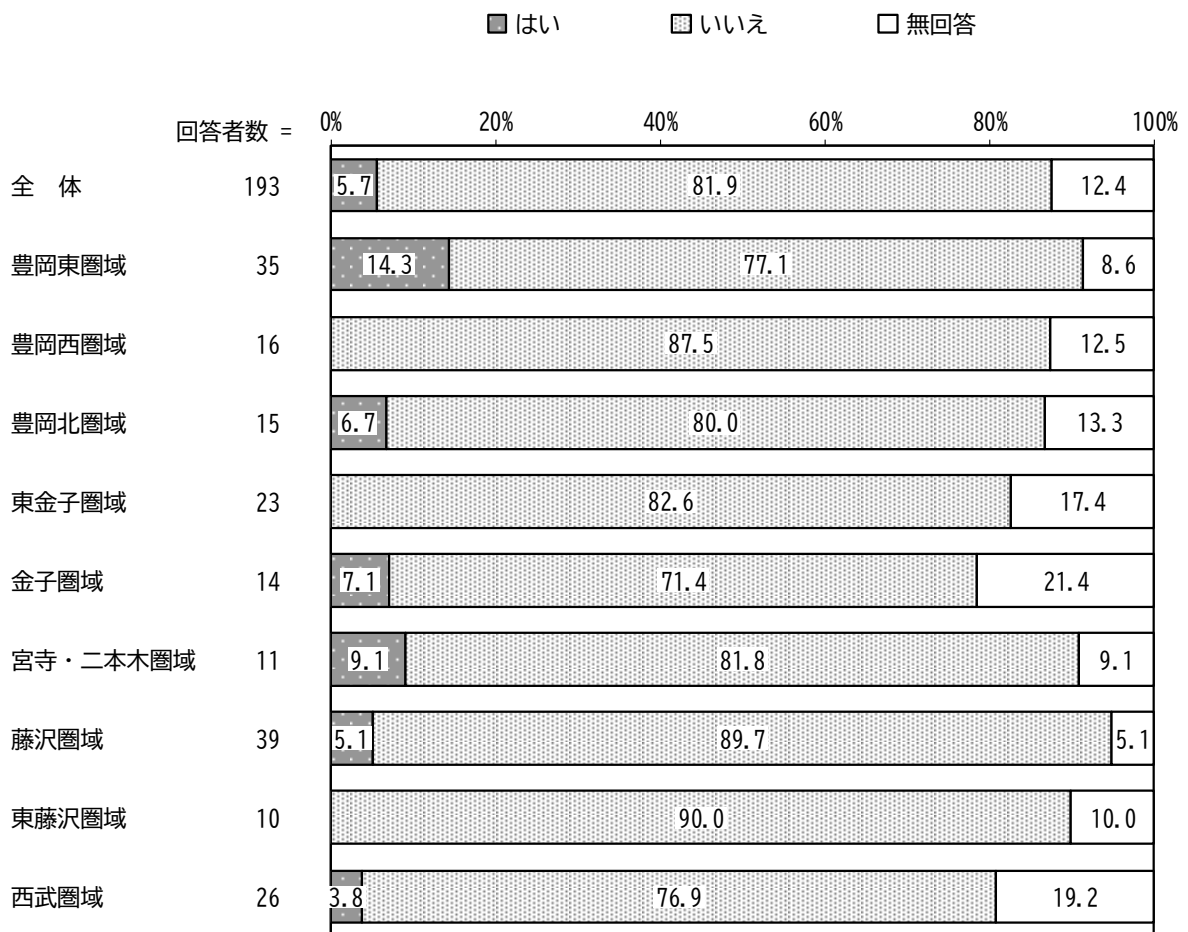
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、大きな差はみられません。



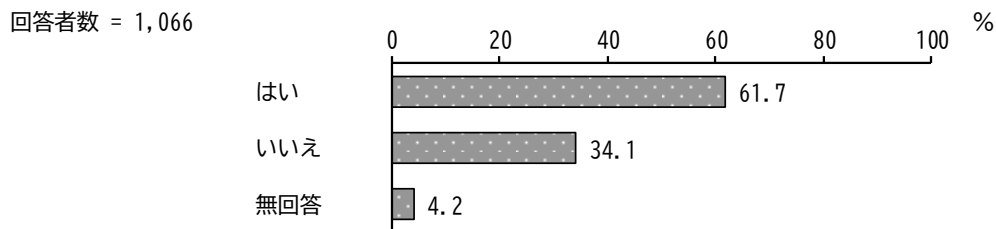
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、東藤沢圏域、藤沢圏域、豊岡西圏域で「いいえ」の割合が高くなっています。



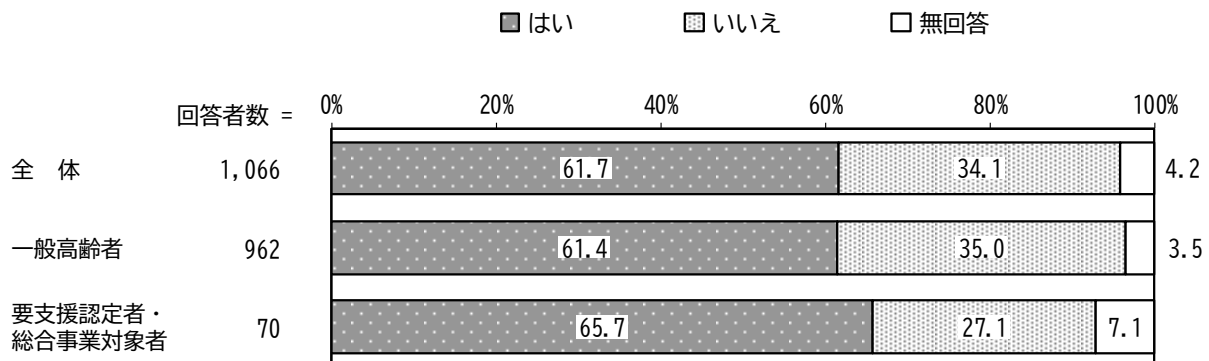
Q 7. 老人クラブを知っていますか

「はい」の割合が61.7%、「いいえ」の割合が34.1%となっています。



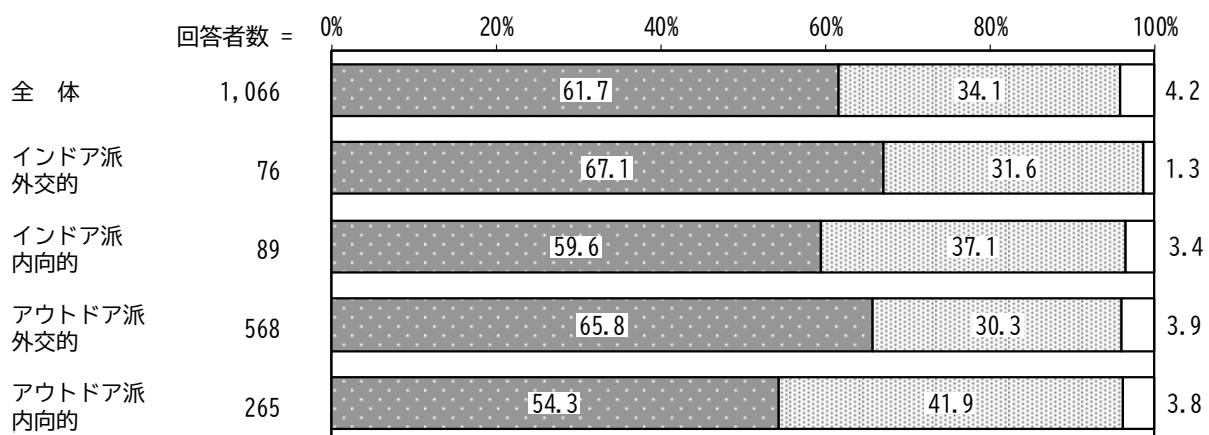
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



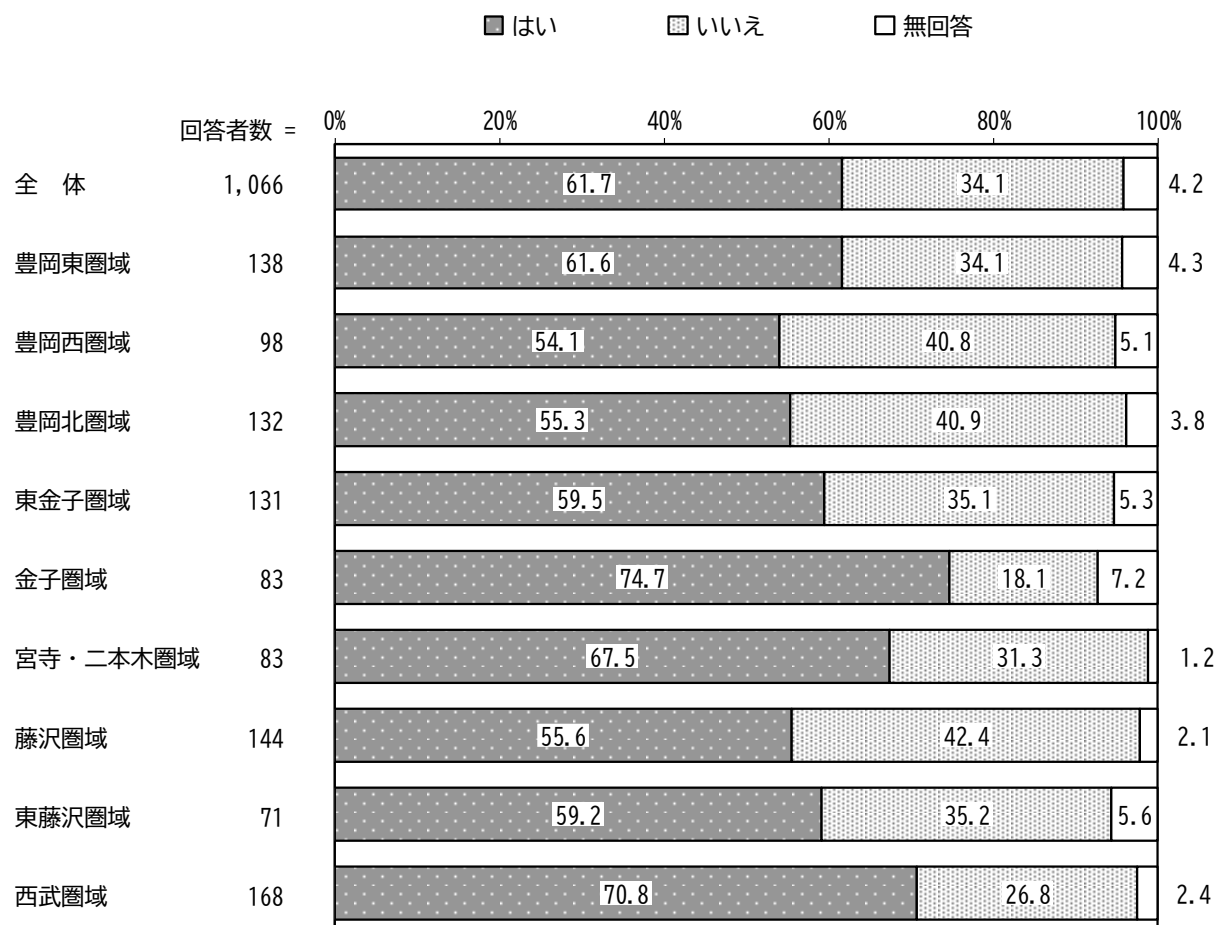
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、金子圏域、西武圏域で「はい」の割合が、藤沢圏域で「いいえ」の割合が高くなっています。

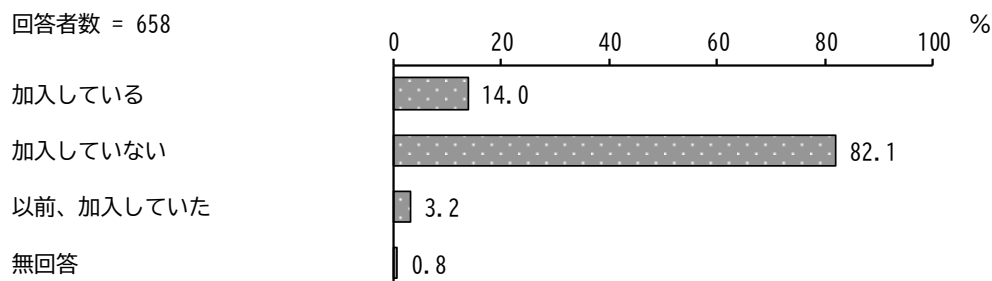


【Q7で「1. はい」の方のみ】

①. 老人クラブに加入していますか（1つのみ）

「加入していない」の割合が82.1%と最も高く、次いで「加入している」の割合が14.0%となっています。

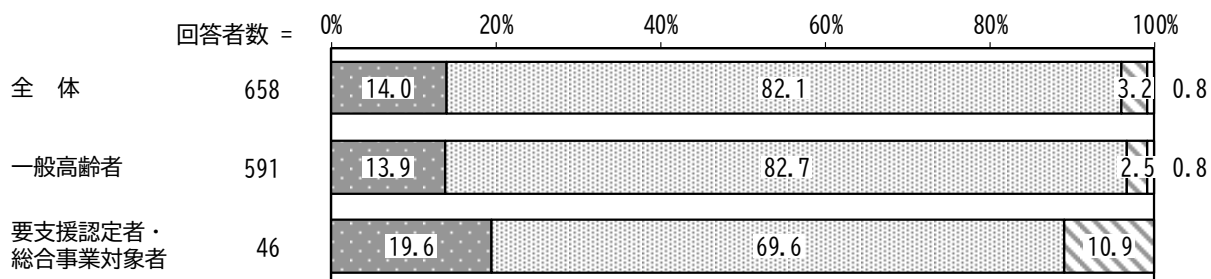
回答者数 = 658



【認定別】

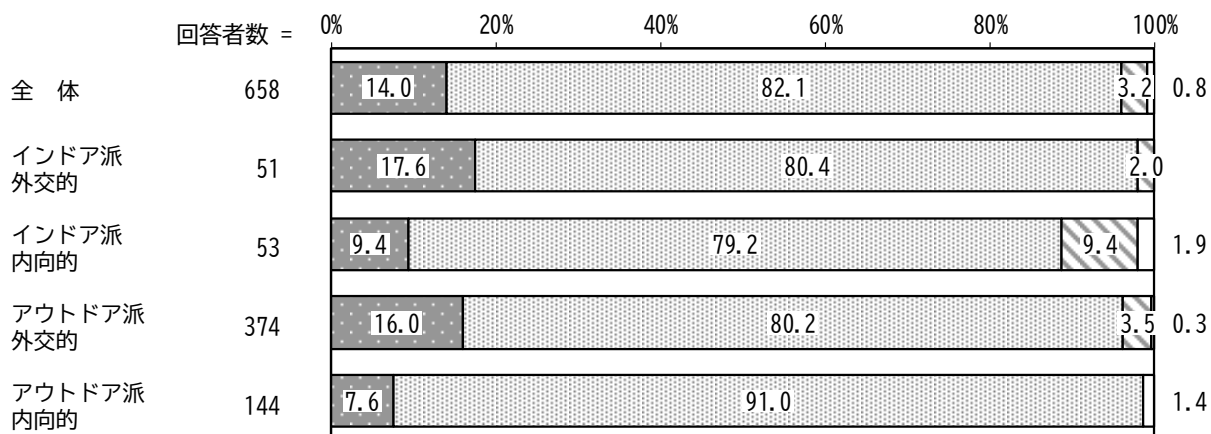
認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「加入している」の割合が高くなっています。

■ 加入している ■ 加入していない ■ 以前、加入していた □ 無回答



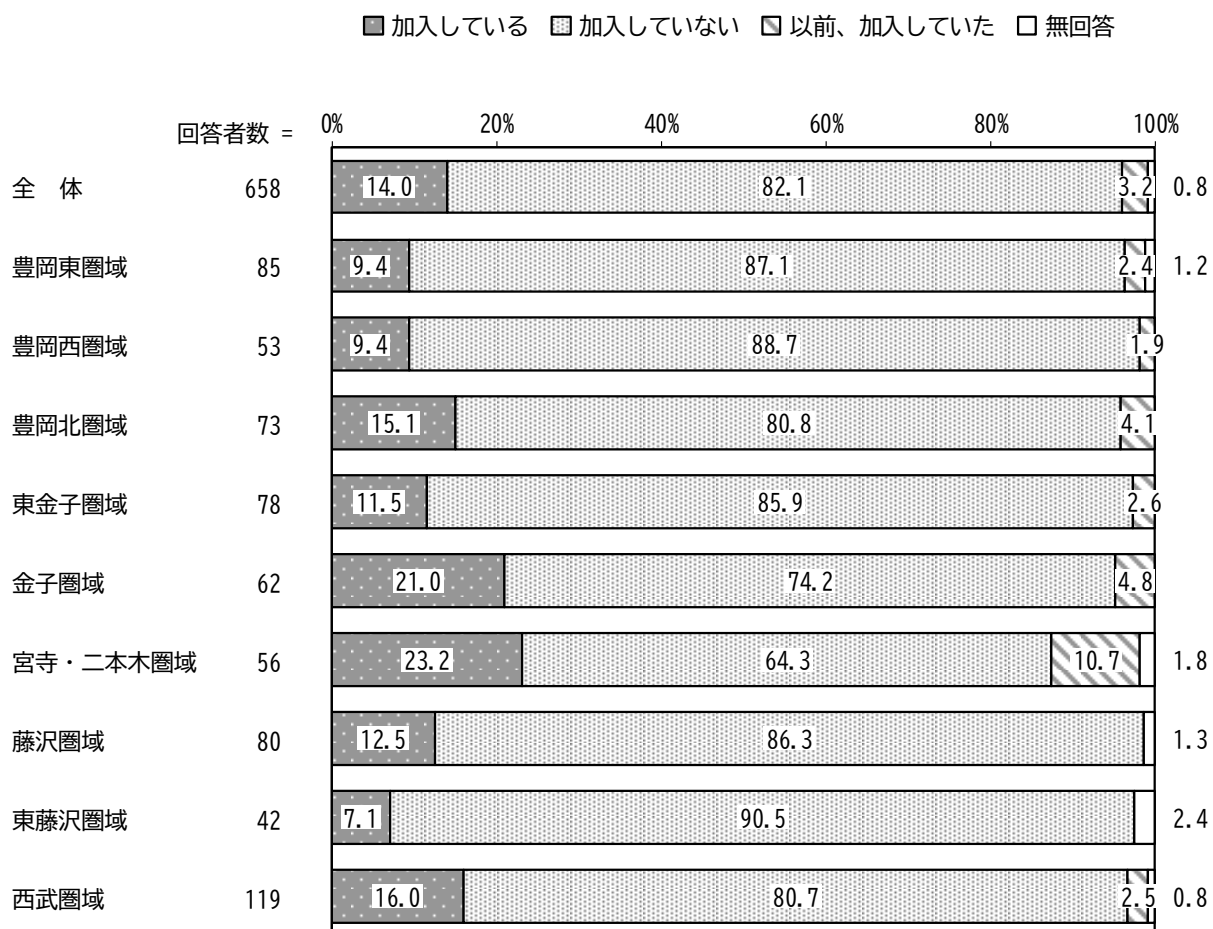
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派内向的で「加入していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、宮寺・二本木圏域、金子圏域で「加入している」の割合が、東藤沢圏域で「加入していない」の割合が高くなっています。

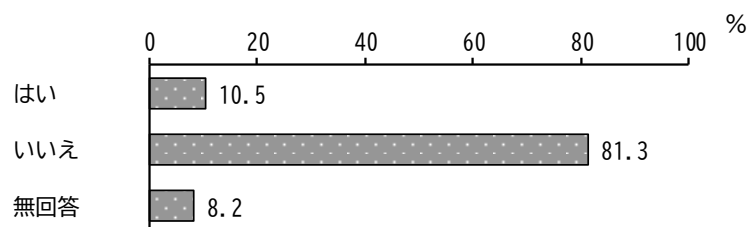


【①. で「2. 加入していない」「3. 以前、加入していた」の方のみ】

②. 今後、老人クラブに加入したいですか

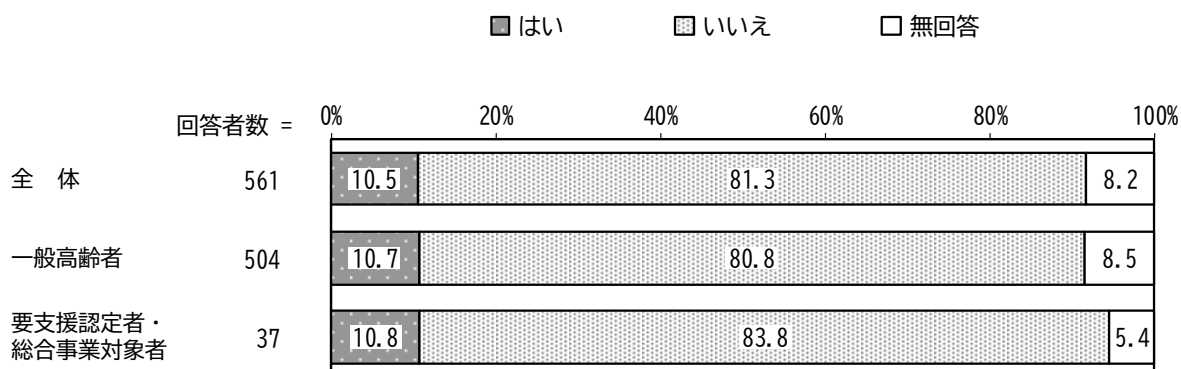
「はい」の割合が10.5%、「いいえ」の割合が81.3%となっています。

回答者数 = 561



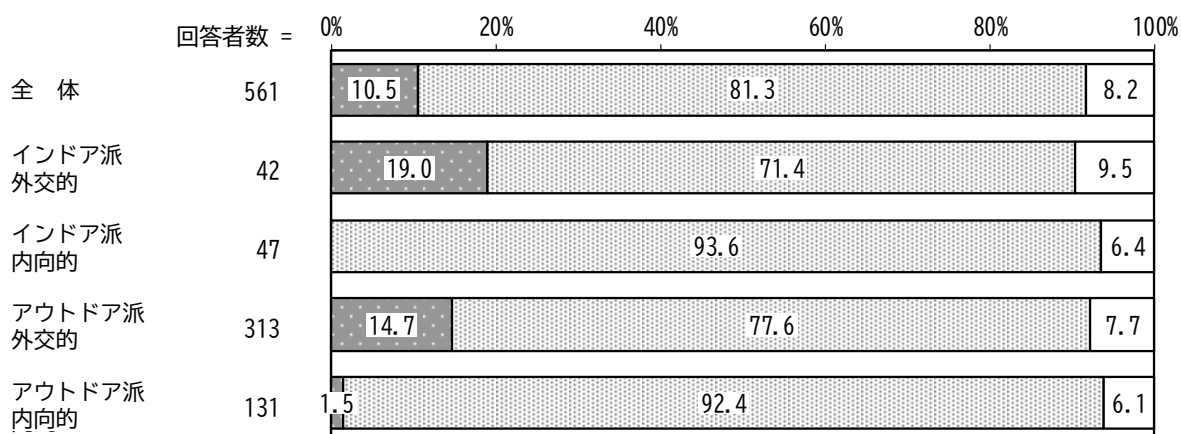
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



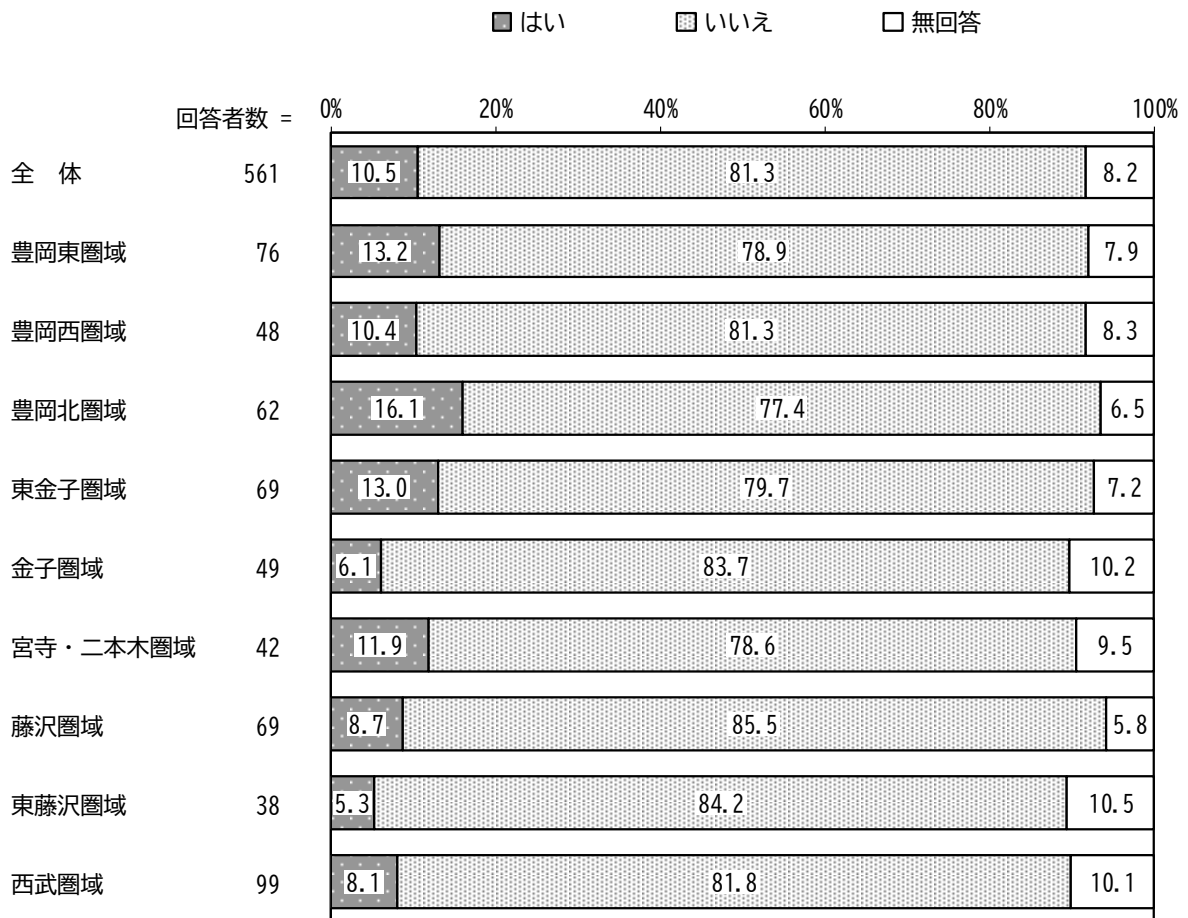
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、豊岡北圏域で「はい」の割合が高くなっています。

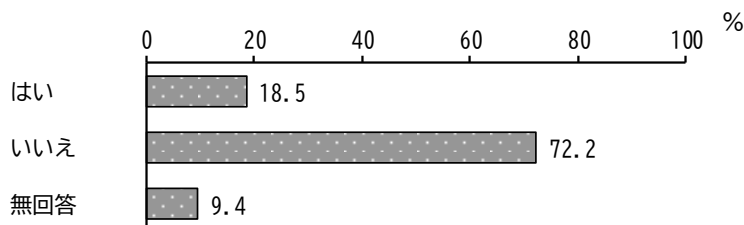


【Q7で「1. いいえ」の方のみ】

③. 老人クラブの活動について知りたいですか

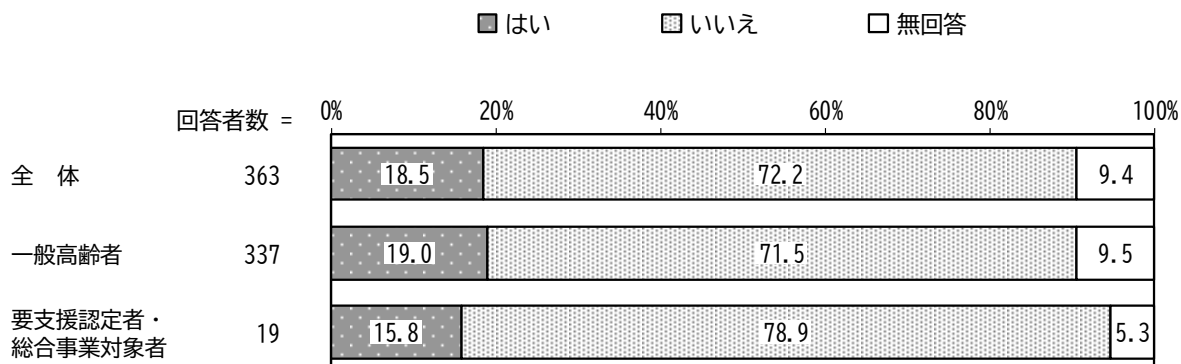
「はい」の割合が18.5%、「いいえ」の割合が72.2%となっています。

回答者数 = 363



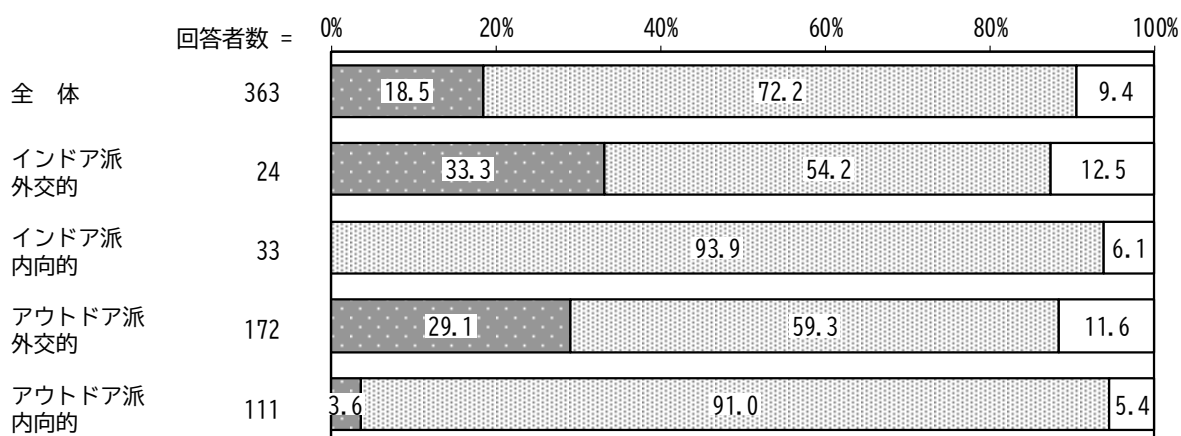
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



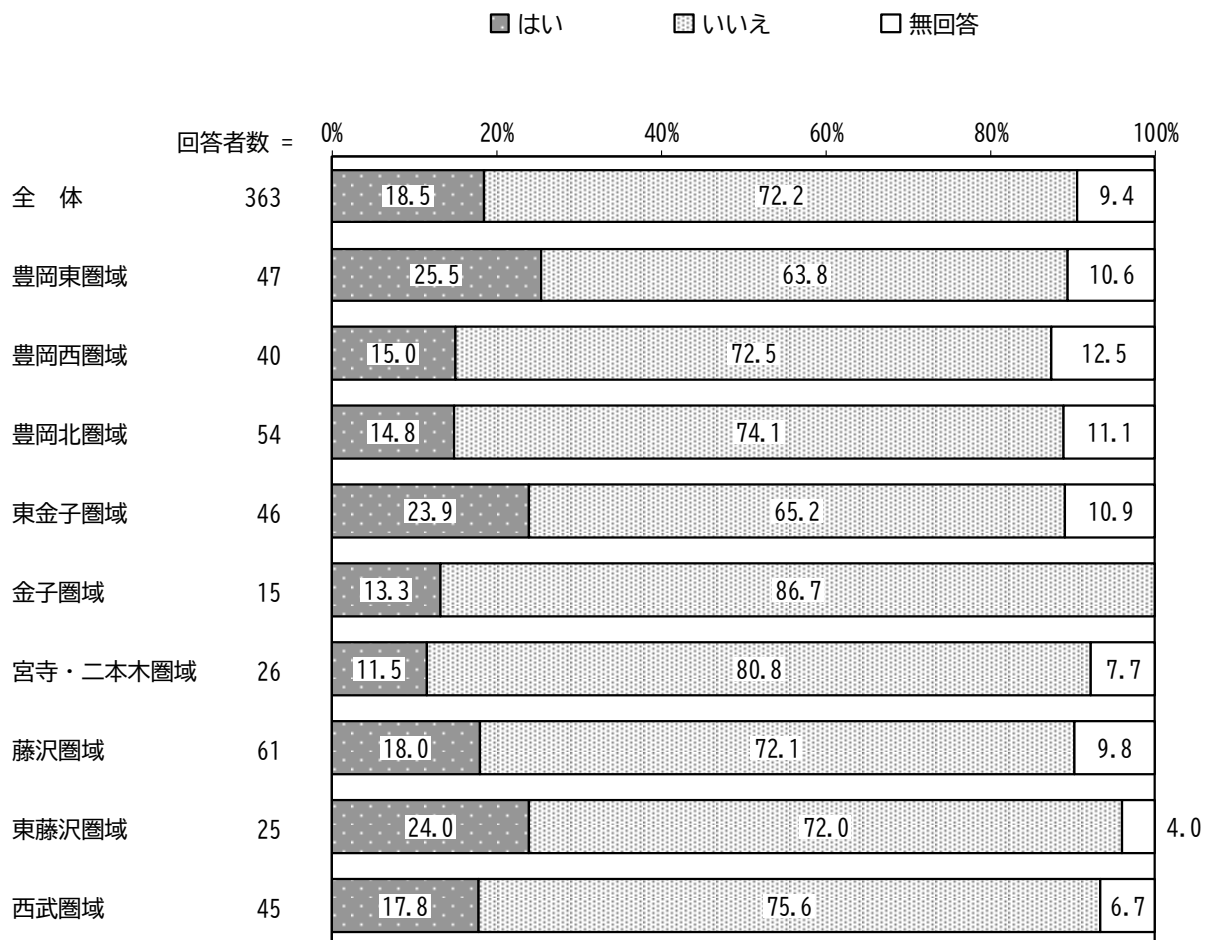
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



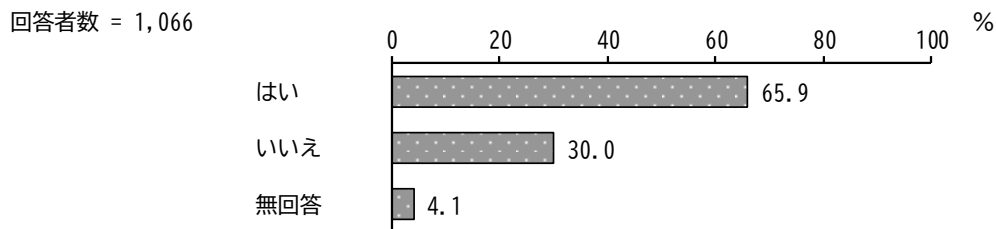
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、金子圏域、宮寺・二本木圏域で「いいえ」の割合が、豊岡東圏域で「はい」の割合が高くなっています。



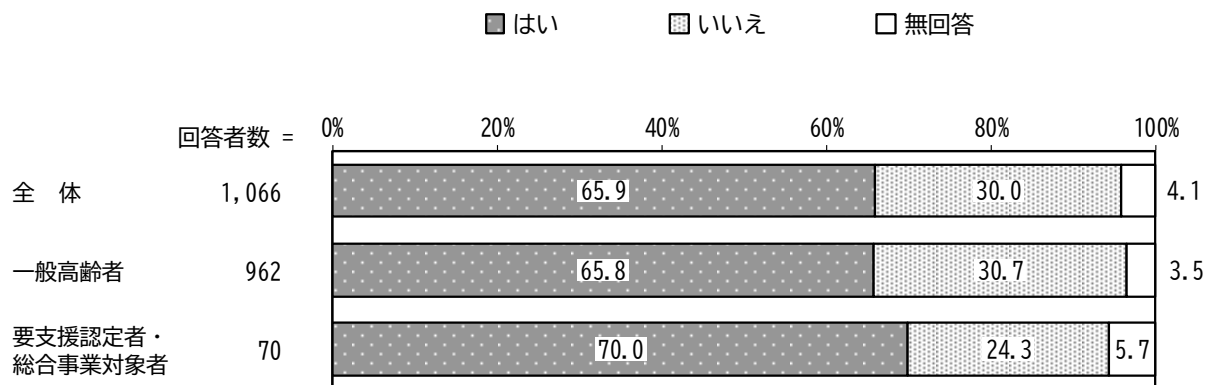
Q8. 老人福祉センターやまゆり荘（以下「やまゆり荘」という）を知っていますか

「はい」の割合が65.9%、「いいえ」の割合が30.0%となっています。



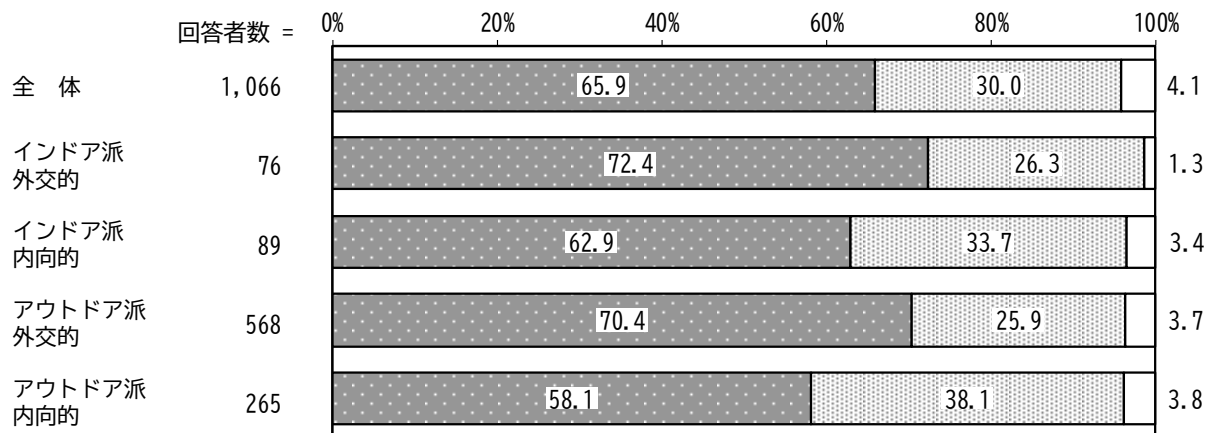
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派内向的で「いいえ」の割合が、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

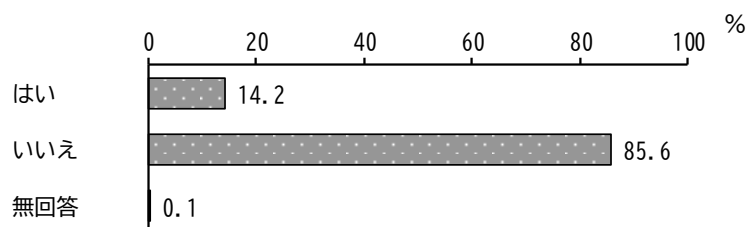


【Q8で「1. はい」の方のみ】

①. やまゆり荘を利用したことがありますか

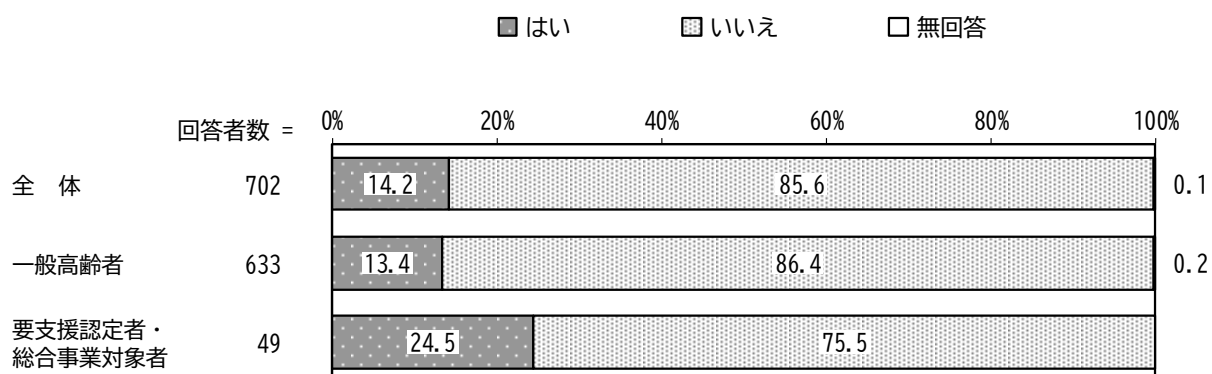
「はい」の割合が14.2%、「いいえ」の割合が85.6%となっています。

回答者数 = 702



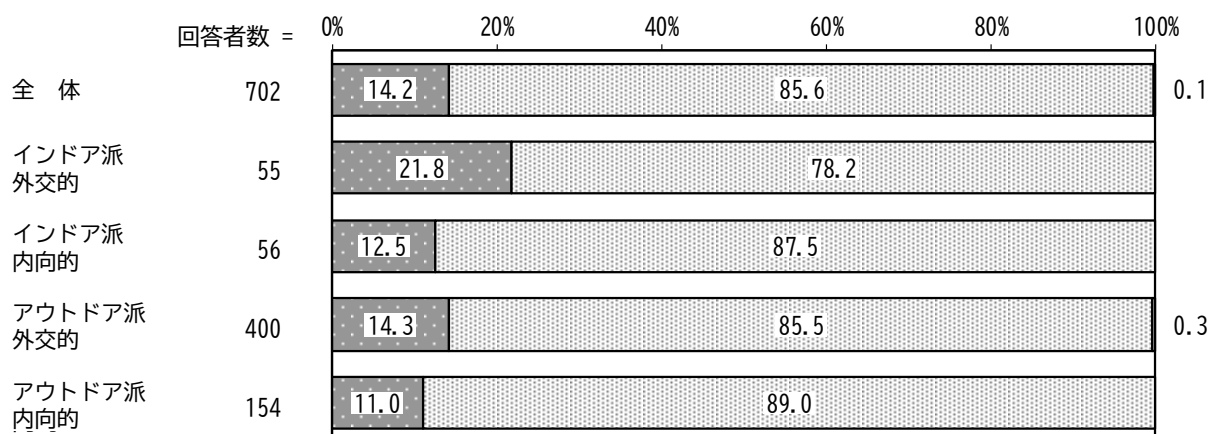
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

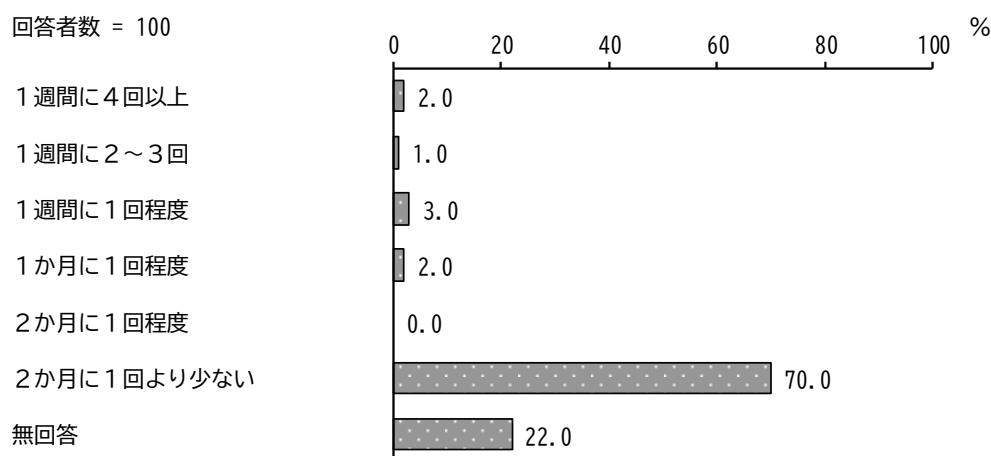
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。



【①. で「1. はい」の方のみ】

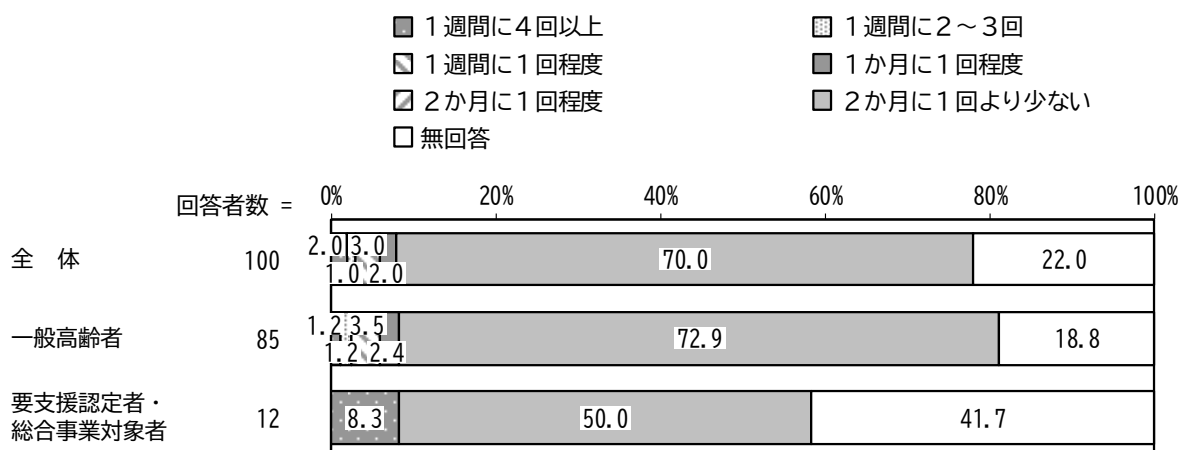
②. やまゆり荘の利用頻度について教えてください（1つのみ）

「2か月に1回より少ない」の割合が70.0%と最も高くなっています。



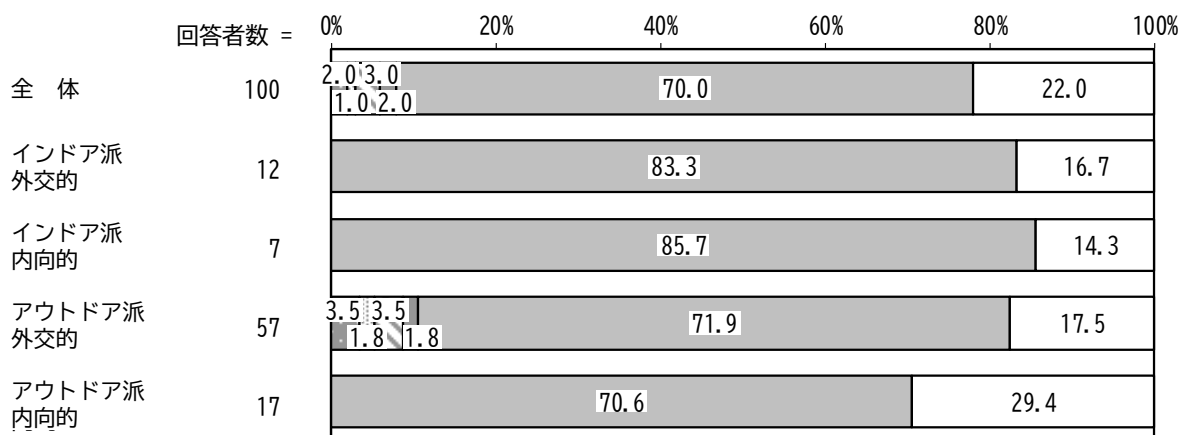
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「2か月に1回より少ない」の割合が高くなっています。

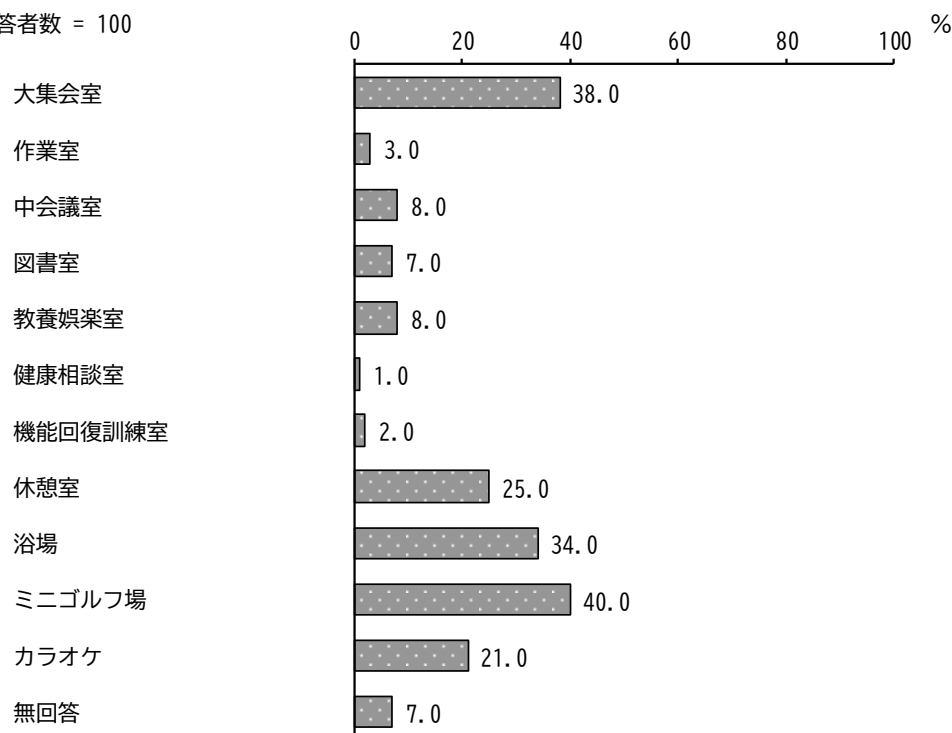


【①. で「1. はい」の方のみ】

③. やまゆり荘で利用したことがある部屋等を教えてください（いくつでも）

「ミニゴルフ場」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「大集会室」の割合が 38.0%、「浴場」の割合が 34.0%となっています。

回答者数 = 100



【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「浴場」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	大集会室	作業室	中会議室	図書室	教養娯楽室	健康相談室	機能回復訓練室	休憩室	浴場	ミニゴルフ場	カラオケ	無回答
全 体	100	38.0	3.0	8.0	7.0	8.0	1.0	2.0	25.0	34.0	40.0	21.0	7.0
一般高齢者	85	41.2	3.5	8.2	7.1	9.4	—	1.2	27.1	31.8	40.0	20.0	3.5
要支援認定者・ 総合事業対象者	12	16.7	—	—	—	—	—	—	8.3	41.7	41.7	25.0	25.0

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「ミニゴルフ場」「休憩室」の割合が、アウトドア派内向的で「浴場」の割合が高くなっています。

単位：％

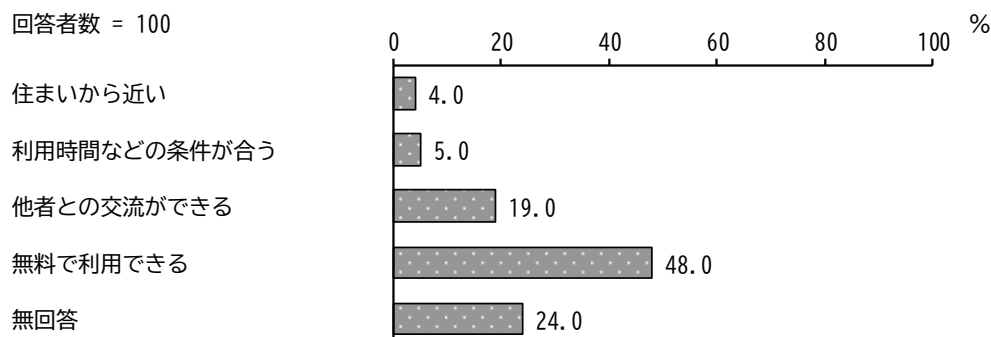
区分	回答者数 (件)	大集会室	作業室	中会議室	図書室	教養 娯楽室	健康 相談室	機能 回復訓練室	休憩室	浴場	ミニ ゴルフ場	カラ オケ	無回 答
全 体	100	38.0	3.0	8.0	7.0	8.0	1.0	2.0	25.0	34.0	40.0	21.0	7.0
インドア派 外交的	12	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7	－	－	33.3	25.0	58.3	8.3	－
インドア派 内向的	7	57.1	－	14.3	－	－	－	－	28.6	57.1	57.1	28.6	－
アウトドア派 外交的	57	40.4	1.8	7.0	7.0	3.5	－	－	21.1	29.8	40.4	19.3	8.8
アウトドア派 内向的	17	41.2	－	11.8	5.9	17.6	5.9	11.8	29.4	47.1	23.5	23.5	5.9

【①. で「1. はい」の方のみ】

④. 利用する（した）理由について教えてください（1つのみ）

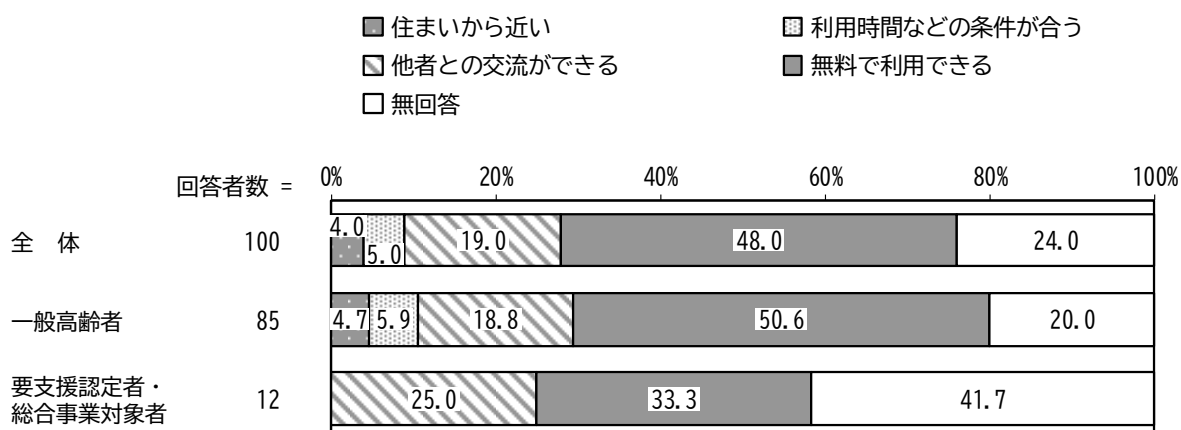
「無料で利用できる」の割合が48.0%と最も高く、次いで「他者との交流ができる」の割合が19.0%となっています。

回答者数 = 100



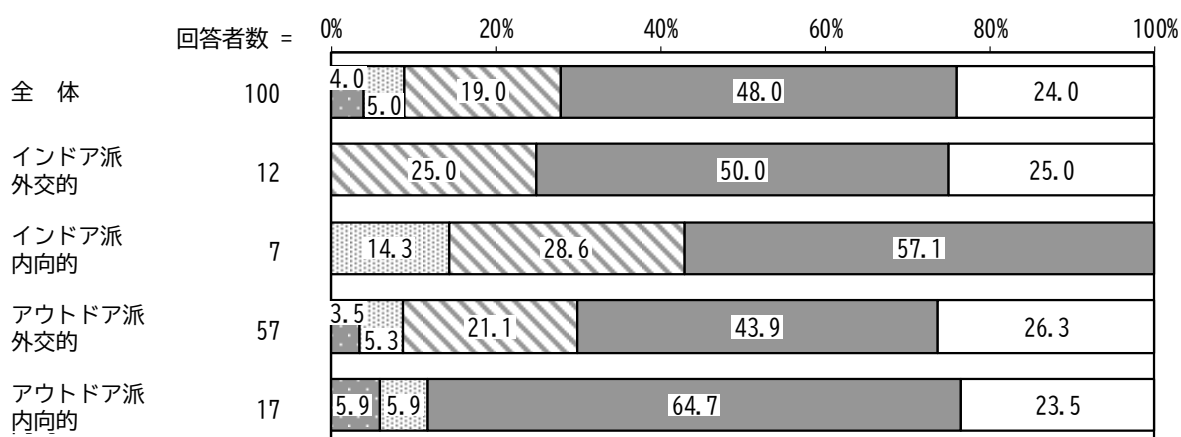
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「他者との交流ができる」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

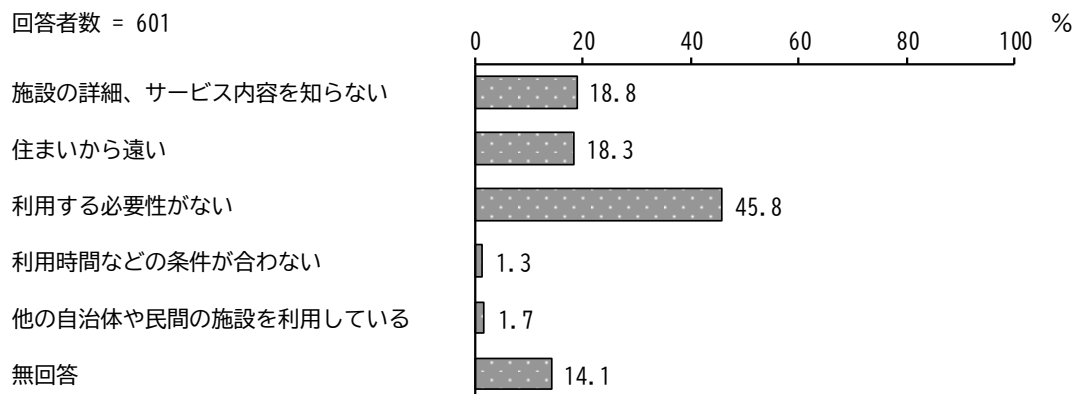
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派内向的で「無料で利用できる」の割合が、インドア派外交的で「他者との交流ができる」の割合が高くなっています。



【①. で「2. いいえ」の方のみ】

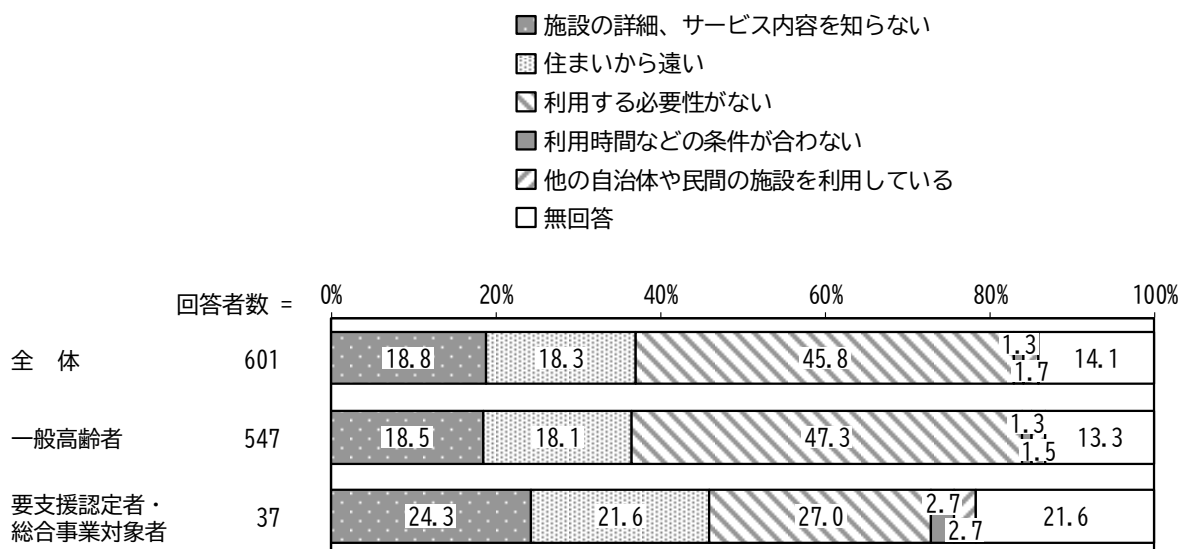
⑤. 利用しない理由について教えてください（1つのみ）

「利用する必要性がない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「施設の詳細、サービス内容を知らない」の割合が18.8%、「住まいから遠い」の割合が18.3%となっています。



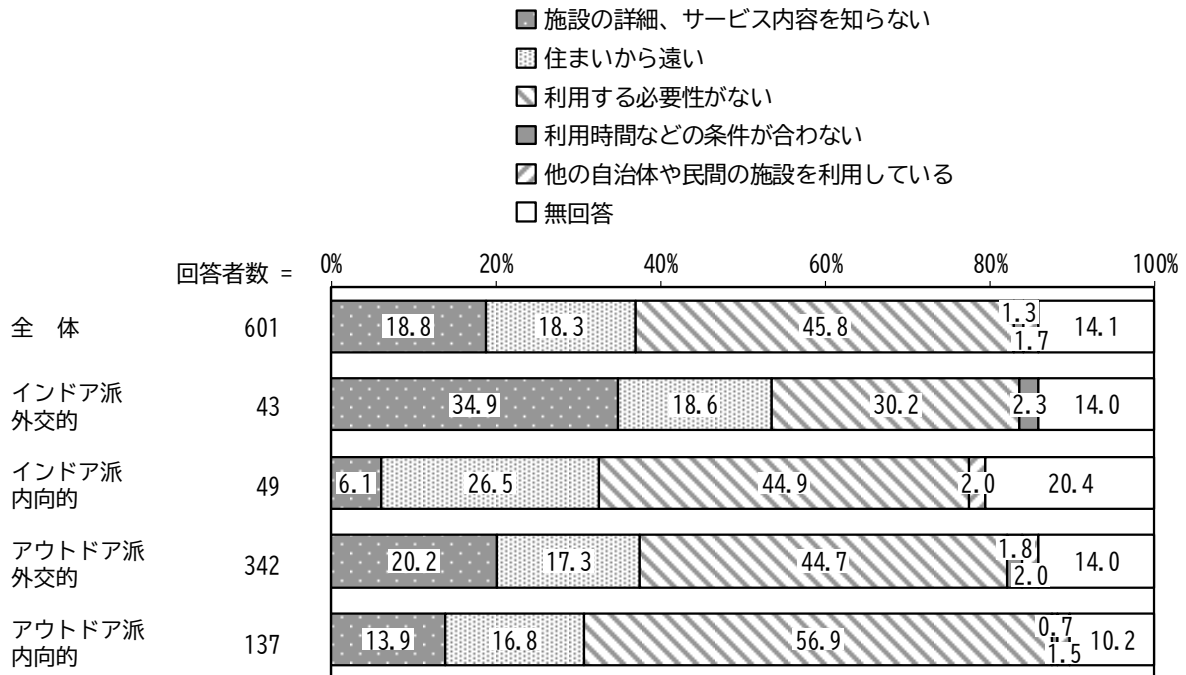
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「施設の詳細、サービス内容を知らない」の割合が高くなっています。



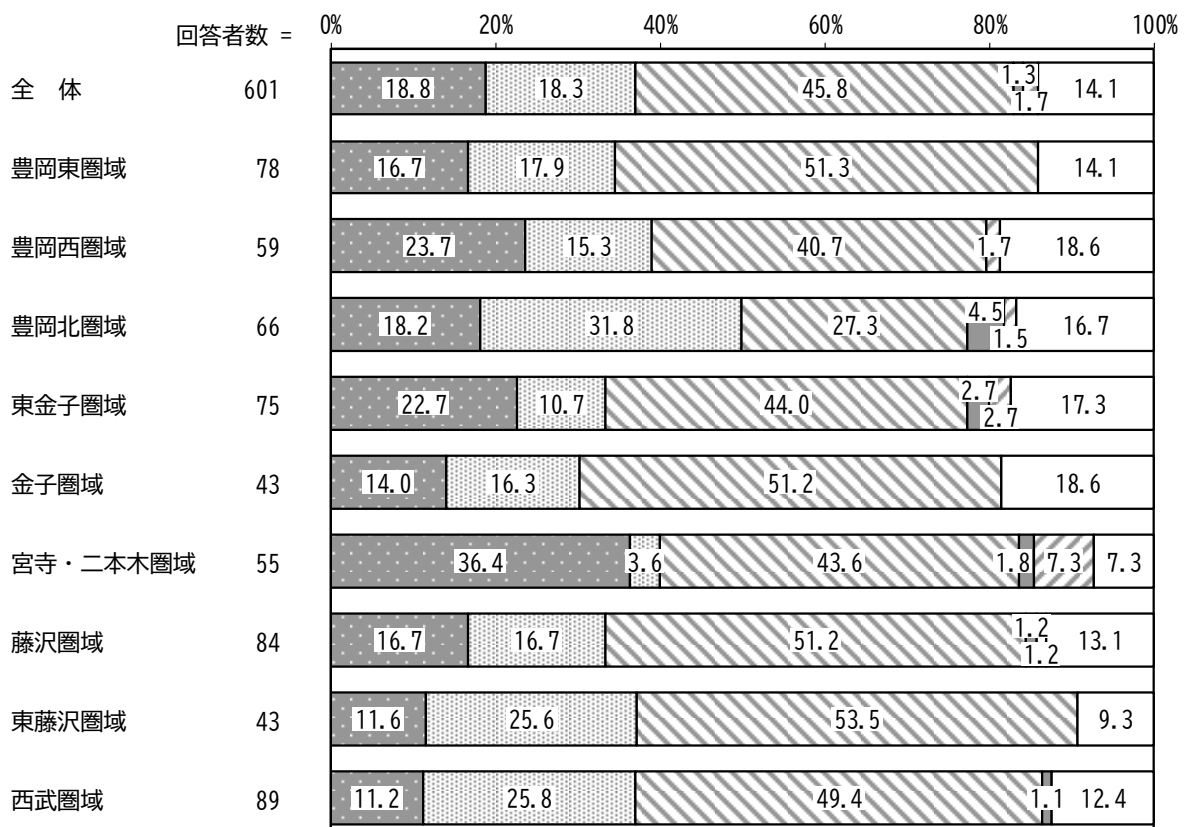
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「施設の詳細、サービス内容を知らない」の割合が、アウトドア派内向的で「利用する必要性がない」の割合が、インドア派内向的で「住まいから遠い」の割合が高くなっています。



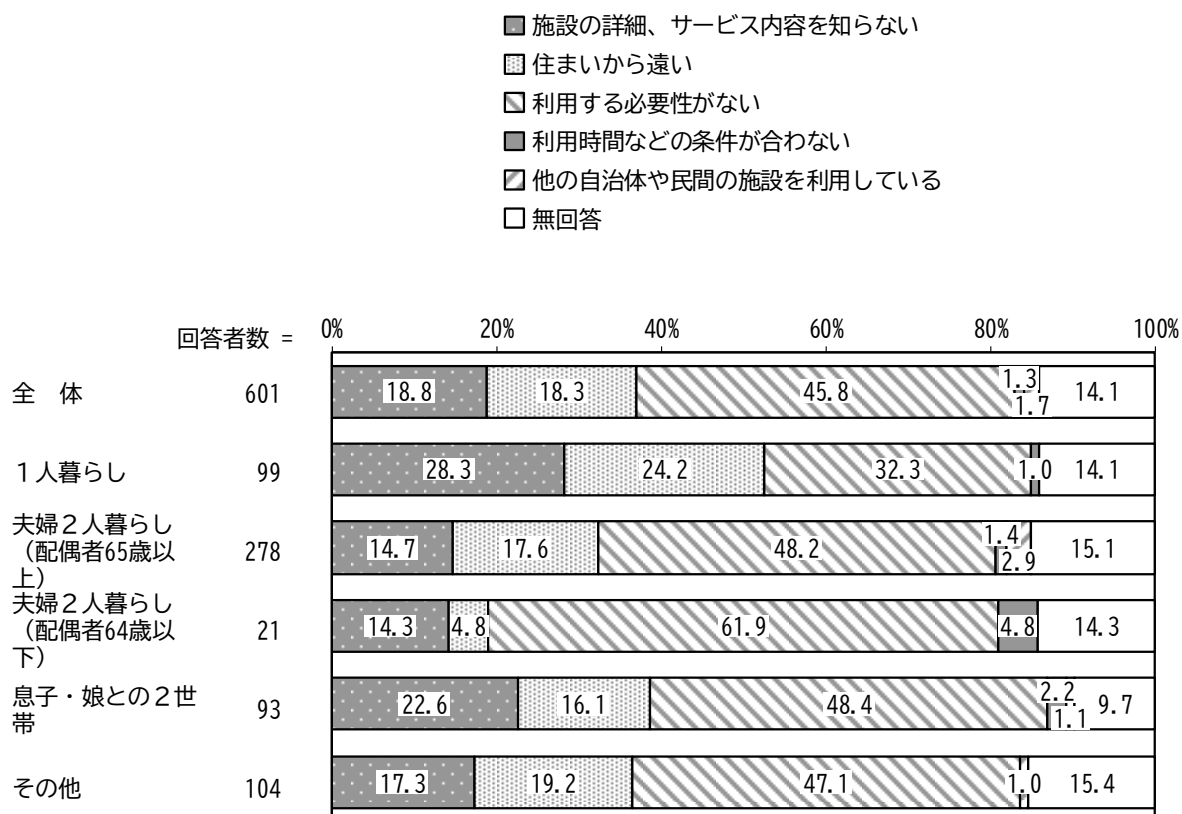
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、宮寺・二本木圏域で「施設の詳細、サービス内容を知らない」の割合が、豊岡北圏域で「住まいから遠い」の割合が、東藤沢圏域で「利用する必要性がない」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

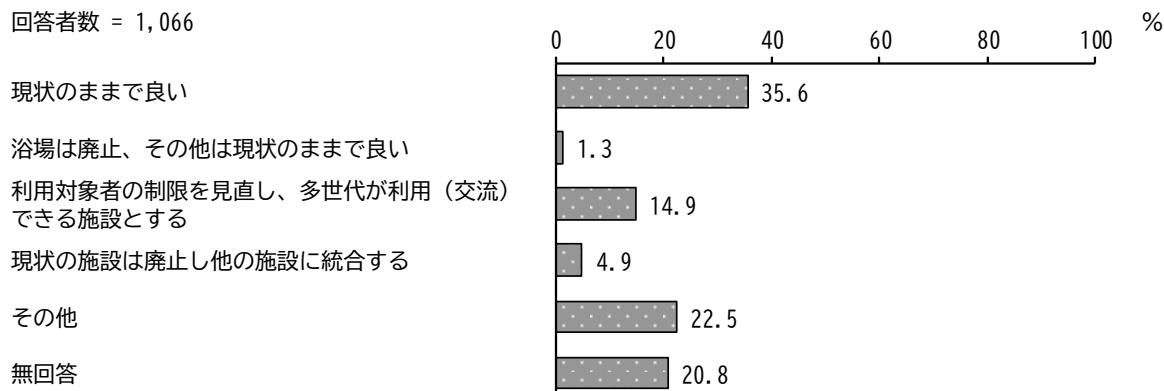
家族構成別にみると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「利用する必要性がない」の割合が、1人暮らしで「施設の詳細、サービス内容を知らない」「住まいから遠い」の割合が高くなっています。



⑥. 原則 60 歳以上の方を対象としている「やまゆり荘」を今後どうするべきと考えますか（1つのみ）

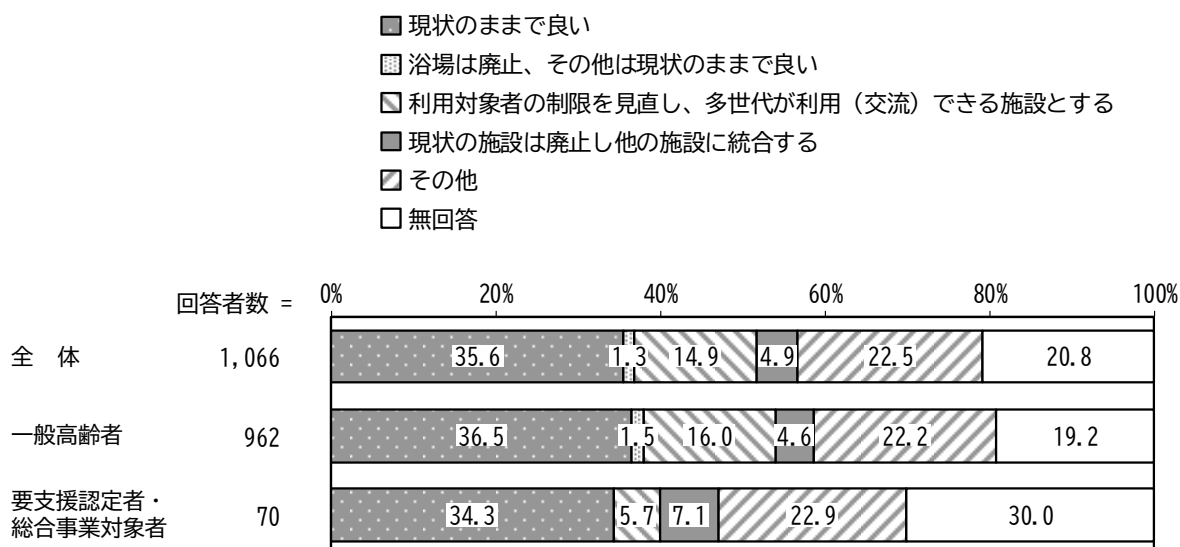
「現状のままで良い」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「利用対象者の制限を見直し、多世代が利用（交流）できる施設とする」の割合が 14.9%となっています。

回答者数 = 1,066



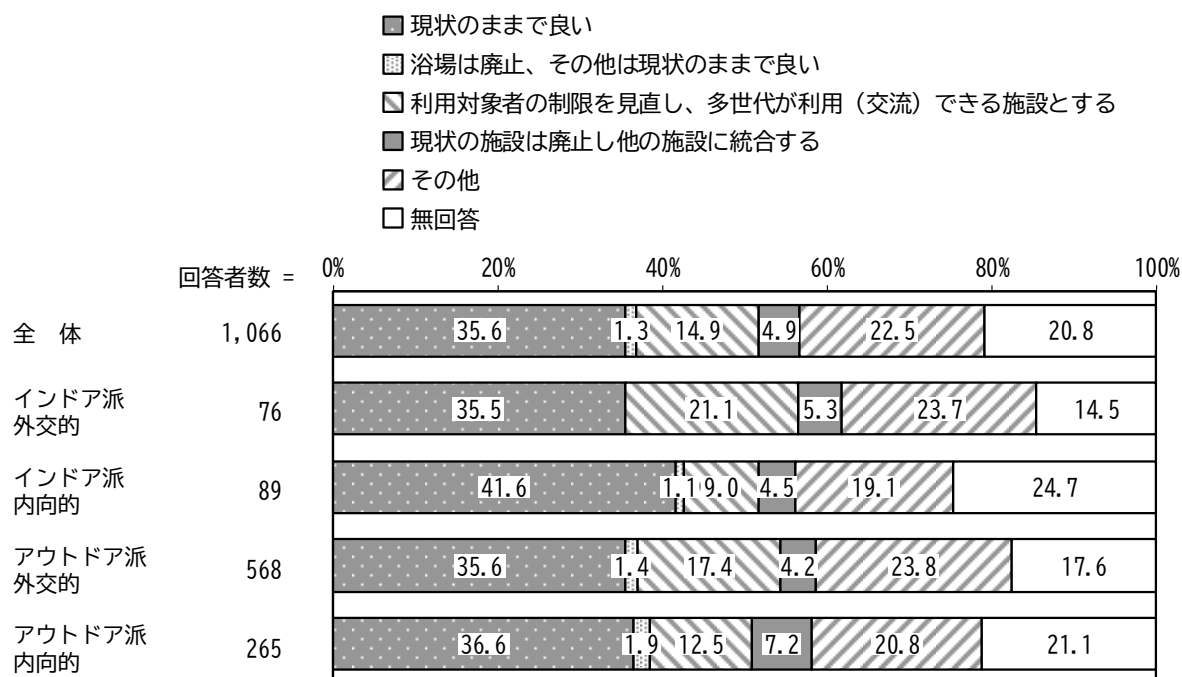
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



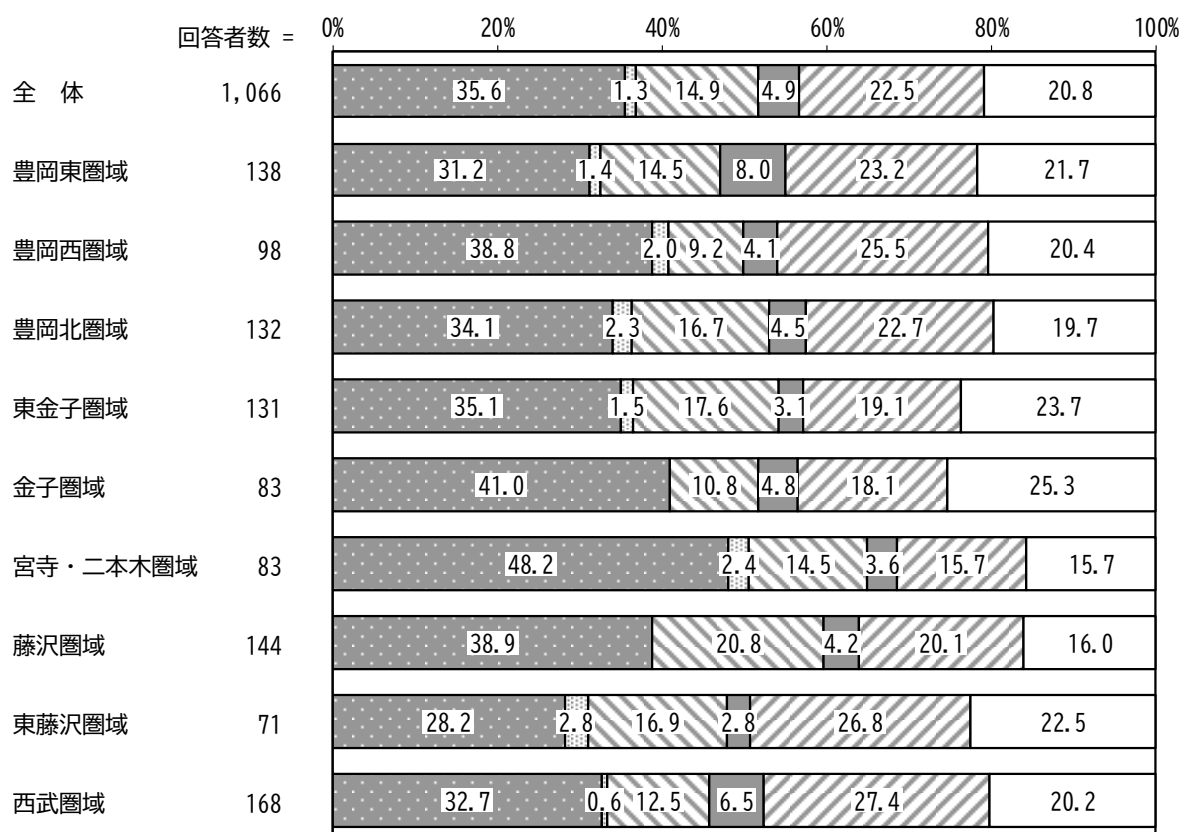
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的で「利用対象者の制限を見直し、多世代が利用（交流）できる施設とする」の割合が、インドア派内向的で「現状のままで良い」の割合が高くなっています。



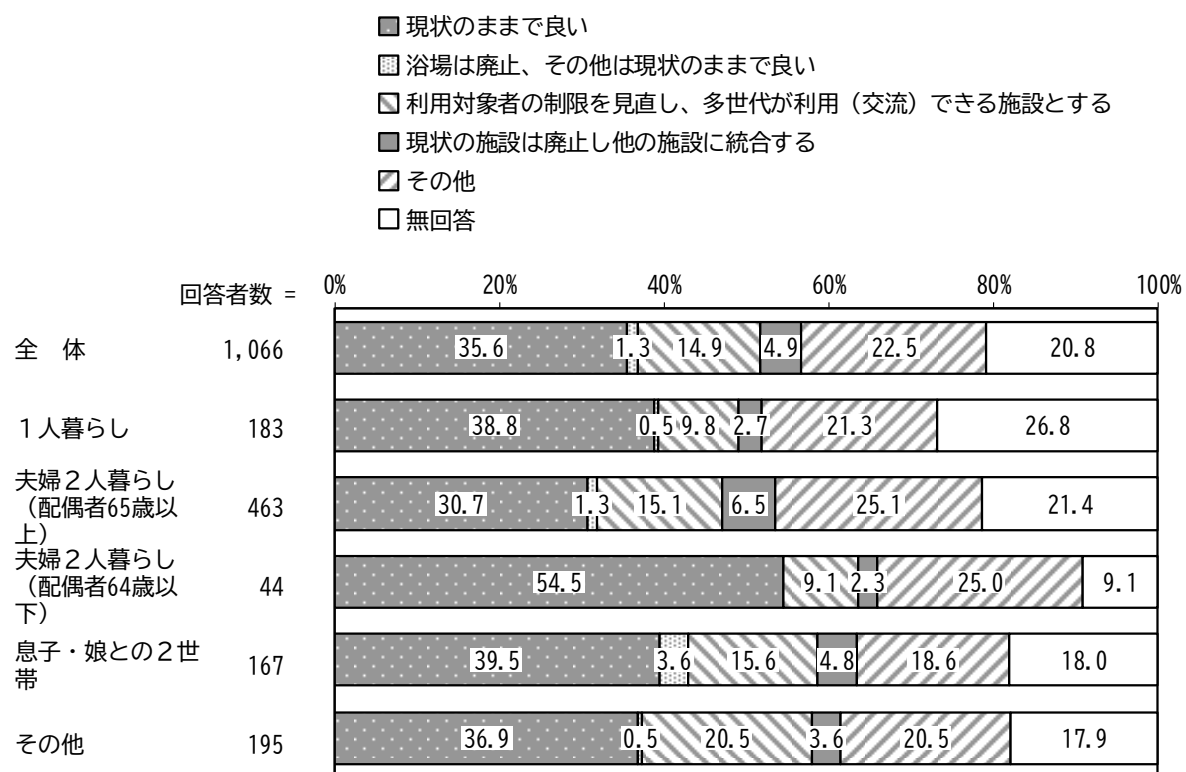
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、宮寺・二本木圏域、金子圏域で「現状のままで良い」の割合が、藤沢圏域で「利用対象者の制限を見直し、多世代が利用（交流）できる施設とする」の割合が高くなっています。



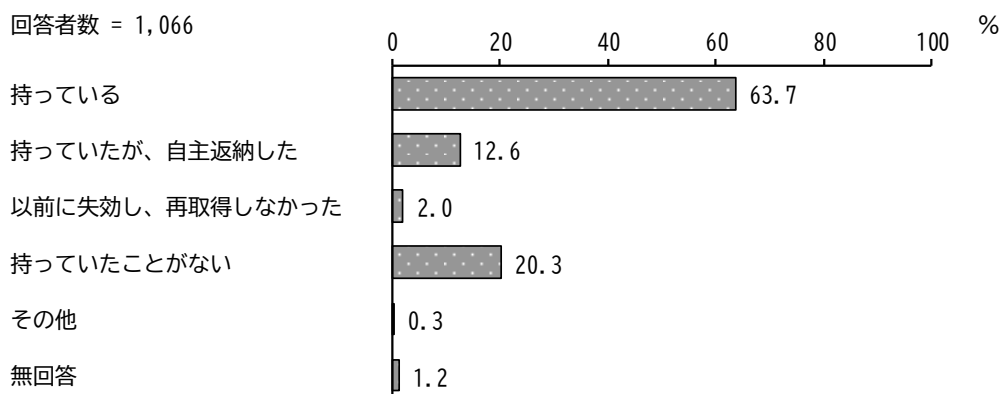
【家族構成別】

家族構成別にみると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「現状のままで良い」の割合が高くなっています。



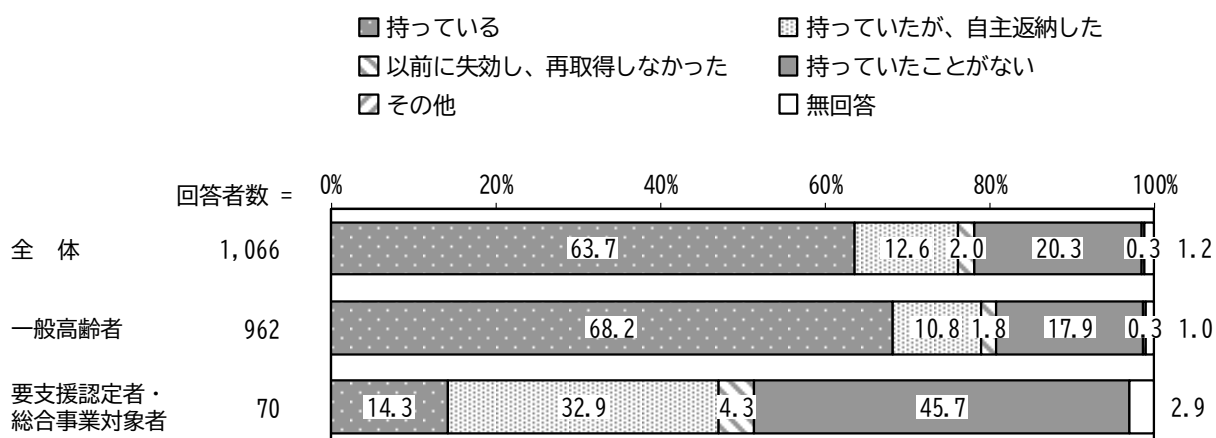
Q9. 自動車運転免許証をお持ちですか（1つのみ）

「持っている」の割合が63.7%と最も高く、次いで「持っていたことがない」の割合が20.3%、「持っていたが、自主返納した」の割合が12.6%となっています。



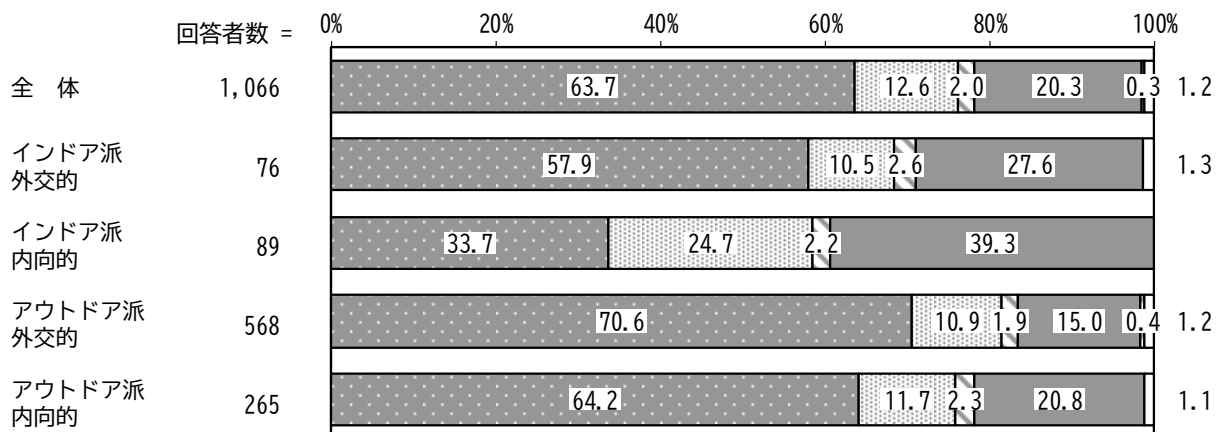
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「持っていたことがない」「持っていたが、自主返納した」の割合が高くなっています。



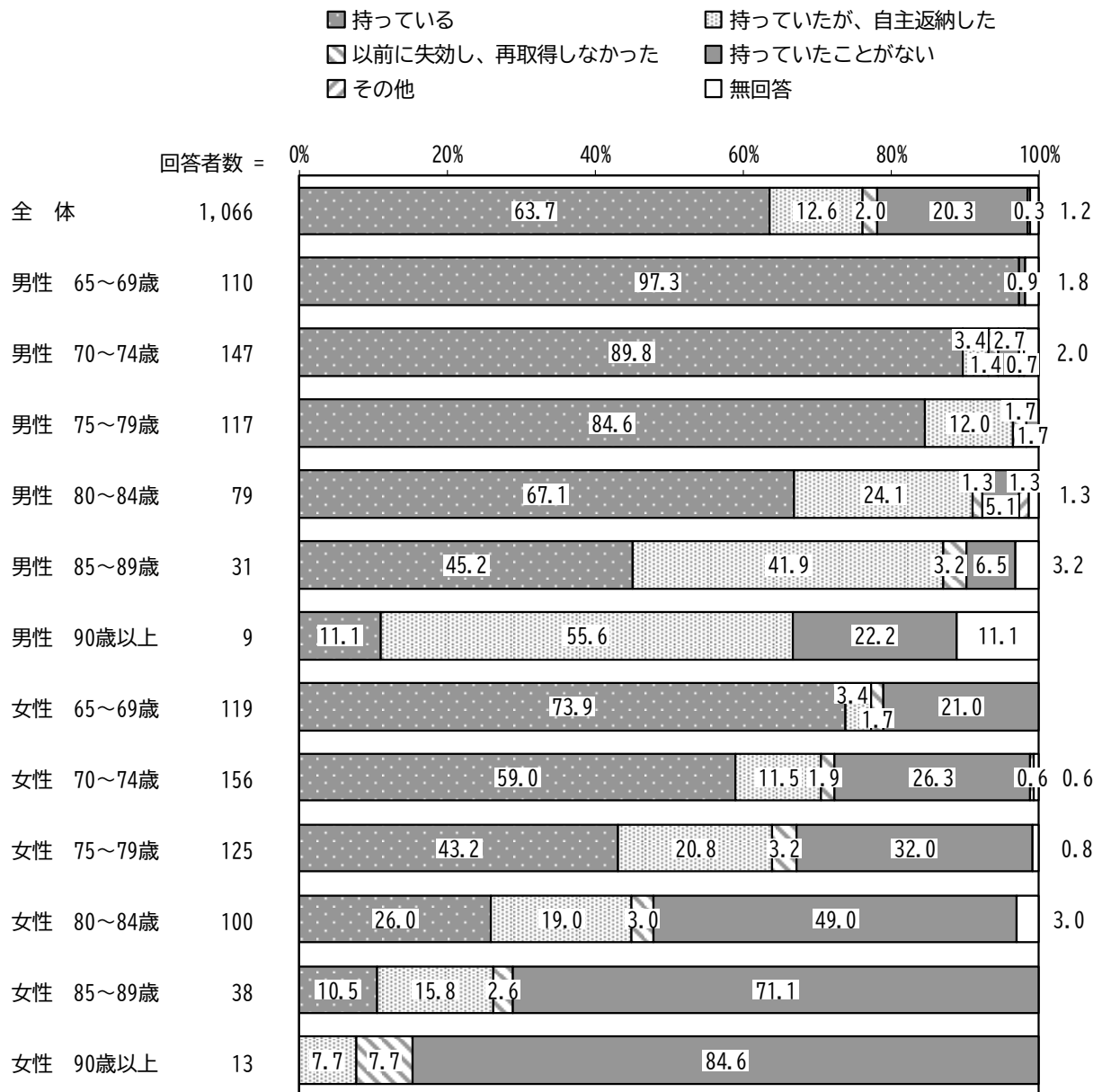
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「持っていたことがない」「持っていたが、自主返納した」の割合が、インドア派外交的で「持っていたことがない」の割合が高くなっています。



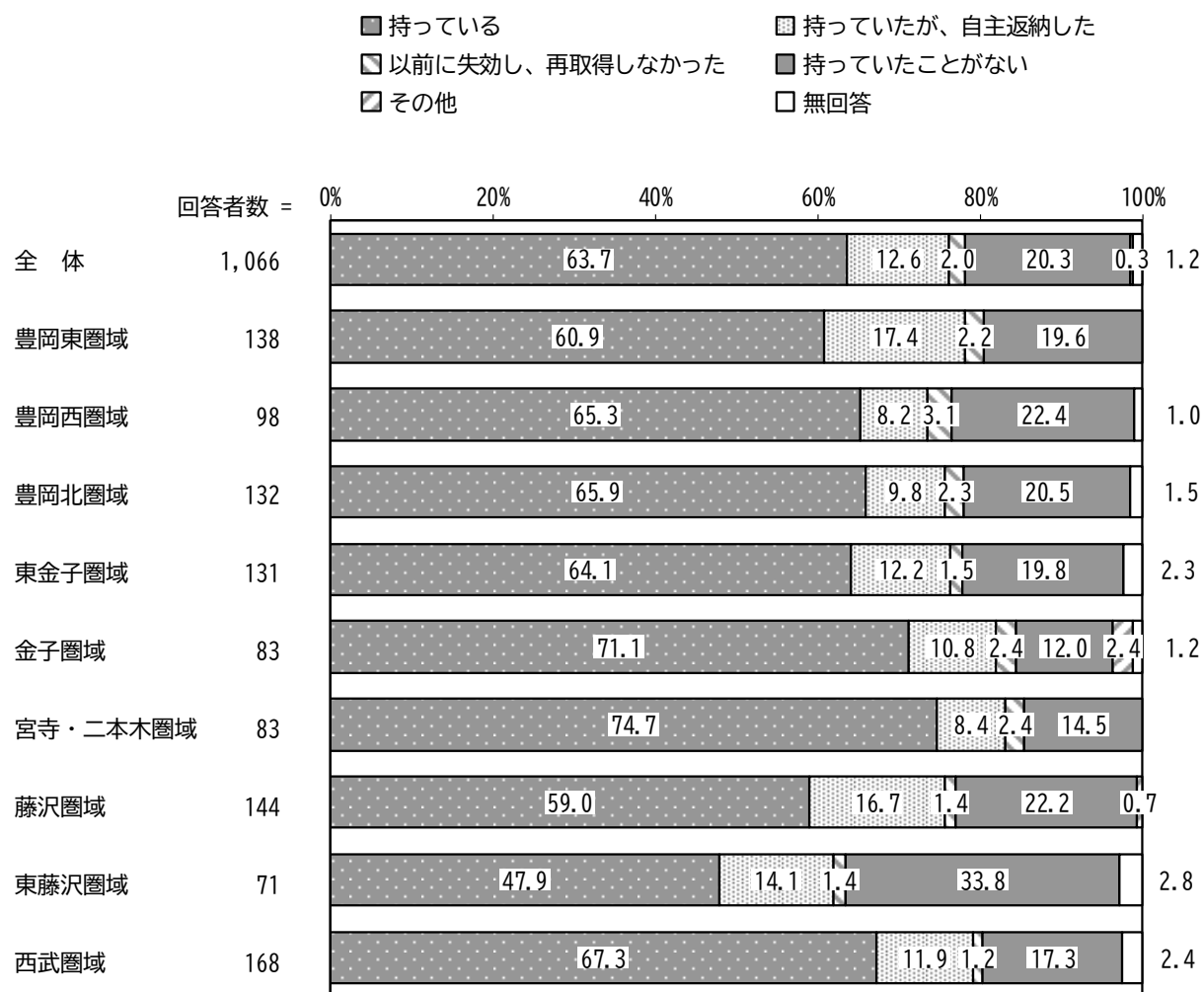
【性年齢別】

性年齢別にみると、他に比べ、女性 90 歳以上、女性 85～89 歳で「持っていたことがない」の割合が、男性 65～69 歳で「持っている」の割合が高くなっています。



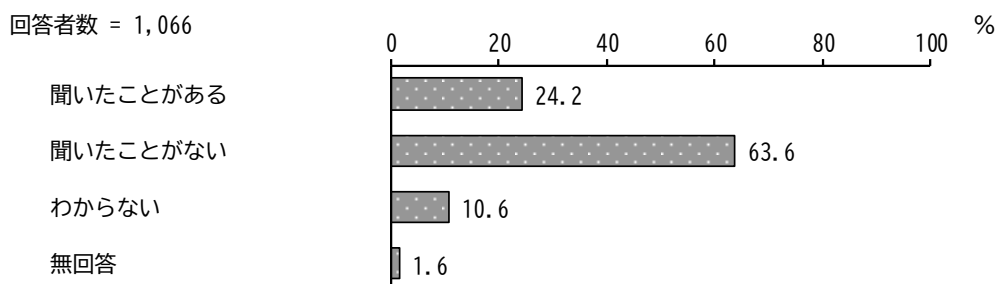
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、東藤沢圏域で「持っていたことがない」の割合が、宮寺・二本木圏域、金子圏域で「持っている」の割合が高くなっています。



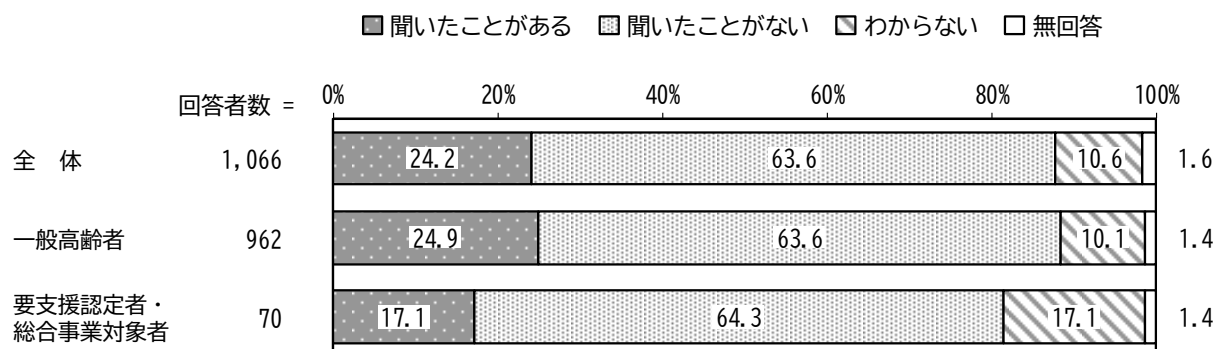
Q10.「デマンド型交通」という言葉を聞いたことがありますか（1つのみ）

「聞いたことがない」の割合が63.6%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が24.2%、「わからない」の割合が10.6%となっています。



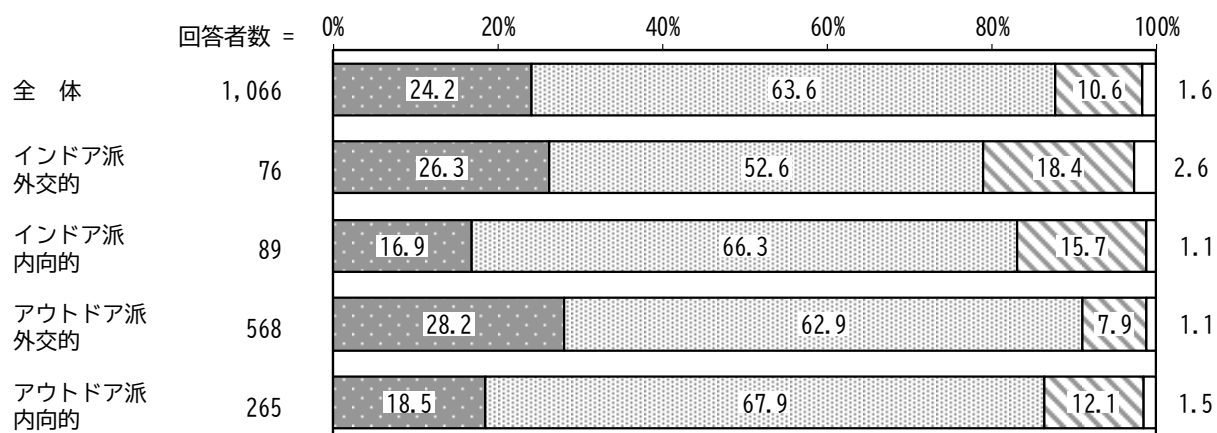
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「わからない」の割合が高くなっています。



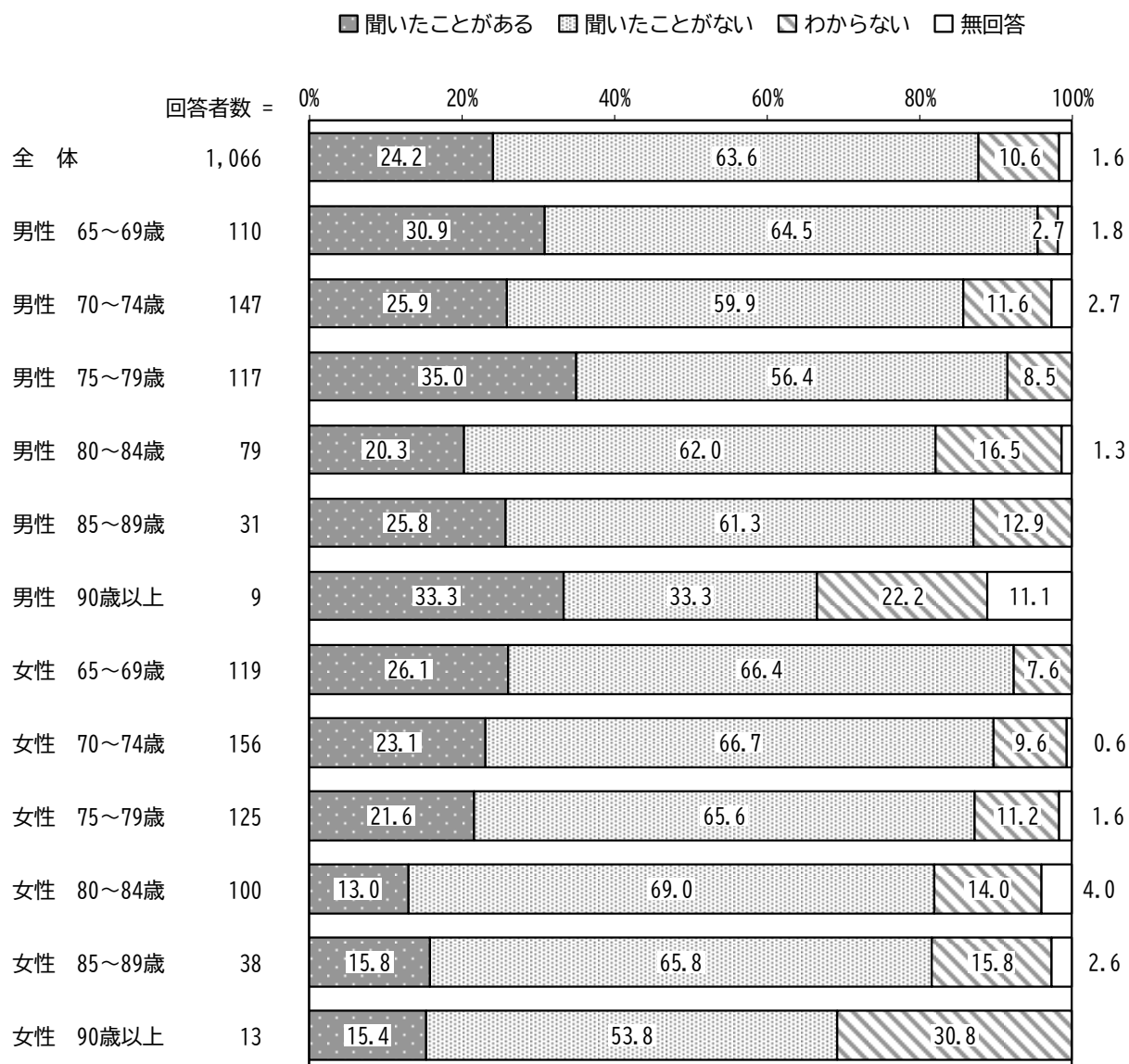
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、インドア派内向的で「わからない」の割合が高くなっています。



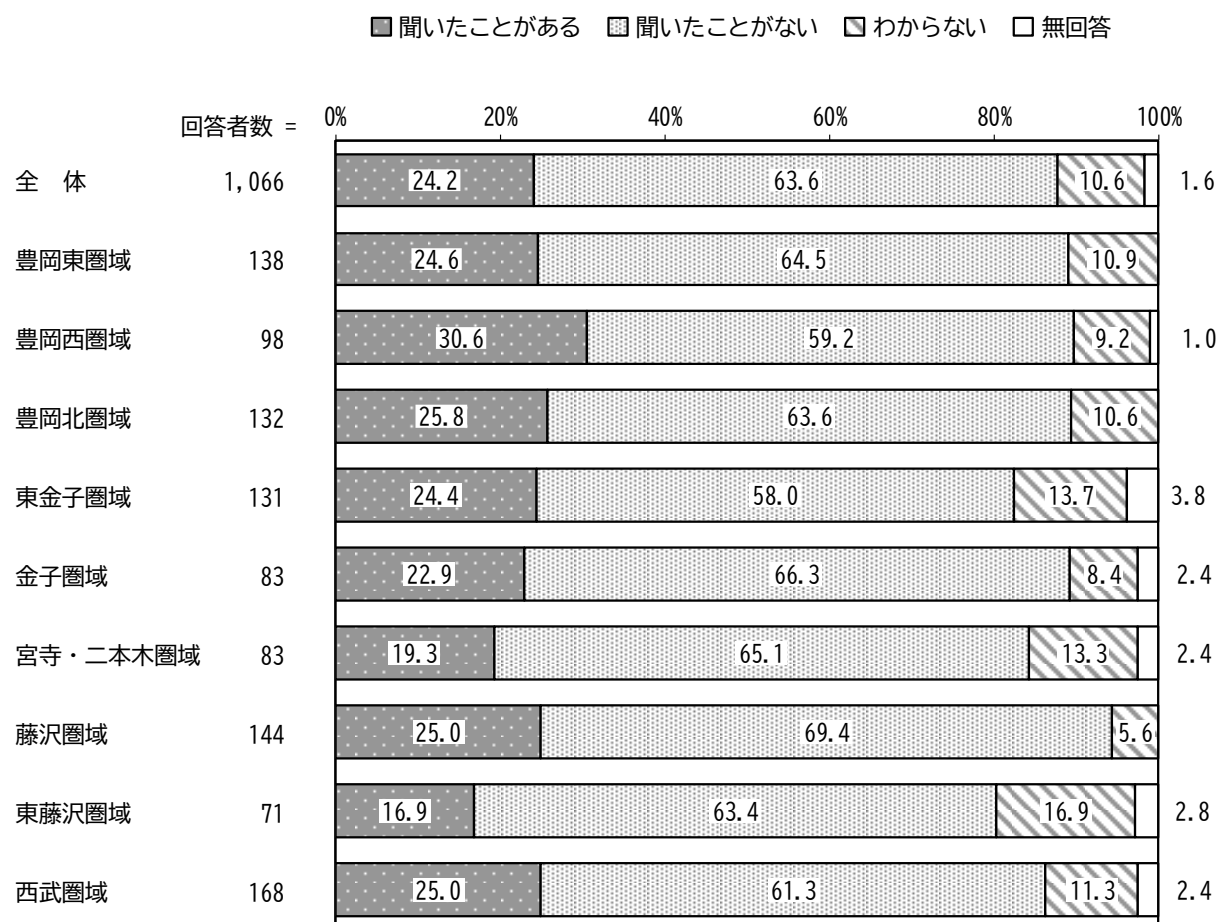
【性年齢別】

性年齢別にみると、他に比べ、女性 90 歳以上で「わからない」の割合が、男性 75～79 歳、男性 65～69 歳で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



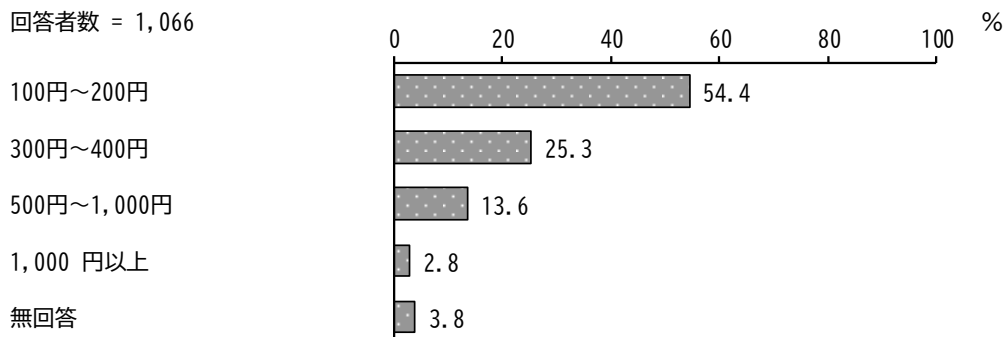
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、豊岡西圏域で「聞いたことがある」の割合が、東藤沢圏域で「わからない」の割合が、藤沢圏域で「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



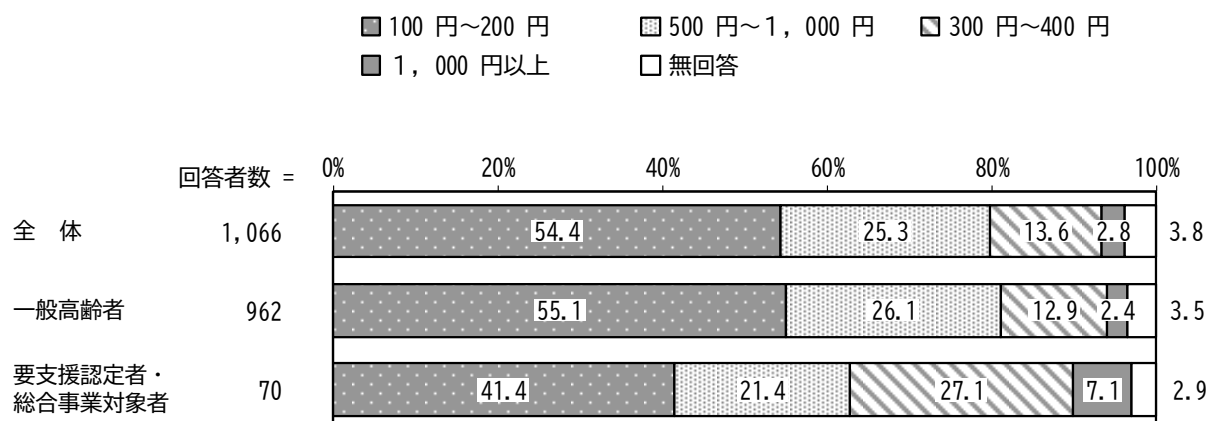
**Q11. 市内の移動で、交通費として負担してもよいと思える金額はいくらまでですか
(1つのみ)**

「100 円～200 円」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「300 円～400 円」の割合が 25.3%、「500 円～1,000 円」の割合が 13.6%となっています。



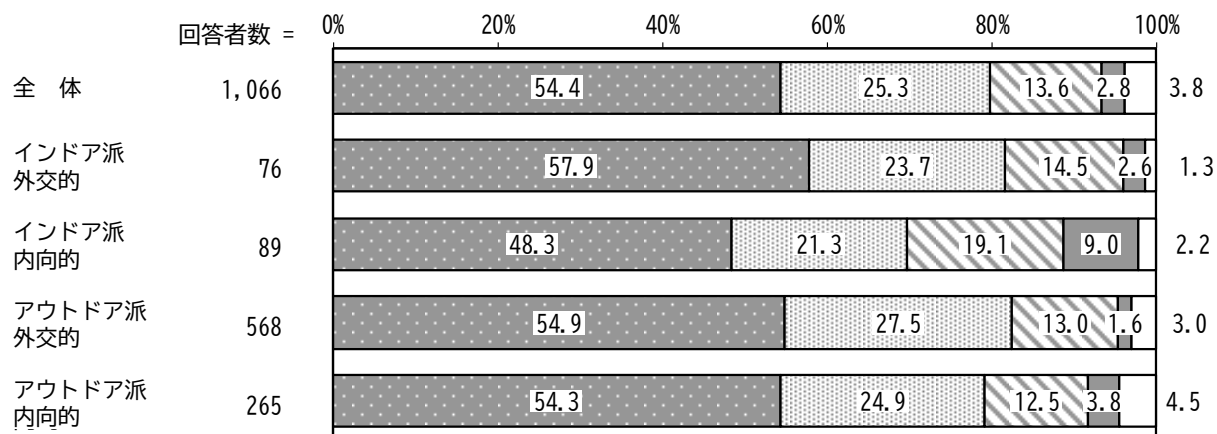
【認定別】

認定別にみると、他に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で「500 円～1,000 円」の割合が高くなっています。



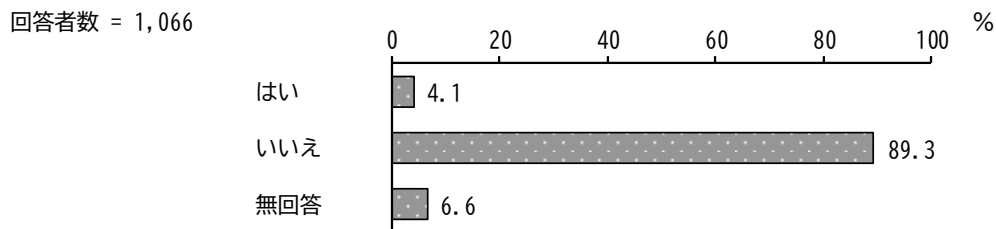
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「500 円～1,000 円」の割合が高くなっています。



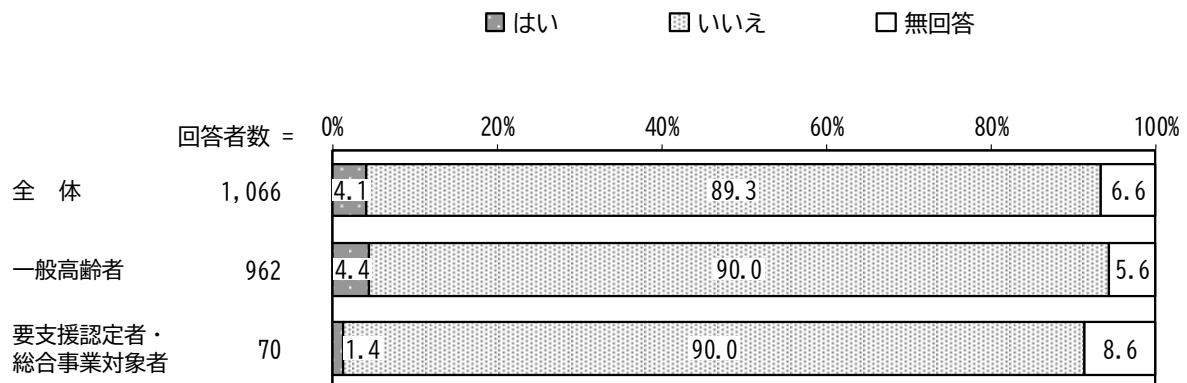
Q12. 介護を理由に仕事を辞めたことがありますか

「はい」の割合が4.1%、「いいえ」の割合が89.3%となっています。



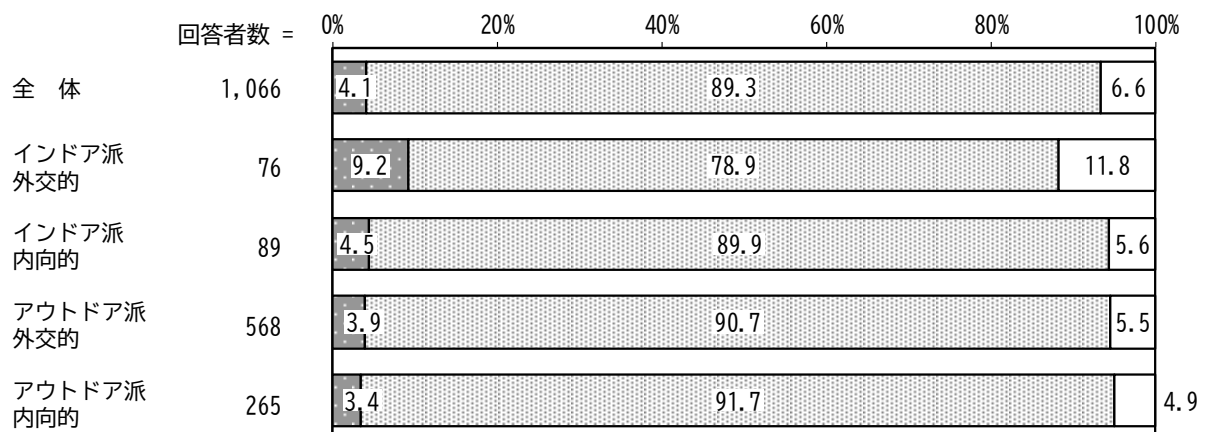
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



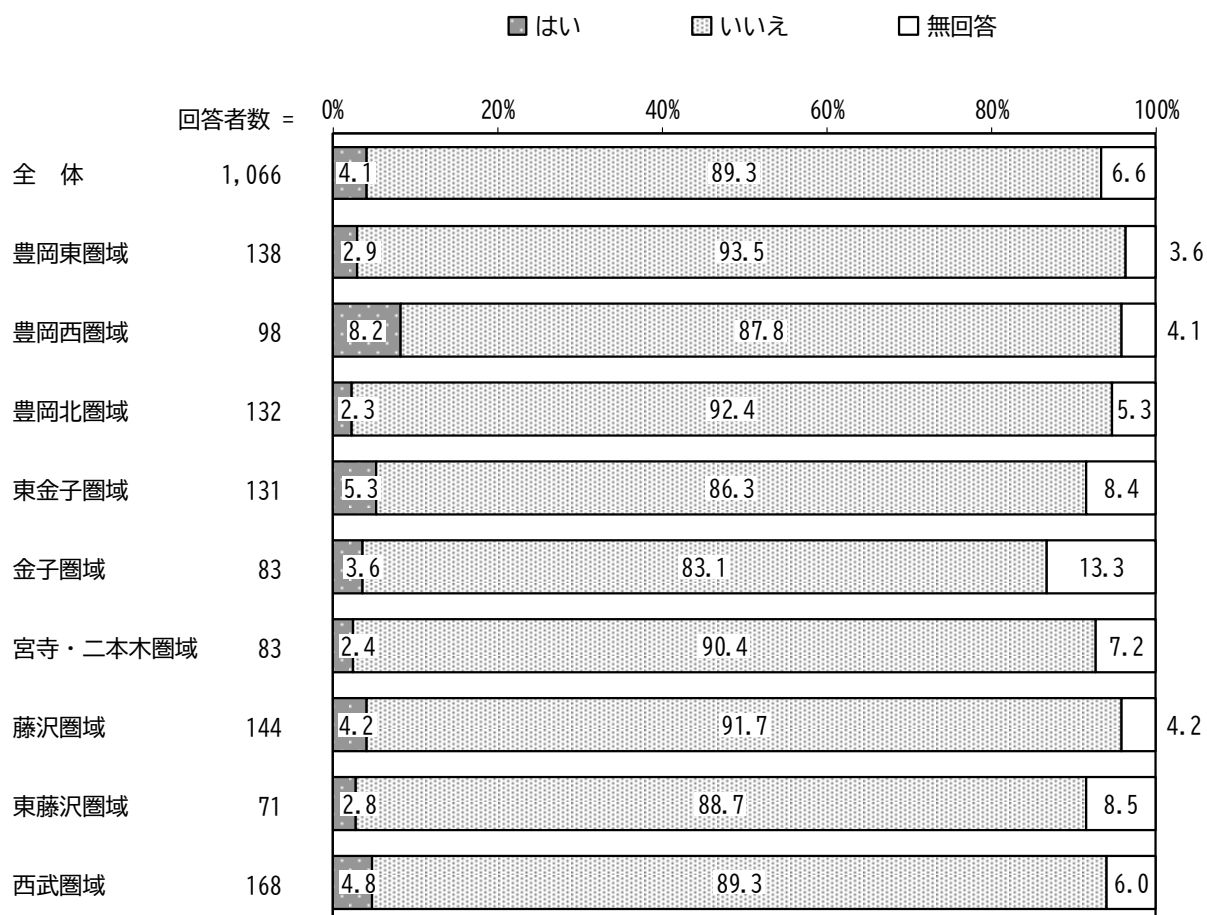
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、大きな差はみられません。



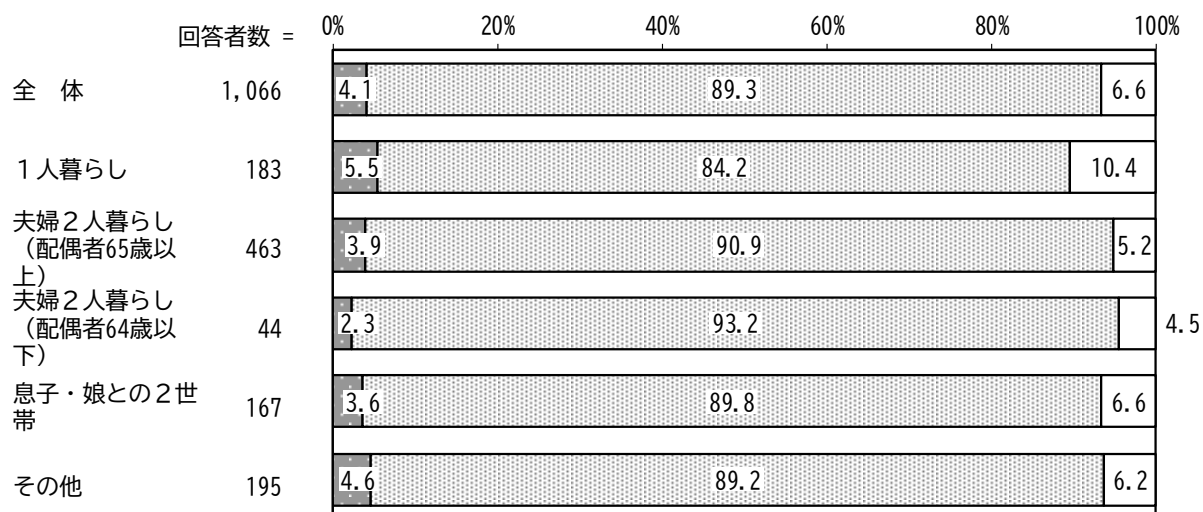
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、大きな差はみられません。



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。



2 生活機能評価等に関する分析（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

（１）機能別リスク該当者割合の分析

① 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

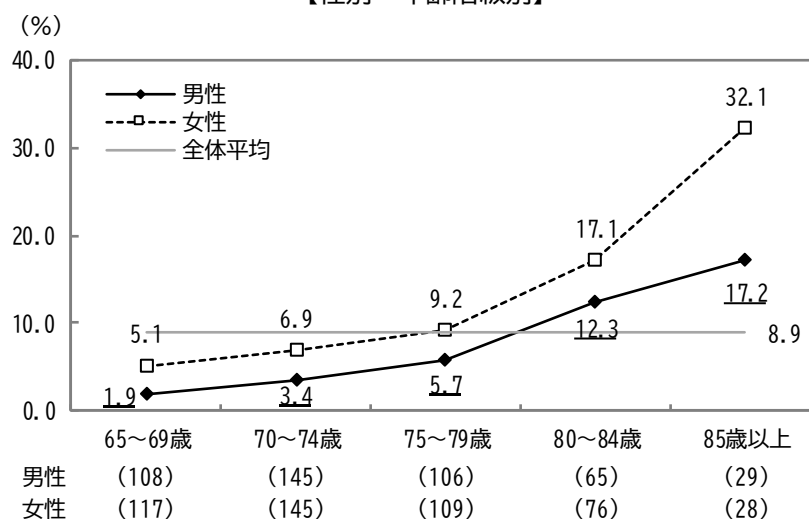
問番号	設問	該当する選択肢
問3（１）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問3（２）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問3（３）	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問3（４）	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 1度ある 2. 何度もある
問3（５）	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で8.9%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では32.1%と80～84歳に比べ15.0ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では17.2%と75～79歳に比べ11.5ポイント上昇しています。したがって、男性は75歳以降、女性は80歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

【性別・年齢階級別】

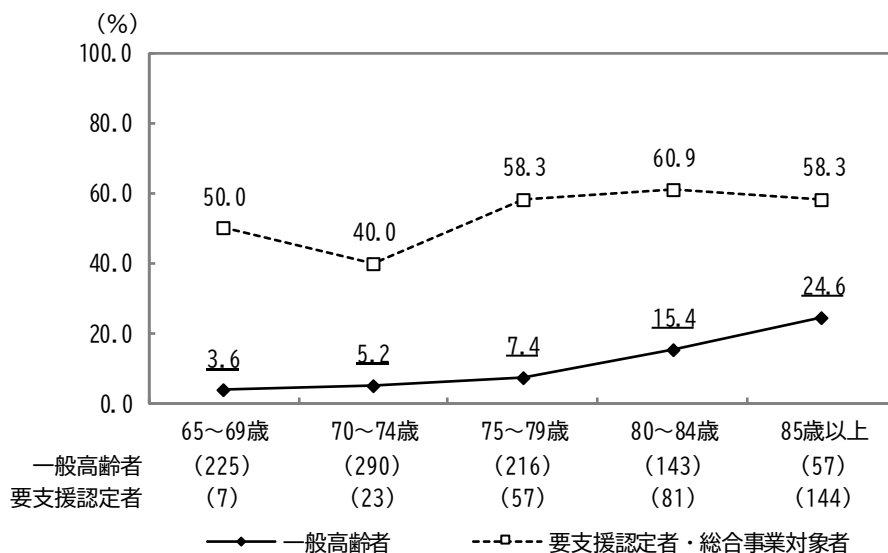


※要支援認定者・総合事業対象者を除く

() 内は有効回答数

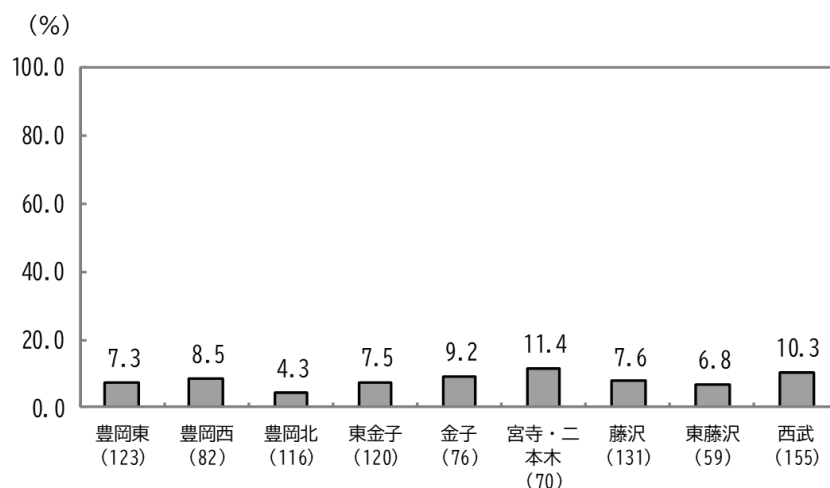
認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者・総合事業対象者では割合がとて高くなっています。要支援認定者・総合事業対象者をみると、75歳以上で該当者が60%近くなっています。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、金子、宮寺・二本木、西武で該当者割合が全体平均の8.9%を超えています。また、最も高い圏域は宮寺・二本木で11.4%、最も低い圏域は豊岡北で4.3%となっており、7.1ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

② 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

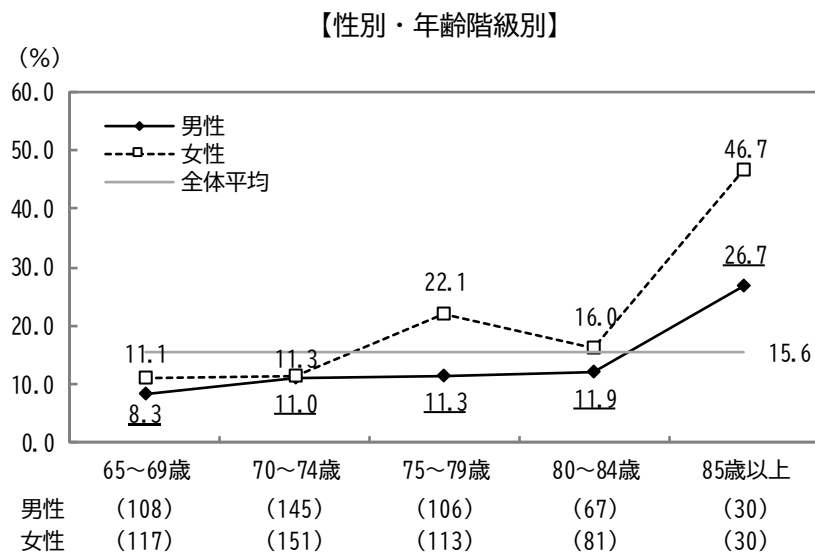
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3（6）	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で15.6%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で46.7%と、80～84歳に比べ30.7ポイント上昇しています。また、男性、女性ともに85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。

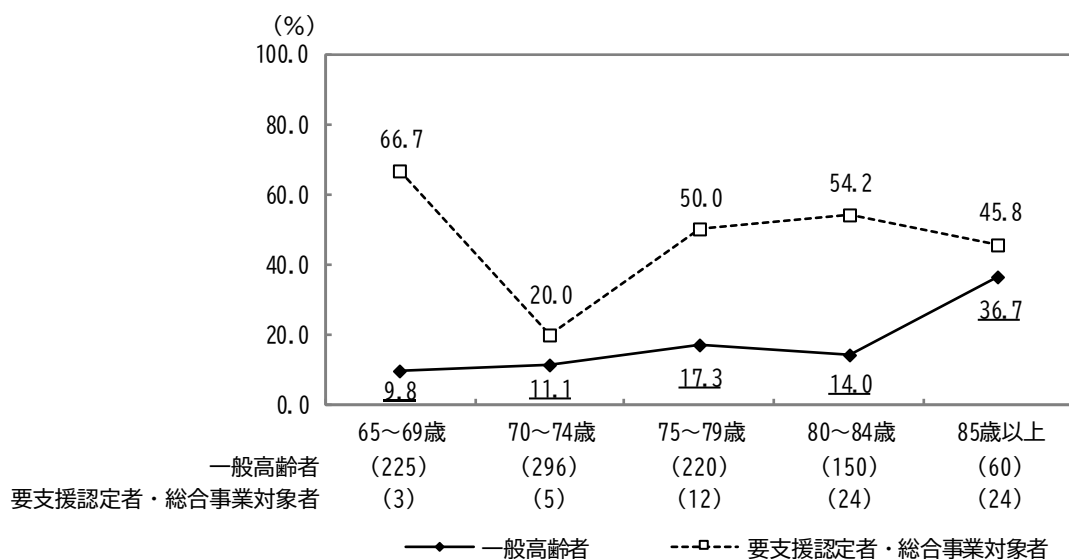


※要支援認定者・総合事業対象者を除く

() 内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

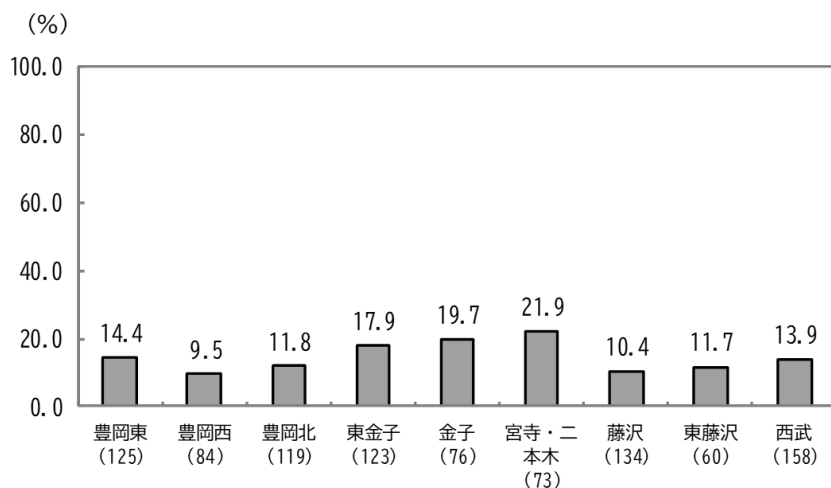
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、東金子、金子、宮寺・二本木で該当者割合が全体平均の 15.6%を超えています。

また、最も高い圏域は宮寺・二本木で 21.9%、最も低い圏域は豊岡西で 9.5%となっており、12.4 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

③ 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

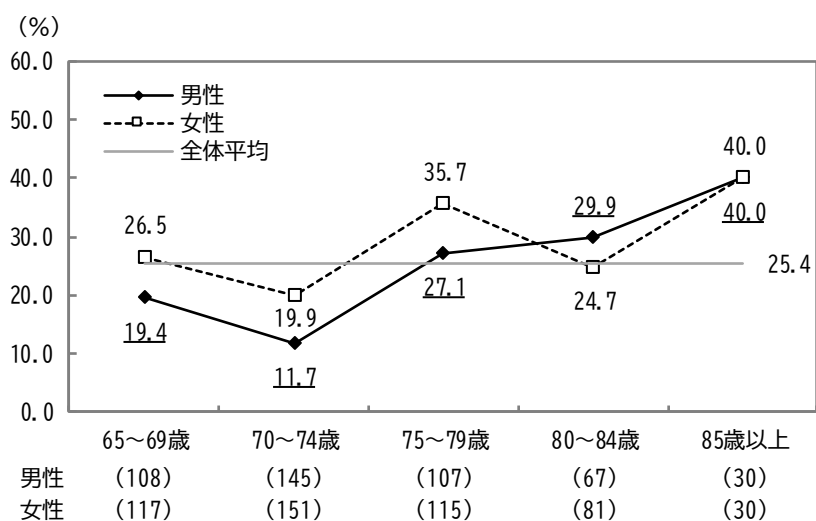
問番号	設問	該当する選択肢
問3（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 1度ある 2. 何度もある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で25.4%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳を除き男性に比べ転倒リスクが高くなっており、男女ともに85歳以上で40.0%と全体平均より14.6ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

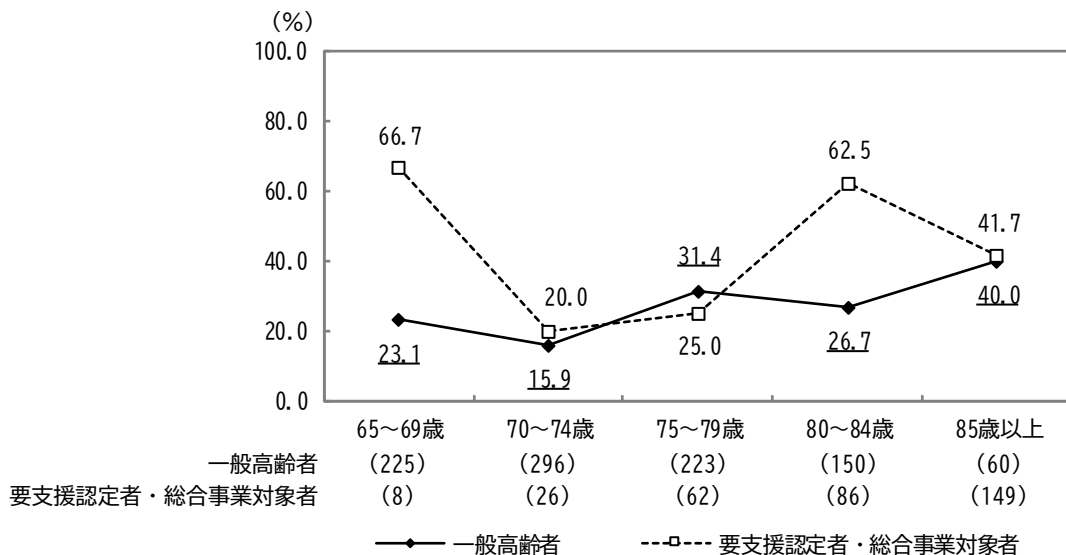


※要支援認定者・総合事業対象者を除く

() 内は有効回答数

認定別・年齢階級別にみると、要支援認定者・総合事業対象者では、80～84歳で転倒リスクの該当者が62.5%となっており、85歳以上になると該当者の割合が40%台に減少していることから、外出の機会などが減少し、転倒リスクが減少していることがうかがえます。一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が徐々に上昇しています。

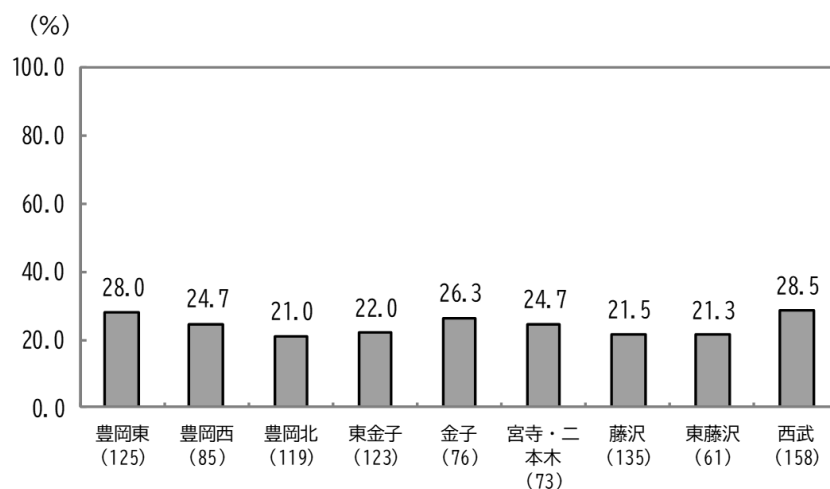
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡東、金子、西武で該当者割合が全体平均の25.4%を超えています。

また、最も高い圏域は西武で28.5%、最も低い圏域は豊岡北で21.0%となっており、7.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

④ 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

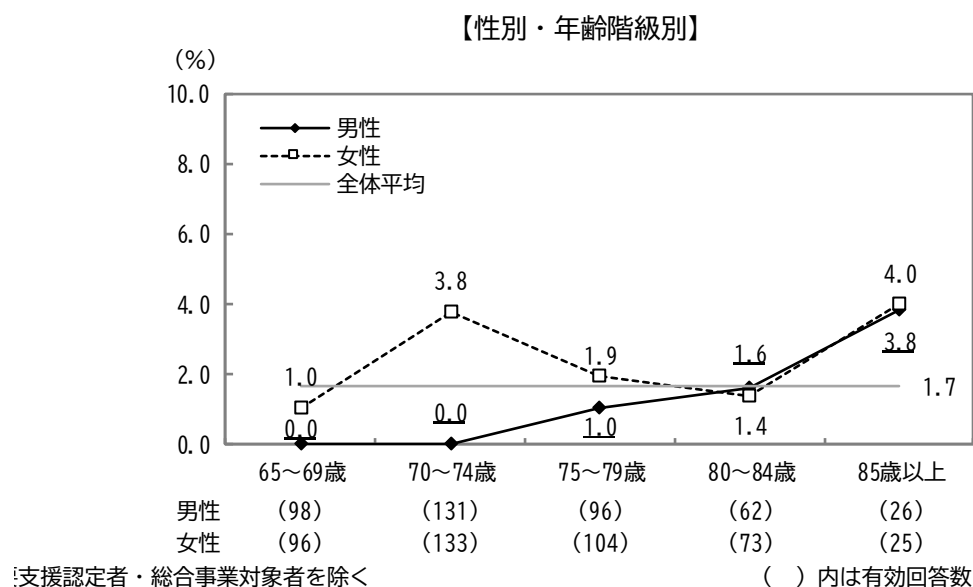
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（1）	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問4（8）	6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

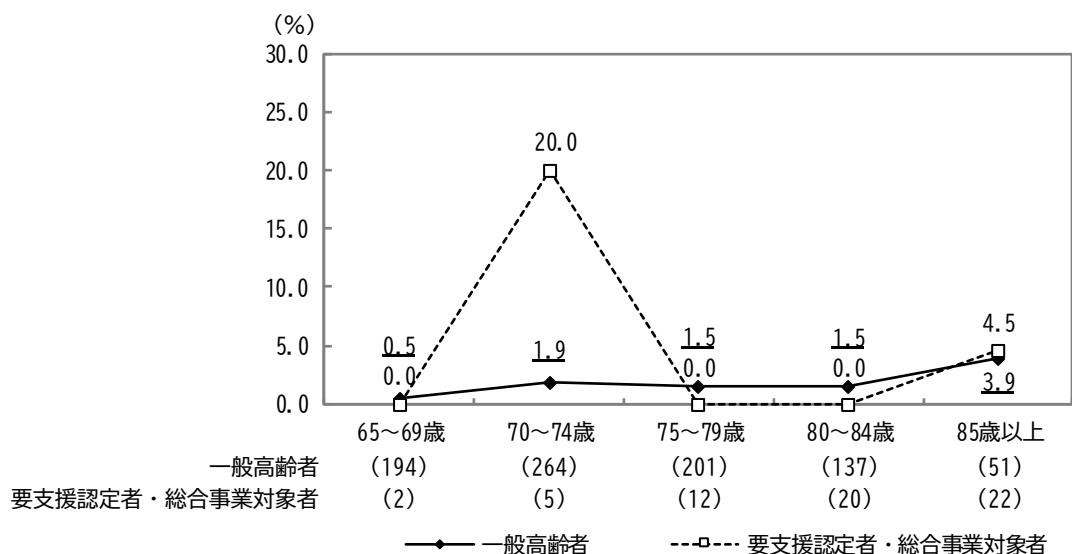
国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 1.7%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると 70～74 歳でも 3.8 ポイントと大きな差はありません。



認定別・年齢階級別にみると、該当者割合は、要支援認定者・総合事業対象者の 70～74 歳で 20.0%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

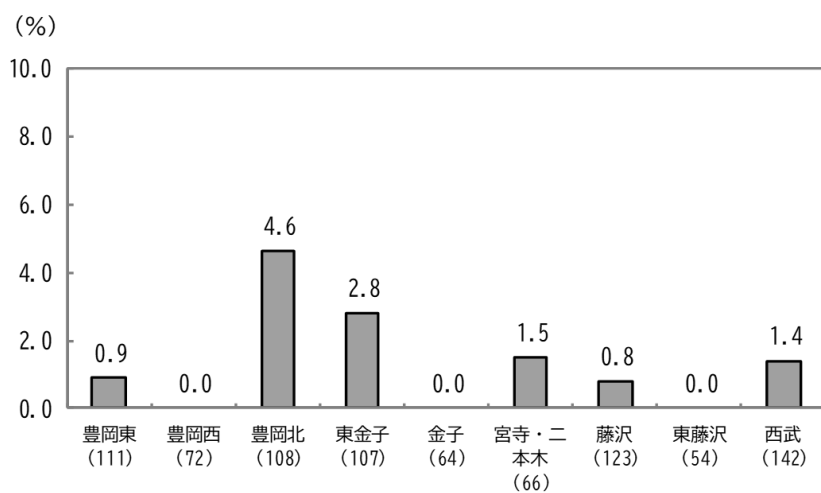
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡北、東金子で該当者割合が全体平均の 1.7%を超えています。

また、最も高い圏域は豊岡北で 4.6%、最も低い圏域は豊岡西、金子、東藤沢で 0.0%となっており、4.6 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

⑤ 口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

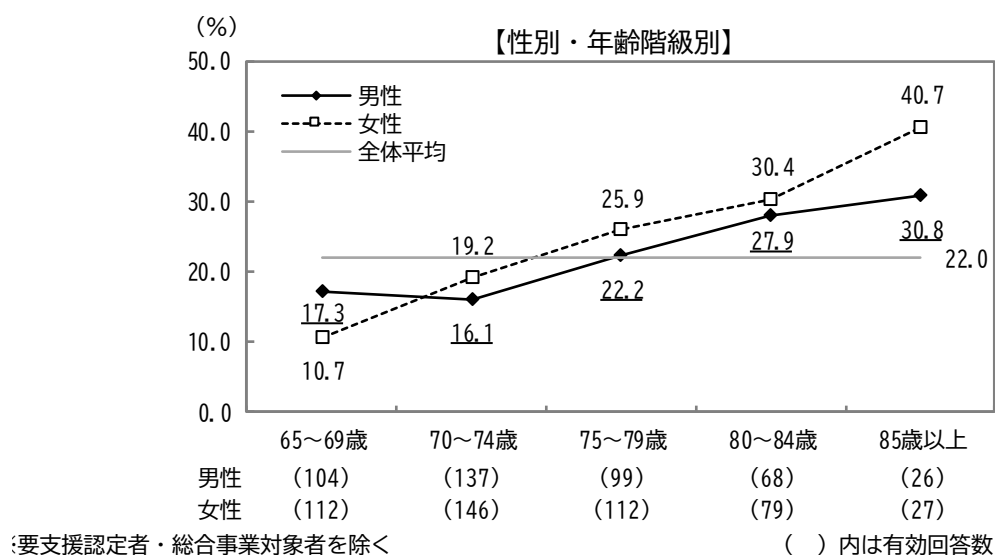
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問4 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問4 (4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

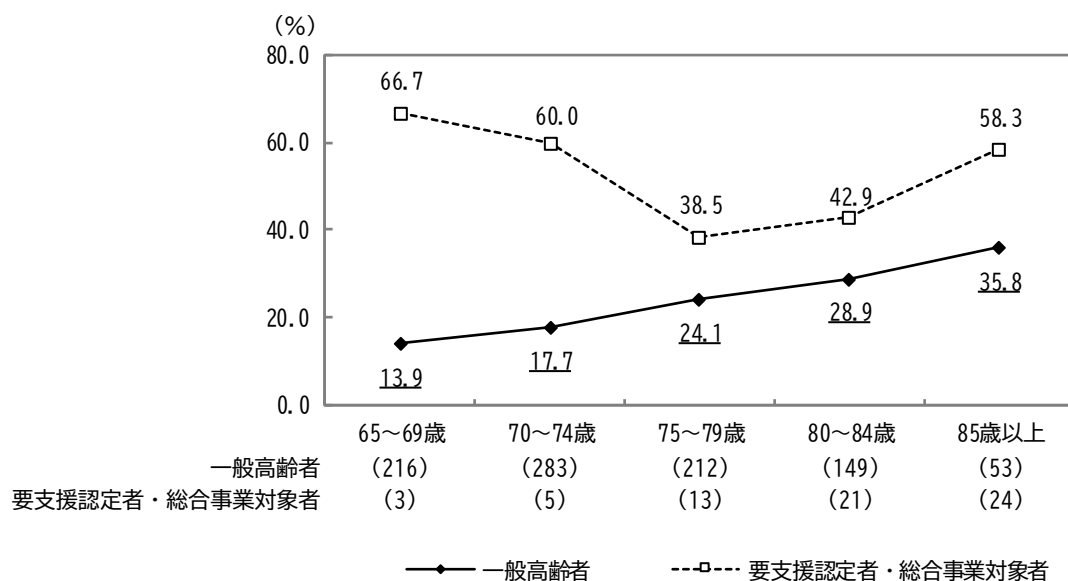
国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 22.0%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69 歳を除き男性に比べ口腔リスクが高くなっており、男女ともに 75 歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

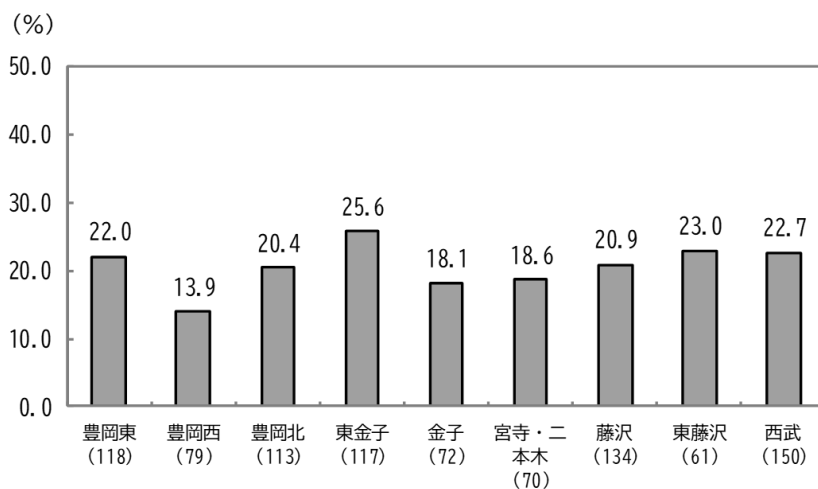
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、東金子、東藤沢、西武で該当者割合が全体平均の 22.0%を超えています。

また、最も高い圏域は東金子で 25.6%、最も低い圏域は豊岡西で 13.9%となっており、11.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

⑥ 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

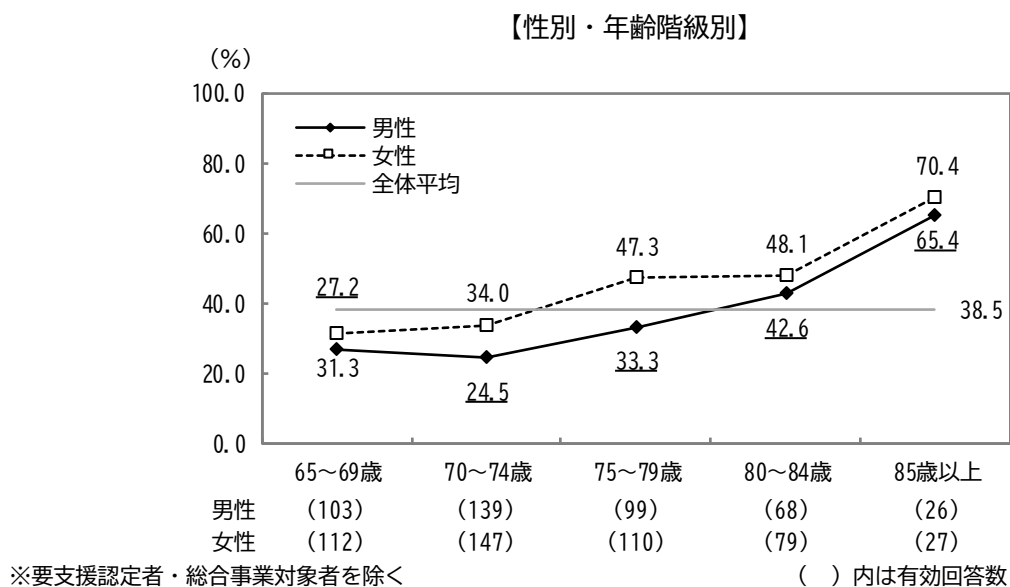
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5（1）	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

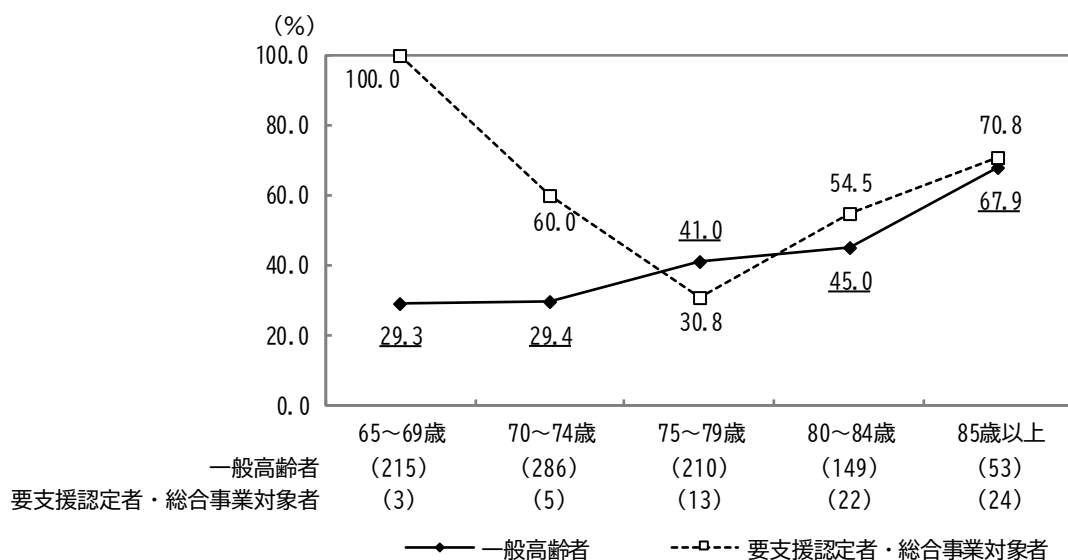
国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で38.5%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。

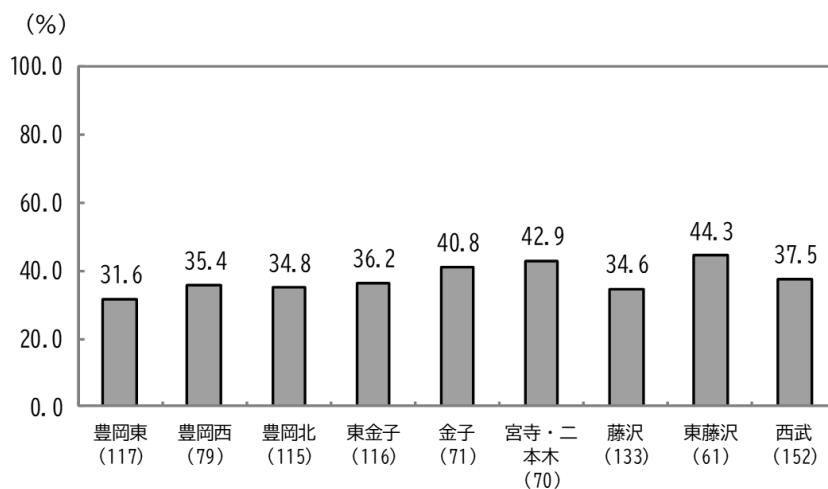
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、金子、宮寺・二本木、東藤沢で該当者割合が全体平均の 38.5%を超えています。

また、最も高い圏域は東藤沢で 44.3%、最も低い圏域は豊岡東で 31.6%となっており、12.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

⑦ うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

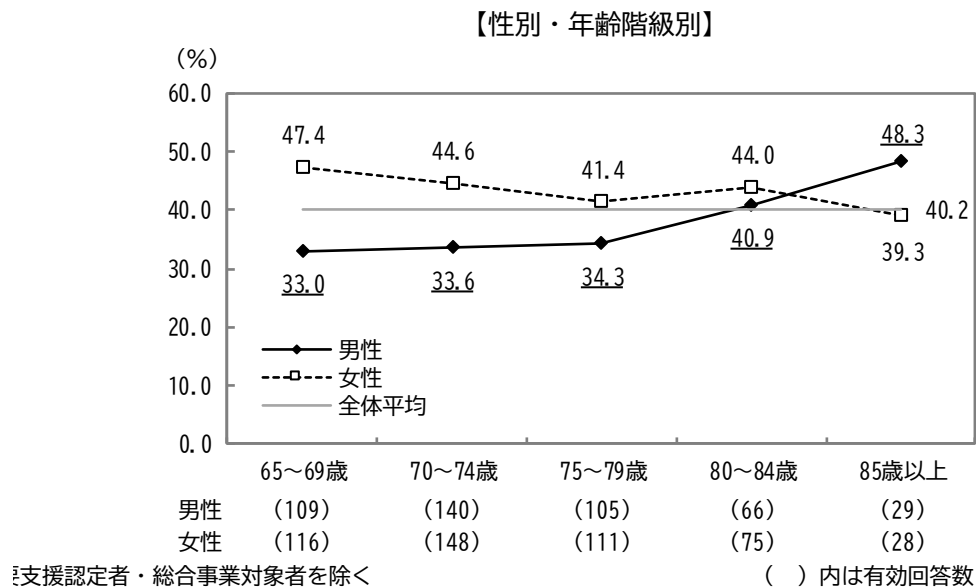
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問8 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

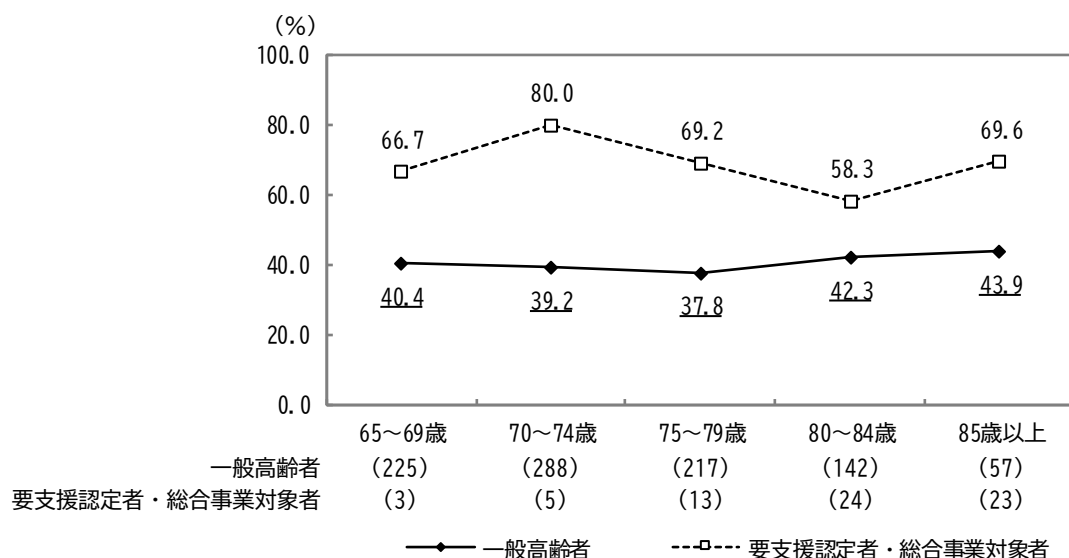
国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で40.2%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、80～84歳までは女性の方がうつのリスクが高くなっていますが、85歳以上で逆転し男性の方が高くなっています。



認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。

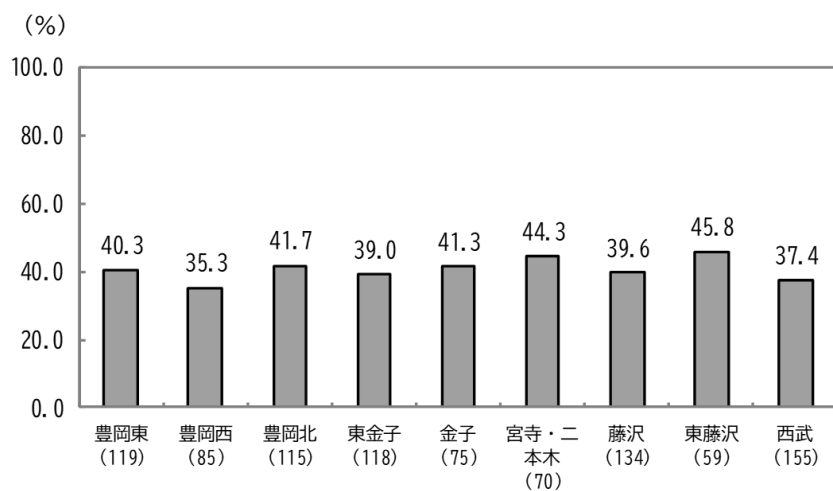
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡東、豊岡北、金子、宮寺・二本木、東藤沢で該当者割合が全体平均の 40.2% を超えています。

また、最も高い圏域は東藤沢で 45.8%、最も低い圏域は豊岡西で 35.3%となっており、10.5 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

(2) 日常生活

① 手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

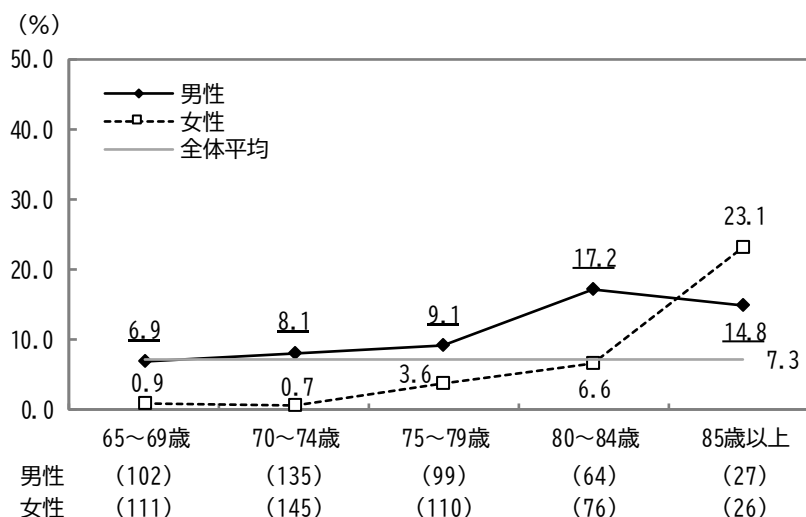
問番号	設問	該当する選択肢
問5（4）	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5（6）	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5（7）	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5（8）	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

全体平均では7.3%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性で85歳以上になると急激に上昇しており23.1%と80～84歳に比べ16.5ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



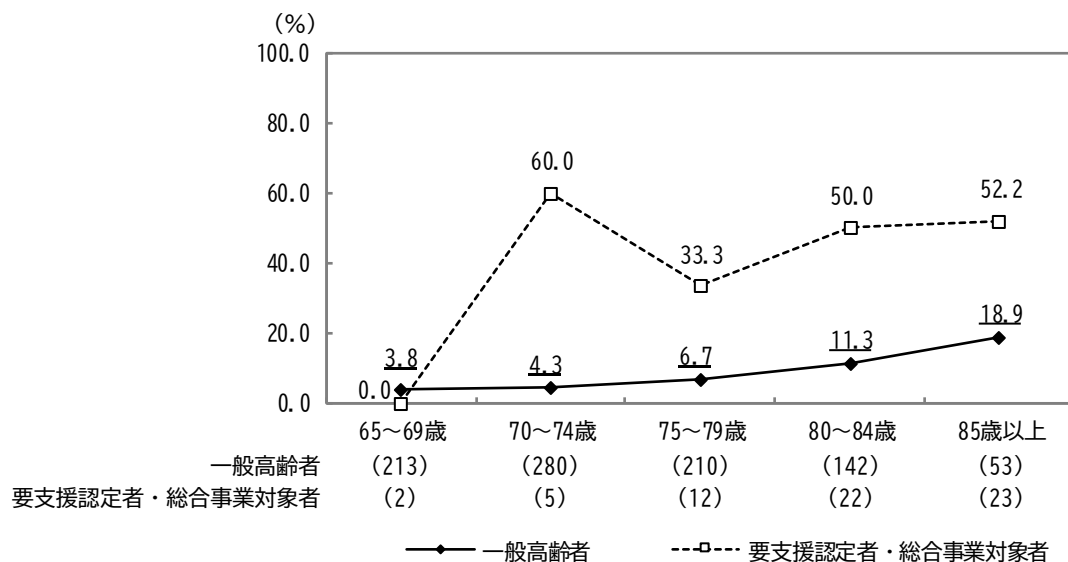
※要支援認定者・総合事業対象者を除く

() 内は有効回答数

認定別・年齢階級別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で割合が高くなっています。

また、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。

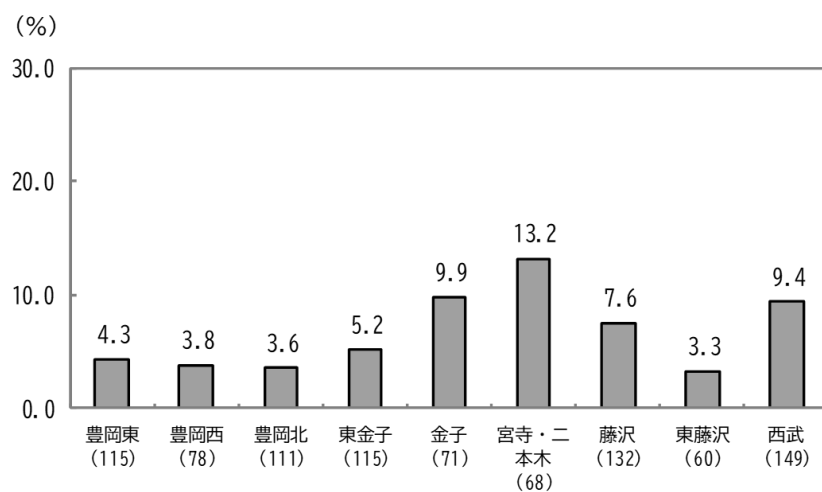
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、金子、宮寺・二本木、藤沢、西武で該当者割合が全体平均の 7.3%を超えています。

また、最も高い圏域は宮寺・二本木で 13.2%、最も低い圏域は東藤沢で 3.3%となっており、9.9 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

(3) 社会参加

① 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

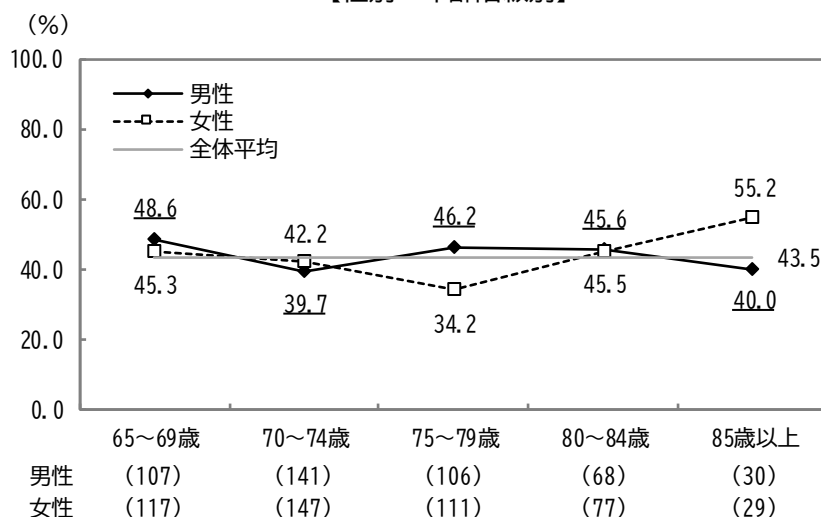
問番号	設問	該当する選択肢
問5 (9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問5 (10)	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問5 (11)	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問5 (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では43.5%となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっており、85歳以上で男性を上回っています。女性では、85歳以上で55.2%と、80～84歳に比べ、9.6ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】

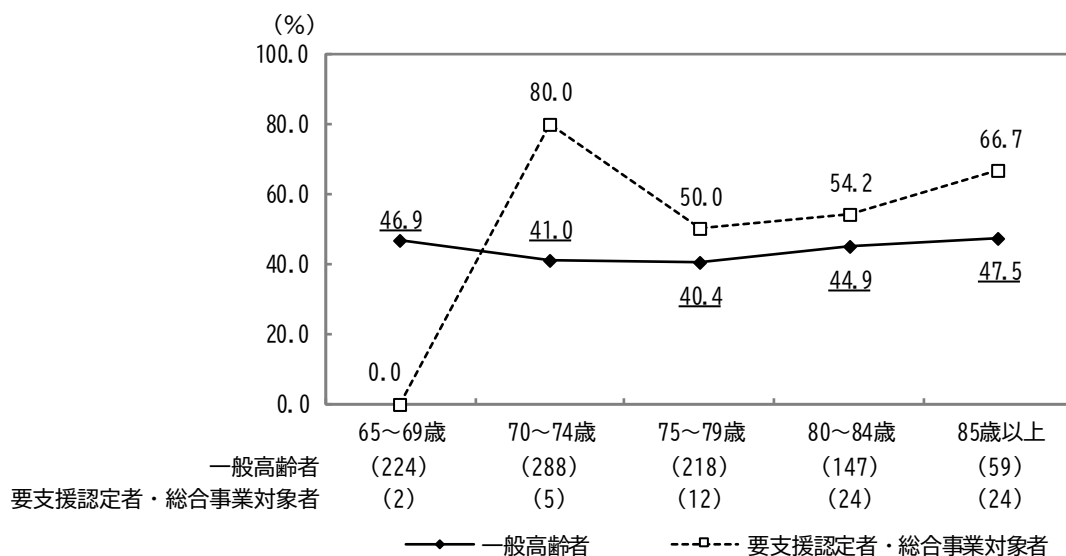


※要支援認定者・総合事業対象者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別でみると、要支援認定者・総合事業対象者で、70～74 歳が 80.0%と最も高くなっています。

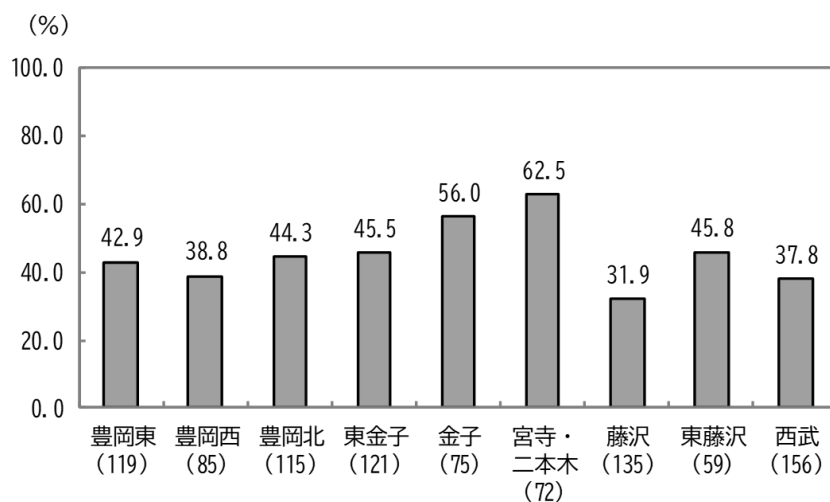
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡北、東金子、金子、宮寺・二本木、東藤沢で該当者割合が全体平均の 43.5%を超えています。

また、最も高い圏域は宮寺・二本木で 62.5%、最も低い圏域は藤沢で 31.9%となっており、30.6 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者・総合事業対象者を除く

② 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

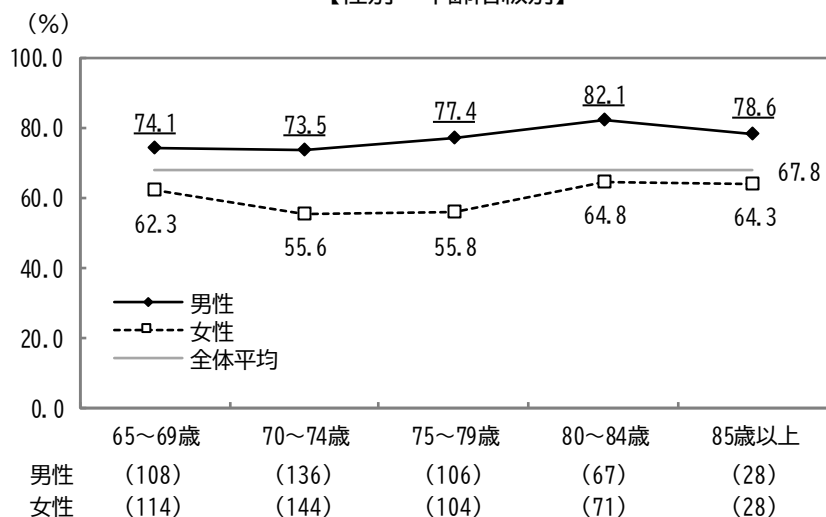
問番号	設問	該当する選択肢
問5 (13)	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問5 (14)	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問5 (15)	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問5 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では67.8%となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では、すべての年代で平均を上回っています。一方、男性では、すべての年代で平均を下回っています。

【性別・年齢階級別】

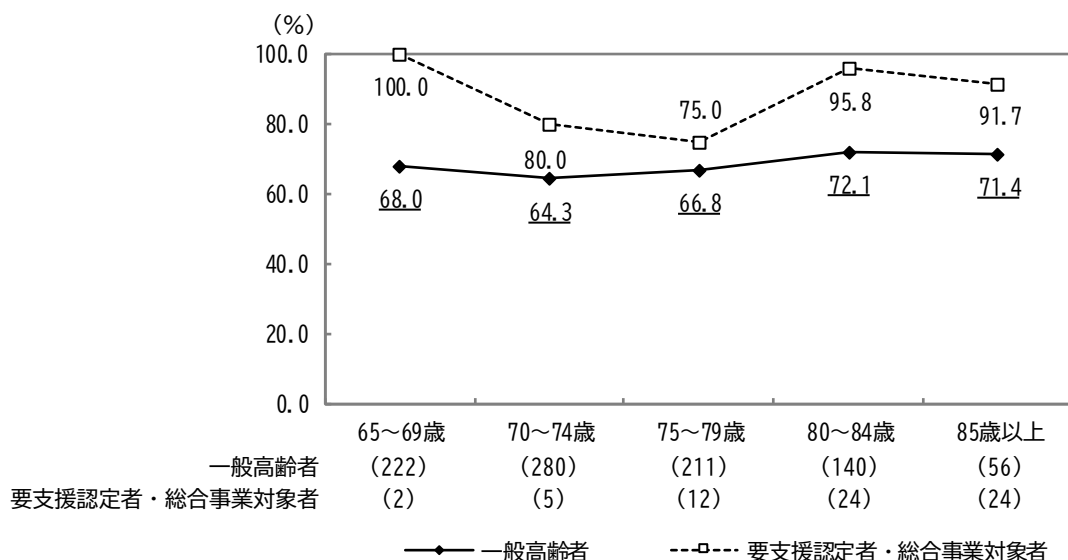


要支援認定者・総合事業対象者を除く

() 内は有効回答数

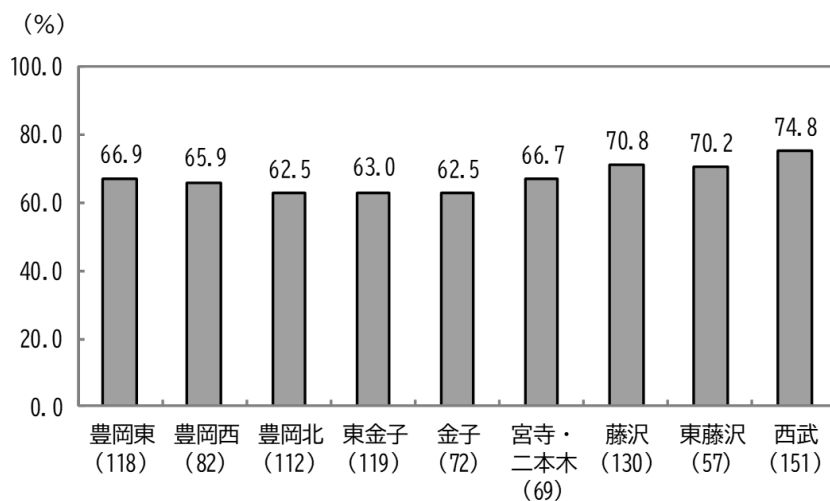
認定別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者・総合事業対象者で割合が高くなっており、85歳以上では、一般高齢者が71.4%、要支援認定者・総合事業対象者が91.7%と、20.3ポイントの差となっています。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、藤沢、東藤沢、西武で該当者割合が全体平均の67.8%を超えています。また、最も高い圏域は西武で74.8%、最も低い圏域は豊岡北、金子で62.5%となっており、12.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



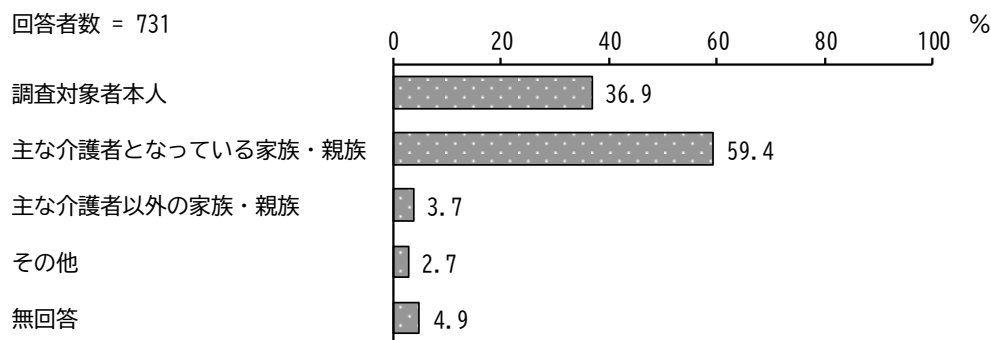
※要支援認定者・総合事業対象者を除く

2 在宅介護実態調査

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

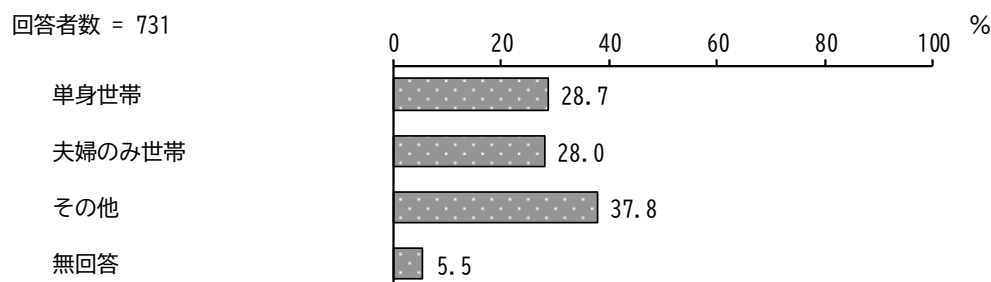
Q1. 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が 36.9%となっています。



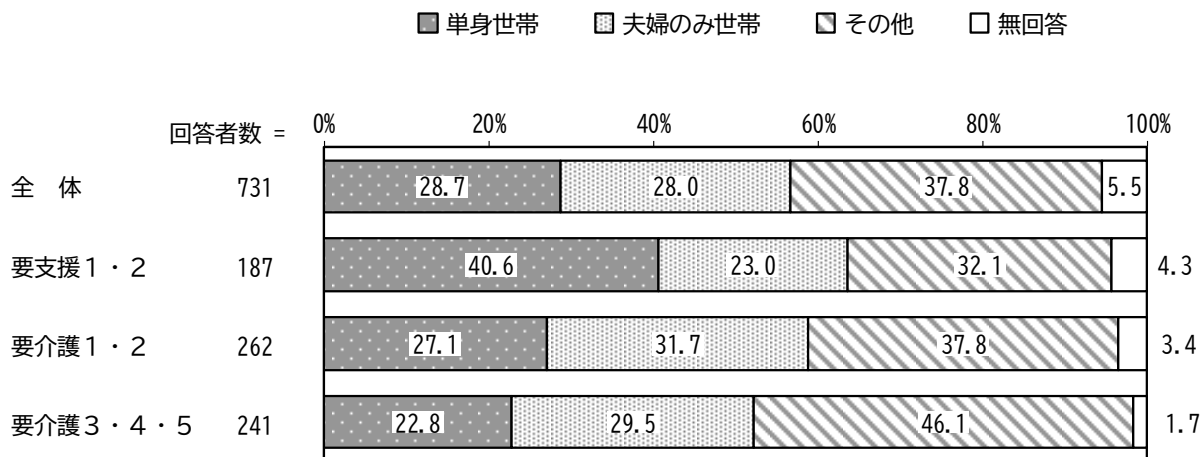
Q2. 世帯類型について、ご回答ください（1つのみ）

「単身世帯」の割合が 28.7%、「夫婦のみ世帯」の割合が 28.0%となっています。



【要支援・要介護度別】

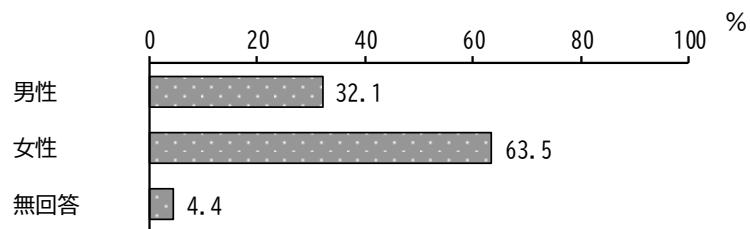
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「単身世帯」の割合が高くなっています。



Q3. ご本人の性別について、ご回答ください

「男性」の割合が 32.1%、「女性」の割合が 63.5%となっています。

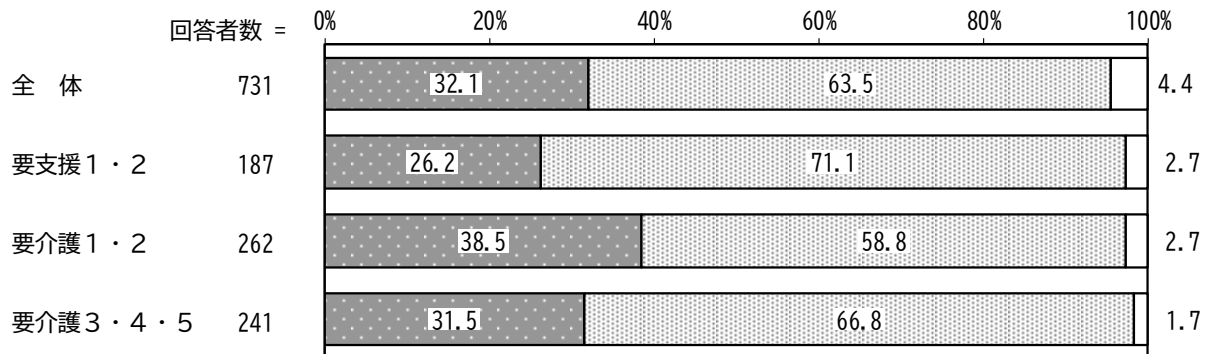
回答者数 = 731



【要支援・要介護度別】

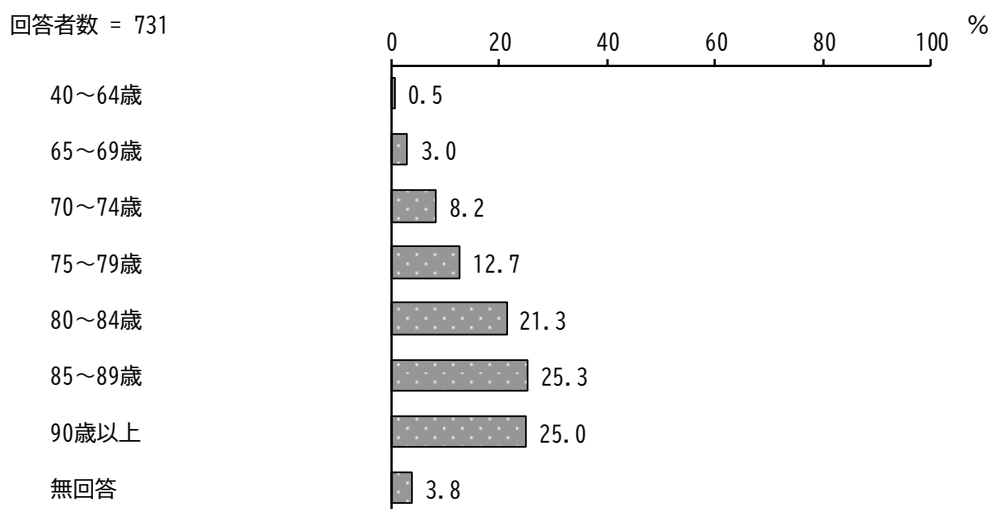
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・２で「女性」の割合が、要介護１・２で「男性」の割合が高くなっています。

■ 男性 ■ 女性 □ 無回答



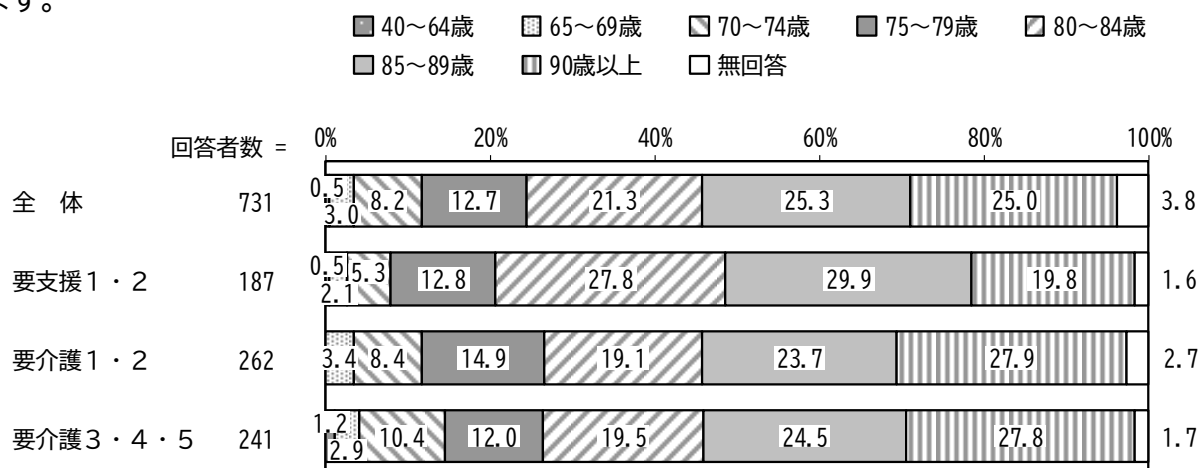
Q4. ご本人の年齢について、ご回答ください（1つのみ）

「85～89歳」の割合が25.3%と最も高く、次いで「90歳以上」の割合が25.0%、「80～84歳」の割合が21.3%となっています。



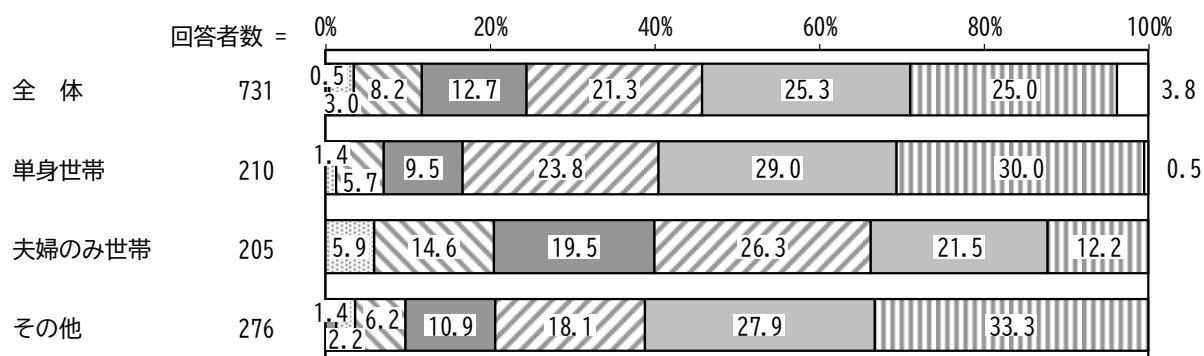
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「80～84歳」の割合が高くなっています。



【世帯類型別】

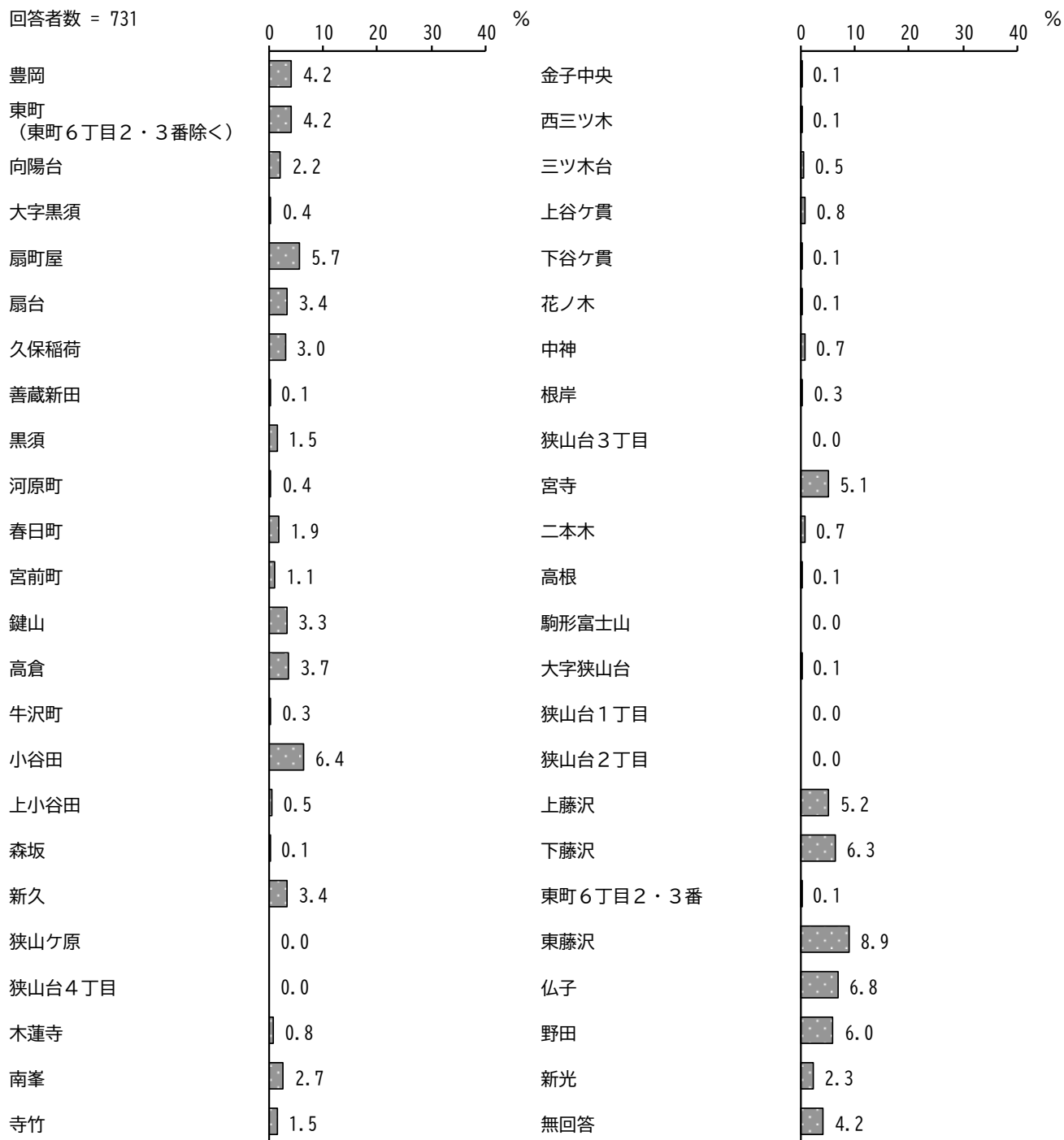
世帯類型別にみると、他に比べ、夫婦のみ世帯で「75～79歳」「80～84歳」の割合が、単身世帯で「90歳以上」の割合が高くなっています。



Q 5. ご本人のお住まいの地区について、ご回答ください（1つのみ）

「東藤沢」の割合が8.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 731



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	豊岡	東町(東町6丁目2・3番除く)	向陽台	大字黒須	扇町屋	扇台	久保稲荷	善蔵新田	黒須	河原町	春日町	宮前町
全 体	731	4.2	4.2	2.2	0.4	5.7	3.4	3.0	0.1	1.5	0.4	1.9	1.1
要支援1・2	187	6.4	2.7	3.2	0.5	4.8	4.8	3.2	－	2.1	－	2.7	1.1
要介護1・2	262	3.1	5.7	3.1	－	7.6	2.3	1.9	－	0.8	0.8	2.3	1.9
要介護3・4・5	241	4.1	3.7	0.8	0.8	4.6	3.7	4.1	0.4	2.1	0.4	1.2	0.4

区分	鍵山	高倉	牛沢町	小谷田	上小谷田	森坂	新久	狭山ヶ原	狭山台4丁目	木蓮寺	南峯	寺竹	金子中央
全 体	3.3	3.7	0.3	6.4	0.5	0.1	3.4	－	－	0.8	2.7	1.5	0.1
要支援1・2	3.7	1.6	－	3.7	－	－	3.7	－	－	0.5	2.1	0.5	－
要介護1・2	3.1	4.6	－	6.1	1.5	－	3.8	－	－	1.1	2.7	1.5	－
要介護3・4・5	2.9	4.6	0.4	9.5	－	－	2.1	－	－	0.8	3.3	2.1	0.4

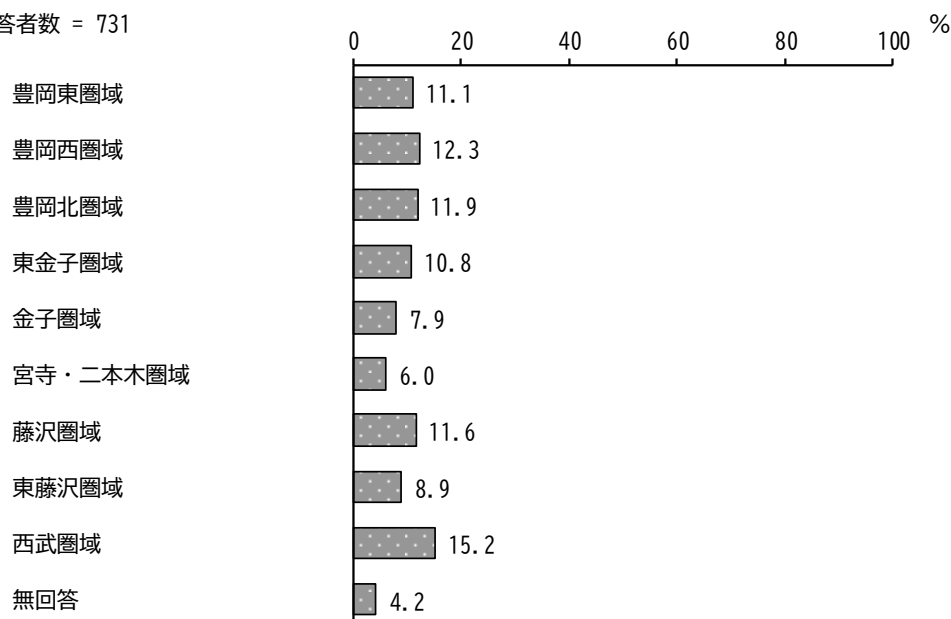
区分	西三ツ木	三ツ木台	上谷ヶ貫	下谷ヶ貫	花ノ木	中神	根岸	狭山台3丁目	宮寺	二本木	高根	駒形富士山	大字狭山台
全 体	0.1	0.5	0.8	0.1	0.1	0.7	0.3	－	5.1	0.7	0.1	－	0.1
要支援1・2	0.5	0.5	1.6	0.5	－	1.6	－	－	5.9	0.5	－	－	0.5
要介護1・2	－	0.8	－	－	－	0.4	0.4	－	6.5	0.8	－	－	－
要介護3・4・5	－	0.4	0.8	－	－	0.4	0.4	－	3.7	0.8	0.4	－	－

区分	狭山台1丁目	狭山台2丁目	上藤沢	下藤沢	東町6丁目2・3番	東藤沢	仏子	野田	新光	無回答
全 体	－	－	5.2	6.3	0.1	8.9	6.8	6.0	2.3	4.2
要支援1・2	－	－	7.5	6.4	0.5	9.1	7.0	3.7	3.7	2.7
要介護1・2	－	－	3.4	5.7	－	8.4	7.3	7.3	2.7	2.7
要介護3・4・5	－	－	5.8	6.2	－	10.4	7.1	7.5	1.2	2.1

日常生活圏域

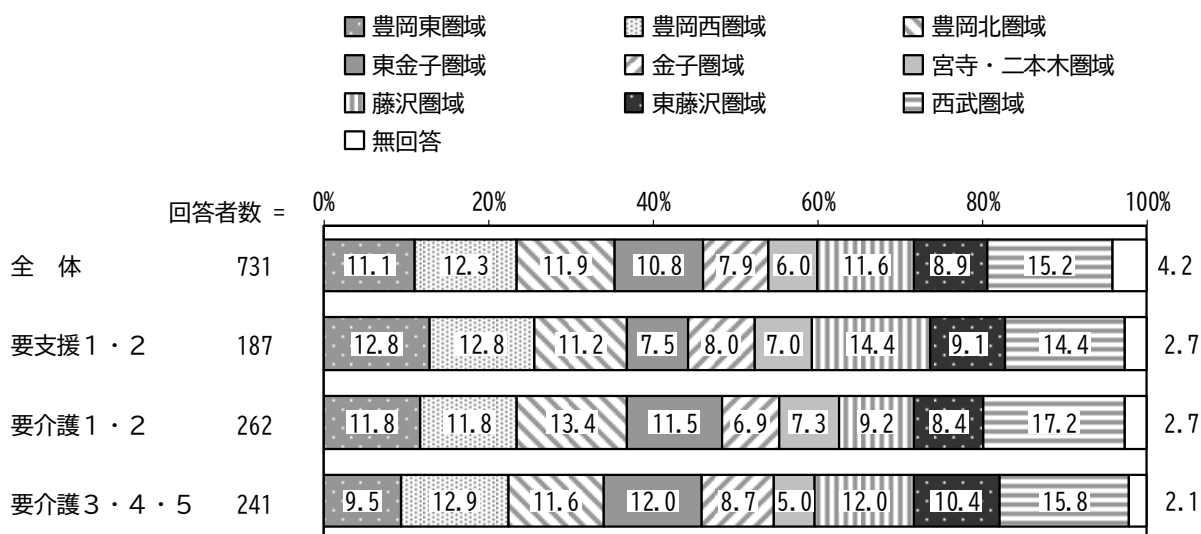
「西武圏域」の割合が15.2%と最も高く、次いで「豊岡西圏域」の割合が12.3%、「豊岡北圏域」の割合が11.9%となっています。

回答者数 = 731



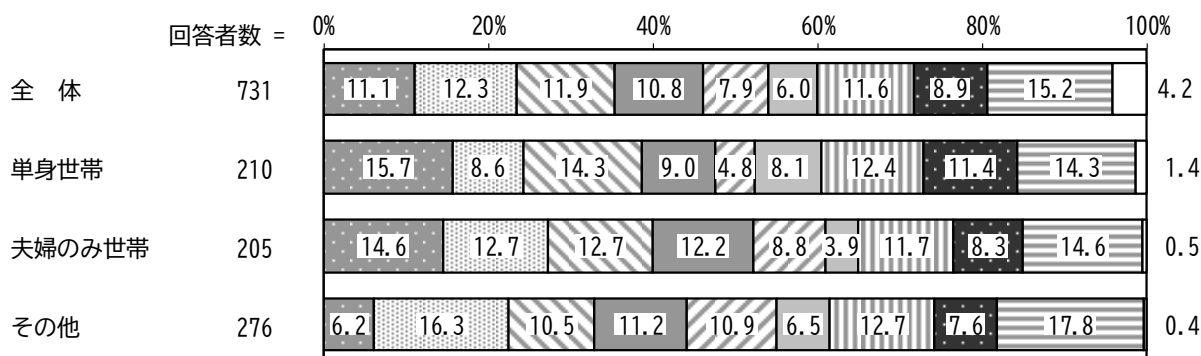
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。



【世帯類型別】

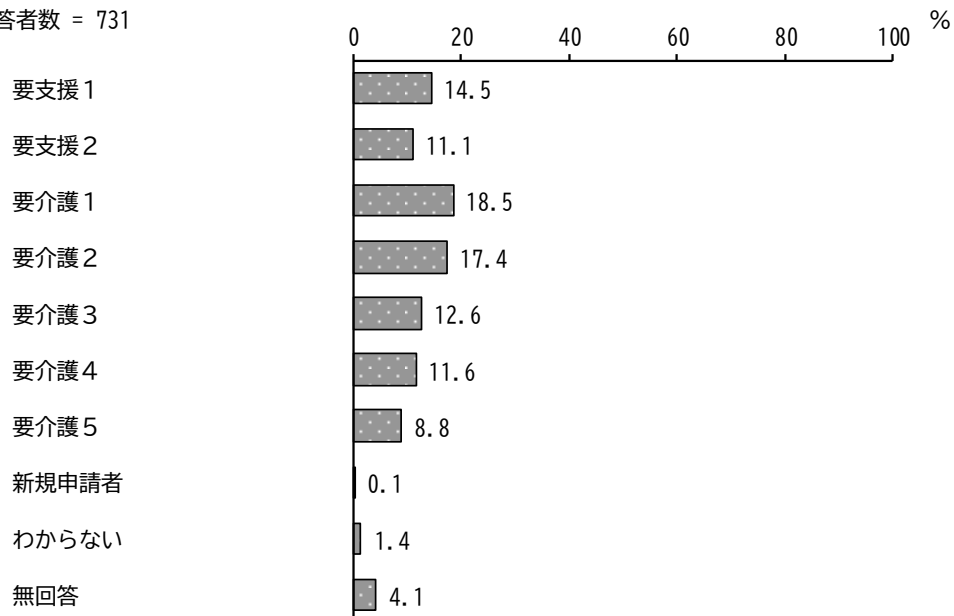
世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



Q 6. ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つのみ）

「要介護1」の割合が18.5%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が17.4%、「要支援1」の割合が14.5%となっています。

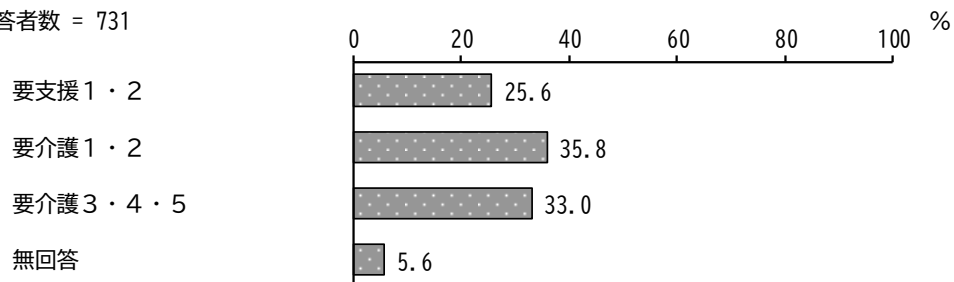
回答者数 = 731



要支援・要介護度別

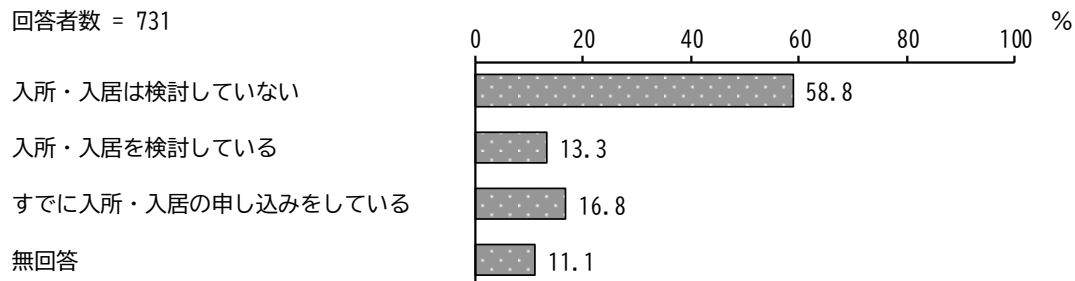
「要介護1・2」の割合が35.8%と最も高く、次いで「要介護3・4・5」の割合が33.0%、「要支援1・2」の割合が25.6%となっています。

回答者数 = 731



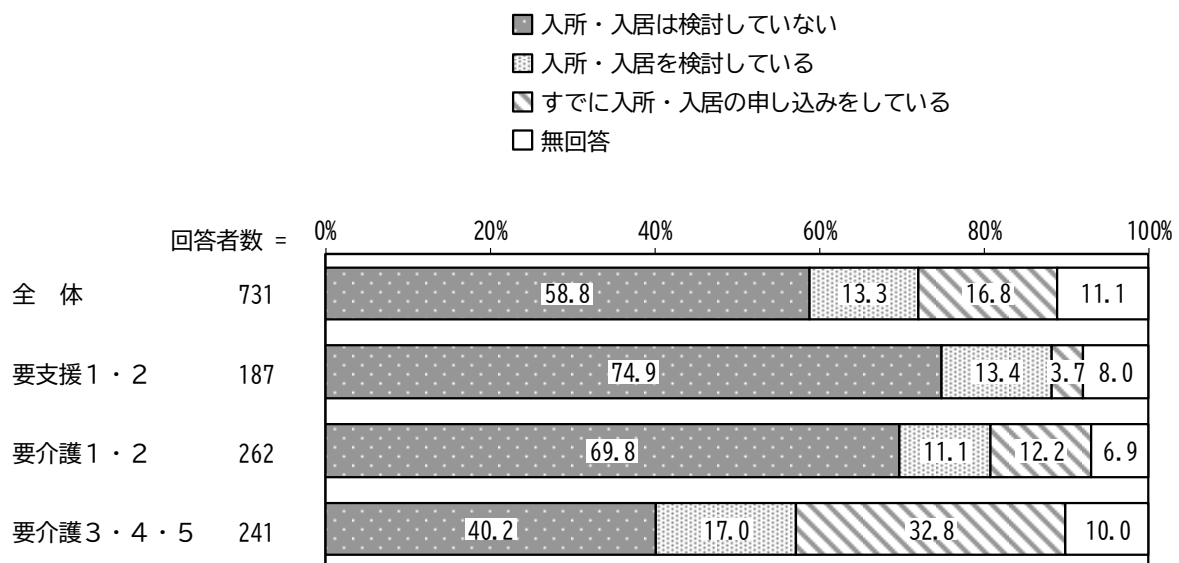
Q 7. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つのみ）

「入所・入居は検討していない」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が 16.8%、「入所・入居を検討している」の割合が 13.3%となっています。



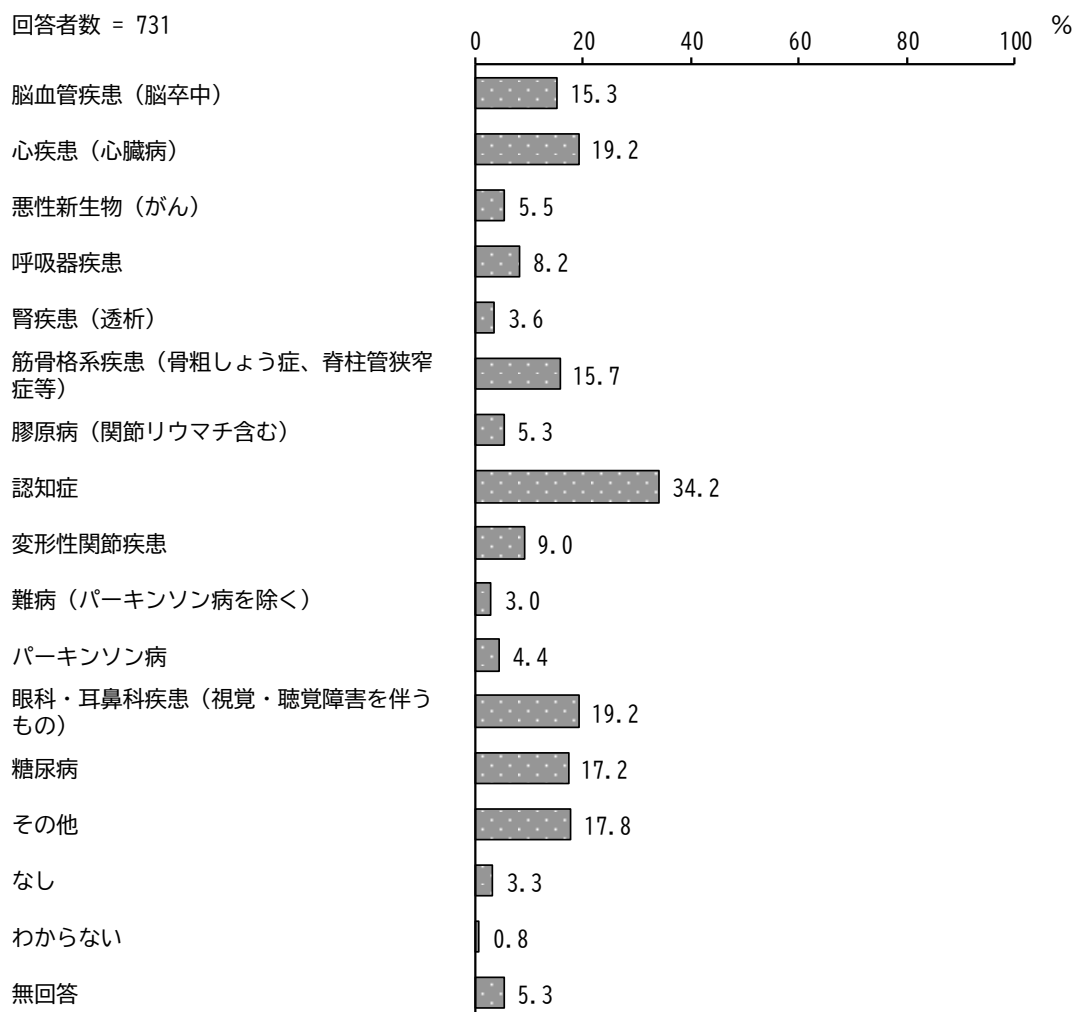
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2、要介護1・2で「入所・入居は検討していない」の割合が、要介護3・4・5で「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が高くなっています。



Q8. ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

「認知症」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 19.2%となっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護３・４・５で「認知症」の割合が、要支援１・２で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が高くなっています。

単位：％

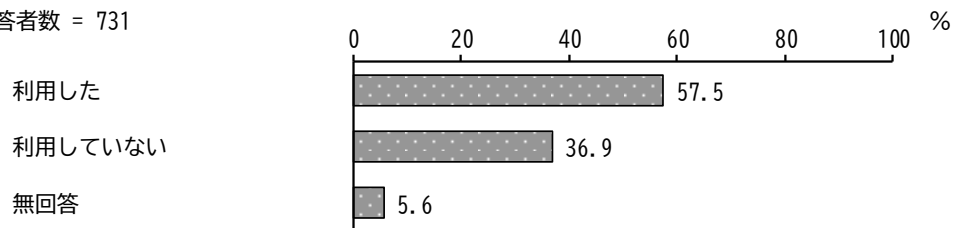
区分	回答者数（件）	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	認知症
全 体	731	15.3	19.2	5.5	8.2	3.6	15.7	5.3	34.2
要支援１・２	187	8.6	17.6	8.6	11.2	3.2	23.5	6.4	11.8
要介護１・２	262	17.6	18.3	5.7	9.9	3.4	17.2	4.6	36.3
要介護３・４・５	241	19.1	22.4	3.7	4.6	4.6	10.4	6.2	53.1

区分	変形性関節疾患	難病（パーキンソン病を除く）	パーキンソン病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	糖尿病	その他	なし	わからない	無回答
全 体	9.0	3.0	4.4	19.2	17.2	17.8	3.3	0.8	5.3
要支援１・２	15.0	2.7	1.6	23.5	14.4	17.1	4.8	－	3.2
要介護１・２	8.8	2.3	5.0	22.5	17.9	19.5	3.8	0.8	3.1
要介護３・４・５	6.2	4.6	6.2	14.1	19.9	18.3	0.8	0.4	2.9

Q 9. 令和4年12月に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか

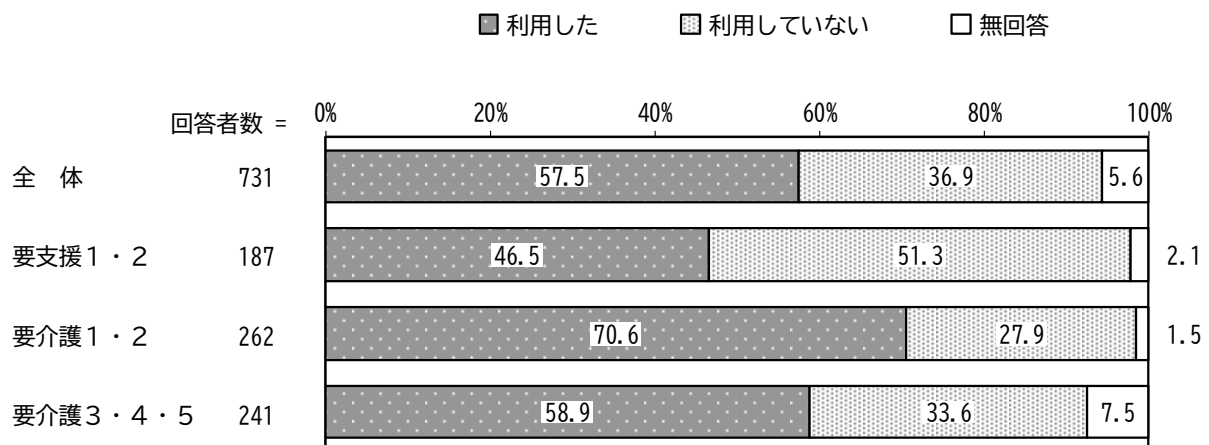
「利用した」の割合が57.5%、「利用していない」の割合が36.9%となっています。

回答者数 = 731



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「利用していない」の割合が、要介護1・2で「利用した」の割合が高くなっています。

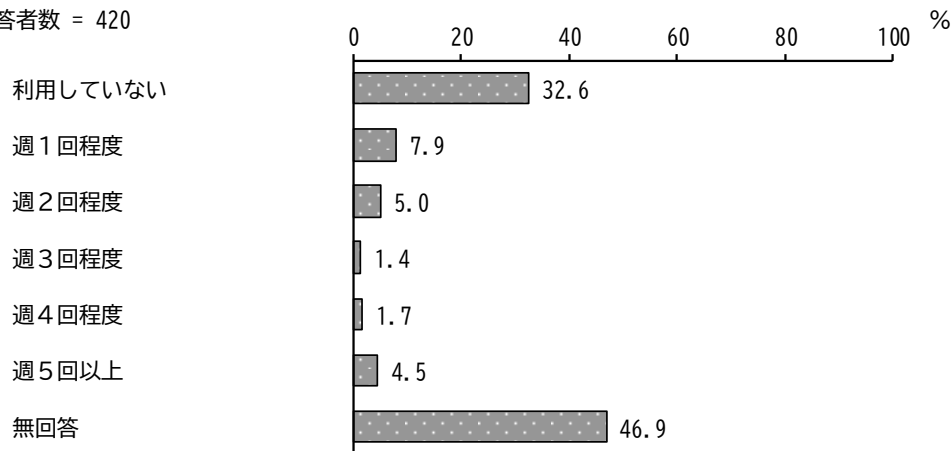


Q10. 1週間あたりの利用回数（それぞれ1つのみ）

A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

「利用していない」の割合が32.6%と最も高くなっています。

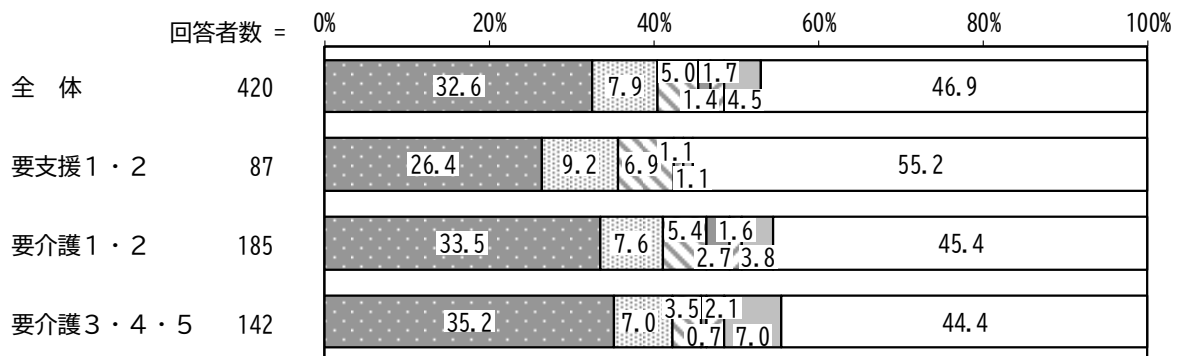
回答者数 = 420



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。

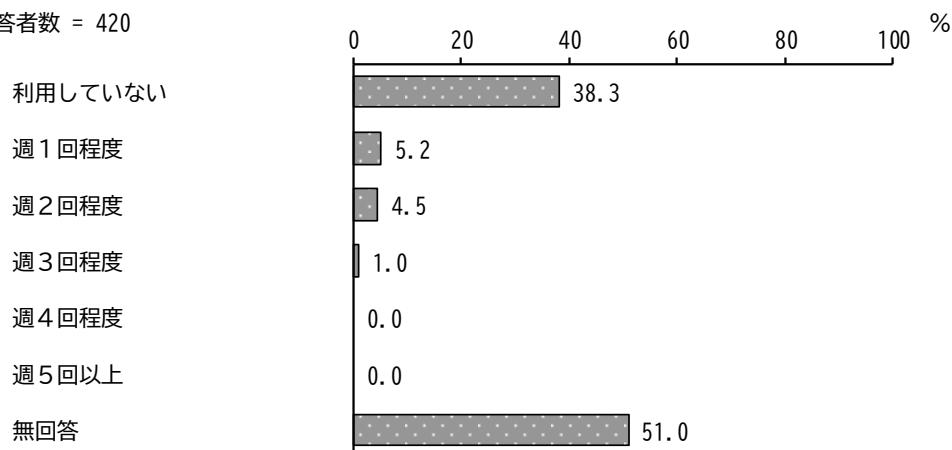
■ 利用していない ■ 週1回程度 ■ 週2回程度 ■ 週3回程度
 ■ 週4回程度 ■ 週5回以上 □ 無回答



B. 訪問入浴介護

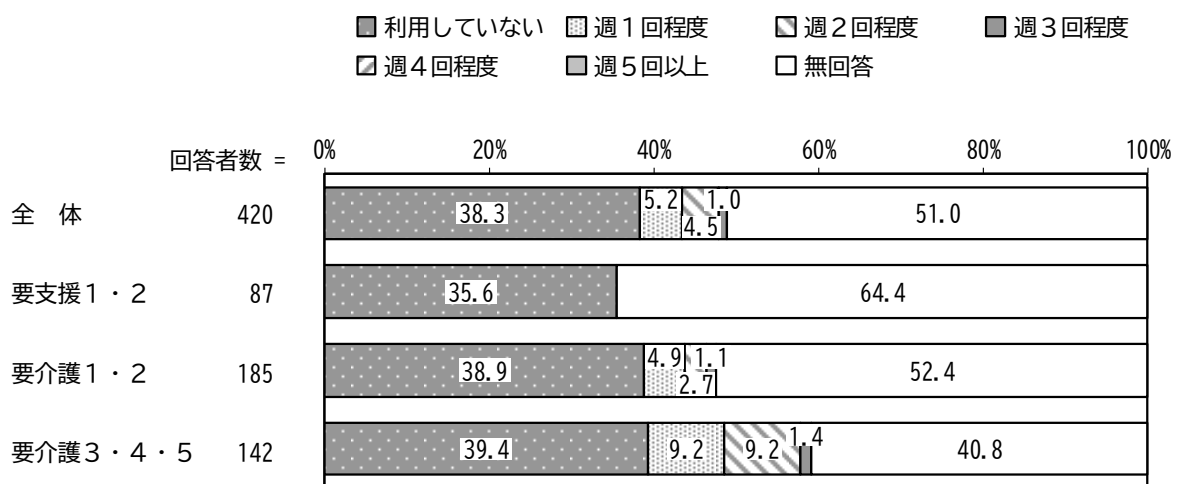
「利用していない」の割合が38.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 420



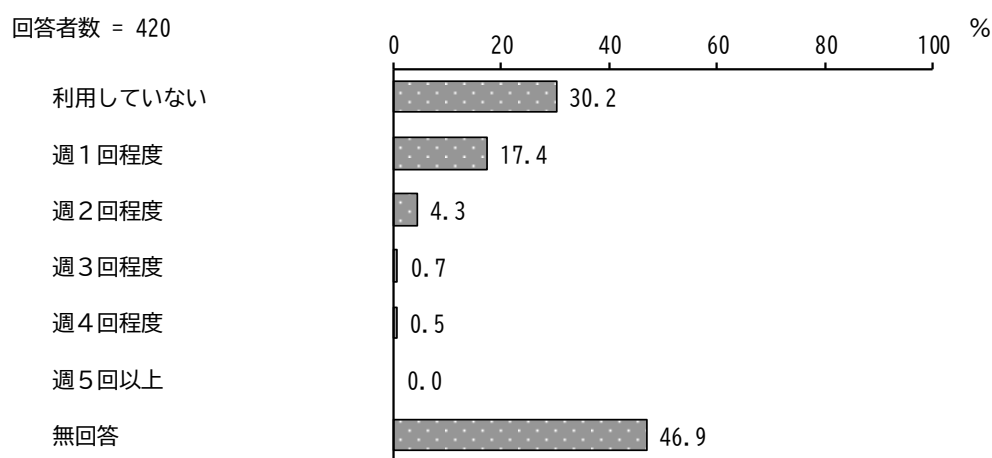
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。



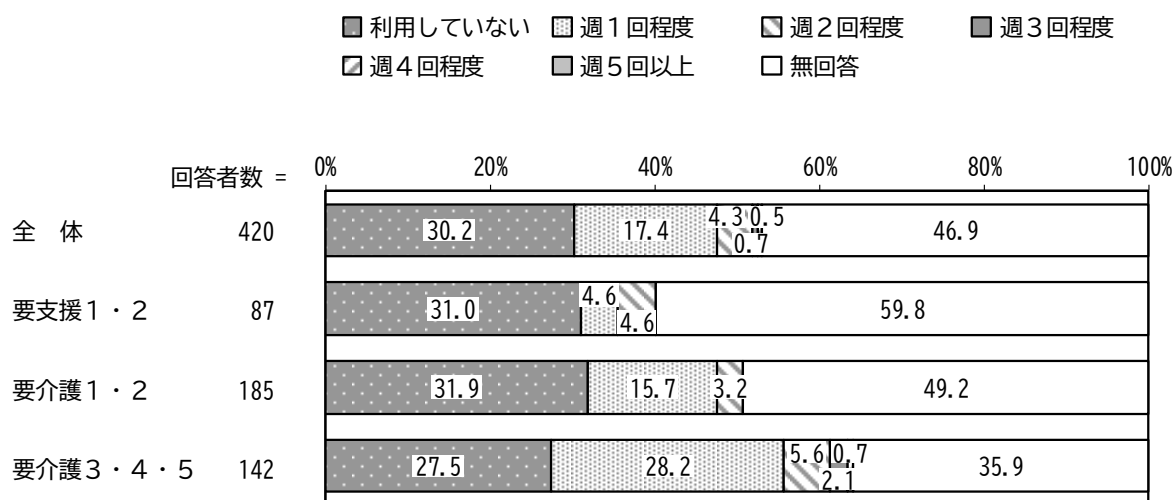
C. 訪問看護

「利用していない」の割合が30.2%と最も高く、次いで「週1回程度」の割合が17.4%となっています。



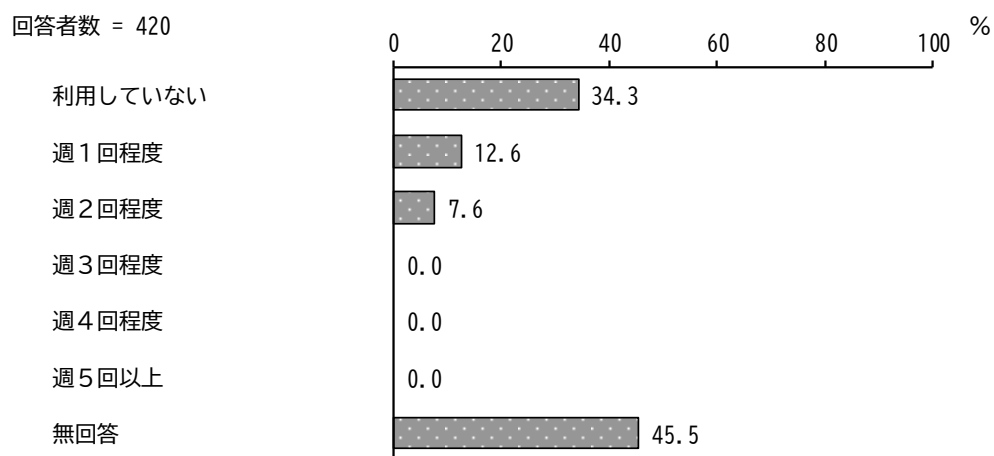
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「週1回程度」の割合が高くなっています。



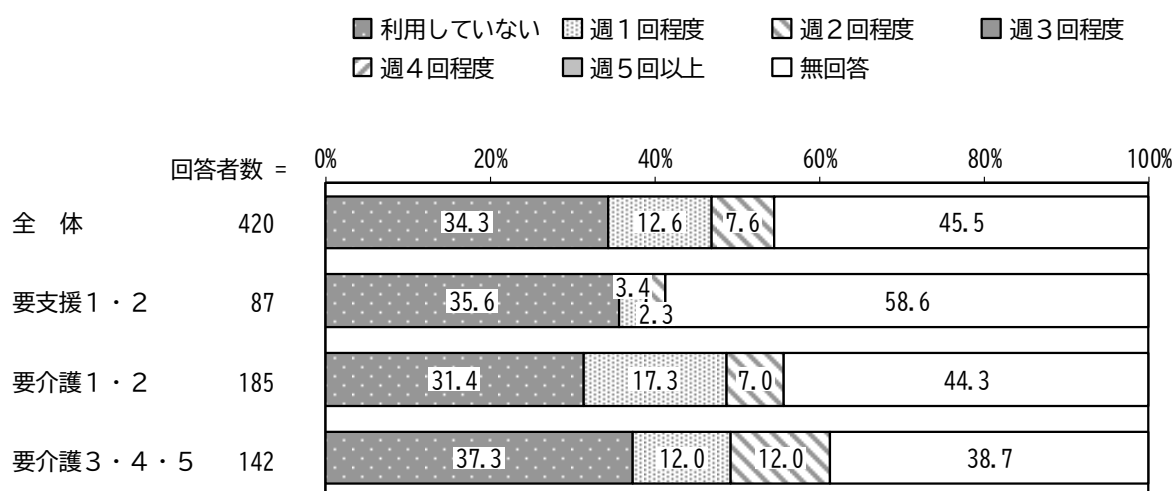
D. 訪問リハビリテーション

「利用していない」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「週 1 回程度」の割合が 12.6%となっています。



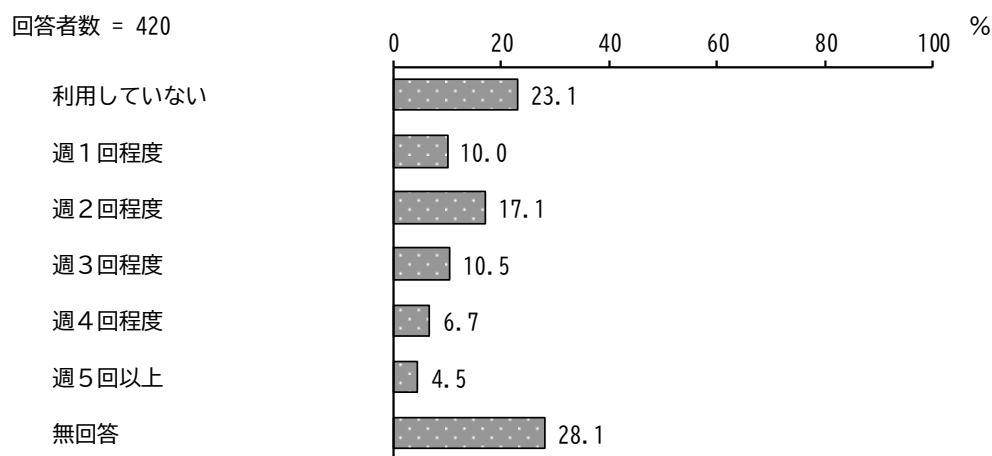
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。



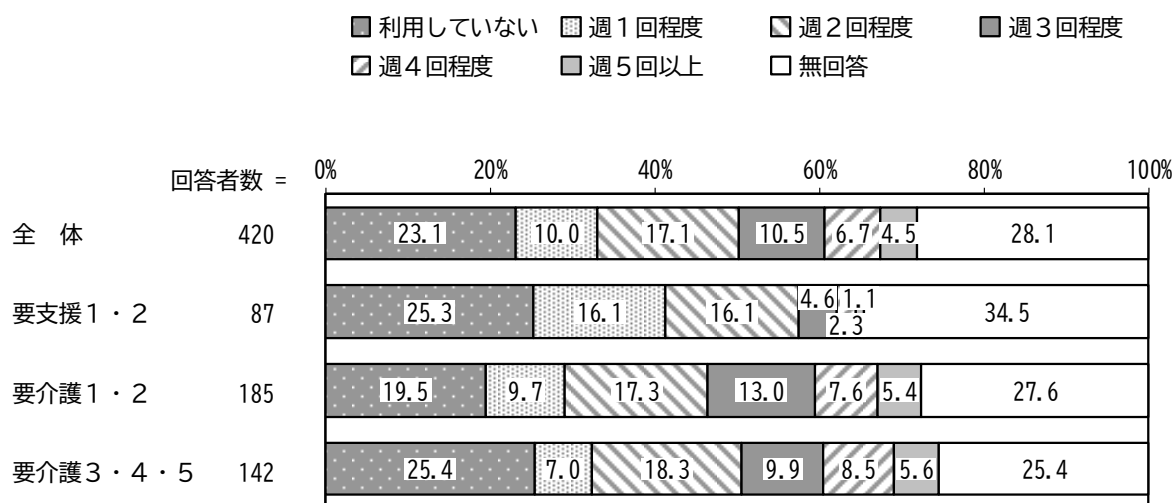
E. 通所介護（デイサービス）

「利用していない」の割合が23.1%と最も高く、次いで「週2回程度」の割合が17.1%、「週3回程度」の割合が10.5%となっています。



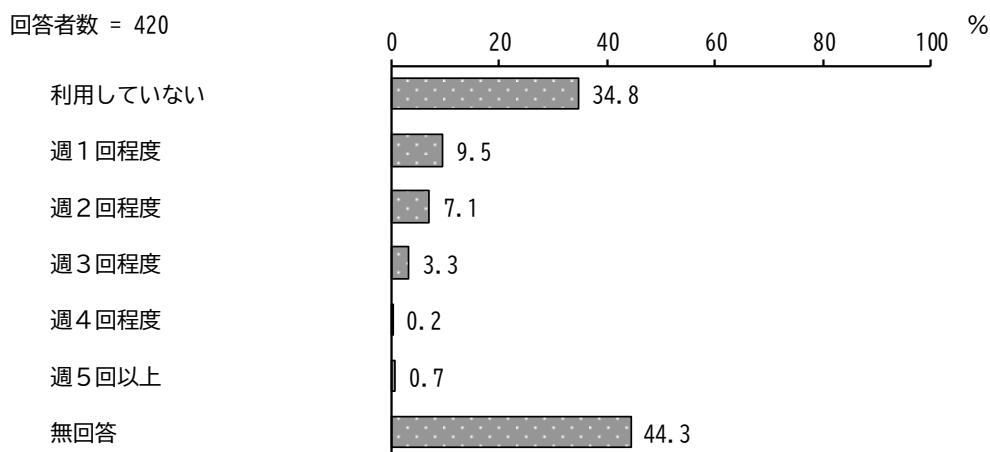
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「週1回程度」の割合が高くなっています。



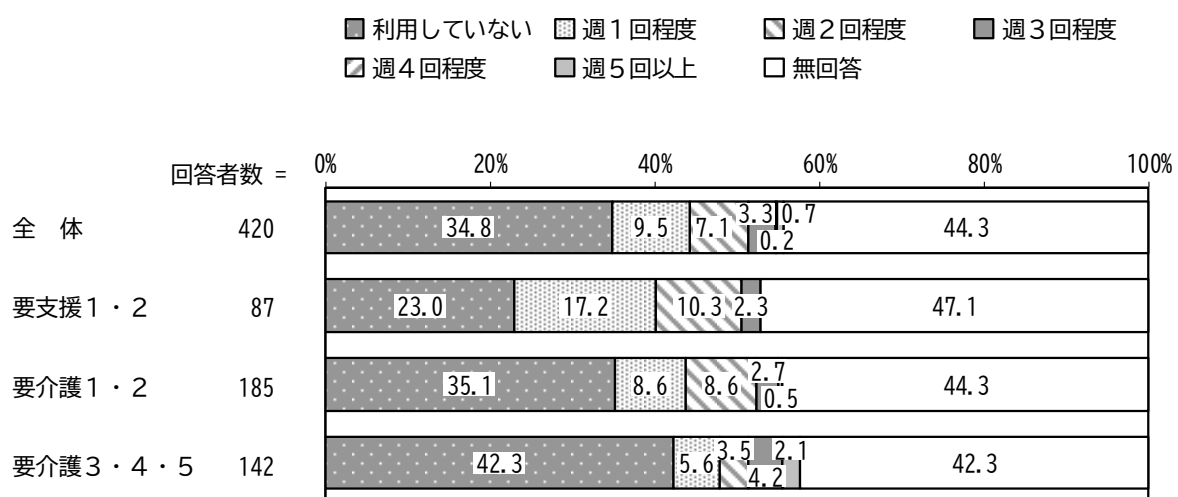
F. 通所リハビリテーション（デイケア）

「利用していない」の割合が34.8%と最も高くなっています。



【要支援・要介護度別】

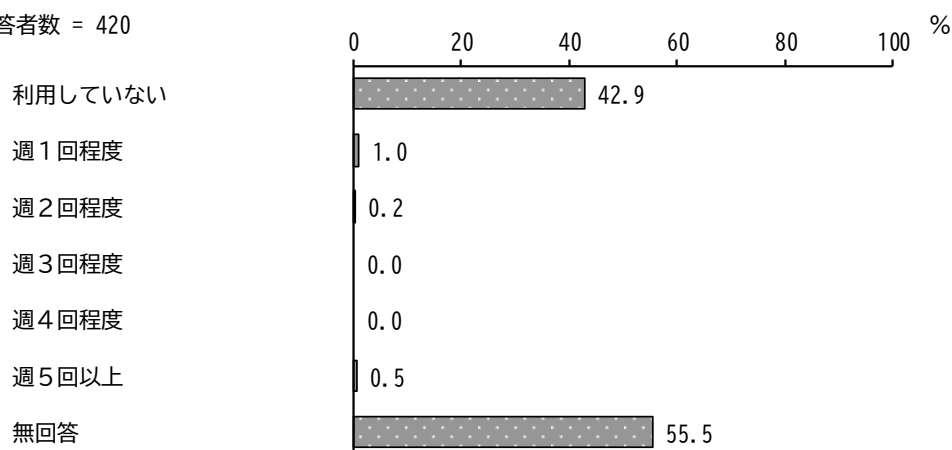
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「利用していない」の割合が高くなっています。



G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

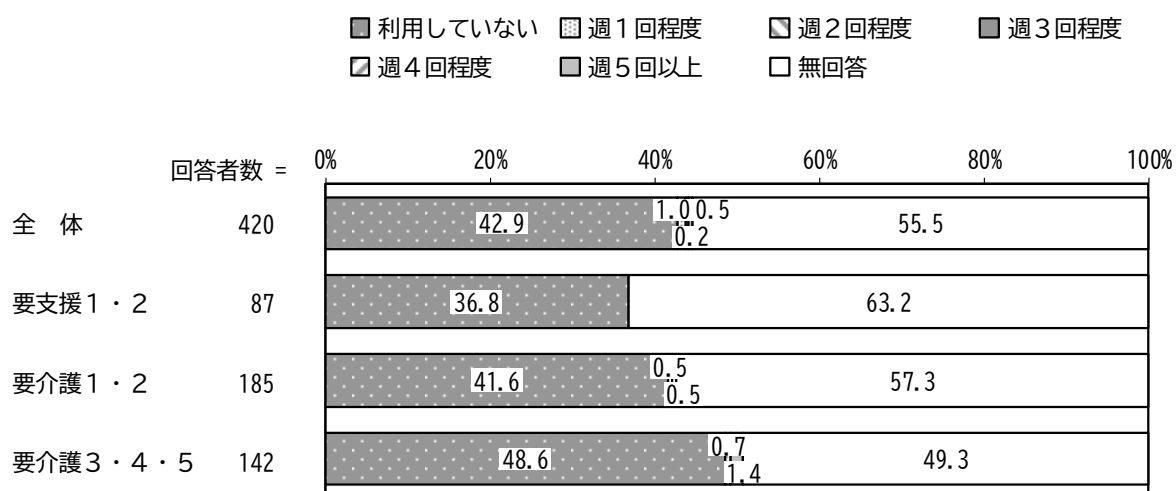
「利用していない」の割合が42.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 420



【要支援・要介護度別】

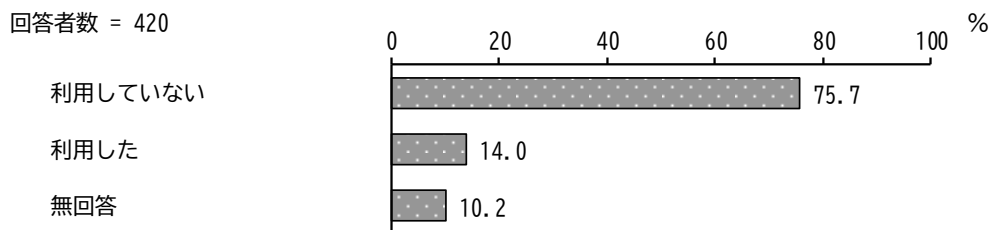
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「利用していない」の割合が高くなっています。



利用の有無

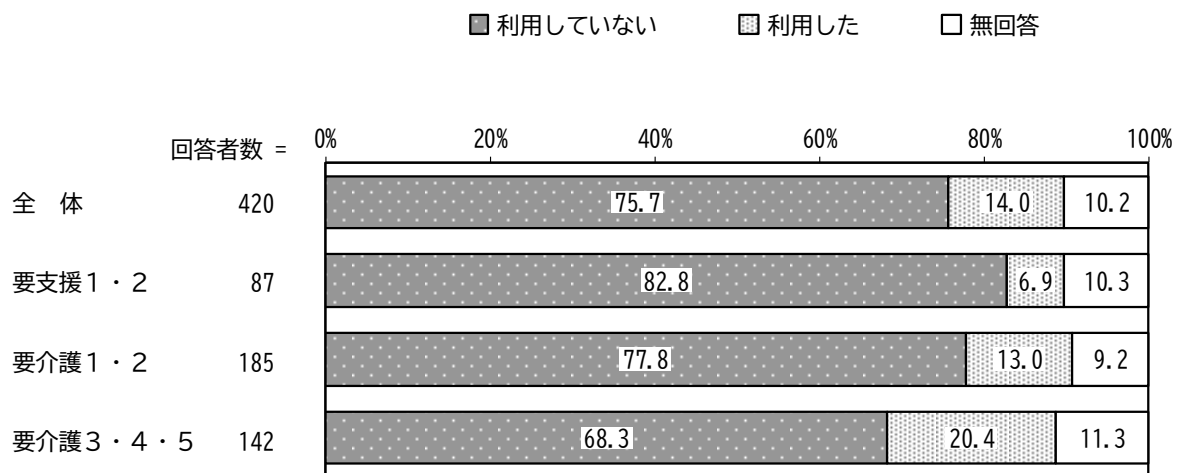
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「利用していない」の割合が75.7%、「利用した」の割合が14.0%となっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「利用していない」の割合が、要介護3・4・5で「利用した」の割合が高くなっています。



I. 小規模多機能型居宅介護

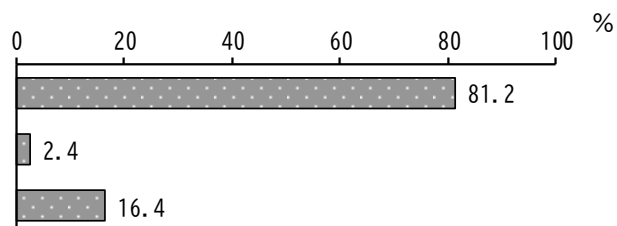
「利用していない」の割合が81.2%、「利用した」の割合が2.4%となっています。

回答者数 = 420

利用していない

利用した

無回答



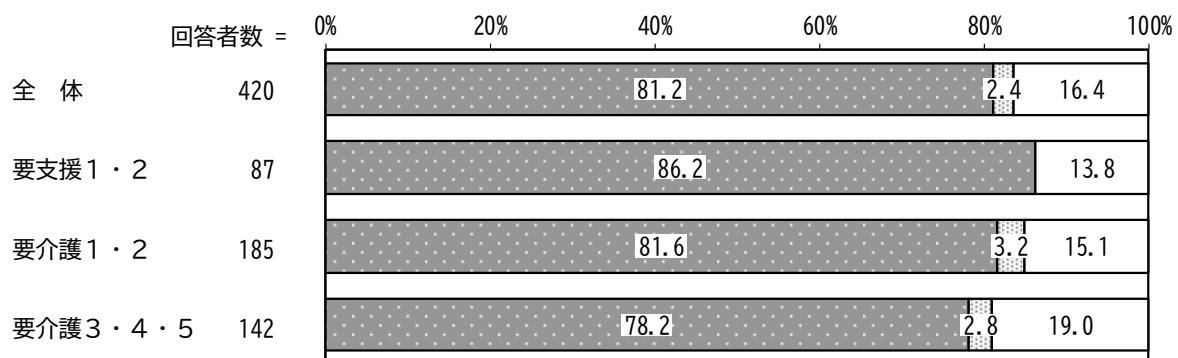
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「利用していない」の割合が高くなっています。

■ 利用していない

■ 利用した

□ 無回答



J. 看護小規模多機能型居宅介護

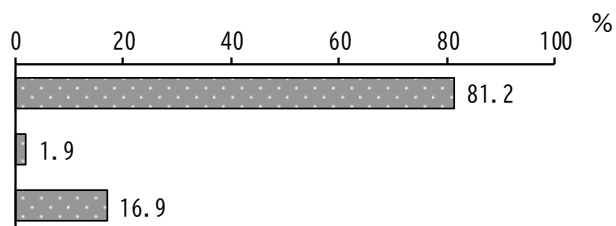
「利用していない」の割合が81.2%、「利用した」の割合が1.9%となっています。

回答者数 = 420

利用していない

利用した

無回答



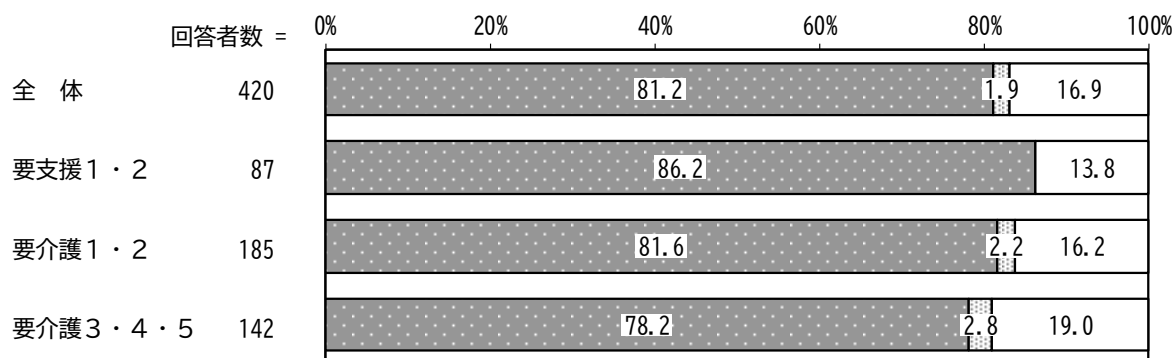
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「利用していない」の割合が高くなっています。

■ 利用していない

■ 利用した

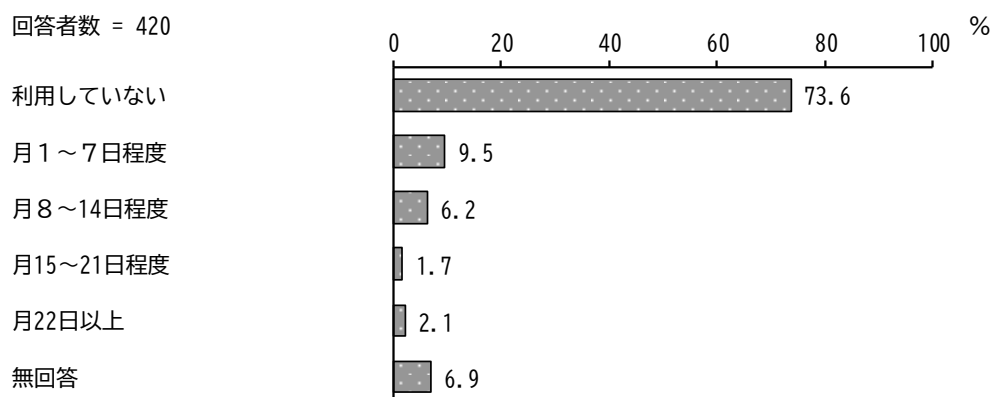
□ 無回答



1 か月あたりの利用日数（1 つのみ）

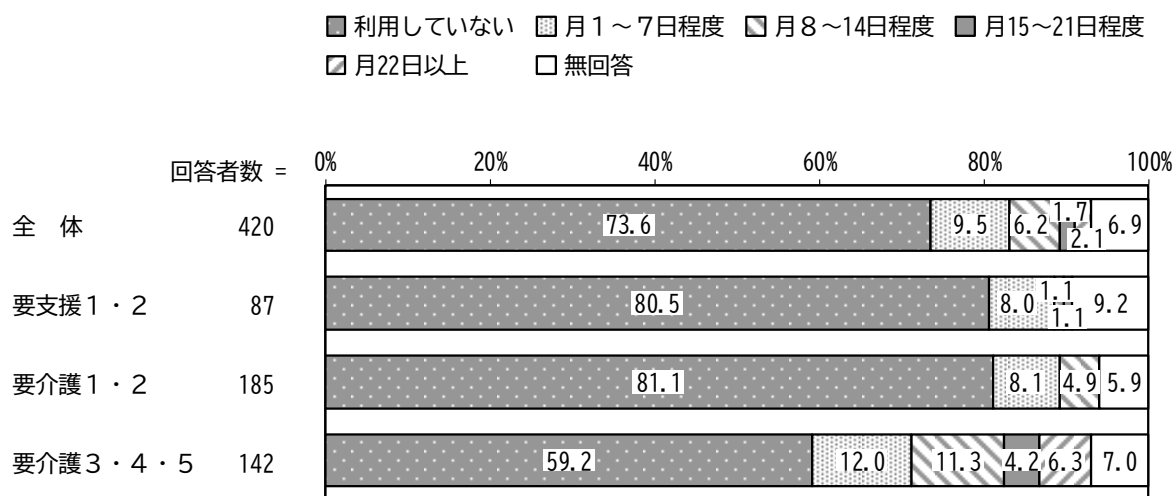
K. ショートステイ

「利用していない」の割合が 73.6%と最も高くなっています。



【要支援・要介護度別】

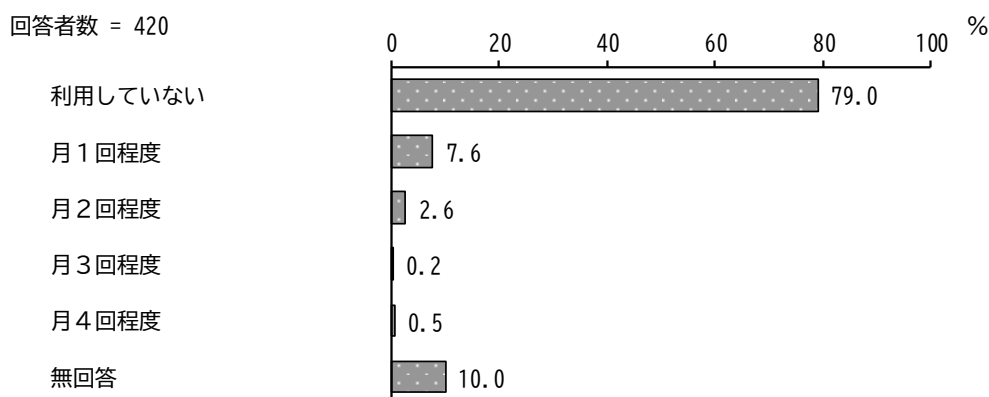
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1・2、要支援1・2で「利用していない」の割合が高くなっています。



1 か月あたりの利用回数（1 つのみ）

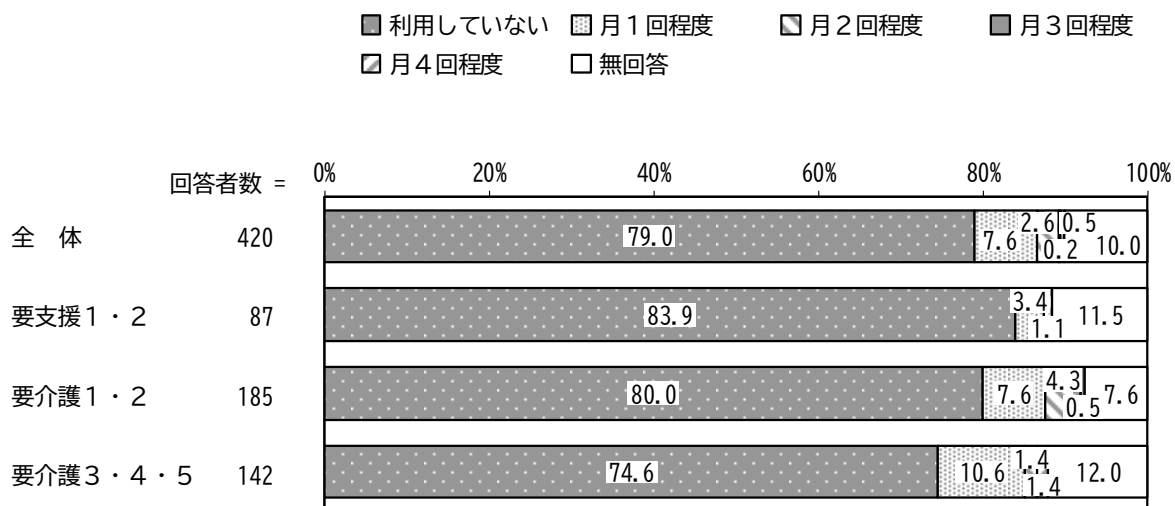
L. 居宅療養管理指導

「利用していない」の割合が 79.0%と最も高くなっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。

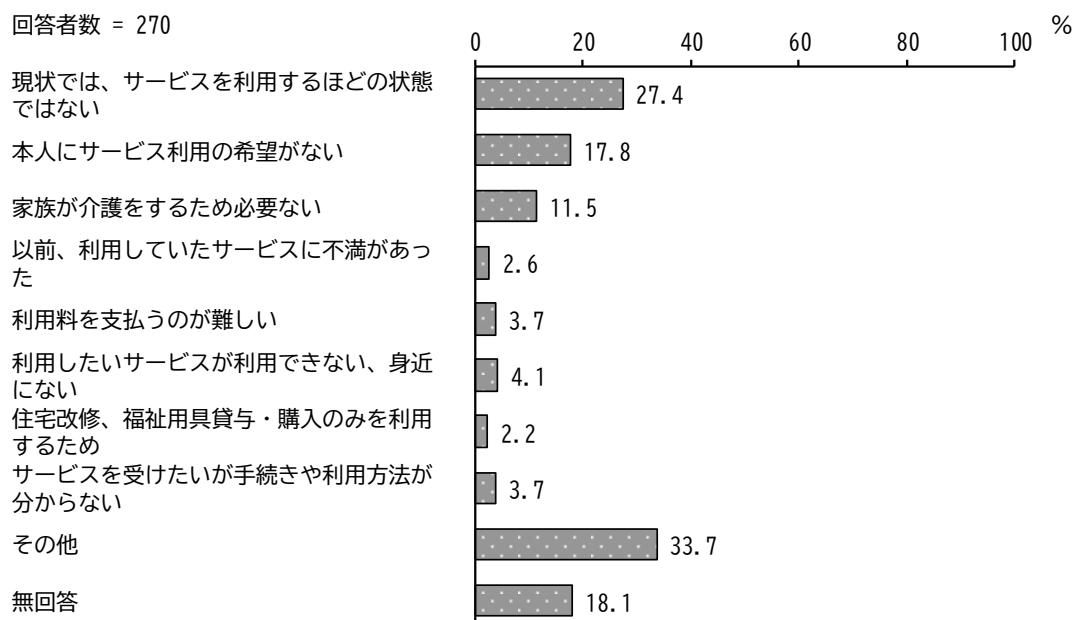


【Q9で「2. 利用していない」の方のみ】

Q11. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 17.8%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が 11.5%となっています。

回答者数 = 270



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が、要介護1・2で「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい
全 体	270	27.4	17.8	11.5	2.6	3.7
要支援1・2	96	53.1	20.8	9.4	4.2	3.1
要介護1・2	73	16.4	27.4	20.5	2.7	6.8
要介護3・4・5	81	3.7	4.9	4.9	—	2.5

区分	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けた方法が分からない	その他	無回答
全 体	4.1	2.2	3.7	33.7	18.1
要支援1・2	4.2	4.2	5.2	15.6	12.5
要介護1・2	6.8	1.4	4.1	20.5	24.7
要介護3・4・5	2.5	1.2	1.2	69.1	17.3

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、豊岡西圏域、宮寺・二本木圏域で「本人にサービス利用の希望がない」の割合が、金子圏域で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

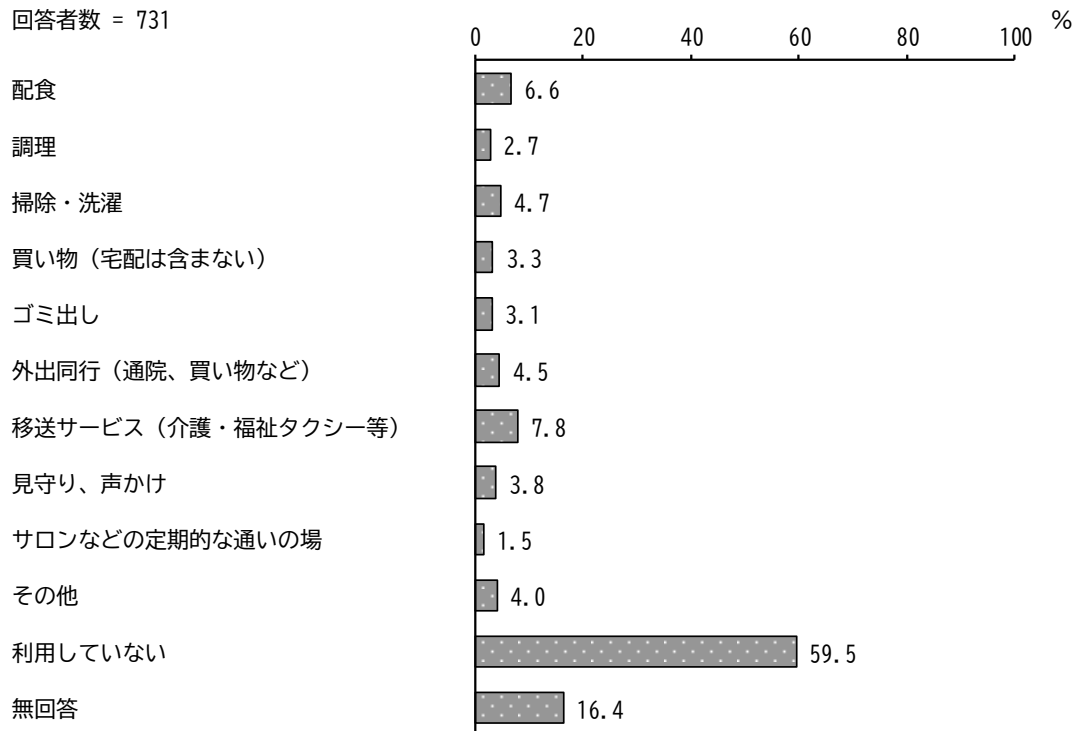
区分	回答者数 (件)	現状では、サービス を利用するほどの 状態ではない	本人にサービス利 用の希望がない	家族が介護をする ため必要ない	以前、利用していた サービスに不満が あった	利用料を支払うの が難しい
全 体	270	27.4	17.8	11.5	2.6	3.7
豊岡東圏域	35	28.6	14.3	11.4	8.6	2.9
豊岡西圏域	33	33.3	33.3	15.2	3.0	6.1
豊岡北圏域	33	24.2	18.2	12.1	3.0	3.0
東金子圏域	23	34.8	4.3	17.4	—	—
金子圏域	21	38.1	9.5	4.8	4.8	9.5
宮寺・二本木圏域	17	17.6	29.4	17.6	—	5.9
藤沢圏域	33	24.2	24.2	12.1	3.0	—
東藤沢圏域	26	26.9	7.7	3.8	—	—
西武圏域	41	22.0	17.1	7.3	—	7.3

区分	利用したいサービ スが利用できない、 身近にない	住宅改修、福祉用具 貸与・購入のみを利 用するため	サービ スが 利用 方法が分からない	その他	無回 答
全 体	4.1	2.2	3.7	33.7	18.1
豊岡東圏域	5.7	5.7	2.9	40.0	8.6
豊岡西圏域	15.2	3.0	9.1	15.2	24.2
豊岡北圏域	6.1	—	6.1	39.4	18.2
東金子圏域	—	—	4.3	34.8	13.0
金子圏域	—	—	4.8	33.3	14.3
宮寺・二本木圏域	5.9	—	—	35.3	11.8
藤沢圏域	3.0	3.0	—	27.3	24.2
東藤沢圏域	—	—	3.8	53.8	11.5
西武圏域	—	2.4	2.4	31.7	26.8

Q12. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

「利用していない」の割合が 59.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 731



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）
全 体	731	6.6	2.7	4.7	3.3	3.1	4.5
要支援1・2	187	4.8	1.6	5.9	4.3	2.7	5.9
要介護1・2	262	10.7	5.0	6.1	5.0	5.3	5.3
要介護3・4・5	241	4.6	1.7	2.5	0.4	1.7	2.9

区分	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体	7.8	3.8	1.5	4.0	59.5	16.4
要支援1・2	7.0	4.8	4.3	4.8	57.8	16.0
要介護1・2	7.3	3.8	—	1.9	60.3	12.6
要介護3・4・5	8.7	3.7	0.4	5.8	64.7	14.9

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、金子圏域、東金子圏域で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

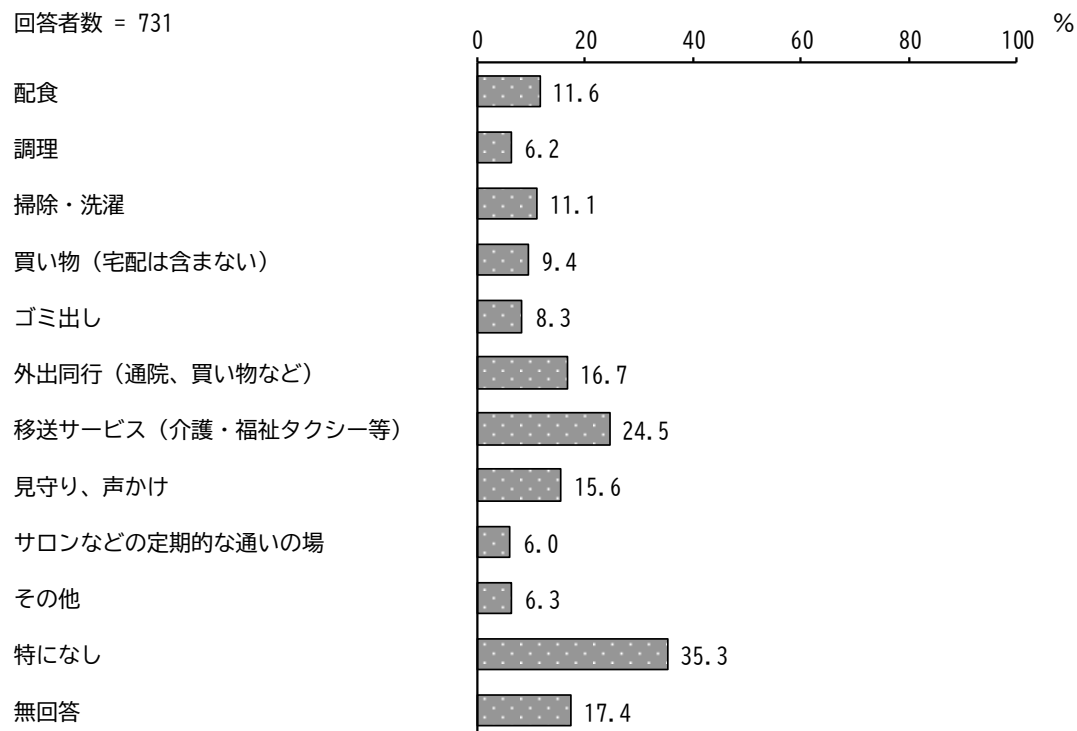
区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)
全 体	731	6.6	2.7	4.7	3.3	3.1	4.5
豊岡東圏域	81	4.9	—	2.5	3.7	3.7	4.9
豊岡西圏域	90	7.8	5.6	7.8	5.6	4.4	7.8
豊岡北圏域	87	6.9	1.1	4.6	3.4	2.3	6.9
東金子圏域	79	6.3	5.1	6.3	2.5	2.5	2.5
金子圏域	58	5.2	—	1.7	—	5.2	3.4
宮寺・二本木圏域	44	6.8	6.8	4.5	4.5	2.3	2.3
藤沢圏域	85	5.9	—	4.7	3.5	1.2	2.4
東藤沢圏域	65	10.8	4.6	9.2	6.2	4.6	6.2
西武圏域	111	4.5	2.7	1.8	0.9	2.7	2.7

区分	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体	7.8	3.8	1.5	4.0	59.5	16.4
豊岡東圏域	13.6	4.9	2.5	4.9	61.7	11.1
豊岡西圏域	13.3	6.7	2.2	1.1	56.7	14.4
豊岡北圏域	9.2	3.4	1.1	3.4	59.8	14.9
東金子圏域	7.6	2.5	1.3	5.1	64.6	11.4
金子圏域	1.7	1.7	3.4	6.9	67.2	12.1
宮寺・二本木圏域	6.8	2.3	2.3	4.5	61.4	15.9
藤沢圏域	5.9	2.4	—	1.2	60.0	21.2
東藤沢圏域	6.2	4.6	—	3.1	53.8	16.9
西武圏域	4.5	5.4	0.9	5.4	64.0	16.2

Q13. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

「特になし」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 24.5%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 731



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「特になし」の割合が、要介護1・2で「外出同行（通院、買い物など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）
全 体	731	11.6	6.2	11.1	9.4	8.3	16.7
要支援1・2	187	11.2	5.9	12.3	12.3	11.2	17.6
要介護1・2	262	15.3	7.3	13.0	9.5	11.5	22.1
要介護3・4・5	241	9.1	5.8	8.3	7.9	4.1	12.0

区分	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	24.5	15.6	6.0	6.3	35.3	17.4
要支援1・2	24.6	18.2	8.6	5.9	32.6	11.2
要介護1・2	28.2	15.6	6.1	4.6	34.7	15.3
要介護3・4・5	22.0	14.9	4.1	8.7	41.1	18.7

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、金子圏域、東金子圏域で「特になし」の割合が、藤沢圏域で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）
全 体	731	11.6	6.2	11.1	9.4	8.3	16.7
豊岡東圏域	81	17.3	1.2	11.1	12.3	7.4	18.5
豊岡西圏域	90	15.6	10.0	14.4	12.2	10.0	18.9
豊岡北圏域	87	12.6	11.5	11.5	10.3	11.5	19.5
東金子圏域	79	7.6	3.8	10.1	7.6	3.8	12.7
金子圏域	58	13.8	1.7	3.4	1.7	3.4	8.6
宮寺・二本木圏域	44	9.1	6.8	9.1	6.8	2.3	18.2
藤沢圏域	85	9.4	2.4	10.6	10.6	8.2	22.4
東藤沢圏域	65	10.8	12.3	16.9	13.8	10.8	21.5
西武圏域	111	9.0	7.2	10.8	9.0	13.5	13.5

区分	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	24.5	15.6	6.0	6.3	35.3	17.4
豊岡東圏域	32.1	16.0	3.7	6.2	25.9	14.8
豊岡西圏域	21.1	21.1	7.8	2.2	37.8	15.6
豊岡北圏域	31.0	13.8	5.7	5.7	36.8	10.3
東金子圏域	12.7	11.4	3.8	7.6	44.3	19.0
金子圏域	15.5	15.5	5.2	5.2	55.2	10.3
宮寺・二本木圏域	15.9	11.4	4.5	9.1	40.9	20.5
藤沢圏域	32.9	21.2	7.1	8.2	34.1	10.6
東藤沢圏域	26.2	15.4	9.2	10.8	29.2	18.5
西武圏域	29.7	15.3	6.3	5.4	29.7	22.5

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、他に比べ、単身世帯で「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」「配食」の割合が高くなっています。

単位：％

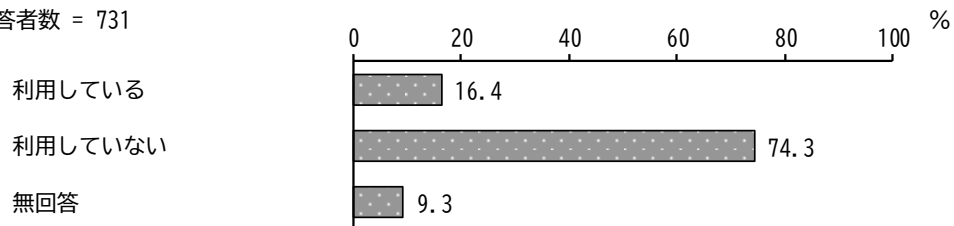
区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)
全 体	731	11.6	6.2	11.1	9.4	8.3	16.7
単身世帯	210	16.7	10.5	18.1	14.8	16.2	21.0
夫婦のみ世帯	205	12.2	4.9	10.2	10.7	7.8	18.0
その他	276	8.3	4.0	6.5	5.1	3.6	13.8

区分	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	24.5	15.6	6.0	6.3	35.3	17.4
単身世帯	24.8	22.4	6.2	5.7	28.6	15.2
夫婦のみ世帯	26.8	13.2	6.8	6.8	32.2	18.5
その他	23.9	13.8	5.1	6.5	45.7	13.8

Q14. ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか

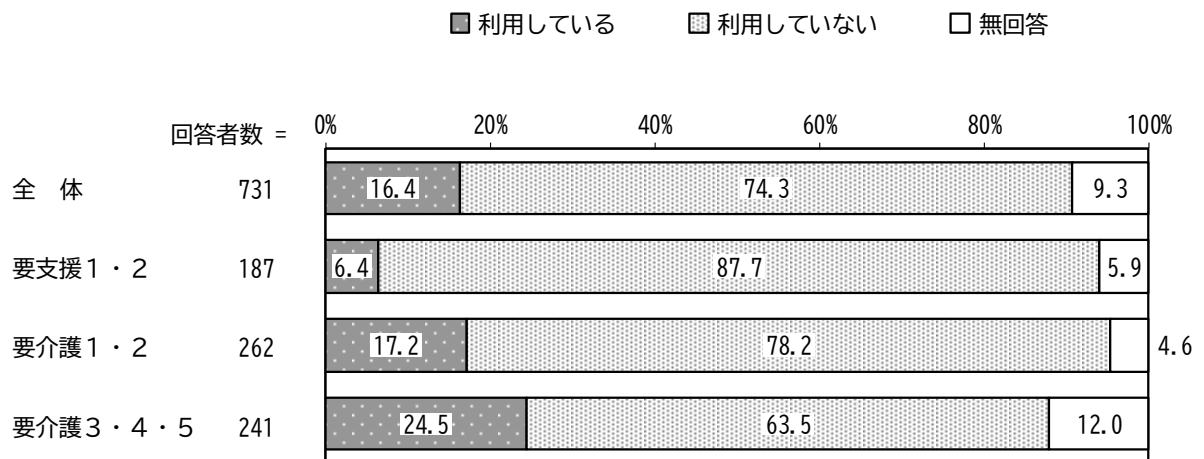
「利用している」の割合が 16.4%、「利用していない」の割合が 74.3%となっています。

回答者数 = 731



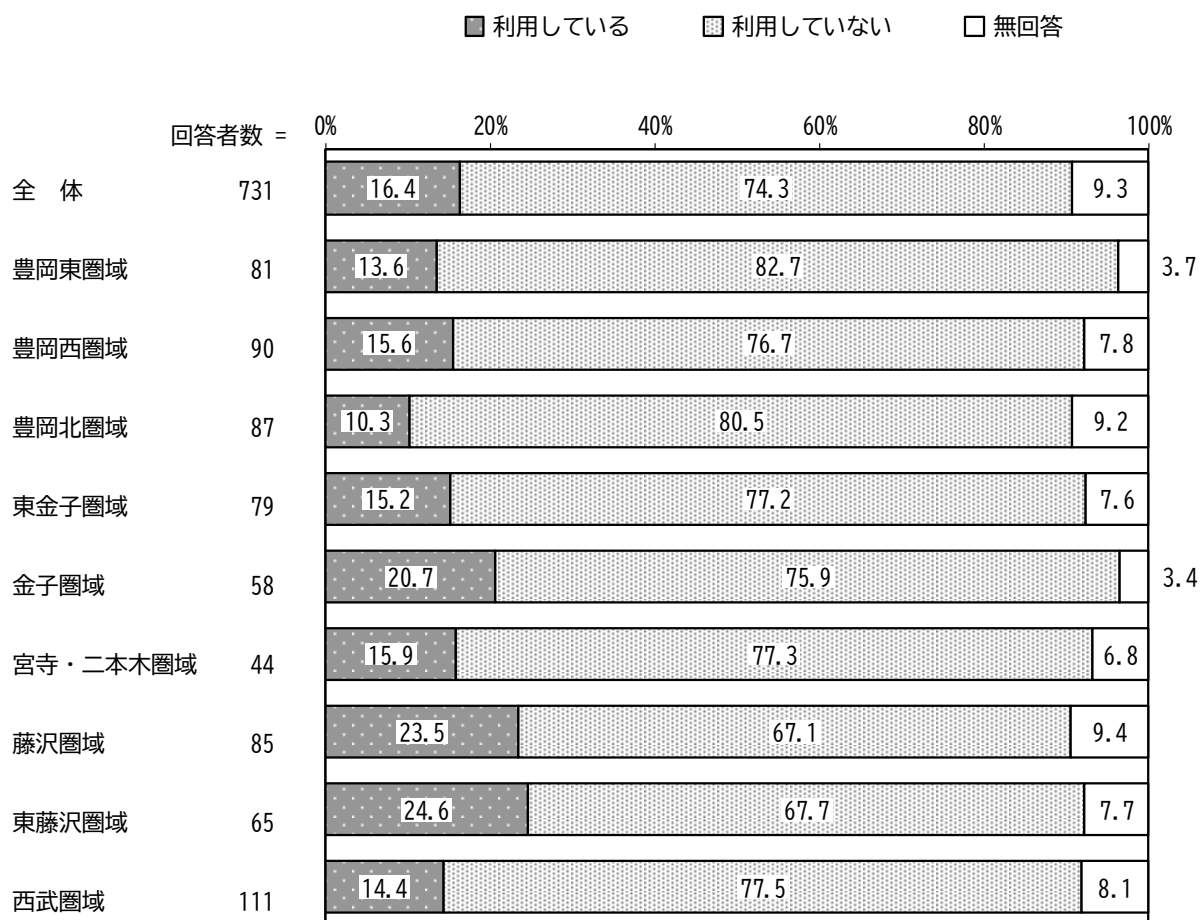
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・２で「利用していない」の割合が、要介護３・４・５で「利用している」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

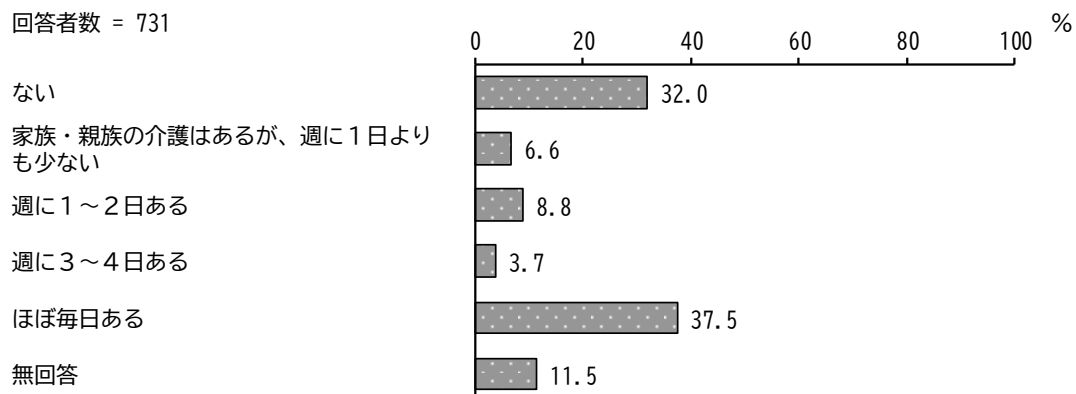
日常生活圏域別にみると、他に比べ、豊岡東圏域で「利用していない」の割合が、東藤沢圏域、藤沢圏域で「利用している」の割合が高くなっています。



Q15. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つのみ）

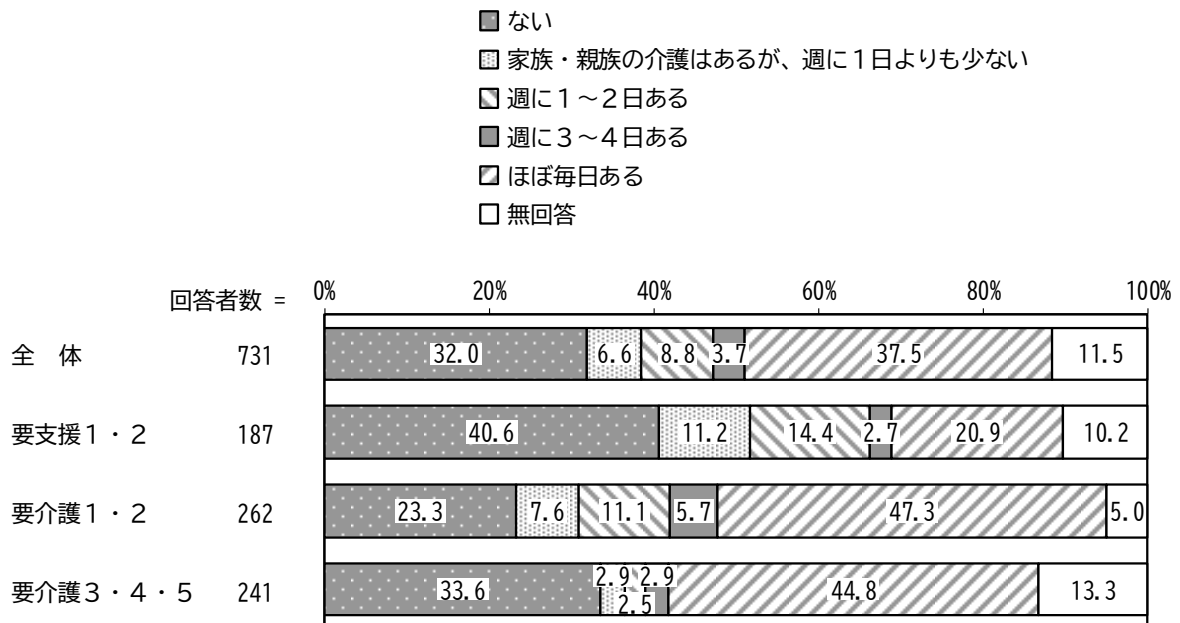
「ほぼ毎日ある」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「ない」の割合が 32.0%となっています。

回答者数 = 731



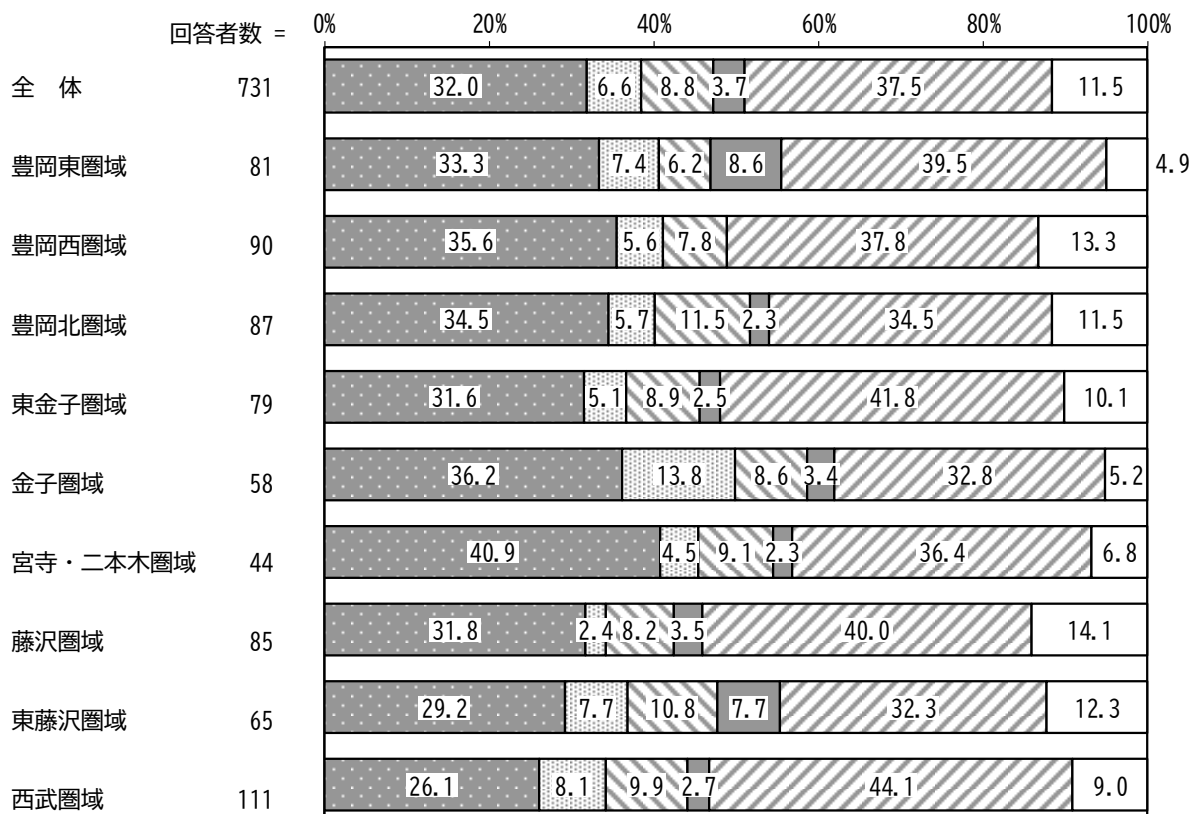
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護１・２、要介護３・４・５で「ほぼ毎日ある」の割合が、要支援１・２で「ない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

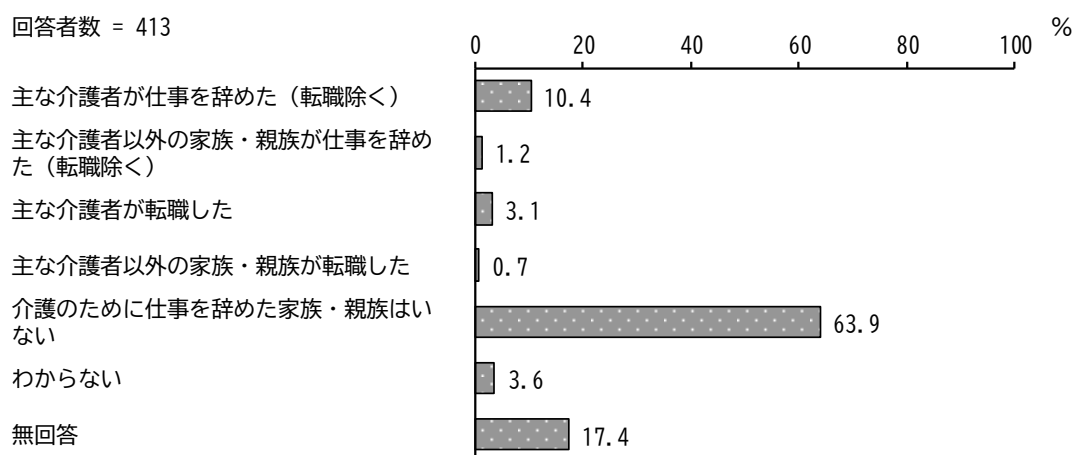
日常生活圏域別にみると、他に比べ、宮寺・二本木圏域で「ない」の割合が、西武圏域で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



B票 主な介護者の方について、お伺いします

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が63.9%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が10.4%となっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	413	10.4	1.2	3.1	0.7	63.9	3.6	17.4
要支援1・2	92	5.4	—	1.1	1.1	62.0	8.7	21.7
要介護1・2	188	8.0	1.1	4.8	0.5	65.4	2.7	18.1
要介護3・4・5	128	18.0	2.3	2.3	0.8	64.8	1.6	10.9

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、他に比べ、単身世帯で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	413	10.4	1.2	3.1	0.7	63.9	3.6	17.4
単身世帯	102	6.9	1.0	3.9	—	71.6	4.9	11.8
夫婦のみ世帯	118	5.1	—	3.4	—	63.6	3.4	24.6
その他	179	16.8	2.2	2.8	1.7	62.0	2.2	13.4

【介助者の年齢別】

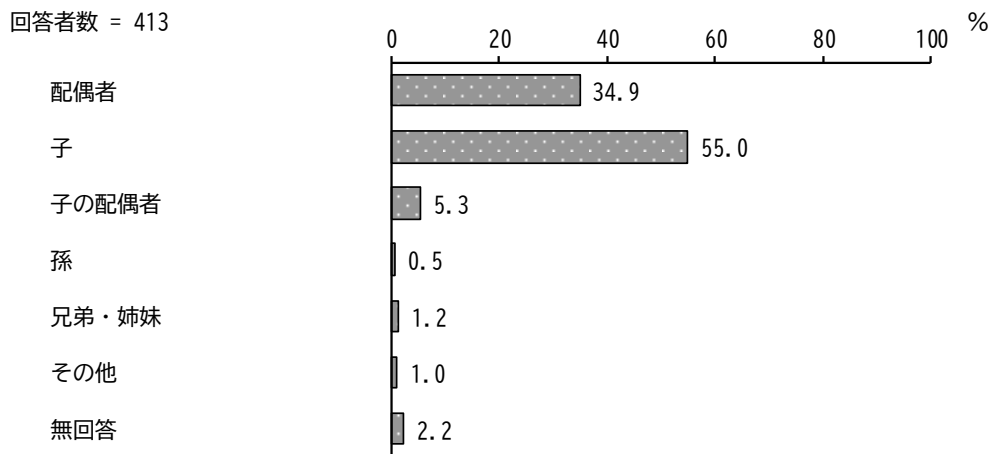
介助者の年齢別にみると、他に比べ、40代、60代で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が、50代で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	413	10.4	1.2	3.1	0.7	63.9	3.6	17.4
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20代	—	—	—	—	—	—	—	—
30代	4	—	—	—	25.0	50.0	—	25.0
40代	19	10.5	—	10.5	—	73.7	—	5.3
50代	103	15.5	2.9	6.8	1.9	59.2	5.8	7.8
60代	116	13.8	1.7	1.7	—	72.4	2.6	9.5
70代	91	6.6	—	2.2	—	62.6	2.2	26.4
80歳以上	70	4.3	—	—	—	60.0	4.3	31.4
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—

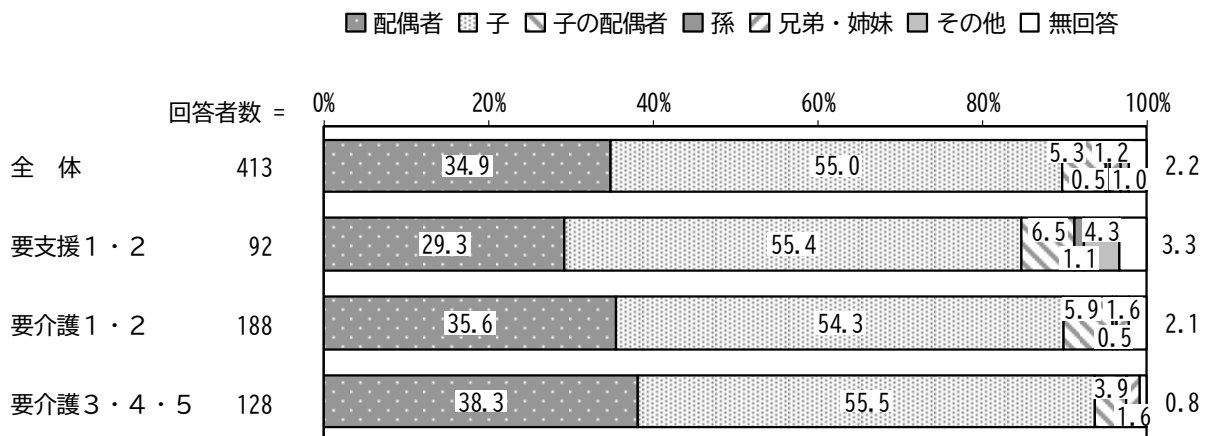
Q2. 主な介護者の方は、どなたですか（1つのみ）

「子」の割合が55.0%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が34.9%となっています。



【要支援・要介護度別】

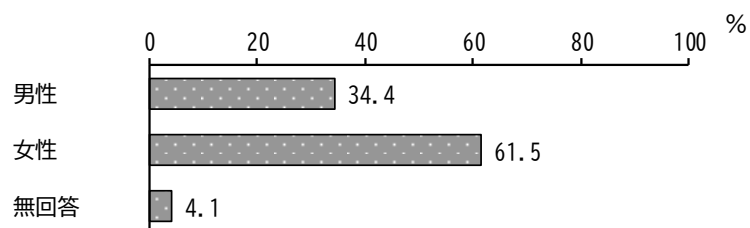
要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。



Q3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

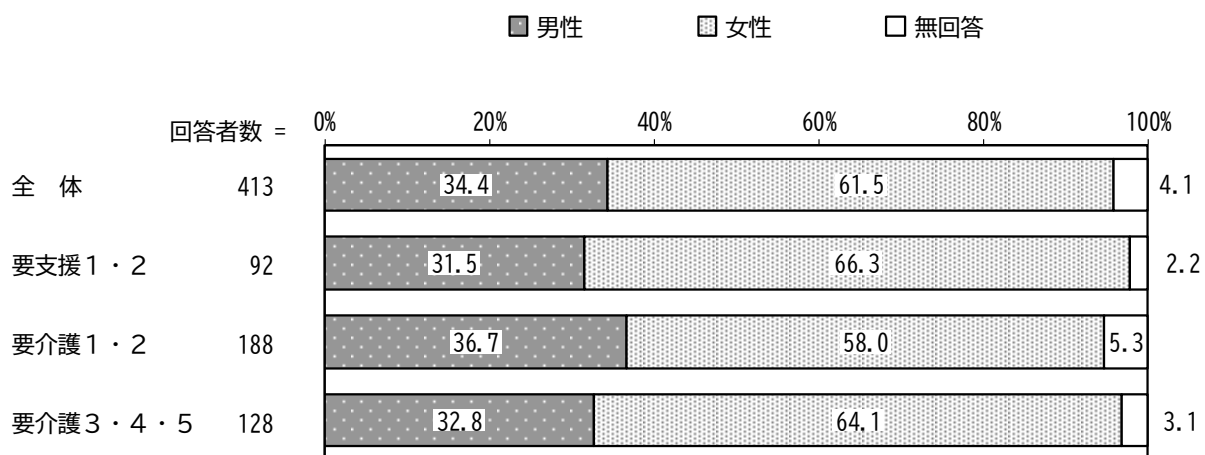
「男性」の割合が 34.4%、「女性」の割合が 61.5%となっています。

回答者数 = 413



【要支援・要介護度別】

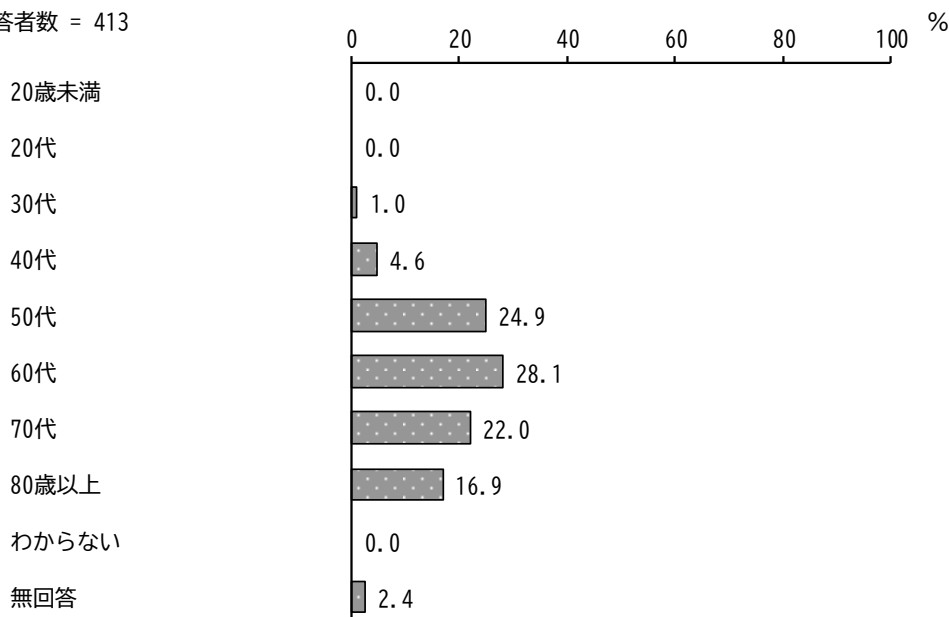
要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。



Q4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つのみ）

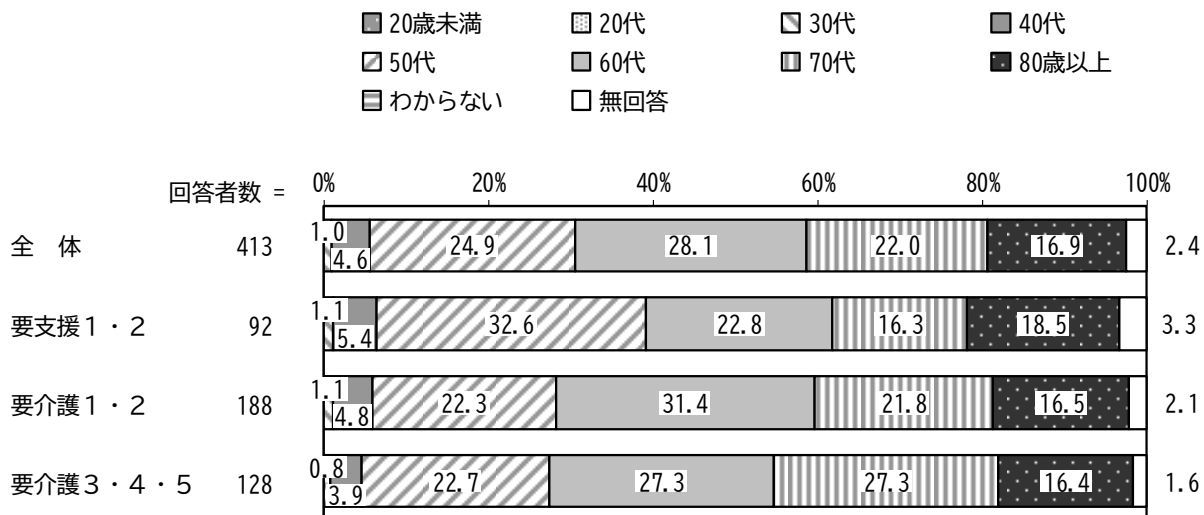
「60代」の割合が28.1%と最も高く、次いで「50代」の割合が24.9%、「70代」の割合が22.0%となっています。

回答者数 = 413



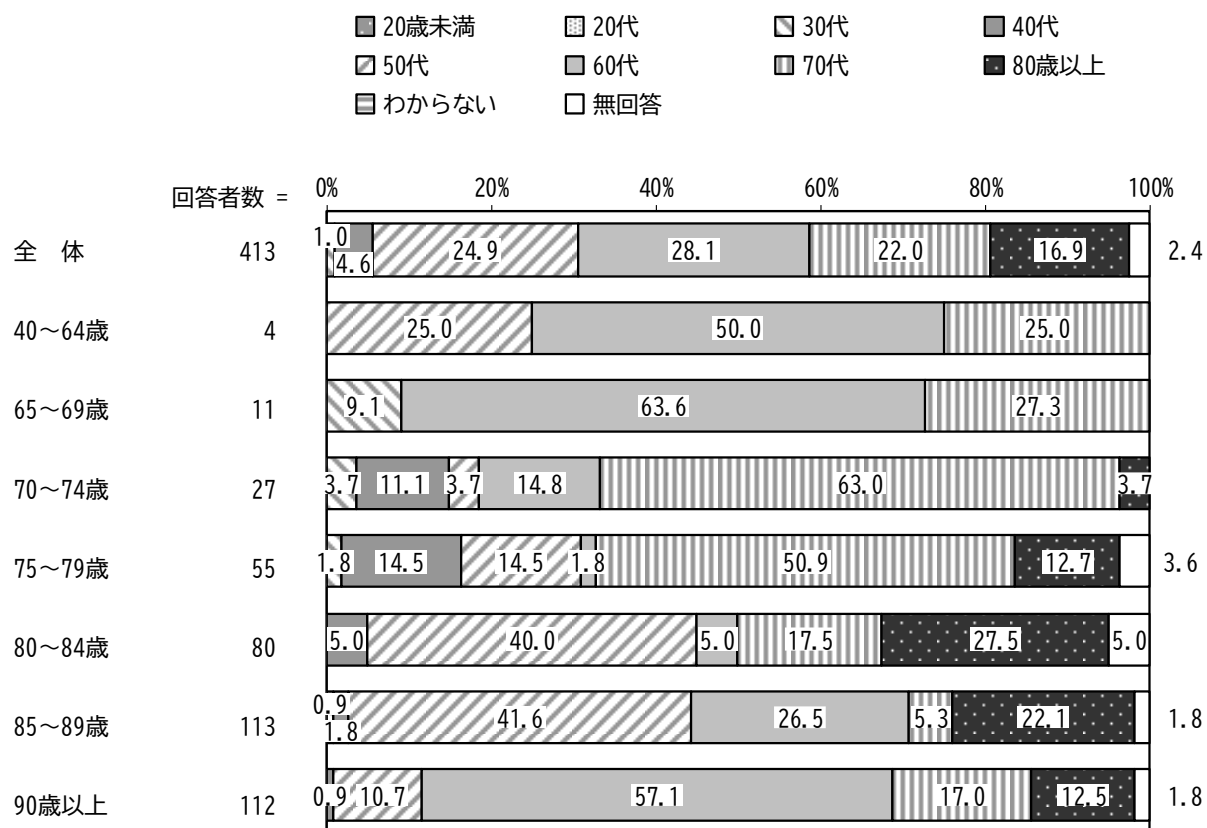
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「50代」の割合が、要介護3・4・5で「70代」の割合が高くなっています。



【年齢別】

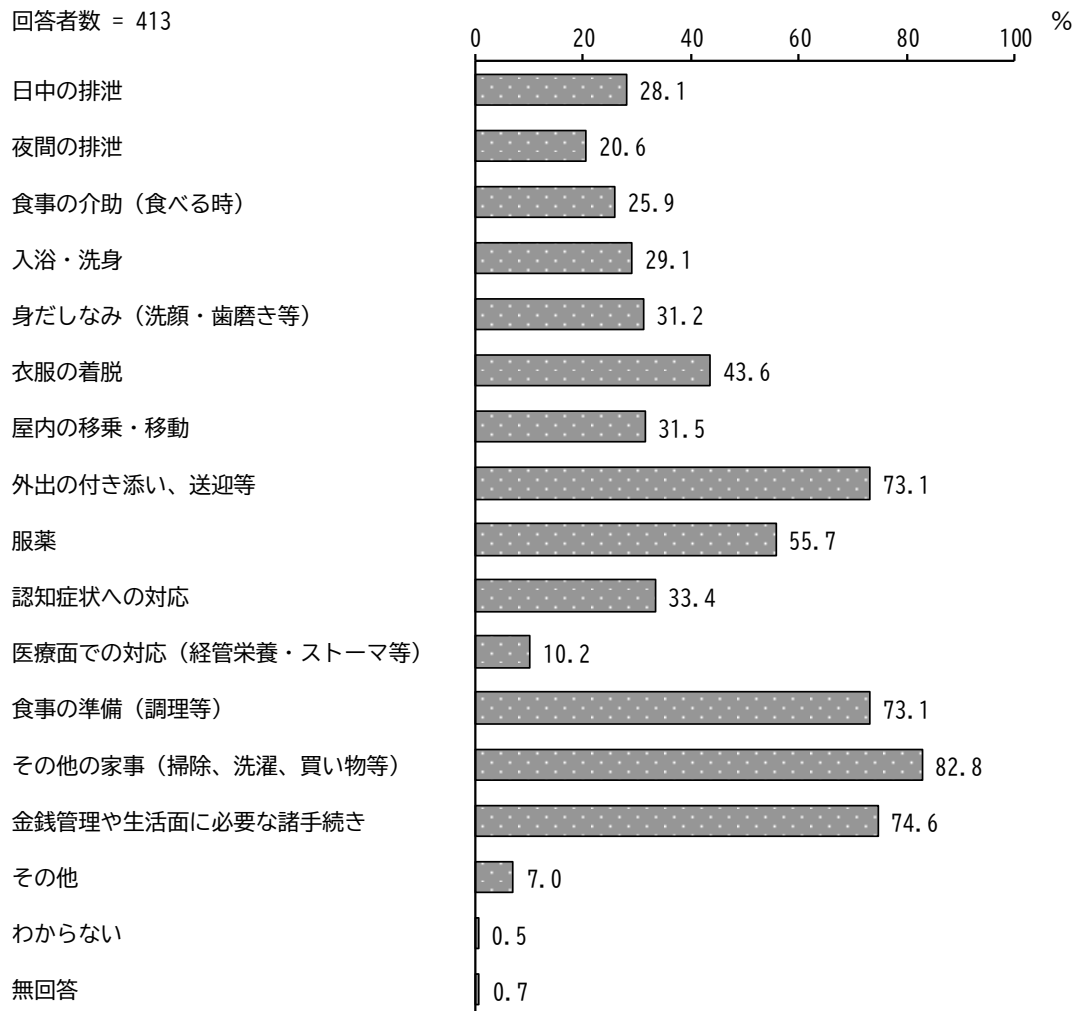
年齢別にみると、他に比べ、70～74歳で「70代」の割合が、65～69歳、90歳以上で「60代」の割合が高くなっています。



Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 82.8%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 74.6%、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」の割合が 73.1%となっています。

回答者数 = 413



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護３・４・５で「日中の排泄」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」の割合が高くなっています。

単位：％

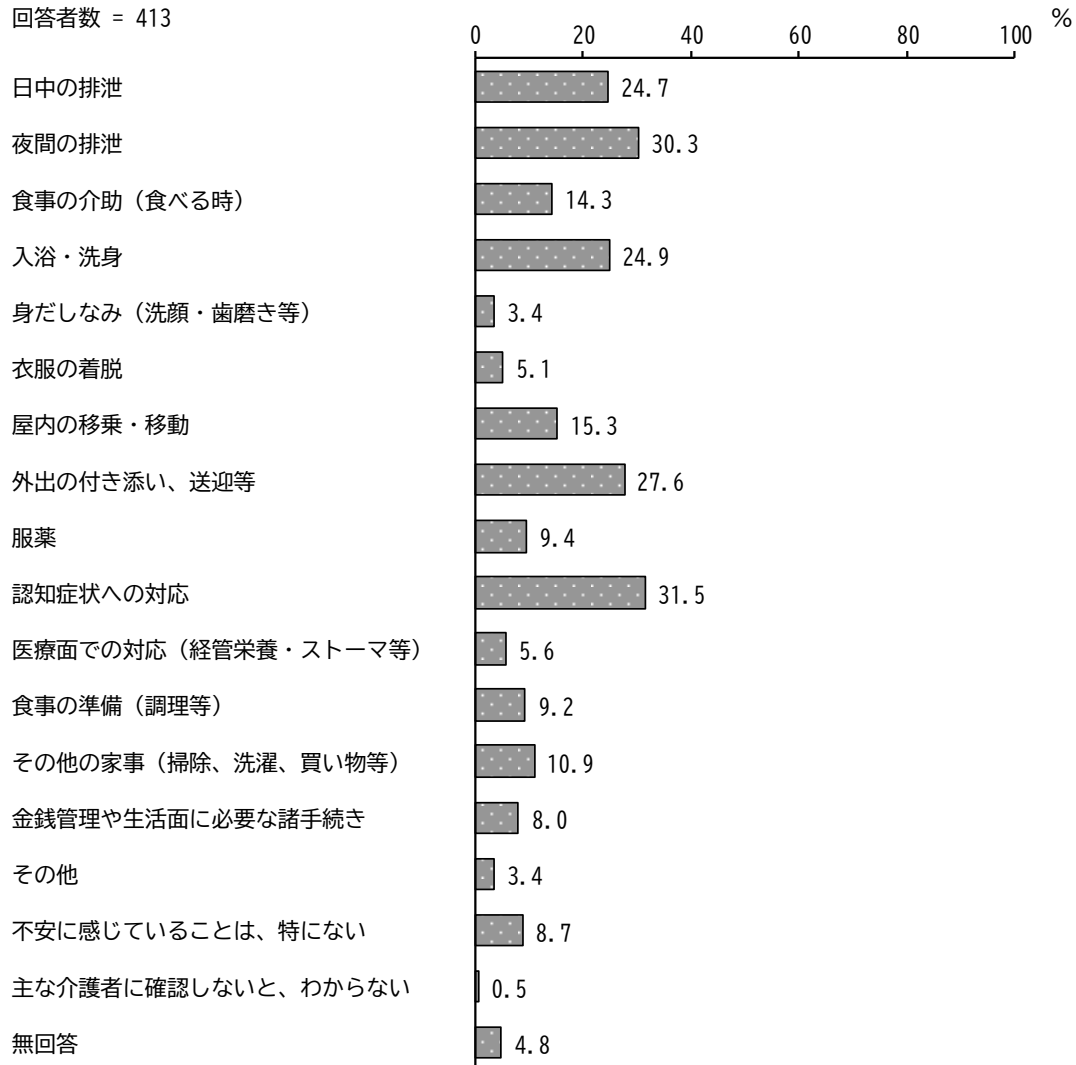
区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全 体	413	28.1	20.6	25.9	29.1	31.2	43.6	31.5	73.1
要支援１・２	92	4.3	2.2	5.4	18.5	6.5	14.1	10.9	63.0
要介護１・２	188	12.8	9.6	14.9	31.9	20.7	35.6	20.2	79.3
要介護３・４・５	128	68.8	50.8	57.0	32.0	65.6	77.3	63.3	71.9

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	55.7	33.4	10.2	73.1	82.8	74.6	7.0	0.5	0.7
要支援１・２	22.8	16.3	7.6	48.9	68.5	52.2	7.6	1.1	1.1
要介護１・２	55.9	32.4	5.9	73.9	86.2	78.7	5.3	0.5	1.1
要介護３・４・５	80.5	48.4	18.0	89.8	88.3	85.9	9.4	—	—

Q 6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）

「認知症状への対応」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が 30.3%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 27.6%となっています。

回答者数 = 413



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護３・４・５で「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	413	24.7	30.3	14.3	24.9	3.4	5.1	15.3	27.6	9.4
要支援１・２	92	16.3	19.6	7.6	17.4	4.3	5.4	14.1	33.7	14.1
要介護１・２	188	20.2	30.3	12.8	27.7	3.7	4.8	13.3	29.8	9.6
要介護３・４・５	128	38.3	39.1	21.1	26.6	2.3	4.7	19.5	18.8	5.5

区分	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にな	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	31.5	5.6	9.2	10.9	8.0	3.4	8.7	0.5	4.8
要支援１・２	29.3	5.4	10.9	16.3	9.8	—	9.8	1.1	8.7
要介護１・２	35.1	5.9	11.2	12.2	7.4	4.8	8.0	0.5	5.3
要介護３・４・５	28.9	5.5	5.5	3.9	7.8	3.9	9.4	—	0.8

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、他に比べ、夫婦のみ世帯で「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」の割合が、単身世帯で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送 迎等	服薬
全 体	413	24.7	30.3	14.3	24.9	3.4	5.1	15.3	27.6	9.4
単身世帯	102	23.5	33.3	9.8	25.5	2.0	3.9	15.7	28.4	14.7
夫婦のみ世帯	118	23.7	25.4	13.6	32.2	5.9	7.6	17.8	37.3	11.9
その他	179	26.3	31.3	17.9	20.1	2.2	3.4	14.5	19.6	5.0

区分	認知症状への対応	医療面での対応(経 管栄養・ストーマ 等)	食事の準備(調理 等)	その他の家事(掃 除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面 に必要な諸手続き	その他	不安に感じている ことは、特にな い	主な介護者に確認 しないと、わからな い	無回答
全 体	31.5	5.6	9.2	10.9	8.0	3.4	8.7	0.5	4.8
単身世帯	32.4	6.9	14.7	16.7	9.8	2.9	4.9	—	2.9
夫婦のみ世帯	33.1	5.9	8.5	11.0	6.8	0.8	4.2	—	5.9
その他	30.7	5.0	7.3	7.3	7.8	5.0	14.5	0.6	5.0

【介助者の就労状況別】

介助者の就労状況別にみると、他に比べ、パートタイムで働いているで「認知症状への対応」の割合が、フルタイムで働いているで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が高くなっています。

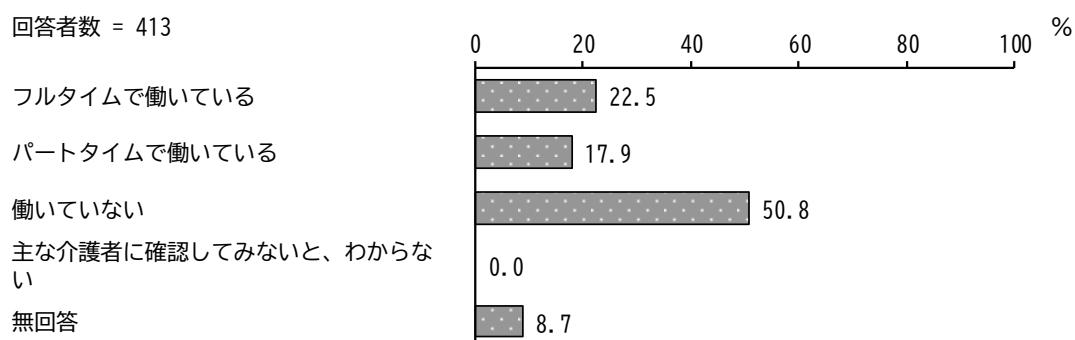
単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	413	24.7	30.3	14.3	24.9	3.4	5.1	15.3	27.6	9.4
フルタイムで働いている	93	28.0	30.1	11.8	19.4	1.1	2.2	9.7	15.1	6.5
パートタイムで働いている	74	25.7	31.1	10.8	27.0	1.4	9.5	17.6	29.7	12.2
働いていない	210	25.7	32.4	17.6	27.6	4.3	4.3	19.5	30.5	10.0
主な介護者に確認してみないと、わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にな	い 主な介護者に確認 しないと、わからな	無回答
全 体	31.5	5.6	9.2	10.9	8.0	3.4	8.7	0.5	4.8
フルタイムで働いている	35.5	5.4	14.0	17.2	16.1	9.7	8.6	—	3.2
パートタイムで働いている	41.9	4.1	4.1	4.1	12.2	2.7	6.8	2.7	2.7
働いていない	30.0	5.7	8.6	9.0	3.8	1.0	10.0	—	2.4
主な介護者に確認してみないと、わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—

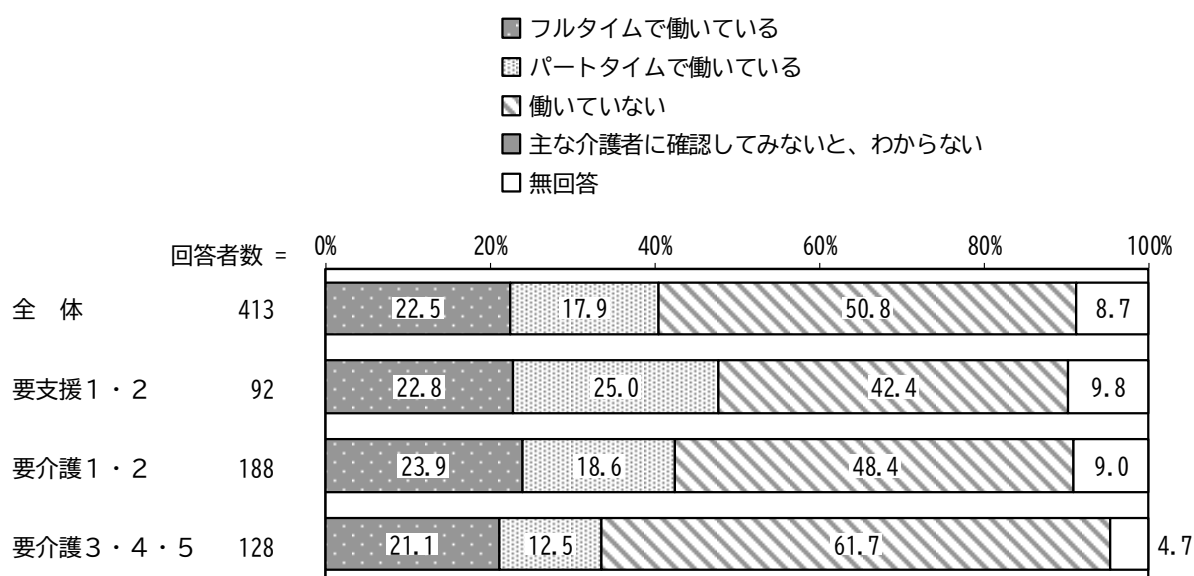
Q 7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つのみ）

「働いていない」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 22.5%、「パートタイムで働いている」の割合が 17.9%となっています。



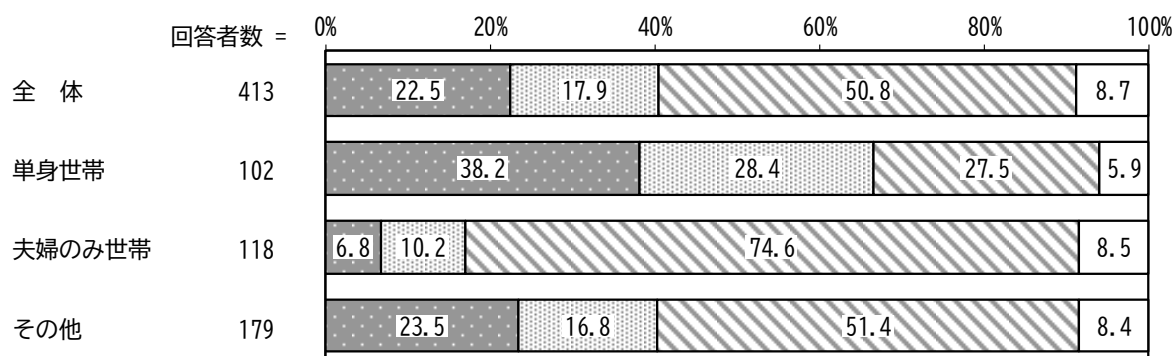
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「働いていない」の割合が、要支援1・2で「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。



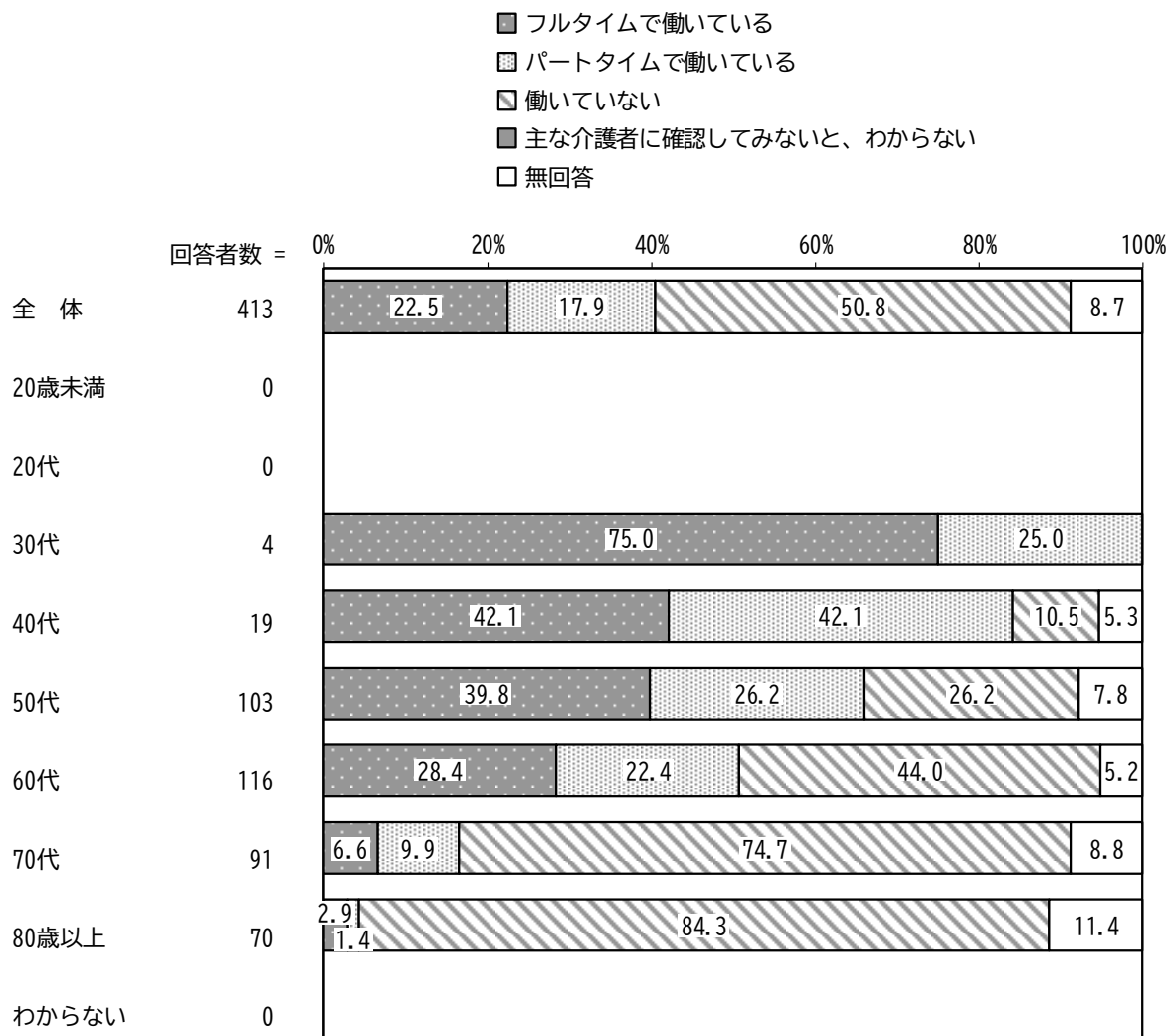
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、他に比べ、夫婦のみ世帯で「働いていない」の割合が、単身世帯で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。



【介助者の年齢別】

介助者の年齢別にみると、他に比べ、80歳以上、70代で「働いていない」の割合が、40代で「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。



【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

Q8. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか（いくつでも）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 28.1%、「特に行っていない」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 167

特に行っていない

介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている

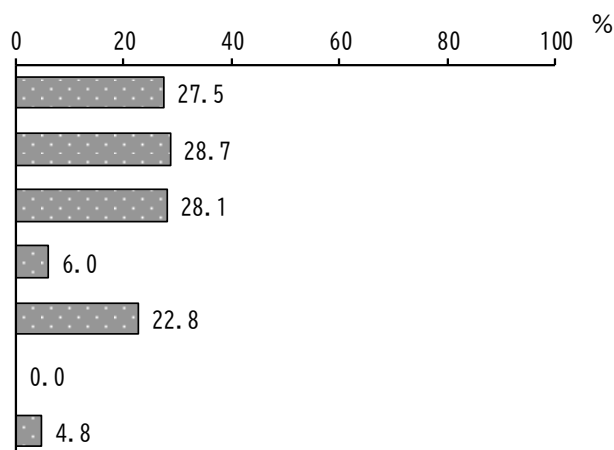
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている

介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

主な介護者に確認しないと、わからない

無回答



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「特に行っていない」の割合が、要介護3・4・5で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている」の割合が、要介護1・2で「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	167	27.5	28.7	28.1	6.0	22.8	—	4.8
要支援1・2	44	43.2	20.5	15.9	6.8	20.5	—	4.5
要介護1・2	80	18.8	28.8	35.0	5.0	26.3	—	2.5
要介護3・4・5	43	27.9	37.2	27.9	7.0	18.6	—	9.3

【介助者の就労状況別】

介助者の就労状況別にみると、他に比べ、パートタイムで働いているで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている」の割合が、フルタイムで働いているで「特に行っていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	167	27.5	28.7	28.1	6.0	22.8	—	4.8
フルタイムで働いている	93	36.6	20.4	32.3	7.5	14.0	—	4.3
パートタイムで働いている	74	16.2	39.2	23.0	4.1	33.8	—	5.4
働いていない	—	—	—	—	—	—	—	—
主な介護者に確認してみないと、わからない	—	—	—	—	—	—	—	—

【介助者の就労継続状況別】

介助者の就労継続状況別にみると、他に比べ、問題なく、続けていけるで「特に行っていない」の割合が、問題はあるが、何とか続けていけるで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が高くなっています。

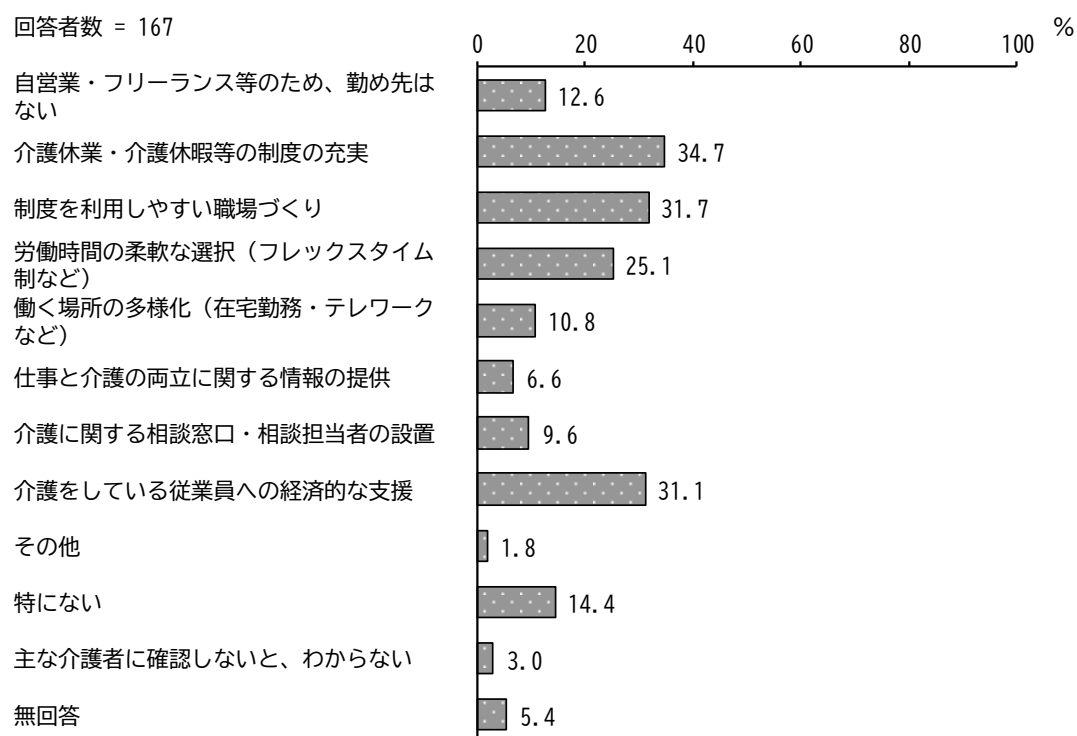
単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	167	27.5	28.7	28.1	6.0	22.8	—	4.8
問題なく、続けていける	31	54.8	16.1	—	12.9	12.9	—	6.5
問題はあるが、何とか続けていける	108	20.4	33.3	37.0	3.7	25.9	—	3.7
続けていくのは、やや難しい	19	15.8	31.6	26.3	10.5	26.3	—	—
続けていくのは、かなり難しい	5	40.0	20.0	40.0	—	—	—	20.0
主な介護者に確認しないと、わからない	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0

【Q 7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

Q 9. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 31.7%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が 31.1%となっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護３・４・５で「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全 体	167	12.6	34.7	31.7	25.1	10.8	6.6
要支援１・２	44	11.4	29.5	22.7	22.7	13.6	4.5
要介護１・２	80	8.8	32.5	38.8	18.8	8.8	7.5
要介護３・４・５	43	20.9	44.2	27.9	39.5	11.6	7.0

区分	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	9.6	31.1	1.8	14.4	3.0	5.4
要支援１・２	11.4	36.4	—	13.6	4.5	9.1
要介護１・２	8.8	30.0	2.5	17.5	3.8	6.3
要介護３・４・５	9.3	27.9	2.3	9.3	—	—

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全 体	167	12.6	34.7	31.7	25.1	10.8	6.6
単身世帯	68	11.8	36.8	33.8	23.5	13.2	2.9
夫婦のみ世帯	20	5.0	25.0	30.0	10.0	5.0	15.0
その他	72	15.3	37.5	31.9	30.6	9.7	8.3

区分	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	9.6	31.1	1.8	14.4	3.0	5.4
単身世帯	8.8	29.4	1.5	13.2	4.4	5.9
夫婦のみ世帯	15.0	35.0	—	25.0	—	10.0
その他	9.7	31.9	2.8	11.1	1.4	2.8

【介助者の就労状況別】

介助者の就労状況別にみると、他に比べ、フルタイムで働いているで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全 体	167	12.6	34.7	31.7	25.1	10.8	6.6
フルタイムで働いている	93	14.0	34.4	32.3	34.4	12.9	4.3
パートタイムで働いている	74	10.8	35.1	31.1	13.5	8.1	9.5
働いていない	—	—	—	—	—	—	—
主な介護者に確認してみないと、わからない	—	—	—	—	—	—	—

区分	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	9.6	31.1	1.8	14.4	3.0	5.4
フルタイムで働いている	7.5	32.3	2.2	11.8	2.2	4.3
パートタイムで働いている	12.2	29.7	1.4	17.6	4.1	6.8
働いていない	—	—	—	—	—	—
主な介護者に確認してみないと、わからない	—	—	—	—	—	—

【介助者の就労継続状況別】

介助者の就労継続状況別にみると、他に比べ、続けていくのは、やや難しいで「制度を利用しやすい職場づくり」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全 体	167	12.6	34.7	31.7	25.1	10.8	6.6
問題なく、続けていける	31	12.9	25.8	12.9	16.1	9.7	3.2
問題はあるが、何とか続けていける	108	13.0	38.0	34.3	27.8	9.3	6.5
続けていくのは、やや難しい	19	10.5	36.8	52.6	26.3	21.1	15.8
続けていくのは、かなり難しい	5	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	—
主な介護者に確認しないと、わからない	2	—	—	—	—	—	—

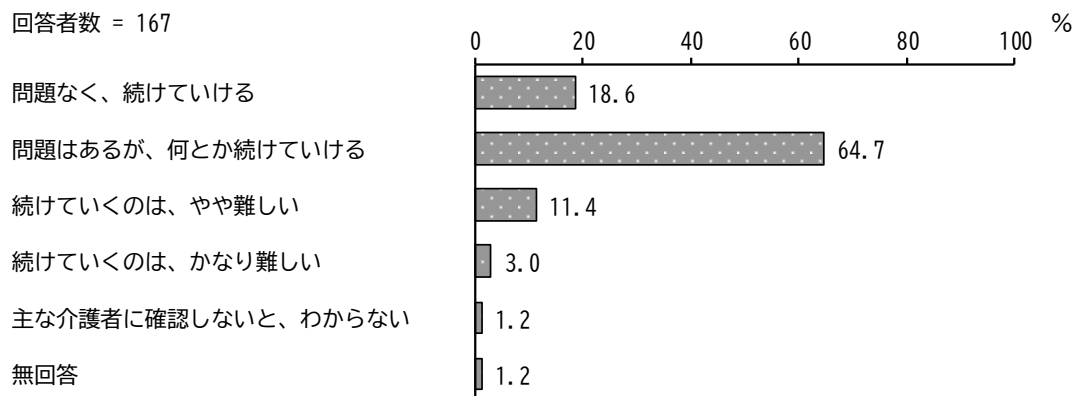
区分	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	9.6	31.1	1.8	14.4	3.0	5.4
問題なく、続けていける	6.5	22.6	—	35.5	6.5	3.2
問題はあるが、何とか続けていける	9.3	32.4	2.8	12.0	1.9	4.6
続けていくのは、やや難しい	15.8	36.8	—	—	—	—
続けていくのは、かなり難しい	20.0	40.0	—	—	—	20.0
主な介護者に確認しないと、わからない	—	—	—	—	50.0	50.0

【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

Q10. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）

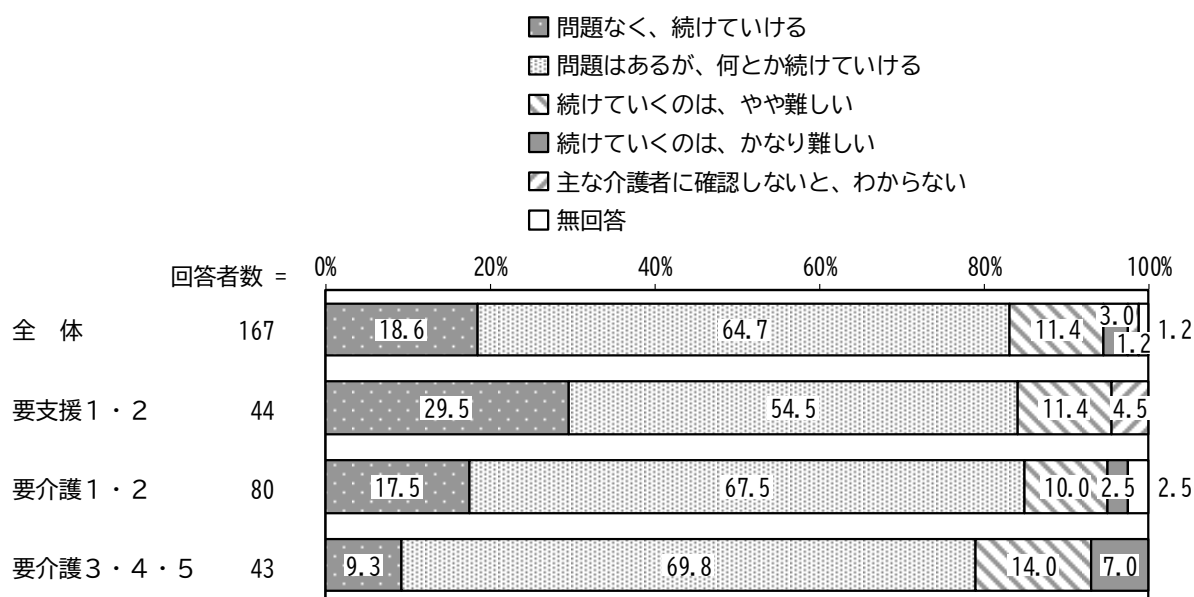
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 18.6%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が 11.4%となっています。

回答者数 = 167



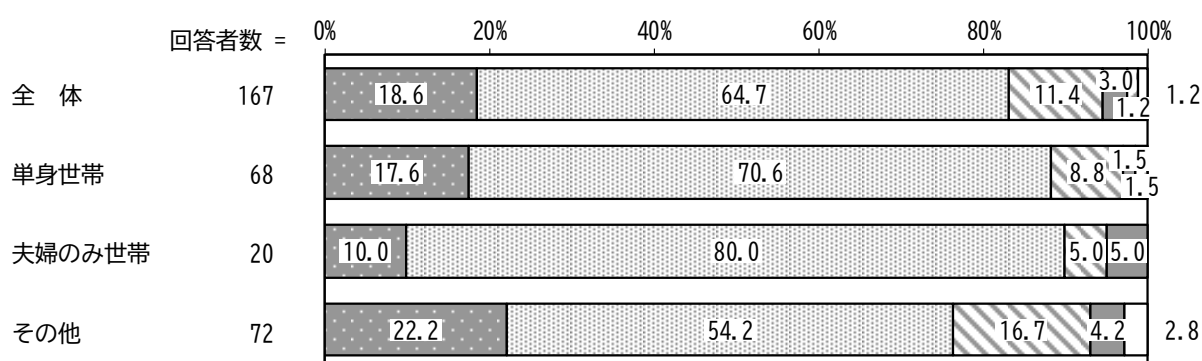
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・2で「問題なく、続けていける」の割合が、要介護3・4・5で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。



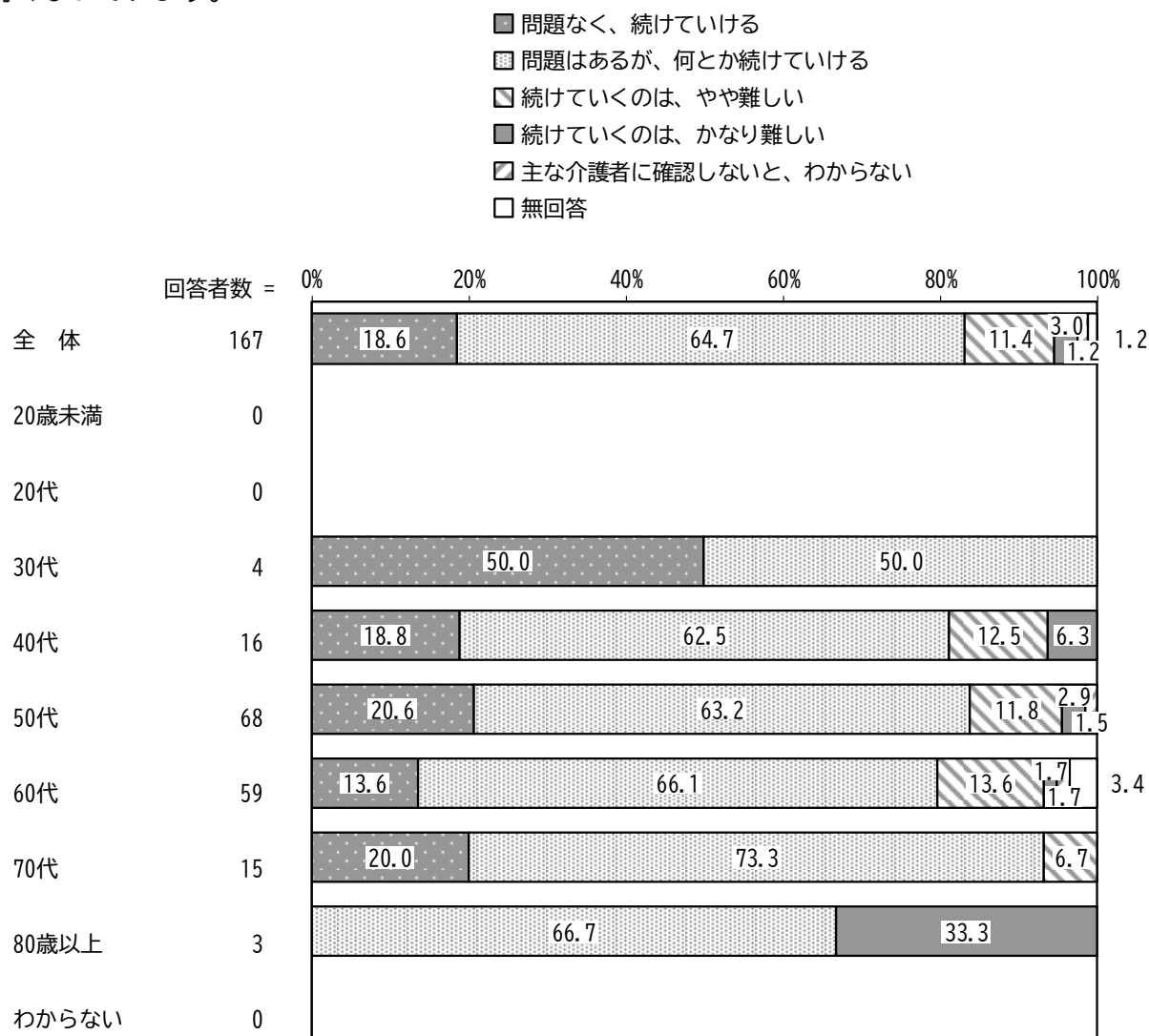
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、他に比べ、夫婦のみ世帯、単身世帯で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。



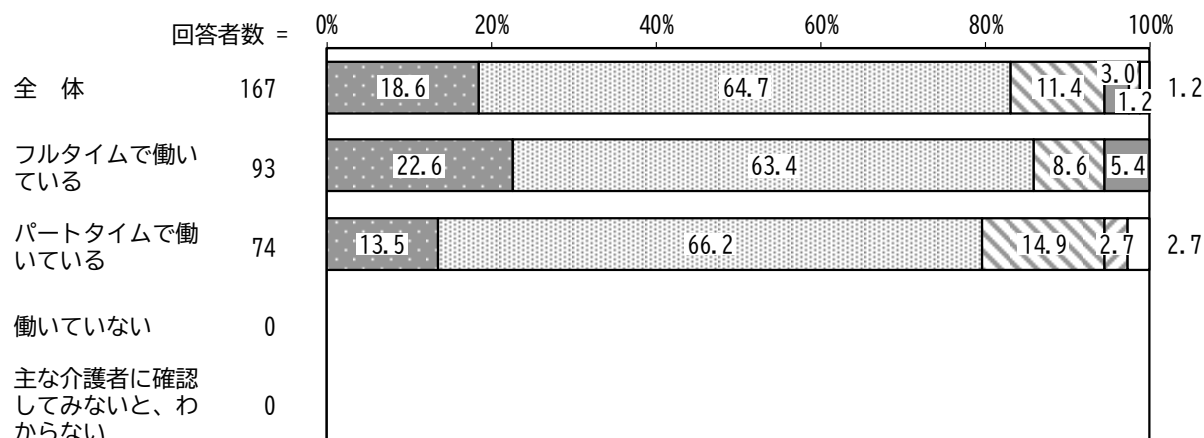
【介助者の年齢別】

介助者の年齢別にみると、他に比べ、70代で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。



【介助者の就労状況別】

介助者の就労状況別にみると、大きな差はみられません。



入間市
高齢者等実態調査報告書
令和5年3月

発行：入間市役所 福祉部 高齢者支援課
〒358-8511 入間市豊岡一丁目16番1号
TEL：04-2964-1111（内線1371・1372）
FAX：04-2966-5517